
豊島区介護保険アンケート調査報告書

令和5年（2023年）3月

豊島区
TOSHIMA CITY

豊島区介護保険アンケート調査
報告書

令和5年3月

豊島区

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	2
2 調査の種類と対象	2
3 調査方法と回収状況	2
4 調査項目	3
5 その他の調査	4
6 調査結果の見方	4
第2章 要介護認定者調査	5
1 本人および家族について	6
2 介護について	13
3 生活支援について	30
4 医療について	34
5 地域とのつながりについて	38
6 主に介護をしている方について	42
第3章 ケアマネジャー調査	58
1 本人について	59
2 サービス基盤について	62
3 各種連携・調整について	75
4 業務の課題について	87
5 質の確保について	93
6 災害時の対応について	101
7 今後の動向について	110
第4章 介護サービス事業所調査	114
1 事業所の概要について	115
2 人材の確保・定着・育成について	120
3 処遇改善の状況について	154
4 各種連携の状況について	156
5 サービスの質の向上について	161
6 災害時の対応について	166

第5章 分析・考察.....	176
1 個別調査における分析・考察	178
1. 要介護認定者調査	178
(1) 要介護認定者の状況について	178
(2) 介護を行う家族の負担について	181
2. ケアマネジャー調査	185
(1) 多職種連携について.....	185
(2) 質の確保に向けた取り組み	189
3. 介護サービス事業所調査.....	195
(1) 経営状況および人材の確保について	195
(2) サービスの質の向上について	203
2 在宅生活の継続に係る横断的な分析・考察	206
1. 在宅生活に必要な支援について	206
2. 新型コロナウイルス感染症の影響について.....	216
3. 外部環境変化への対応について	220
参考資料	223
資料1 要介護認定者調査票	
資料2 ケアマネジャー調査票	
資料3 介護サービス事業所調査票	

第1章 調査の概要

1 調査目的

本調査は、豊島区における要介護認定者やそのご家族の方々が、地域の中で安心して暮らし続けていくことができるよう、令和6年度からの3か年を期間として策定する「豊島区高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の基礎資料として、要介護認定者の生活実態や意向、および、介護従業者である、ケアマネジャーやサービス事業所の実態を把握するために実施したものです。

2 調査の種類と対象

調査の種類及び各調査の対象は以下の通りです。

図表 1 調査の種類および各調査の対象

調査名	調査対象	送付数
要介護認定者調査 (※在宅介護実態調査)	令和4年11月時点で豊島区に在住している65歳以上高齢者の方で要介護1～5の認定を受けている方及びその介護者	1,500件 (無作為抽出)
ケアマネジャー調査	豊島区内に住所があり、令和4年11月時点で居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー	210件 (悉皆)
介護サービス事業所調査	令和4年11月豊島区内に所在するサービス提供事業所	321件 (悉皆)

※要介護認定者調査は在宅介護実態調査（郵送調査）を兼ねており、設問の一部に在宅介護実態調査の設問が含まれております。

3 調査方法と回収状況

調査方法は郵送によるアンケート調査です。各調査の調査期間及び回収状況は以下の通りです。

図表 2 調査期間及び回収状況

調査名	調査期間	送付数	有効回収数	有効回収率
要介護認定者調査	令和4年11月14日～ 令和4年12月5日	1,500件	872件	58.1%
ケアマネジャー調査	令和4年11月14日～ 令和4年12月5日	210件	148件	70.5%
介護サービス事業所調査	令和4年11月14日～ 令和4年12月5日	321件	219件	68.2%

4 調査項目

各調査の調査項目は以下の通りです。

図表 3 調査項目

調査名	調査項目
要介護認定者 調査	1 本人および家族について
	2 介護について
	3 生活支援について
	4 医療について
	5 地域とのつながりについて
	6 主に介護をしている方について
ケアマネジャー 調査	1 本人について
	2 サービス基盤について
	3 各種連携・調整について
	4 業務の課題について
	5 質の確保について
	6 災害時の対応について
	7 今後の意向について
介護サービス 事業所調査	1 事業所の概要について
	2 人材の確保・定着・育成について
	3 処遇改善の状況について
	4 各種連携の状況について
	5 サービスの質の向上について
	6 災害時の対応について

5 その他の調査

今回実施した3調査の分析・考察に際して、以下の調査の資料を使用しています。

図表 4 その他の調査

調査名	調査期間	調査対象	対象者数
在宅介護 実態調査 (聞き取り調査)	令和4年 7月～10月	豊島区内在住の65歳以上の方で要支援・要介護の認定の更新・区分変更申請をされる方と、そのご家族	80件 (協力を承諾した方)
要介護認定者 調査 (前回調査)	令和元年 11月～12月	令和元年11月時点で豊島区に在住している65歳以上高齢者の方で要介護1～5の認定を受けている方及びその介護者	1500件 (無作為抽出)
ケアマネジャー 調査 (前回調査)	令和元年 11月～12月	豊島区に住所があり、令和元年11月時点で居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー	235件 (悉皆)
介護サービス 事業所調査 (前回調査)	令和元年 11月～12月	令和元年11月に豊島区内に所在するサービス提供事業所	346件 (悉皆)

6 調査結果の見方

- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフなどに使われる「N」は、各設問に対する回答者数を示しています。
- ・表中の「-」は対象者がいないことを示します。
- ・クロス集計の表は、不明を表示していない場合、設問ごとに不明(回答者が回答していないなど)数が異なるため、クロス集計のN値の合計が全体と一致しない場合があります。

第2章 要介護認定者調査

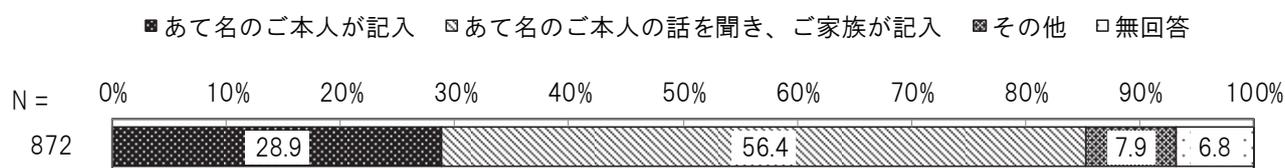
※要介護認定者調査は在宅介護実態調査を兼ねており、共通する設問については、全体の回答に在宅介護実態調査（聞き取り調査）80件の回答を含めています（在宅介護実態調査の設問には★をつけています）。クロス集計表には在宅介護実態調査（聞き取り調査）の回答を含めていないため、N値の合計と内訳は一致しません。

1 本人および家族について

問1 この調査票にご回答いただいている方は、どなたですか。（ひとつだけ○）

調査票の回答者については、56.4%の方が「あて名のご本人の話を聞き、ご家族が記入」と回答しています。

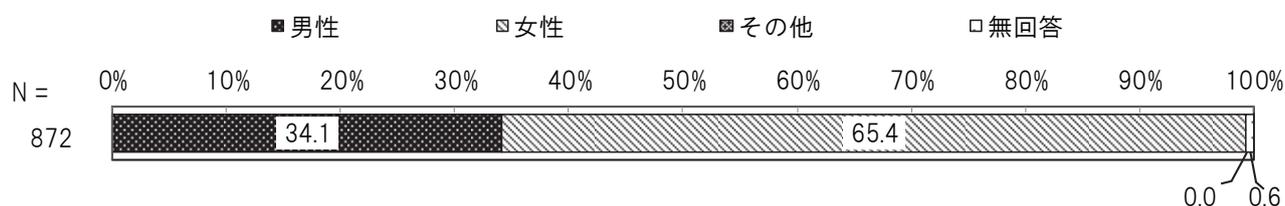
図表5 回答者



問2 あなたの性別をお答えください。（ひとつだけ○）

性別については、「男性」が34.1%、「女性」が65.4%となっています。

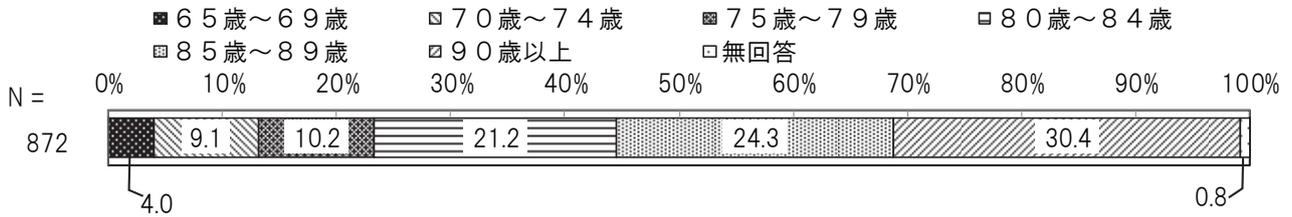
図表6 性別



★問3 あなたの令和4年11月1日現在の年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

介護認定者の年齢は、「90歳以上」(30.4%)と最も多く、「85歳～89歳」(24.3%)と続いています。

図表7 年齢



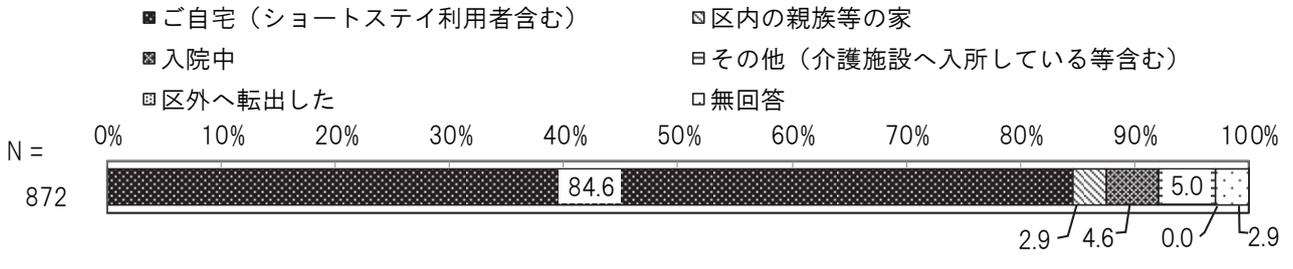
図表8 主介護者の年齢別の年齢

		回答者数	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	無回答
全体		872	4.0	9.1	10.2	21.2	24.3	30.4	0.8
主介護者の年齢	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	30代	5	-	-	20.0	60.0	-	20.0	-
	40代	28	7.1	25.0	21.4	32.1	10.7	3.6	-
	50代	135	1.5	0.7	3.0	39.3	39.3	16.3	-
	60代	172	6.4	9.9	2.9	3.5	16.9	59.9	0.6
	70代	129	3.9	24.8	21.7	14.7	6.2	28.7	-
	80歳以上	112	-	-	8.0	31.3	36.6	24.1	-
わからない	1	-	-	-	-	100.0	-	-	

問4 あなたは現在、どちらにお住まいですか。（ひとつだけ○）

現在の住まいについては、「ご自宅（ショートステイ利用者含む）」が84.6%です。

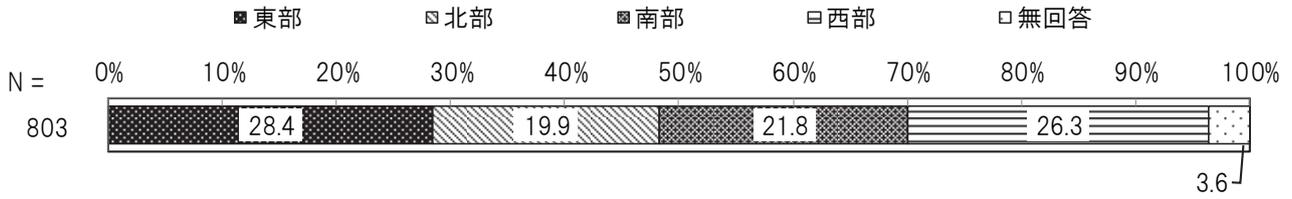
図表9 現在の住まい



問5 あなたがお住まいの地域をお答えください。(ひとつだけ○)

居住地については、「東部地区」が28.4%と最も多く、「西部地区」(26.3%)と続いています。

図表 10 居住地

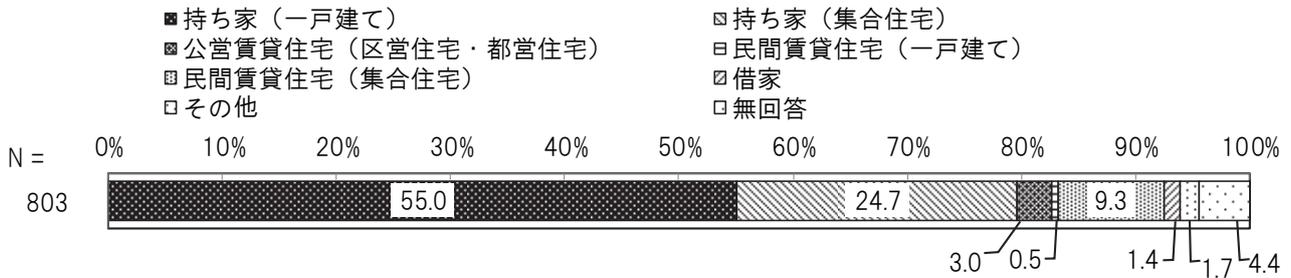


問6 あなたの現在のお住まいを、以下の中からお答えください。（ひとつだけ○）

住宅の形態については、「持ち家（一戸建て）」に住んでいる方が55.0%と最も多く、「持ち家（集合住宅）」（24.7%）と続いています。

持ち家（一戸建て）の比率は西部地域で高く、持ち家（集合住宅）の比率は、東部地域で多くなっています。

図表 11 住宅の形態



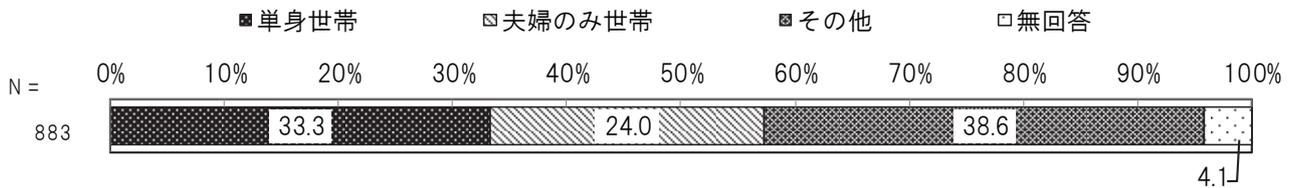
図表 12 居住地、家族構成別の住宅の形態

		回答者数	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	公営賃貸住宅（区営住宅・都営住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体		803	55.0	24.7	3.0	0.5	9.3	1.4	1.7	4.4
居住地	東部	228	45.2	34.6	5.7	0.4	9.6	1.3	2.2	0.9
	北部	160	51.3	28.1	1.3	0.6	11.3	4.4	1.3	1.9
	南部	175	59.4	26.3	-	0.6	10.3	0.6	1.1	1.7
	西部	211	71.6	12.8	4.3	0.5	8.1	-	2.4	0.5
家族構成	単身世帯	269	55.4	24.9	3.7	0.4	10.0	2.2	1.5	1.9
	夫婦のみ世帯	192	47.9	31.8	2.1	1.0	11.5	1.6	3.1	1.0
	その他	308	64.9	21.1	3.2	0.3	8.1	0.6	1.3	0.3

★問7 あなたの現在の世帯の状況を、以下の中からお答えください。（ひとつだけ○）

世帯の状況については、「単身世帯」が33.3%、「夫婦のみ世帯」が24.0%です。
女性の単身世帯の割合は42.2%と高くなっています。

図表 13 世帯状況



図表 14 性・年齢、居住地別の家族構成

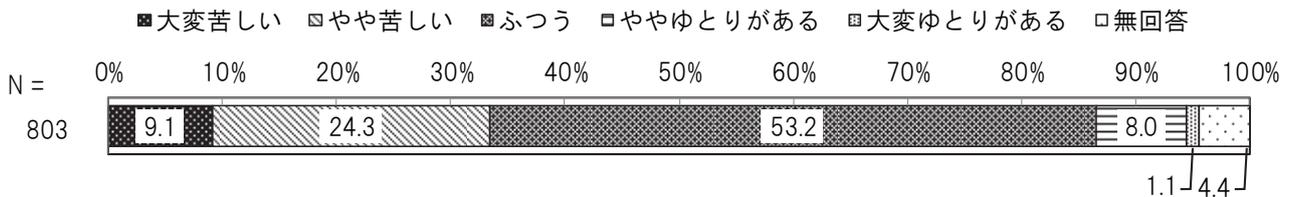
		回答者数	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全体		883	33.3	24.0	38.6	4.1 (%)
男性	男性計	274	16.8	40.1	35.8	7.3
	65歳～69歳	15	20.0	20.0	46.7	13.3
	70歳～74歳	49	14.3	42.9	32.7	10.2
	75歳～79歳	31	22.6	48.4	29.0	-
	80歳～84歳	58	10.3	44.8	34.5	10.3
	85歳～89歳	62	12.9	40.3	40.3	6.5
	90歳以上	58	25.9	34.5	34.5	5.2
女性	女性計	528	42.2	15.5	39.6	2.7
	65歳～69歳	18	44.4	38.9	16.7	-
	70歳～74歳	26	38.5	26.9	30.8	3.8
	75歳～79歳	51	25.5	39.2	31.4	3.9
	80歳～84歳	109	43.1	18.3	33.9	4.6
	85歳～89歳	133	45.1	15.0	39.1	0.8
	90歳以上	190	44.7	4.2	48.9	2.1
居住地	東部	228	39.5	22.8	36.8	0.9
	北部	160	29.4	26.3	43.1	1.3
	南部	175	32.0	33.1	33.7	1.1
	西部	211	35.1	19.0	45.5	0.5

問8 あなたは現在の暮らしの経済的な状況をどう感じていますか。(ひとつだけ○)

経済状況については、「ふつう」が53.2%と最も多く、「やや苦しい」(24.3%)と続いています。

大変苦しい割合が北部でやや高く(13.1%)なっています。家族構成での差異はみられません。

図表 15 経済状況



図表 16 居住地、家族構成別の経済状況

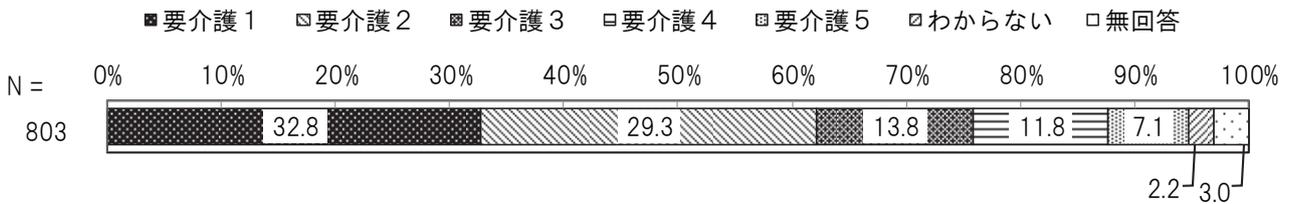
		回答者数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体		803	9.1	24.3	53.2	8.0	1.1	4.4
居住地	東部	228	10.5	21.5	55.3	10.1	1.8	0.9
	北部	160	13.1	26.9	50.6	6.9	1.3	1.3
	南部	175	6.9	24.0	56.6	9.7	1.1	1.7
	西部	211	7.6	28.9	56.4	6.2	0.5	0.5
家族構成	単身世帯	269	9.7	23.8	54.6	9.7	1.1	1.1
	夫婦のみ世帯	192	9.4	26.6	54.2	8.3	1.0	0.5
	その他	308	8.8	25.3	56.5	7.1	1.3	1.0

2 介護について

問9 あなたの現在の要介護度は次のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

要介護度については、「要介護度1」が32.8%と最も多く、「要介護度2」(29.3%)と続いています。

図表 17 要介護度



図表 18 性・年齢別の要介護度

		回答者数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
全体		803	32.8	29.3	13.8	11.8	7.1	2.2	3.0
男性	男性計	274	30.7	33.2	14.6	10.6	6.6	1.1	3.3
	65歳～69歳	15	26.7	20.0	33.3	13.3	6.7	-	-
	70歳～74歳	49	26.5	34.7	22.4	10.2	2.0	2.0	2.0
	75歳～79歳	31	25.8	41.9	22.6	6.5	3.2	-	-
	80歳～84歳	58	39.7	32.8	3.4	12.1	6.9	1.7	3.4
	85歳～89歳	62	27.4	38.7	11.3	8.1	11.3	-	3.2
	90歳以上	58	32.8	25.9	13.8	12.1	6.9	1.7	6.9
女性	女性計	528	33.7	27.3	13.4	12.5	7.4	2.8	2.8
	65歳～69歳	18	33.3	22.2	11.1	16.7	11.1	5.6	-
	70歳～74歳	26	11.5	23.1	15.4	26.9	19.2	3.8	-
	75歳～79歳	51	29.4	29.4	11.8	17.6	7.8	2.0	2.0
	80歳～84歳	109	42.2	22.9	15.6	8.3	3.7	3.7	3.7
	85歳～89歳	133	33.1	30.1	14.3	8.3	7.5	2.3	4.5
	90歳以上	190	33.7	28.4	12.1	14.2	7.4	2.1	2.1

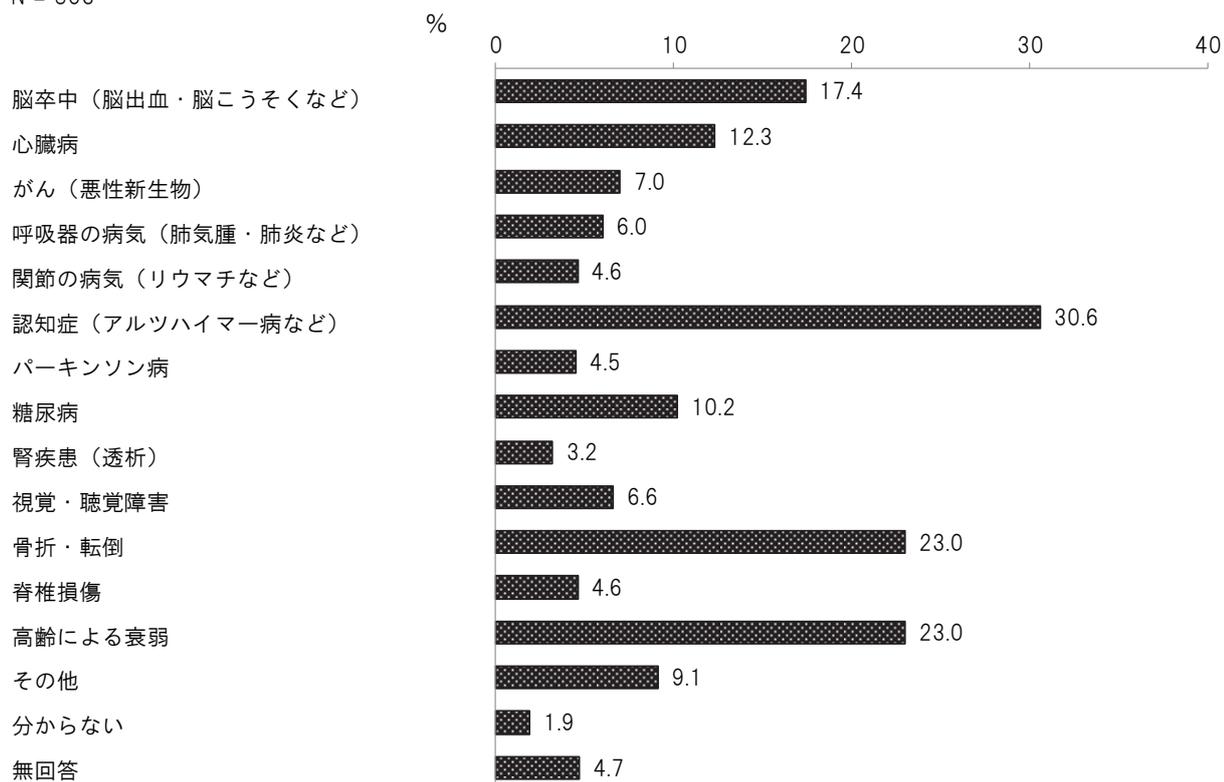
問 10 あなたが、介護が必要になった主な原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護が必要になった原因については、「認知症」が30.6%と最も多く、「骨折・転倒」(23.0%)、「高齢による衰弱」(23.0%)と続いています。

認知症や骨折・転倒の割合は、女性のほうがやや多くなっています。高齢による衰弱は、90歳以上で顕著です。

図表 19 介護が必要になった主な原因

N = 803



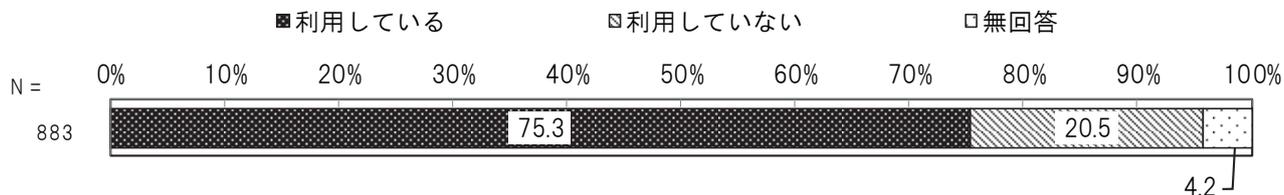
図表 20 性・年齢、要介護別の介護が必要になった時の主な原因

		回答者数	脳卒中 (脳出血・脳こうそくなど)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎・肺気腫など)	関節の病気 (リウマチなど)	認知症 (アルツハイマー病など)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	分からない	無回答
全体		803	17.4	12.3	7.0	6.0	4.6	30.6	4.5	10.2	3.2	6.6	23.0	4.6	23.0	9.1	1.9	4.7
男性	男性計	274	24.8	14.6	8.8	10.2	3.6	27.4	4.7	13.5	6.9	9.5	10.2	5.8	20.8	7.3	1.8	4.4
	65歳～69歳	15	53.3	13.3	-	13.3	-	6.7	13.3	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	-	26.7	-	-
	70歳～74歳	49	34.7	8.2	10.2	16.3	2.0	14.3	10.2	10.2	10.2	6.1	-	6.1	6.1	8.2	-	-
	75歳～79歳	31	32.3	3.2	9.7	6.5	6.5	22.6	-	6.5	3.2	3.2	12.9	9.7	6.5	3.2	3.2	3.2
	80歳～84歳	58	24.1	22.4	10.3	8.6	1.7	34.5	3.4	20.7	6.9	5.2	8.6	3.4	8.6	1.7	5.2	5.2
	85歳～89歳	62	19.4	19.4	9.7	11.3	3.2	45.2	1.6	17.7	6.5	17.7	14.5	4.8	27.4	9.7	-	4.8
	90歳以上	58	12.1	13.8	5.2	6.9	6.9	20.7	5.2	6.9	6.9	12.1	15.5	6.9	51.7	6.9	1.7	8.6
女性	女性計	528	13.6	11.2	6.1	3.8	4.9	32.4	4.4	8.5	1.3	5.1	29.7	4.0	24.1	10.0	1.9	4.9
	65歳～69歳	18	22.2	-	5.6	-	5.6	16.7	11.1	5.6	-	-	5.6	-	5.6	22.2	-	11.1
	70歳～74歳	26	34.6	7.7	19.2	3.8	3.8	7.7	7.7	3.8	3.8	-	23.1	15.4	3.8	15.4	-	7.7
	75歳～79歳	51	17.6	-	7.8	2.0	2.0	41.2	5.9	5.9	2.0	-	21.6	2.0	3.9	7.8	-	3.9
	80歳～84歳	109	14.7	11.0	3.7	3.7	5.5	35.8	7.3	7.3	1.8	3.7	27.5	2.8	19.3	10.1	3.7	4.6
	85歳～89歳	133	14.3	9.8	7.5	4.5	3.8	39.1	3.0	9.0	2.3	4.5	25.6	3.8	18.8	12.8	2.3	8.3
	90歳以上	190	7.9	16.8	4.2	4.2	6.3	28.4	2.1	10.5	-	8.9	39.5	4.2	40.5	6.8	1.1	2.1
要介護度	要介護1	263	11.8	12.9	3.8	6.1	5.3	37.3	3.8	9.9	2.7	7.2	19.8	4.2	27.0	9.1	1.1	5.3
	要介護2	235	21.3	14.0	9.4	5.5	6.0	28.5	4.7	10.6	3.0	7.7	24.3	5.1	21.7	8.1	1.7	3.0
	要介護3	111	18.9	15.3	8.1	9.0	3.6	31.5	4.5	10.8	6.3	6.3	27.0	4.5	24.3	9.9	0.9	-
	要介護4	95	28.4	6.3	8.4	8.4	4.2	26.3	7.4	11.6	3.2	3.2	29.5	4.2	13.7	7.4	-	2.1
	要介護5	57	14.0	7.0	7.0	1.8	1.8	29.8	5.3	7.0	1.8	7.0	28.1	8.8	26.3	17.5	3.5	1.8
	わからない	18	-	5.6	-	-	-	16.7	-	5.6	5.6	11.1	5.6	-	33.3	5.6	22.2	16.7

★問 11 現在、あなたは、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（ひとつだけ○）

介護保険サービスの利用については、「利用している」が75.3%となっています。
居住地、家族状況、経済状況で大きな差異はありません。

図表 21 介護保険サービスを利用状況



図表 22 居住地、家族構成、経済状況別の介護保険サービスの利用状況

		回答者数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全 体		883	75.3	20.5	4.2
居住地	東部	228	78.5	15.8	5.7
	北部	160	79.4	18.1	2.5
	南部	175	75.4	22.3	2.3
	西部	211	70.6	24.6	4.7
家族構成	単身世帯	269	76.6	18.2	5.2
	夫婦のみ世帯	192	74.0	23.4	2.6
	その他	308	76.3	20.1	3.6
経済状況	大変苦しい	73	75.3	19.2	5.5
	やや苦しい	195	77.9	20.0	2.1
	ふつう	427	74.2	21.5	4.2
	ややゆとりがある	64	78.1	15.6	6.3
	大変ゆとりがある	9	77.8	11.1	11.1

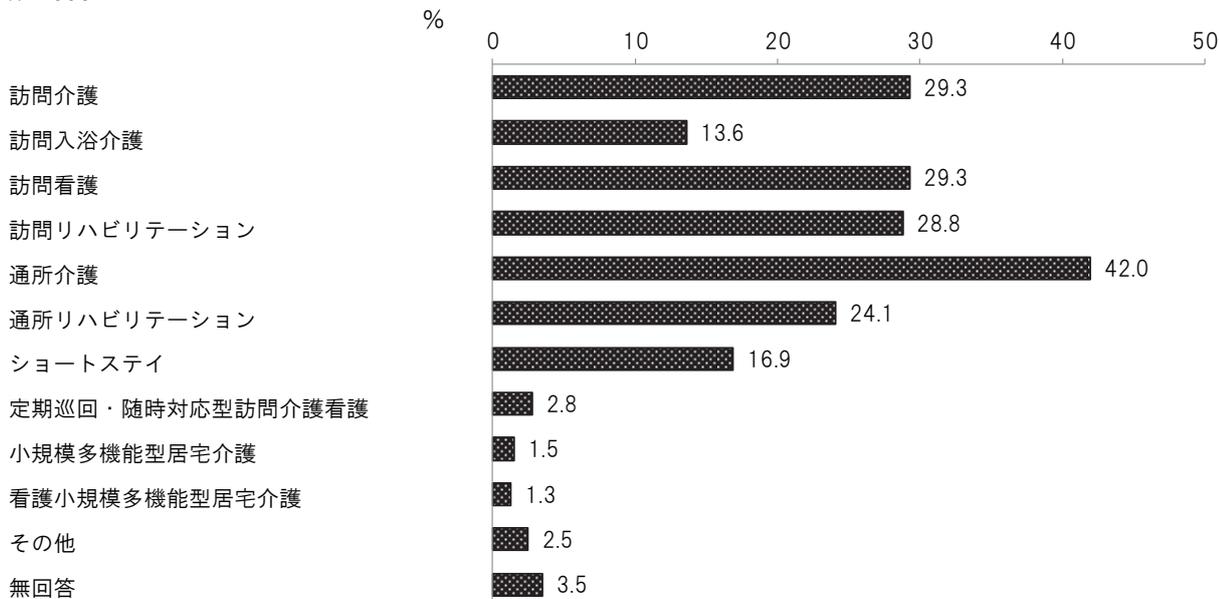
問 11-1 【問 11 で、「1 利用している」に回答した方のみにおうかがいします。】
 あなたが利用している介護保険サービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

利用している介護保険サービスについては、「通所介護」が 42.0%と最も多く、「訪問介護」（29.3%）、「訪問看護」（29.3%）と続いています。

要介護度が高くなるほど、「訪問介護」や「訪問看護」など訪問系サービスの割合が多い傾向にあります。また、単身世帯で訪問介護の割合が多くなっています。

図表 23 利用している介護保険サービス

N = 605



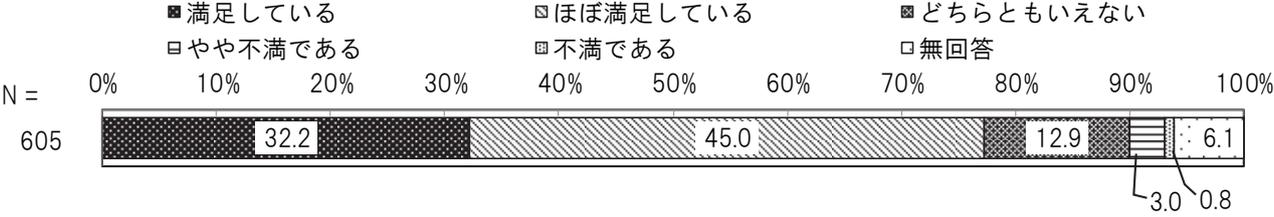
図表 24 家族構成、経済状況、要介護度別の利用している介護保険サービス

	回答者数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	通所リハビリテーション	ショートステイ	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	介護小規模多機能型居宅	看護小規模多機能型居宅	その他	無回答	
全体	605	29.3	13.6	29.3	28.8	42.0	24.1	16.9	2.8	1.5	1.3	2.5	3.5 (%)	
家族構成	単身世帯	206	47.6	10.7	25.7	22.8	41.3	25.2	13.6	1.9	1.5	1.9	2.9	
	夫婦のみ世帯	142	24.6	16.2	28.9	39.4	40.8	19.0	14.1	4.9	3.5	1.4	2.8	
	その他	235	17.4	15.3	33.2	28.1	44.3	26.8	21.7	2.6	0.9	-	3.4	1.7
経済状況	大変苦しい	55	34.5	9.1	23.6	14.5	50.9	23.6	14.5	3.6	3.6	3.6	7.3	3.6
	やや苦しい	152	26.3	13.2	24.3	26.3	44.7	23.0	13.2	2.6	2.0	2.0	2.6	2.6
	ふつう	317	29.0	14.8	32.8	31.9	40.7	23.3	18.6	3.5	0.9	0.6	1.9	2.5
	ややゆとりがある	50	36.0	10.0	28.0	30.0	46.0	34.0	20.0	-	-	2.0	-	-
	大変ゆとりがある	7	28.6	28.6	28.6	28.6	-	57.1	14.3	-	-	-	-	-
要介護度	要介護1	185	22.7	5.9	14.6	17.3	40.0	29.7	10.8	1.6	1.1	-	2.2	5.4
	要介護2	188	28.7	13.3	29.3	29.8	38.3	28.2	16.0	2.1	1.6	1.6	3.2	3.2
	要介護3	88	26.1	13.6	29.5	30.7	52.3	19.3	27.3	2.3	-	1.1	2.3	-
	要介護4	79	27.8	15.2	45.6	45.6	49.4	16.5	20.3	5.1	2.5	1.3	1.3	2.5
	要介護5	49	61.2	40.8	65.3	44.9	40.8	10.2	22.4	8.2	2.0	6.1	-	2.0
	わからない	5	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0

問 11-2 【問 11 で、「1 利用している」に回答した方のみにおうかがいします。
 あなたの現在のケアプラン※に対する満足度はいかがですか。（ひとつだけに○）

介護サービスを利用している方のうち、ケアプランに対する満足度については、「ほぼ満足している」が 45.0%、「満足している」が 32.2%となっています。

図表 25 ケアプランに対する満足度

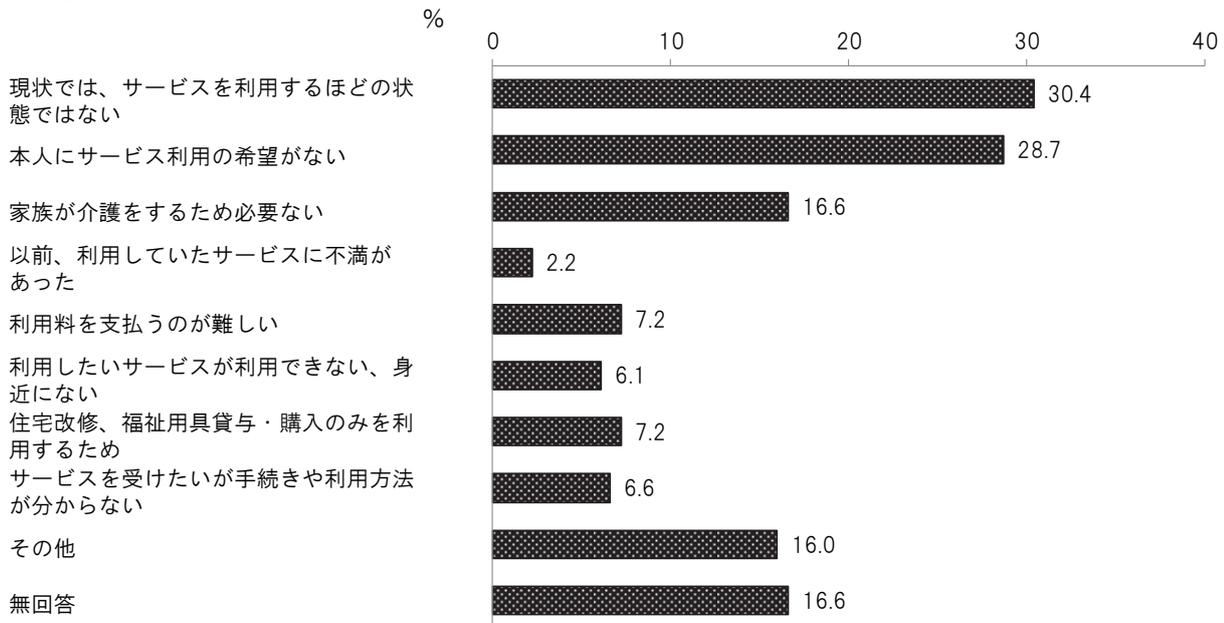


★問 11-3 【問 11 で、「2 利用していない」に回答した方のみにおうかがいします。】あなたが介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険サービスを利用していない方のうち、理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 30.4%と最も多く、「本人にサービス利用の希望がない」(28.7%)と続いています。

図表 26 介護保険サービスを利用していない理由

N = 181



図表 27 家族構成、経済状況、要介護度別の介護保険サービスを利用していない理由

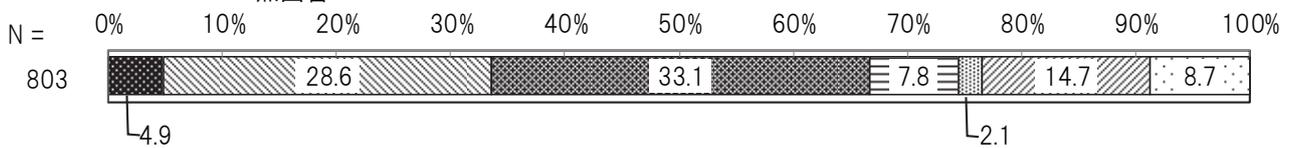
	回答者数	現状では、サービスを利用する	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに	利用料を支払うのが難しい	ない、身近にない	利用したいサービスが利用できない	住宅改修、福祉用具貸与・購入	サービスを受けたいが手続きや	その他	無回答
全体	181	30.4	28.7	16.6	2.2	7.2	6.1	7.2	6.6	16.0	16.6	(%)
家族構成	単身世帯	49	32.7	26.5	8.2	2.0	6.1	12.2	4.1	12.2	8.2	18.4
	夫婦のみ世帯	45	26.7	33.3	22.2	2.2	6.7	2.2	11.1	4.4	11.1	20.0
	その他	62	35.5	33.9	17.7	3.2	11.3	6.5	9.7	3.2	22.6	11.3
経済状況	大変苦しい	14	21.4	50.0	21.4	-	42.9	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3
	やや苦しい	39	17.9	30.8	20.5	2.6	10.3	10.3	10.3	7.7	15.4	15.4
	ふつう	92	37.0	28.3	15.2	3.3	3.3	4.3	6.5	3.3	17.4	16.3
	ややゆとりがある	10	50.0	30.0	10.0	-	-	10.0	20.0	20.0	-	20.0
	大変ゆとりがある	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
要介護度	要介護1	68	35.3	42.6	19.1	4.4	10.3	4.4	7.4	5.9	10.3	11.8
	要介護2	40	35.0	27.5	22.5	2.5	7.5	5.0	17.5	7.5	10.0	17.5
	要介護3	16	25.0	12.5	6.3	-	12.5	18.8	-	6.3	25.0	18.8
	要介護4	13	7.7	30.8	15.4	-	7.7	-	-	7.7	30.8	23.1
	要介護5	6	-	33.3	33.3	-	-	-	16.7	-	50.0	-
	わからない	9	66.7	11.1	-	-	-	11.1	-	-	11.1	11.1

問 12 あなたは、介護保険の在宅サービスの利用に要する費用についてどのようにお感じですか。（ひとつだけ○）

介護保険の在宅サービスの利用に要する費用については、「負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない」が 33.1%と最も多く、「受けているサービスに対し、適切な料金である」(28.6%)と続いています。

図表 28 介護保険の在宅サービスの利用に要する費用に対する考え

- 受けているサービスに対し、安価な料金である
- ▣ 受けているサービスに対し、適切な料金である
- ▨ 負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない
- 負担が重く、費用が高くなならないようにサービスの利用量を調整している
- ▤ 費用は全く気にしていない
- ▥ わからない
- 無回答



図表 29 経済状況別の介護保険の在宅サービスの利用に関する費用に対する考え

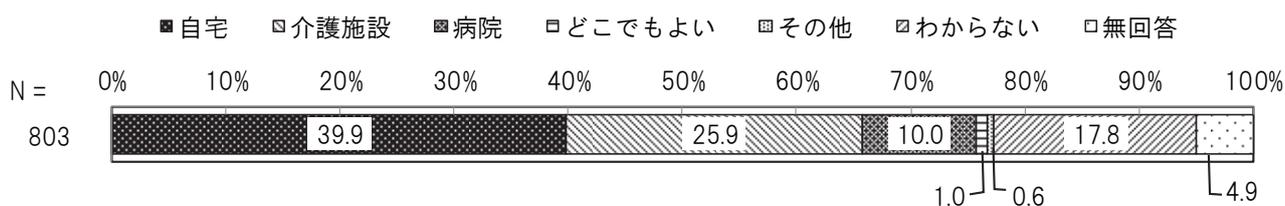
		回答者数	受けているサービスに対し、安価な料金である	受けているサービスに対し、適切な料金である	負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない	負担が重く、費用が高くなならないようにサービスの利用量を調整している	費用は全く気にしていない	わからない	無回答
全体		803	4.9	28.6	33.1	7.8	2.1	14.7	8.7
経済状況	大変苦しい	73	4.1	5.5	45.2	27.4	-	13.7	4.1
	やや苦しい	195	2.1	22.1	39.0	12.3	1.0	15.4	8.2
	ふつう	427	4.9	34.0	31.4	3.7	2.3	14.8	8.9
	ややゆとりがある	64	6.3	46.9	17.2	-	1.6	17.2	10.9
	大変ゆとりがある	9	11.1	33.3	-	-	44.4	-	11.1

問 13 あなたの介護度が現在より悪化した場合、どこで介護を受けたいですか。（ひとつだけ○）

介護度が現在より悪化した場合、介護を受けたい場所については、「自宅」が39.9%と最も多く、「介護施設」(25.9%)と続いています。

自宅で介護を受けたい割合は、経済状況で差異があり、ゆとりがある世帯ほど自宅での介護を継続したい割合が多くなっています。

図表 30 介護を受けたい場所



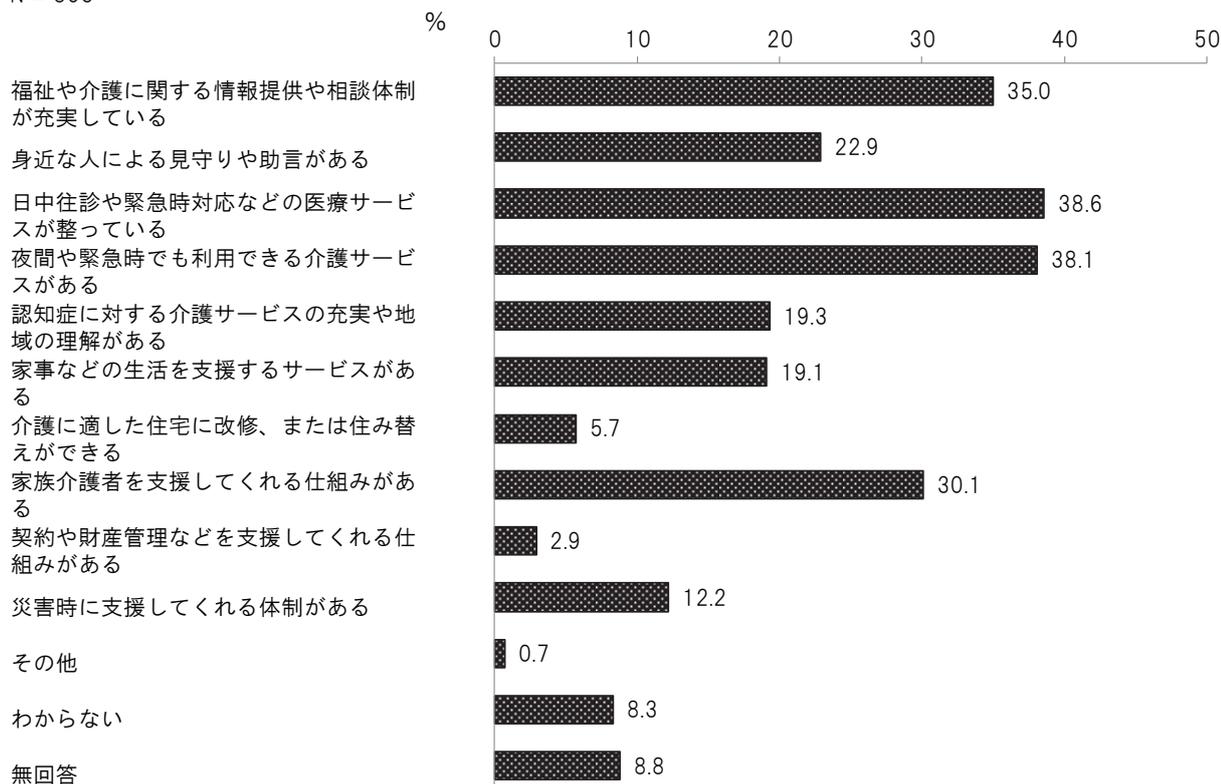
図表 31 家族構成、経済状況、要介護度別の介護を受けたい場所

		回答者数	自宅	介護施設	病院	どこでもよい	その他	わからない	無回答	(%)
全体		803	39.9	25.9	10.0	1.0	0.6	17.8	4.9	
家族構成	単身世帯	269	38.3	31.2	8.9	0.4	0.4	16.7	4.1	
	夫婦のみ世帯	192	41.1	25.5	10.9	1.0	0.5	17.2	3.6	
	その他	308	40.3	21.1	10.7	1.3	1.0	20.5	5.2	
経済状況	大変苦しい	73	27.4	27.4	17.8	1.4	2.7	21.9	1.4	
	やや苦しい	195	38.5	23.6	11.8	1.0	0.5	20.5	4.1	
	ふつう	427	41.5	26.9	8.0	0.5	0.5	17.6	5.2	
	ややゆとりがある	64	42.2	26.6	7.8	3.1	-	14.1	6.3	
	大変ゆとりがある	9	77.8	-	11.1	-	-	11.1	-	
要介護度	要介護1	263	37.3	31.2	6.5	1.1	0.8	18.3	4.9	
	要介護2	235	46.0	20.4	11.5	0.9	0.4	15.3	5.5	
	要介護3	111	38.7	29.7	5.4	0.9	0.9	20.7	3.6	
	要介護4	95	34.7	28.4	15.8	-	-	17.9	3.2	
	要介護5	57	43.9	17.5	17.5	-	-	21.1	-	
	わからない	18	22.2	22.2	-	-	5.6	27.8	22.2	

問 14 あなたは、今後も介護を受けながら、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるにはどのようなことが必要だと考えますか。（あてはまるもの3つまで○）

今後も介護を受けながら、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なことについては、「日中往診や緊急時対応などの医療サービスが整っている」が38.6%と最も多く、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」(38.1%)と続いています。

図表 32 今後も介護を受けながら、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるに必要なこと
N = 803



図表 33 家族構成、要介護度別の今後も介護を受けながら、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと

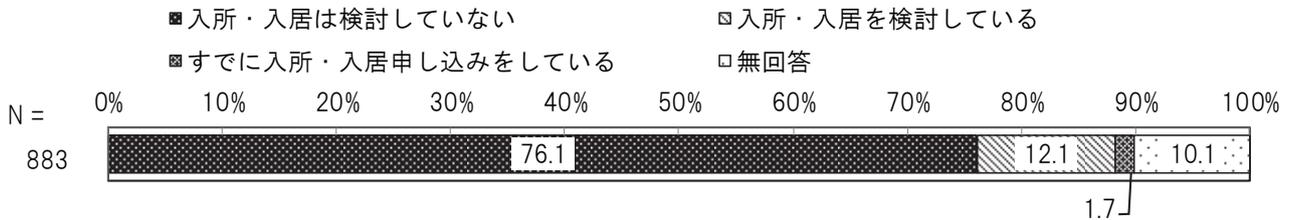
	回答者数	福祉や介護に関する情報が充実している	身近な人による見守りや助言がある	日中往診や緊急時対応などの医療サービスが整っている	夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある	認知症に対する介護サービスの実や地域の理解がある	家事などの生活を支援するサービスがある	住み替えができる	介護に適した住宅に改修、または	家族介護者を支援してくれる仕組みがある	契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある	災害時に支援してくれる体制がある	その他	わからない	無回答
全体	803	35.0	22.9	38.6	38.1	19.3	19.1	5.7	30.1	2.9	12.2	0.7	8.3	8.8	
家族構成	単身世帯	269	32.3	26.0	40.1	41.6	15.6	26.4	4.8	20.8	2.6	11.5	0.4	8.6	8.2
	夫婦のみ世帯	192	38.5	22.4	37.5	34.4	24.5	18.8	4.2	33.3	2.6	11.5	0.5	7.8	10.4
	その他	308	36.7	21.8	41.2	38.6	20.5	13.0	8.1	38.3	2.6	12.7	1.3	8.4	5.8
要介護度	要介護1	263	35.7	23.2	35.7	33.5	25.9	21.3	6.5	31.9	3.4	10.6	-	6.1	9.1
	要介護2	235	35.3	21.7	41.3	39.6	20.0	20.0	5.1	31.1	3.4	11.5	0.9	8.1	7.2
	要介護3	111	38.7	24.3	39.6	39.6	16.2	18.9	4.5	31.5	1.8	8.1	1.8	9.9	6.3
	要介護4	95	36.8	16.8	37.9	40.0	13.7	13.7	11.6	29.5	3.2	18.9	1.1	10.5	8.4
	要介護5	57	29.8	33.3	56.1	52.6	12.3	19.3	-	29.8	-	22.8	-	5.3	5.3
	わからない	18	16.7	27.8	16.7	16.7	5.6	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	33.3	16.7

(%)

★問 15 あなたは、現在、施設などへの入所・入居を検討していますか。（ひとつだけ○）

施設などへの入所・入居の検討状況については、「入所・入居を検討していない」が76.1%となっています。

図表 34 施設などへの入所・入居の検討状況



図表 35 家族構成、経済状況、要介護度、介護を受けたい場所別の施設などへの入所・入居の検討状況

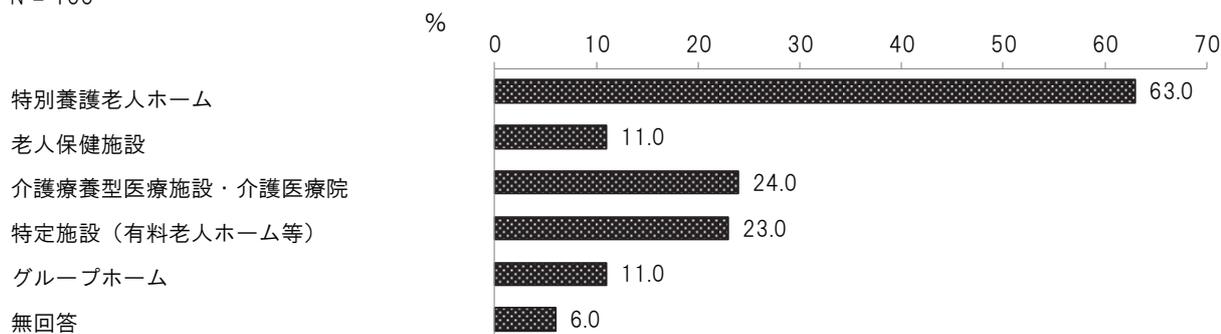
		回答者数	入所・入居を検討していない (%)	入所・入居を検討している (%)	すでに入所・入居申し込みをしている (%)	無回答 (%)
全体		883	76.1	12.1	1.7	10.1
家族構成	単身世帯	269	74.7	11.5	2.2	11.5
	夫婦のみ世帯	192	78.1	11.5	1.6	8.9
	その他	308	79.5	10.4	1.6	8.4
経済状況	大変苦しい	73	69.9	15.1	4.1	11.0
	やや苦しい	195	77.4	11.8	1.5	9.2
	ふつう	427	78.2	10.5	1.6	9.6
	ややゆとりがある	64	78.1	7.8	1.6	12.5
	大変ゆとりがある	9	100.0	-	-	-
要介護度	要介護1	263	77.9	10.6	0.8	10.6
	要介護2	235	80.9	11.5	0.4	7.2
	要介護3	111	69.4	15.3	2.7	12.6
	要介護4	95	77.9	8.4	6.3	7.4
	要介護5	57	73.7	7.0	3.5	15.8
	わからない	18	61.1	5.6	-	33.3
介護を受けたい場所	自宅	320	90.3	2.5	-	7.2
	介護施設	208	57.2	27.4	4.3	11.1
	病院	80	77.5	7.5	2.5	12.5
	どこでもよい	8	50.0	12.5	-	37.5
	その他	5	100.0	-	-	-
	わからない	143	81.1	4.9	2.1	11.9

問 15-1 【問 15 で、「2 入所・入居を検討している」または「3 すでに入所・入居申し込みをしている」に回答した方のみにおうかがいします。】入所申込み(検討)をした施設はどれですか。

入所申し込み（検討）をした施設については、「特別養護老人ホーム」が63.0%となっています。

図表 36 施設などへの入所・入居の検討状況

N = 100



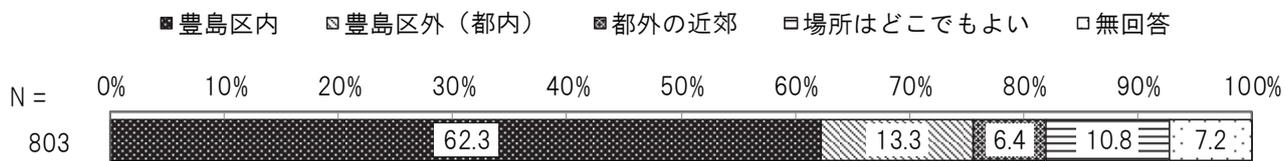
図表 37 経済状況別の入所申し込み（検討）をした施設

		回答者数	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護療養型医療施設・介護医療院	特定施設（有料老人ホーム等）	グループホーム	無回答
全体		100	63.0	11.0	24.0	23.0	11.0	6.0 (%)
経済状況	大変苦しい	14	64.3	14.3	28.6	-	21.4	14.3
	やや苦しい	26	73.1	7.7	15.4	19.2	15.4	7.7
	ふつう	52	57.7	11.5	25.0	28.8	7.7	3.8
	ややゆとりがある	6	50.0	-	50.0	50.0	-	-
	大変ゆとりがある	-	-	-	-	-	-	-

問 16 あなたが施設に入るとしたら、施設の場所をどの範囲まで検討しますか。（ひとつだけ○）

入所を検討する施設の場所については、「豊島区内」が 62.3%と最も多く、「豊島区外（都内）」（13.3%）と続いています。

図表 38 入所を検討する施設の場所

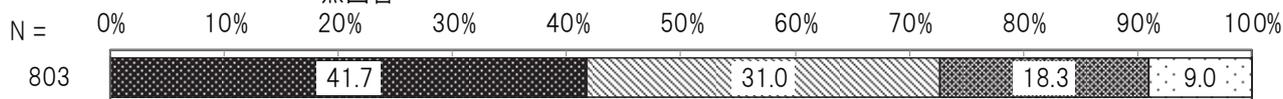


問 17 あなたが施設に入るとしたら、部屋の種類はどのようなものがよいと思いますか。（ひとつだけ○）

希望する施設の部屋の種類については、「費用は多少高くても個室を希望する」が 41.7%と最も多く、「費用は安いほうがいいので大部屋を希望する」（31.0%）と続いています。

図表 39 希望する施設の部屋の種類

- 費用は多少高くても個室を希望する
- ▨費用は安いほうがいいので大部屋（例：4人部屋）を希望する
- 入所できればどちらでもよい
- 無回答



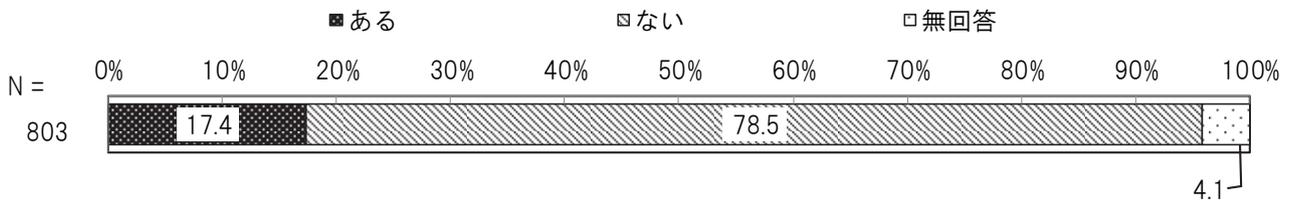
図表 40 経済状況別の希望する施設の部屋の種類

		回答者数	費用は多少高くても個室を希望する	（費用は安いほうがいいので大部屋（例：4人部屋）を希望する	入所できればどちらでもよい	無回答
全 体		803	41.7	31.0	18.3	9.0 (%)
経済状況	大変苦しい	73	15.1	57.5	16.4	11.0
	やや苦しい	195	27.2	47.7	16.9	8.2
	ふつう	427	47.5	23.0	20.6	8.9
	ややゆとりがある	64	73.4	6.3	12.5	7.8
	大変ゆとりがある	9	88.9	-	11.1	-

問 18 あなたは新型コロナウイルスに感染、または濃厚接触者に該当したことがありますか。（ひとつだけ○）

新型コロナウイルス感染または濃厚接触者への該当状況については、「ある」（17.4%）、「ない」（78.5%）となっています。

図表 41 新型コロナウイルス感染または濃厚接触者への該当状況



問 18-1 【問 18 で、「1 ある」に回答した方のみにおうかがいします。】あなたが新型コロナウイルスに感染、または濃厚接触者に該当している期間に、自宅での介護保険サービスの利用を希望したにもかかわらず、利用できなかったことはありますか。（ひとつだけ○）

新型コロナウイルス感染または濃厚接触者に該当した方のうち、その期間に介護保険サービスを希望したにもかかわらず、利用できなかったことについては、「あった」（8.6%）、「なかった」（54.3%）となっています。

図表 42 新型コロナウイルス感染または濃厚接触者への該当期間中の介護保険サービスの利用状況

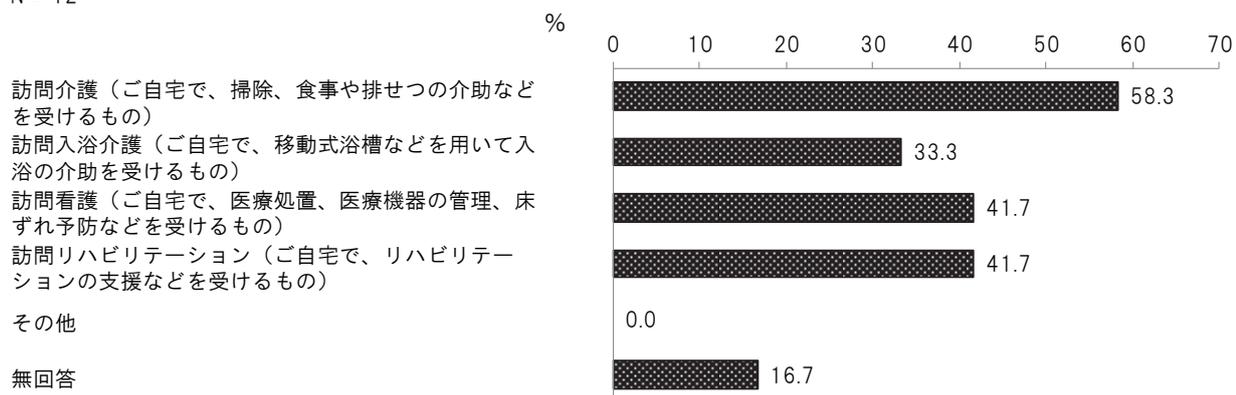


問 18-2 【問 18-1 で、「1 あった」と回答した方のみにおうかがいします。】利用できなかったサービスの種類をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

新型コロナウイルス感染または濃厚接触者に該当した期間に利用できなかった訪問系サービスの種類については、「訪問介護」が 58.3%と最も多くなっています。

図表 43 新型コロナウイルス感染または濃厚接触者に該当した期間に利用できなかったサービスの種類

N = 12



3 生活支援について

★問 19 あなたが現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

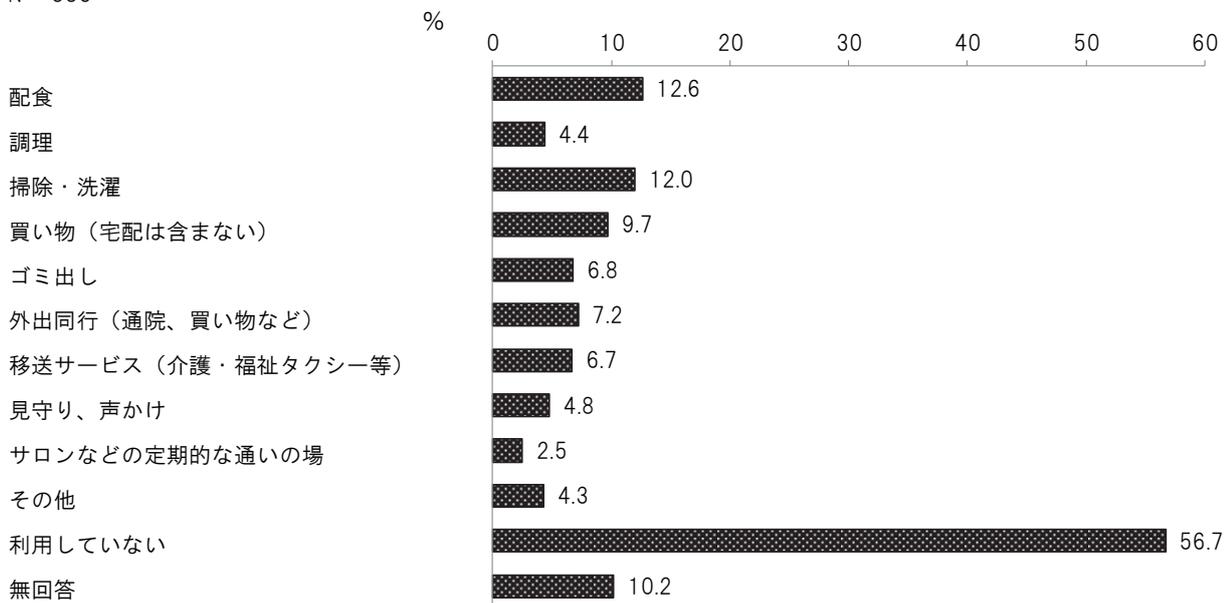
現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」が56.7%と最も多くなっています。

利用しているサービスについては、「配食」（12.6%）が最も多く、「掃除・洗濯」（12.0%）と続いています。

全体的に単身世帯の利用率が多くなっています。

図表 44 現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス

N = 883



図表 45 家族構成、要介護度別の現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス

	回答者数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	（通院、買い物など）	外出同行 （介護・福祉 タクシー等）	移送サービス （介護・福祉 タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	883	12.6	4.4	12.0	9.7	6.8	7.2	6.7	4.8	2.5	4.3	56.7	10.2	
家族構成	単身世帯	269	17.1	8.2	24.2	20.4	13.8	13.0	5.9	8.2	2.2	5.2	43.1	10.8
	夫婦のみ世帯	192	9.4	3.6	8.9	7.8	4.2	6.3	9.4	4.7	1.6	3.1	59.9	10.9
	その他	308	8.4	2.9	5.8	4.5	3.9	5.2	6.5	2.6	3.2	3.2	70.5	6.5
要介護度	要介護1	263	13.3	4.9	14.1	10.3	6.8	7.6	4.2	4.2	3.4	3.8	55.9	9.5
	要介護2	235	9.8	6.8	13.6	10.6	7.2	9.4	6.4	5.5	2.1	3.4	61.7	8.5
	要介護3	111	9.0	1.8	9.9	10.8	6.3	5.4	6.3	0.9	1.8	2.7	62.2	9.9
	要介護4	95	12.6	3.2	12.6	9.5	8.4	9.5	8.4	6.3	2.1	3.2	56.8	9.5
	要介護5	57	15.8	5.3	8.8	10.5	8.8	7.0	17.5	12.3	3.5	8.8	52.6	7.0
	わからない	18	16.7	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	-	5.6	50.0	22.2

(%)

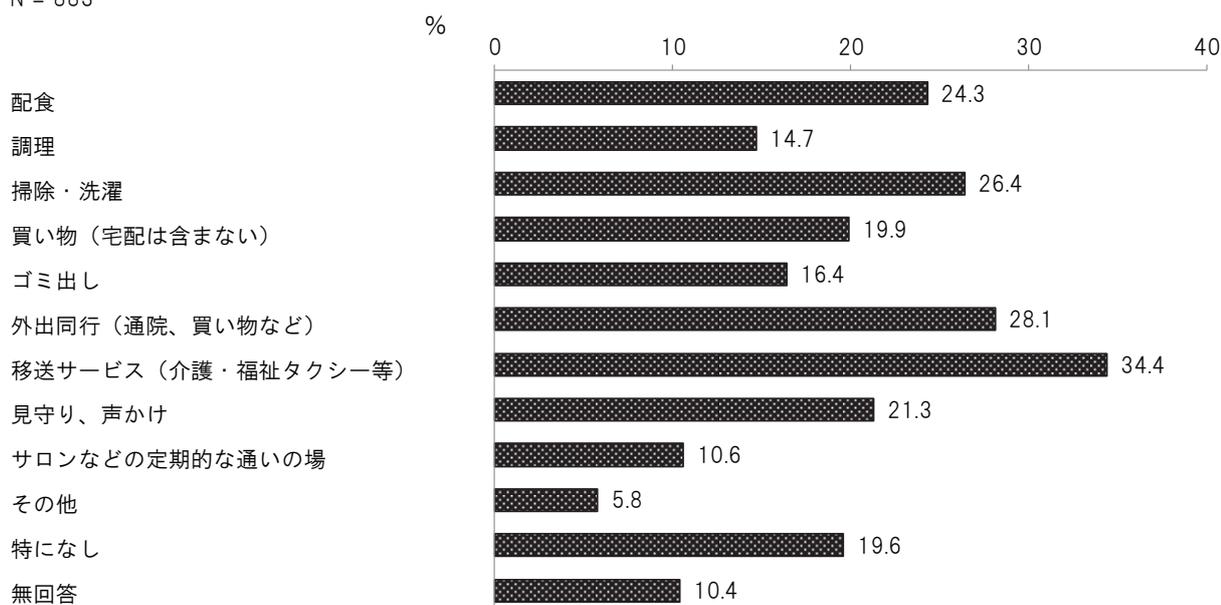
★問 20 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス」が34.4%と最も多く、「外出同行」(28.1%)と続いています。

移動手段の確保に対するニーズが多くなっており、「掃除・洗濯」「配食」については単身世帯のニーズが多くなっています。

図表 46 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

N = 883



図表 47 家族構成、要介護度別の在宅生活の継続に必要な支援・サービス

	回答者	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答	
全体	883	24.3	14.7	26.4	19.9	16.4	28.1	34.4	21.3	10.6	5.8	19.6	10.4	
家族構成	単身世帯	269	30.5	16.4	38.7	29.0	22.7	29.4	23.4	11.5	4.1	14.9	11.5	
	夫婦のみ世帯	192	25.0	15.6	24.5	19.3	16.7	28.6	19.8	7.3	4.2	19.8	10.4	
	その他	308	23.1	14.9	19.8	14.9	14.0	31.2	40.9	19.8	12.0	5.2	23.7	8.8
要介護度	要介護1	263	31.6	14.4	31.6	19.8	17.5	33.5	36.1	13.7	4.6	16.0	8.7	
	要介護2	235	25.1	17.4	28.5	26.4	20.4	35.3	40.9	10.2	2.6	19.6	8.5	
	要介護3	111	19.8	11.7	22.5	15.3	12.6	23.4	29.7	14.4	9.0	5.4	24.3	11.7
	要介護4	95	18.9	12.6	14.7	13.7	11.6	16.8	33.7	11.6	6.3	6.3	28.4	11.6
	要介護5	57	29.8	19.3	29.8	19.3	17.5	22.8	42.1	29.8	10.5	5.3	17.5	14.0
	わからない	18	11.1	11.1	16.7	16.7	22.2	16.7	22.2	16.7	5.6	16.7	11.1	27.8

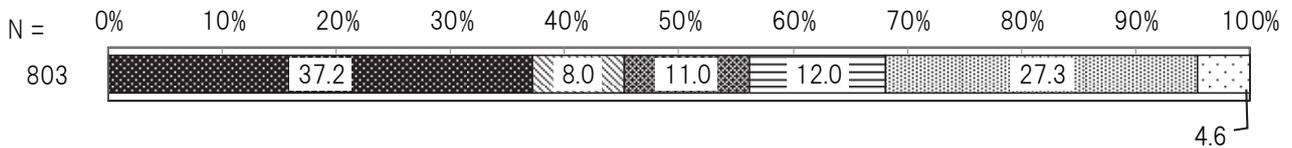
問 21 豊島区では、高齢者の心身の健康と生活の安定のための相談窓口として、区内に高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）を設置しています。あなたは、高齢者総合相談センターを知っていますか。（ひとつだけ○）

高齢者総合相談センターの認知度については、「自分が住んでいる地域のセンターの場所もセンターの役割も知っている」が37.2%と最も多く、「知らない」(27.3%)と続いています。

北部地域で知らない割合がやや多くなっています。

図表 48 高齢者総合相談センターの認知度

- 自分が住んでいる地域のセンターの場所もセンターの役割も知っている
- ▨場所までは知らないが、センターの役割は知っている
- ▩場所は知っているが、センターの役割までは知らない
- センターの名前は知っている
- ▧知らない
- 無回答



図表 49 居住地、家族構成、要介護度別の高齢者総合相談センターの認知度

		回答者数	自分が住んでいる地域のセンターの場所も知っている	場所までは知らないが、センターの役割は知っている	場所は知っているが、センターの役割までは知らない	センターの名前は知っている	知らない	無回答
全体		803	37.2	8.0	11.0	12.0	27.3	4.6 (%)
居住地	東部	228	36.0	7.5	12.7	11.0	29.4	3.5
	北部	160	34.4	13.1	6.9	13.1	30.0	2.5
	南部	175	41.1	6.9	8.0	14.3	23.4	6.3
	西部	211	38.4	5.7	14.2	10.4	25.1	6.2
家族構成	単身世帯	269	35.3	12.3	10.0	11.5	24.9	5.9
	夫婦のみ世帯	192	39.6	7.3	10.4	10.9	27.1	4.7
	その他	308	38.6	4.5	12.0	13.0	28.9	2.9
要介護度	要介護1	263	34.6	8.7	16.0	12.2	24.0	4.6
	要介護2	235	41.3	8.5	8.9	11.5	26.0	3.8
	要介護3	111	34.2	6.3	9.0	14.4	32.4	3.6
	要介護4	95	35.8	9.5	10.5	14.7	24.2	5.3
	要介護5	57	49.1	5.3	5.3	10.5	26.3	3.5
	わからない	18	16.7	5.6	-	5.6	55.6	16.7

4 医療について

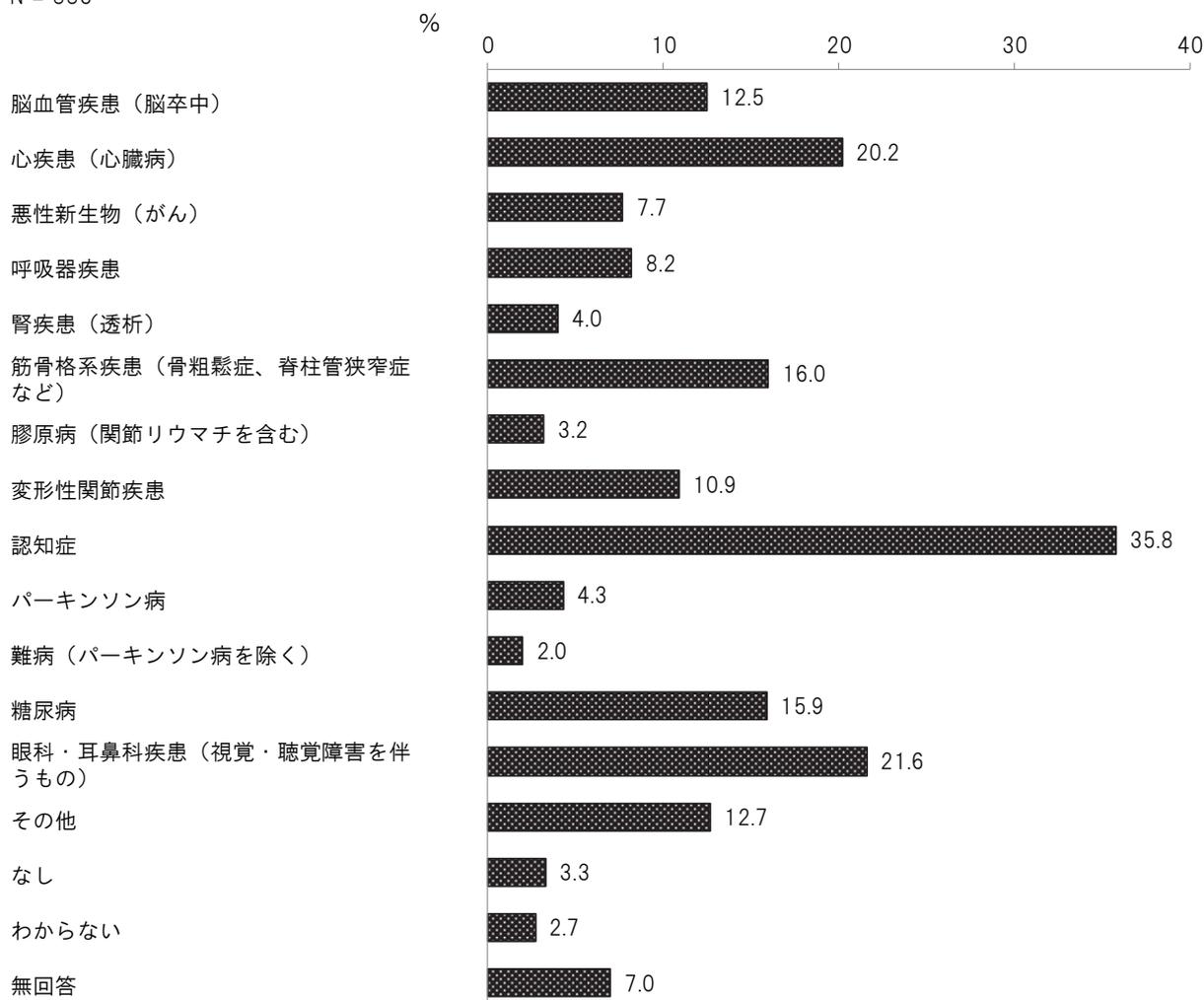
★問 22 あなたが、現在抱えている傷病についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

現在抱えている傷病については、「認知症」が 35.8%と最も多く、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」(21.6%)、「心疾患（心臓病）」(20.2%)と続いています。

認知症は、男性の 85 歳～89 歳が 51.6%、女性の 75 歳～79 歳が 45.1%と多くなっています。要介護度との相関はあまりありません。

図表 50 現在抱えている傷病

N = 883



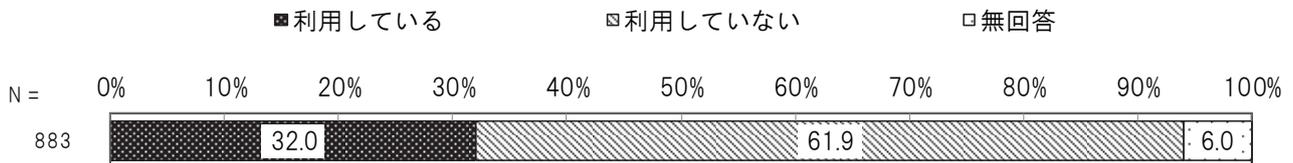
図表 51 性・年齢、要介護度別の現在抱えている傷病

	回答者数	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患 （骨粗鬆症、脊柱管狭窄症など）	膠原病（関節リウマチを含む）	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病 （パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 （視覚・聴覚障害を伴うもの）	その他	なし	わからない	無回答	
全体	803	12.5	20.2	7.7	8.2	4.0	16.0	3.2	10.9	35.8	4.3	2.0	15.9	21.6	12.7	3.3	2.7	7.0	
男性	男性計	274	20.4	20.4	8.8	12.0	8.0	8.8	2.9	5.8	32.1	4.4	2.6	18.6	23.7	9.1	1.8	2.2	6.2
	65歳～69歳	15	40.0	6.7	-	13.3	6.7	6.7	-	-	6.7	13.3	-	20.0	13.3	26.7	-	-	6.7
	70歳～74歳	49	36.7	22.4	10.2	20.4	14.3	2.0	6.1	2.0	12.2	8.2	4.1	18.4	14.3	6.1	-	-	4.1
	75歳～79歳	31	25.8	9.7	9.7	12.9	3.2	12.9	3.2	6.5	25.8	-	6.5	16.1	16.1	6.5	-	3.2	6.5
	80歳～84歳	58	19.0	25.9	10.3	10.3	5.2	5.2	3.4	6.9	43.1	3.4	1.7	24.1	24.1	5.2	1.7	-	8.6
	85歳～89歳	62	14.5	24.2	9.7	8.1	9.7	9.7	1.6	8.1	51.6	1.6	1.6	24.2	33.9	9.7	1.6	3.2	4.8
	90歳以上	58	6.9	19.0	5.2	10.3	6.9	15.5	1.7	6.9	27.6	5.2	1.7	8.6	27.6	12.1	5.2	5.2	6.9
女性	女性計	528	8.5	17.8	6.8	6.1	2.1	19.3	3.2	12.7	36.7	4.4	1.5	14.4	22.5	13.8	4.4	3.2	8.1
	65歳～69歳	18	16.7	5.6	11.1	5.6	-	5.6	5.6	22.2	16.7	11.1	5.6	-	11.1	16.7	5.6	5.6	16.7
	70歳～74歳	26	23.1	11.5	19.2	-	-	23.1	3.8	3.8	7.7	7.7	7.7	19.2	19.2	11.5	-	-	7.7
	75歳～79歳	51	7.8	2.0	5.9	2.0	2.0	13.7	3.9	5.9	45.1	5.9	2.0	13.7	19.6	11.8	5.9	2.0	5.9
	80歳～84歳	109	8.3	17.4	3.7	5.5	3.7	20.2	4.6	9.2	41.3	6.4	1.8	17.4	18.3	12.8	3.7	3.7	3.7
	85歳～89歳	133	10.5	18.8	8.3	9.8	3.0	18.0	4.5	13.5	40.6	4.5	1.5	16.5	23.3	10.5	4.5	2.3	9.8
90歳以上	190	4.7	23.7	5.8	5.8	1.1	22.1	1.1	16.3	35.3	1.6	-	12.1	26.8	17.4	4.7	3.7	9.5	
要介護度	要介護1	263	9.1	19.4	4.2	7.6	3.4	15.6	1.9	12.2	39.9	3.0	1.5	15.2	22.4	12.2	4.9	3.0	6.5
	要介護2	235	15.3	20.4	11.5	7.7	4.7	20.4	1.7	13.2	33.6	4.7	1.7	17.4	27.7	11.5	2.1	0.9	7.2
	要介護3	111	12.6	20.7	8.1	9.0	8.1	9.0	6.3	5.4	36.0	4.5	-	16.2	22.5	12.6	0.9	2.7	5.4
	要介護4	95	18.9	16.8	9.5	8.4	3.2	14.7	4.2	8.4	36.8	7.4	2.1	16.8	23.2	9.5	2.1	4.2	6.3
	要介護5	57	12.3	12.3	3.5	7.0	-	15.8	3.5	8.8	35.1	7.0	7.0	10.5	14.0	24.6	7.0	5.3	1.8
	わからない	18	-	11.1	-	11.1	5.6	5.6	5.6	-	11.1	-	5.6	5.6	11.1	5.6	11.1	38.9	

★問 23 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。（ひとつだけ○）

訪問診療の利用状況については、「利用していない」が61.9%となっています。要介護度が高くなるほど利用している割合が多くなり、要介護度5においては、利用している割合が66.7%となっています。

図表 52 訪問診療の利用状況



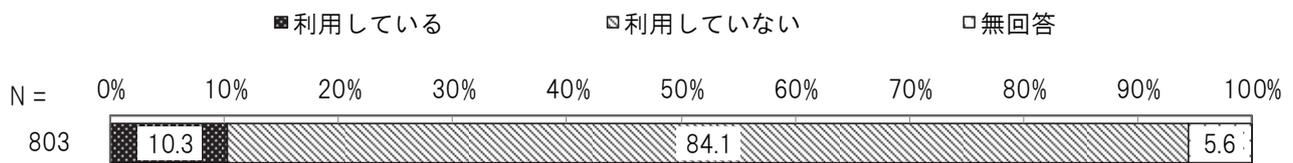
図表 53 要介護度別の訪問診療の利用状況

		回答者数	利用している	利用していない	無回答
全体		883	32.0	61.9	6.0 (%)
要介護度	要介護1	263	19.8	74.1	6.1
	要介護2	235	27.2	67.7	5.1
	要介護3	111	37.8	57.7	4.5
	要介護4	95	50.5	42.1	7.4
	要介護5	57	66.7	31.6	1.8
	わからない	18	-	72.2	27.8

問 24 あなたは、現在、訪問歯科診療を利用していますか。（ひとつだけ○）

訪問歯科診療の利用状況については、「利用していない」が84.1%となっています。

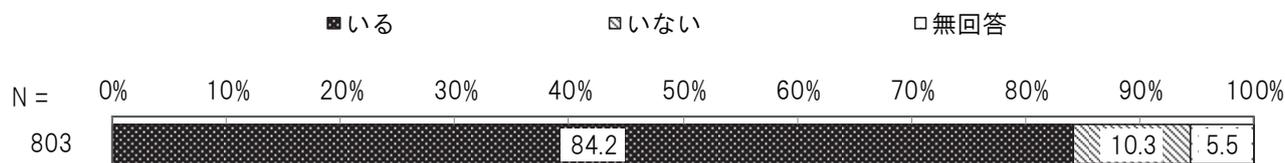
図表 54 訪問歯科診療の利用状況



問 25 あなたは、かかりつけ医はいますか。（ひとつだけ○）

かかりつけ医の有無については、「いる」が84.2%となっています。
性別、年齢、地域、要介護度において、特に大きな差異はありませんでした。

図表 55 かかりつけ医の有無



図表 56 性・年齢、居住地、要介護度別のかかりつけ医の有無

		回答者数	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
全 体		803	84.2	10.3	5.5
男 性	男性計	274	81.4	12.0	6.6
	65歳～69歳	15	80.0	13.3	6.7
	70歳～74歳	49	81.6	10.2	8.2
	75歳～79歳	31	83.9	16.1	-
	80歳～84歳	58	75.9	13.8	10.3
	85歳～89歳	62	79.0	12.9	8.1
	90歳以上	58	87.9	8.6	3.4
女 性	女性計	528	85.6	9.5	4.9
	65歳～69歳	18	72.2	27.8	-
	70歳～74歳	26	92.3	7.7	-
	75歳～79歳	51	84.3	11.8	3.9
	80歳～84歳	109	84.4	12.8	2.8
	85歳～89歳	133	87.2	6.0	6.8
	90歳以上	190	86.3	7.9	5.8
居 住 地	東部	228	85.5	12.3	2.2
	北部	160	85.6	10.0	4.4
	南部	175	85.1	8.6	6.3
	西部	211	83.4	10.0	6.6
要 介 護 度	要介護1	263	88.6	6.8	4.6
	要介護2	235	84.3	10.6	5.1
	要介護3	111	80.2	16.2	3.6
	要介護4	95	85.3	8.4	6.3
	要介護5	57	84.2	14.0	1.8
	わからない	18	55.6	16.7	27.8

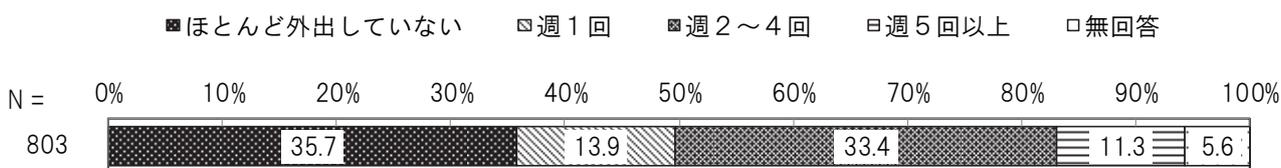
5 地域とのつながりについて

問 26 あなたは週に1回以上は外出していますか。(ひとつだけ○)

外出状況については、「ほとんど外出していない」が35.7%と最も多く、「週2～4回」(33.4%)と続いています。

要介護度が高くなるほど外出していない割合が多くなり、要介護度5ではほとんど外出していない割合が52.6%となっています。また、単身世帯では、外出する割合が多くなっていますが、それでも29.0%の人はほとんど外出していないと答えています。

図表 57 外出状況



図表 58 家族構成、要介護度別の外出状況

		回答者数	ほとんど外出していない (%)	週1回 (%)	週2～4回 (%)	週5回以上 (%)	無回答 (%)
全体		803	35.7	13.9	33.4	11.3	5.6
家族構成	単身世帯	269	29.0	13.0	40.1	11.2	6.7
	夫婦のみ世帯	192	38.5	14.1	28.1	13.5	5.7
	その他	308	39.3	14.6	30.8	10.7	4.5
要介護度	要介護1	263	25.1	15.2	41.4	13.7	4.6
	要介護2	235	35.7	14.0	33.6	10.6	6.0
	要介護3	111	48.6	14.4	24.3	9.9	2.7
	要介護4	95	47.4	15.8	18.9	9.5	8.4
	要介護5	57	52.6	8.8	33.3	3.5	1.8
	わからない	18	5.6	-	33.3	33.3	27.8

問 27 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

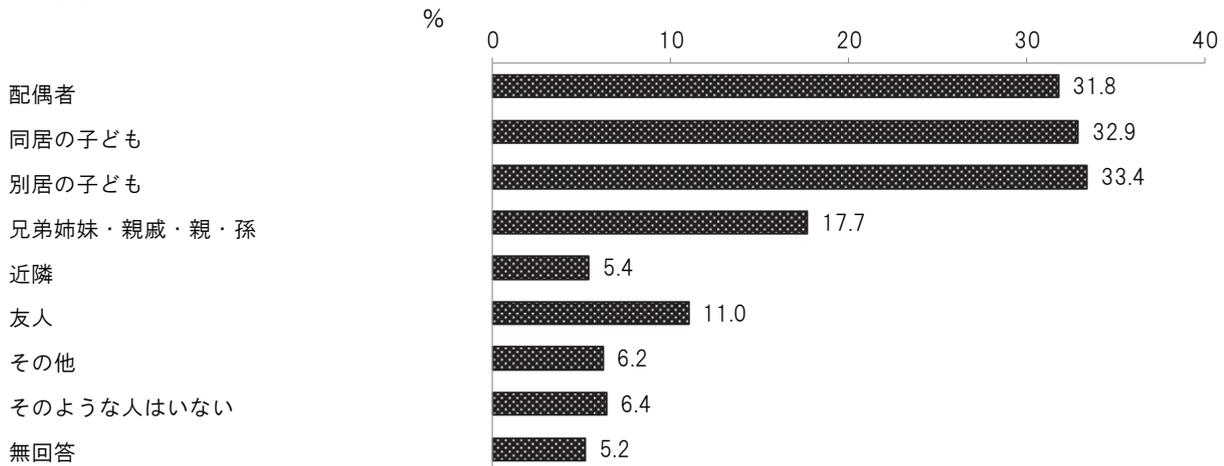
① あなたの、心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「別居の子ども」が 33.4%と最も多く、「同居の子ども」(32.9%)、「配偶者」(31.8%)と続いています。

単身世帯では、「そのような人はいない」割合が 10.4%となっています。

図表 59 心配事や愚痴を聞いてくれる人

N = 803



図表 60 家族構成、要介護度別の心配事や愚痴を聞いてくれる人

		回答者数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		803	31.8	32.9	33.4	17.7	5.4	11.0	6.2	6.4	5.2 (%)
家族構成	単身世帯	269	-	15.2	45.7	21.9	6.7	15.6	9.7	10.4	6.3
	夫婦のみ世帯	192	83.3	8.3	38.5	14.6	5.7	6.8	3.6	4.7	3.1
	その他	308	26.3	64.6	19.8	15.6	3.9	9.7	5.2	3.6	5.5
要介護度	要介護1	263	26.2	31.2	37.3	16.3	7.6	12.5	6.5	7.6	5.7
	要介護2	235	37.0	31.9	34.0	23.8	5.1	11.9	7.2	4.3	4.3
	要介護3	111	31.5	33.3	35.1	11.7	4.5	9.9	4.5	7.2	3.6
	要介護4	95	29.5	34.7	23.2	15.8	2.1	7.4	4.2	9.5	7.4
	要介護5	57	40.4	47.4	31.6	19.3	5.3	7.0	10.5	1.8	-
	わからない	18	22.2	33.3	22.2	5.6	-	11.1	-	11.1	22.2

問 27 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

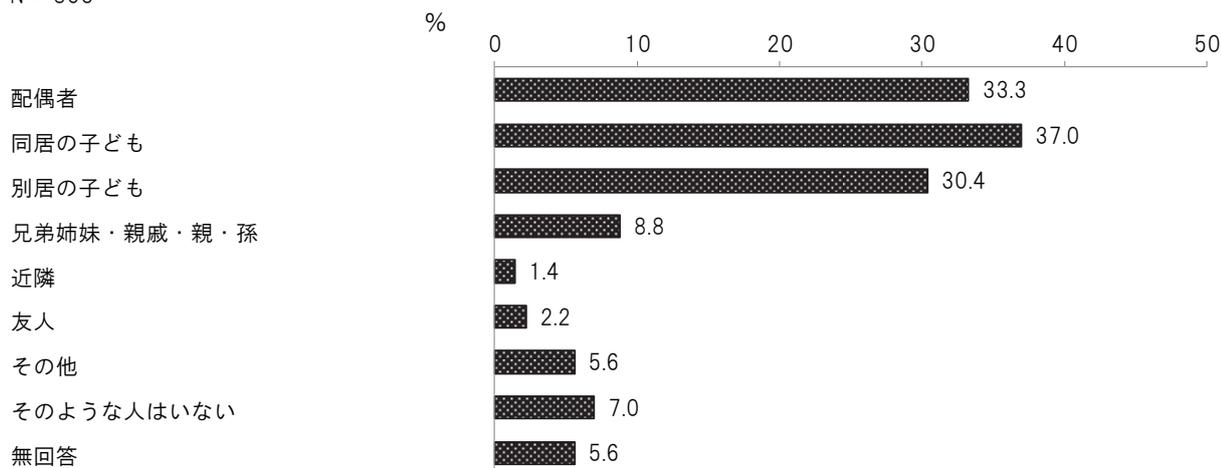
② あなたが病気で数日間寝込んだときに、介護や世話をしてくれる人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

病気で数日間寝込んだときの介護や世話をしてくれる人については、「同居の子ども」が37.0%と最も多く、「配偶者」(33.3%)、「別居の子ども」(30.4%)と続いています。

心配ごとや愚痴を聞いてくれる人(P39)に比べ、別居の子どもの割合が少なくなっています。単身世帯では、「そのような人はいない」割合が、14.9%となっています。

図表 61 病気で数日間寝込んだときに、介護や世話をしてくれる人

N = 803



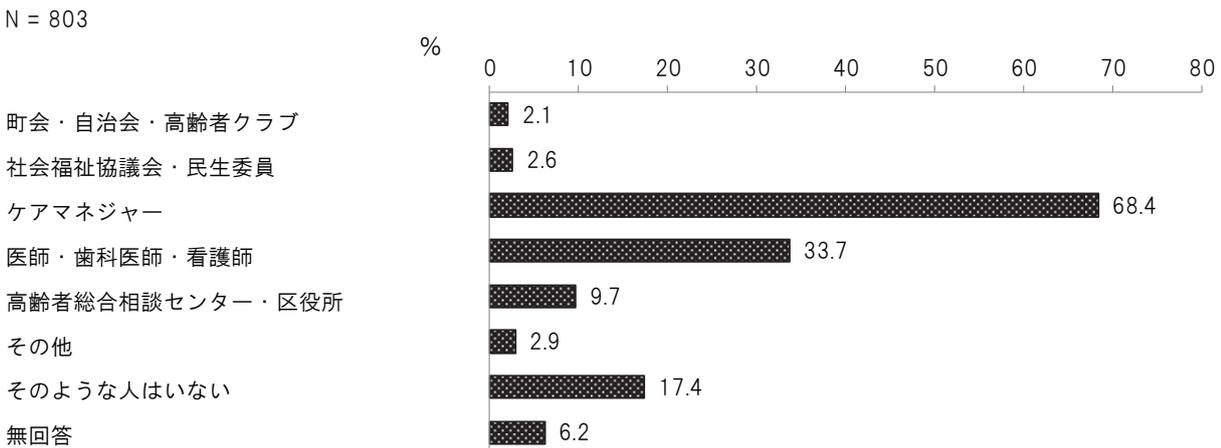
図表 62 家族構成、要介護度別の病気で数日間寝込んだときに、介護や世話をしてくれる人

		回答者数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		803	33.3	37.0	30.4	8.8	1.4	2.2	5.6	7.0	5.6 (%)
家族構成	単身世帯	269	0.4	17.8	45.4	11.5	1.9	4.8	7.4	14.9	8.9
	夫婦のみ世帯	192	85.4	7.8	33.9	4.7	1.0	1.6	4.2	3.1	2.6
	その他	308	27.6	73.1	15.6	8.8	1.3	0.3	5.5	2.3	4.5
要介護度	要介護1	263	27.4	37.3	36.5	8.0	2.3	3.8	3.4	8.0	5.3
	要介護2	235	37.9	33.2	28.5	8.9	1.7	0.9	8.1	5.5	5.5
	要介護3	111	35.1	38.7	29.7	9.9	0.9	1.8	4.5	8.1	3.6
	要介護4	95	33.7	38.9	24.2	11.6	-	2.1	3.2	5.3	7.4
	要介護5	57	36.8	49.1	28.1	10.5	-	-	14.0	3.5	-
	わからない	18	27.8	33.3	16.7	-	-	11.1	-	16.7	22.2

問 28 家族や友人・知人以外で、何かあったときの相談先を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

家族や友人・知人以外の何かあったときの相談先については、「ケアマネジャー」が68.4%と最も多く、「医師・歯科医師・看護師」が33.7%と続いています。
 そのような人がいない割合は17.4%となっています。

図表 63 家族や友人・知人以外の何かあったときの相談先



図表 64 要介護度別の家族や友人・知人以外の何かあったときの相談先

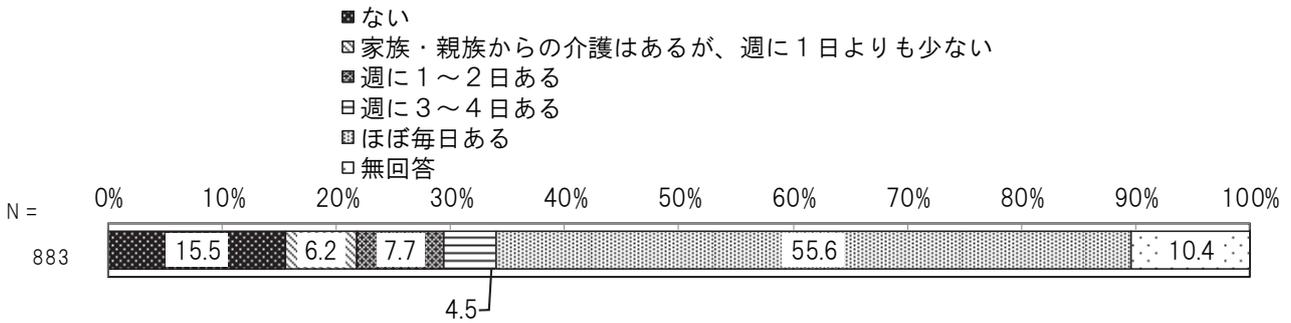
		回答者数	町会・自治会・高齢者クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	高齢者総合相談センター・区役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体		803	2.1	2.6	68.4	33.7	9.7	2.9	17.4	6.2
要介護度	要介護1	263	3.4	3.0	65.0	29.3	9.9	2.3	21.3	5.3
	要介護2	235	1.7	4.3	74.5	35.3	11.5	2.6	11.9	5.1
	要介護3	111	2.7	1.8	72.1	36.0	5.4	2.7	18.9	3.6
	要介護4	95	-	1.1	69.5	40.0	9.5	6.3	16.8	8.4
	要介護5	57	1.8	-	82.5	38.6	12.3	-	12.3	3.5
	わからない	18	-	-	5.6	16.7	5.6	11.1	38.9	27.8

6 主に介護をしている方について

★問 29 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（ひとつだけ○）

主介護者の介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が 55.6%と最も多くなっています。「ない」という割合は 15.5%です。

図表 65 主介護者の介護の頻度



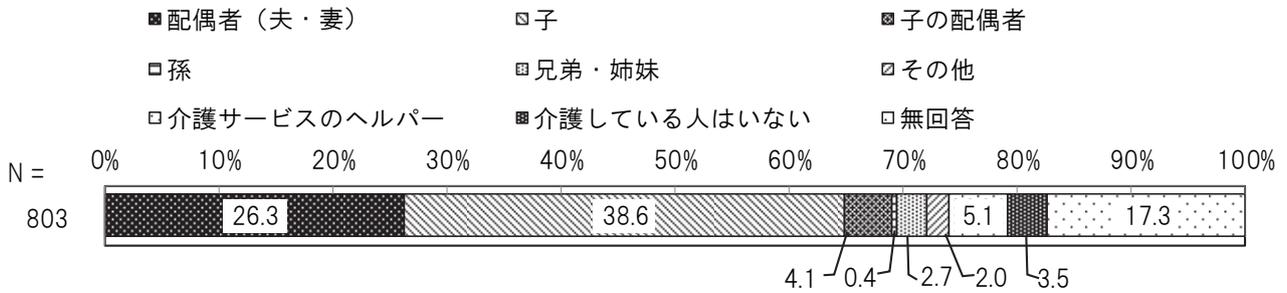
図表 66 要介護度別の主介護者の介護の頻度

	回答者数	ない	家族・親族からの介護はあるが、週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答	
全体	883	15.5	6.2	7.7	4.5	55.6	10.4 (%)	
要介護度	要介護1	263	16.3	5.7	9.9	7.6	47.9	12.5
	要介護2	235	16.6	4.7	8.1	4.7	56.2	9.8
	要介護3	111	14.4	8.1	9.0	3.6	58.6	6.3
	要介護4	95	14.7	5.3	4.2	3.2	63.2	9.5
	要介護5	57	3.5	8.8	1.8	-	77.2	8.8
	わからない	18	33.3	5.6	5.6	5.6	5.6	44.4

問 30 あて名のご本人様を主に介護をしている方は、あて名のご本人から見てどのような関係にありますか。（ひとつだけ○）

主介護者の関係性については、「子」が38.6%と最も多く、「配偶者」（26.3%）と続いています。

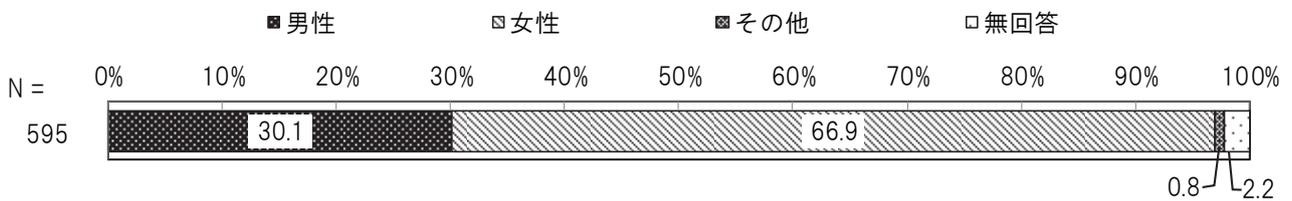
図表 67 本人から見た主介護者の関係性



★問 31 主に介護をしている方の性別をお答えください。（ひとつだけ○）

主介護者の性別は「女性」が66.9%と最も多くなっています。

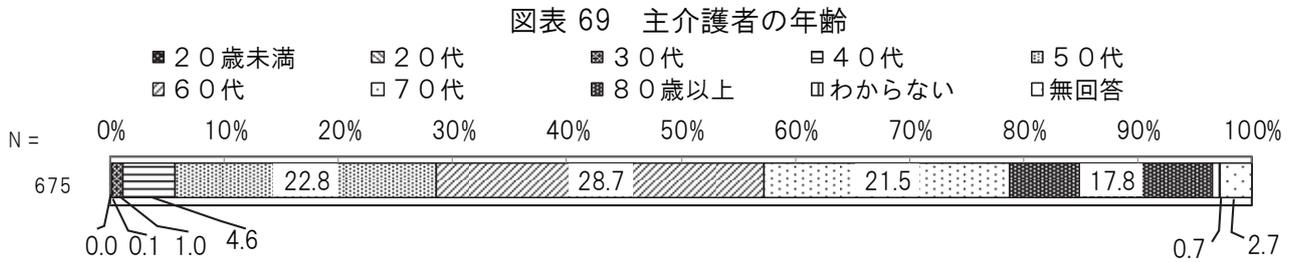
図表 68 主介護者の性別



★問 32 主に介護をしている方の年齢はいくつですか。(ひとつだけ○)

主介護者の年齢については、「60代」が28.7%と最も多く、「50代」(22.8%)と続いています。80歳以上も17.8%となっています。

女性の割合が高い年代は、40代で78.6%、60代で72.7%となっています。



図表 70 主介護者の性別、年齢

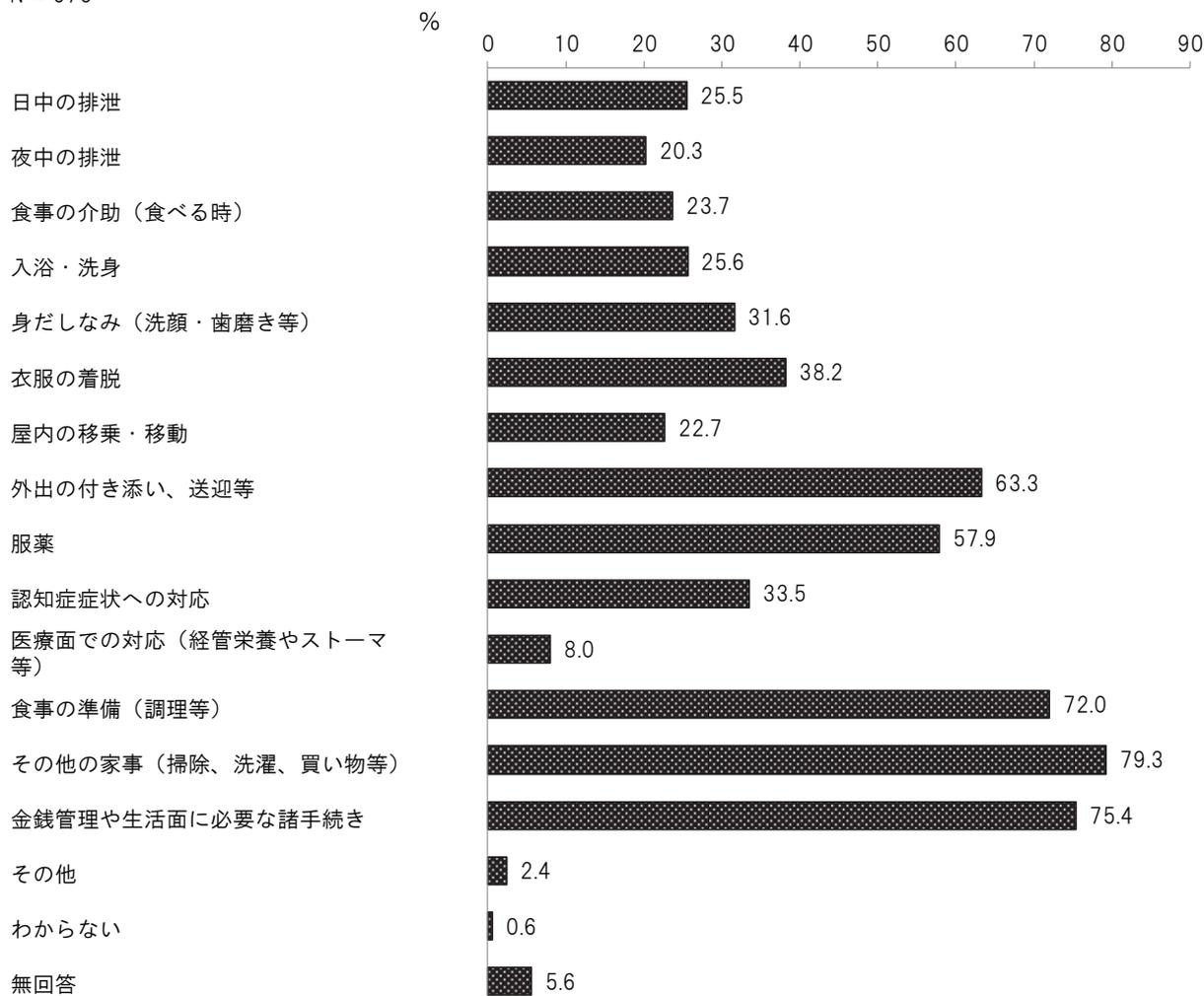
	回答者数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答	
全体	675	0.0	0.1	1.0	4.6	22.8	28.7	21.5	17.8	0.7	2.7 (%)	
主介護者の性別	男性	179	-	-	0.6	2.8	23.5	25.7	22.3	25.1	-	-
	女性	398	-	0.3	0.8	5.5	23.1	31.4	22.1	16.6	-	-
	その他	5	-	-	-	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	20.0

問 33 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

主介護者の介護の種類については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 79.3%と最も多く、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（75.4%）、「食事の準備（調理等）」（72.0%）と続いています。

図表 71 主介護者の介護の種類

N = 675



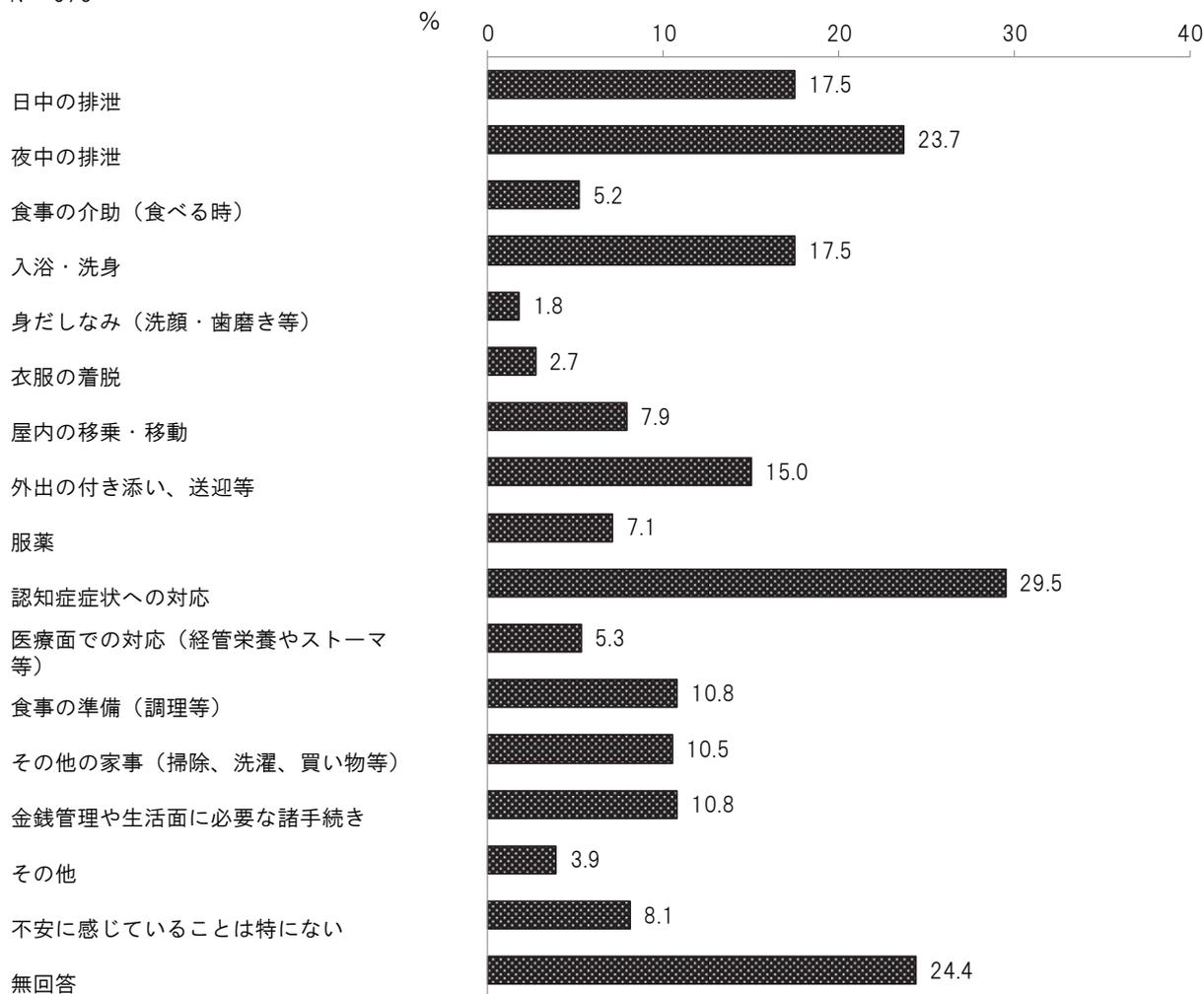
★問 34 現在の生活を継続していくにあたって、主に介護をされている方が、不安に感じている介護などについてご回答ください。現在行っているか否かは問いません。
 (主なもの3つまで○)

主介護者が不安に感じている介護については、「認知症症状への対応」が 29.5%と最も多く、「夜中の排泄」(23.7%)と続いています。

要介護度が高くなるほど心配度が増える項目としては、「日中の排泄」、「食事の介助(食べる時)」、「屋内の移乗・移動」がありました。逆に要介護度が低いほど高くなる項目は「食事の準備(調理等)」となっています。

図表 72 主介護者が不安を感じる介護

N = 675



図表 73 要介護度別の主介護者が不安を感じる介護

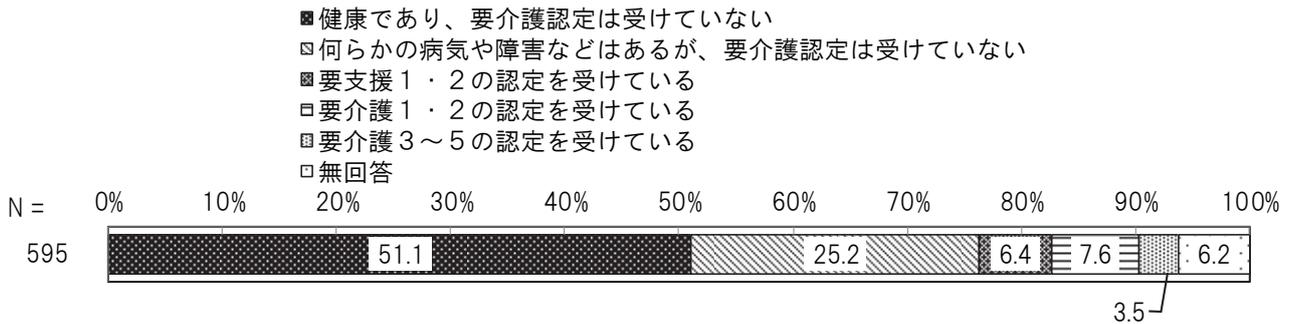
	回答者数	日中の排泄	夜中の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症症状への対応	医療面での対応 （経管栄養やストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事 （掃除・洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは特にない	無回答	
全体	675	17.5	23.7	5.2	17.5	1.8	2.7	7.9	15.0	7.1	29.5	5.3	10.8	10.5	10.8	3.9	8.1	24.4 (%)	
要介護度	要介護1	190	14.7	20.0	1.6	15.8	0.5	1.6	5.3	14.7	8.9	36.3	2.6	14.2	12.1	15.3	2.1	7.4	26.3
	要介護2	183	12.6	22.4	4.4	14.2	4.4	1.6	3.8	14.8	7.7	28.4	3.8	12.6	10.9	10.4	3.3	10.9	27.9
	要介護3	87	16.1	27.6	4.6	14.9	1.1	3.4	9.2	17.2	3.4	24.1	9.2	9.2	11.5	5.7	2.3	9.2	25.3
	要介護4	75	25.3	34.7	6.7	18.7	-	4.0	10.7	13.3	4.0	32.0	8.0	6.7	6.7	12.0	6.7	8.0	13.3
	要介護5	43	27.9	23.3	18.6	11.6	2.3	4.7	11.6	9.3	7.0	16.3	11.6	4.7	7.0	7.0	-	11.6	20.9
	わからない	5	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	20.0	80.0	-	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0

問 35 主に介護をしている方は、要介護認定を受けていますか。(ひとつだけ○)

主介護者の要介護度については、「健康であり、要介護認定は受けていない」が51.1%と最も多く、「何かの病気や障害などはあるが、要介護認定は受けていない」(25.2%)と続いています。

主に介護をしている方が80歳以上の場合、要介護認定を受けている割合が多くなっています。

図表 74 主介護者の要介護度



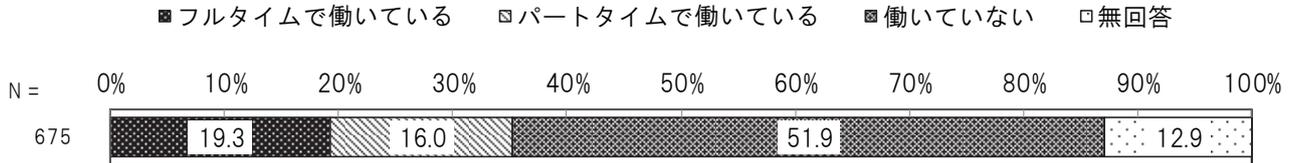
図表 75 主介護者の年齢別の主介護者の要介護度

	回答者数	健康であり、要介護認定は受けていない	何らかの病気や障害などはあるが、要介護認定は受けていない	要支援1・2の認定を受けている	要介護1・2の認定を受けている	要介護3～5の認定を受けている	無回答
全体	595	51.1	25.2	6.4	7.6	3.5	6.2 (%)
主介護者の年齢	20歳未満	-	-	-	-	-	-
	20代	1	100.0	-	-	-	-
	30代	5	60.0	20.0	-	-	20.0
	40代	28	75.0	17.9	3.6	3.6	-
	50代	135	60.0	16.3	5.9	7.4	6.7
	60代	172	56.4	29.1	2.9	7.0	2.9
	70代	129	50.4	30.2	3.9	4.7	5.4
	80歳以上	112	32.1	28.6	17.0	14.3	1.8
わからない	1	-	-	-	-	100.0	-

★問 36 主に介護をしている方の、現在の勤務形態についてご回答ください。（ひとつだけ○）

主介護者の勤務形態については、「働いていない」が51.9%と最も多くなっています。一方で「フルタイムで働いている」方の割合は19.3%です。

図表 76 主介護者の勤務形態



図表 77 主介護者の性・年齢別の主介護者の勤務形態

		回答者数	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	無回答
全体		675	19.3	16.0	51.9	12.9 (%)
男性	男性計	179	26.3	8.9	52.0	12.8
	20歳未満	-	-	-	-	-
	20代	-	-	-	-	-
	30代	1	100.0	-	-	-
	40代	5	40.0	-	60.0	-
	50代	42	61.9	2.4	21.4	14.3
	60代	46	26.1	17.4	45.7	10.9
	70代	40	5.0	12.5	70.0	12.5
	80歳以上	45	8.9	4.4	71.1	15.6
	わからない	-	-	-	-	-
	女性	女性計	398	17.1	19.1	54.5
20歳未満		-	-	-	-	-
20代		1	100.0	-	-	-
30代		3	100.0	-	-	-
40代		22	54.5	27.3	18.2	-
50代		92	32.6	19.6	35.9	12.0
60代		125	15.2	28.8	46.4	9.6
70代		88	2.3	15.9	76.1	5.7
80歳以上		66	1.5	3.0	83.3	12.1
わからない		-	-	-	-	-
その他		その他計	5	-	20.0	80.0
	20歳未満	-	-	-	-	-
	20代	-	-	-	-	-
	30代	-	-	-	-	-
	40代	1	-	-	100.0	-
	50代	1	-	-	100.0	-
	60代	-	-	-	-	-
	70代	1	-	-	100.0	-
	80歳以上	-	-	-	-	-
	わからない	1	-	100.0	-	-

★問 36-1 【問 36 で、「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」に回答した方のみにおうかがいします。】介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。

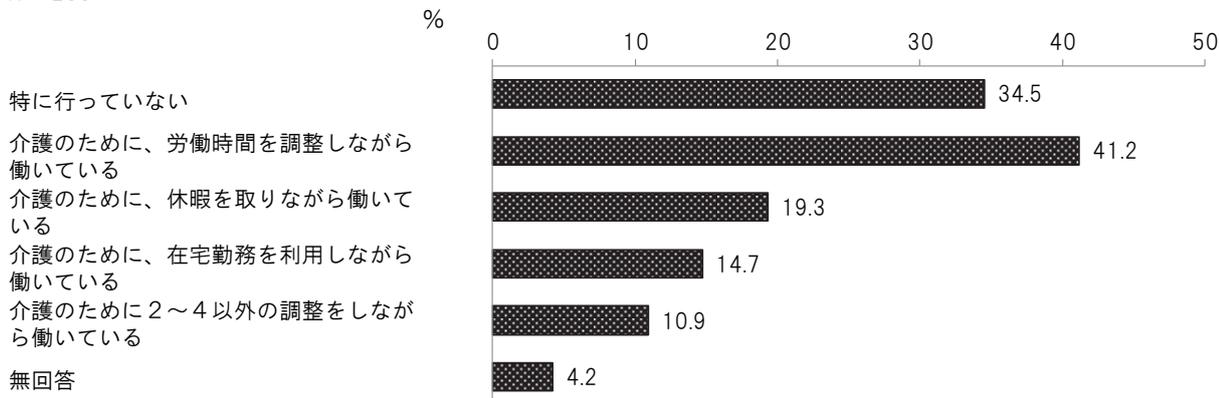
(あてはまるものすべてに○)

「フルタイムで働いている」、または、「パートタイムで働いている」と回答した方のうち、働き方の調整状況については、「介護のために、労働時間を調整しながら働いている」が 41.2%と最も多く、「特に行っていない」が 34.5%と続いています。

フルタイムで働いている方のほうが特に行っていない割合が多くなっています。

図表 78 主介護者の働き方の調整状況

N = 238



図表 79 主介護者の勤務形態別の主介護者の働き方の調整状況

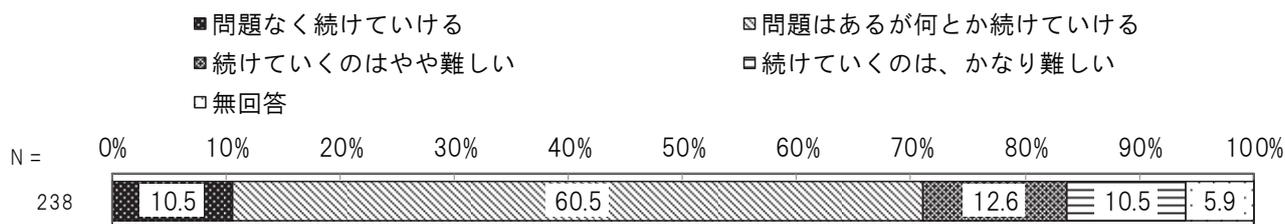
	回答者	特に行っていない	介護のために、労働時間を調整しながら働いている	介護のために、休暇を取りながら働いている	介護のために、在宅勤務を利用しながら働いている	介護のために2～4以外の調整をしながら働いている	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	238	34.5	41.2	19.3	14.7	10.9	4.2	
従事年数	フルタイムで働いている	115	42.6	35.7	25.2	20.9	7.0	4.3
	パートタイムで働いている	93	26.9	47.3	14.0	4.3	14.0	3.2
	働いていない	-	-	-	-	-	-	-

★問 36-2 【問 36 で、「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」に回答した方のみにおうかがいします。】今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（ひとつだけ○）

「フルタイムで働いている」、または、「パートタイムで働いている」と回答した方のうち、就労意向については、「問題はあるが何とか続けていける」が 60.5%と最も多く、「続けていくのはやや難しい」(12.6%)と続いています。

フルタイムで働いている方のほうが、続けていくのが難しいと考えている割合が多くなっています。

図表 80 主介護者の就労意向



図表 81 要介護度、主介護者の勤務形態別の主介護者の就労意向

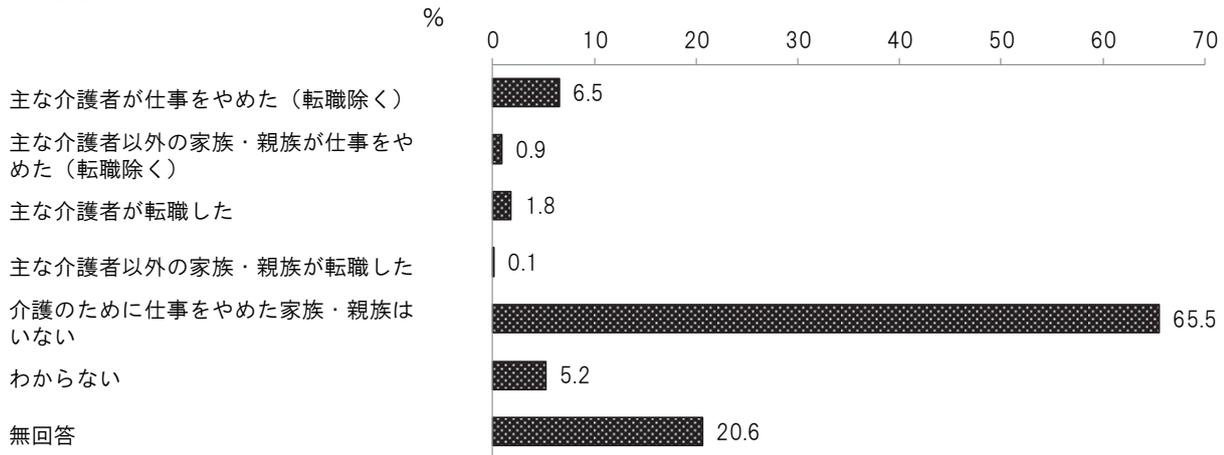
		回答者数	問題なく続けていける	問題はあるが何とか続けていける	続けていくのはやや難しい	続けていくのは、かなり難しい	無回答
全体		238	10.5	60.5	12.6	10.5	5.9 (%)
要介護度	要介護1	77	14.3	58.4	15.6	7.8	3.9
	要介護2	56	8.9	62.5	12.5	8.9	7.1
	要介護3	30	6.7	70.0	13.3	3.3	6.7
	要介護4	27	11.1	66.7	7.4	14.8	-
	要介護5	14	-	71.4	14.3	7.1	7.1
わからない	2	-	100.0	-	-	-	-
主介護者の勤務形態	フルタイムで働いている	115	8.7	66.1	14.8	7.8	2.6
	パートタイムで働いている	93	11.8	60.2	10.8	8.6	8.6
	働いていない	-	-	-	-	-	-

★問 37 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年間に仕事をやめた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）（あてはまるものすべてに○）

過去1年間における家族・親族における介護を理由とした離職の状況については、「介護のために仕事をやめた家族・親族はいない」が65.5%と最も多くなっています。
 一方で、「主な介護者が仕事をやめた」割合は6.5%となっています。

図表 82 家族・親族における介護を理由とした離職の状況

N = 675



図表 83 主介護者の年齢別の家族・親族における介護を理由とした離職の状況

		回答者数	主な介護者が仕事をやめた（転職除く）	（主な介護者以外の家族・親族が仕事をやめた） （転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事をやめた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体		675	6.5	0.9	1.8	0.1	65.5	5.2	20.6
年齢	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	1	-	-	-	-	100.0	-	-
	30代	5	-	-	-	-	80.0	-	20.0
	40代	28	7.1	-	-	-	75.0	10.7	7.1
	50代	135	9.6	-	3.0	-	65.2	7.4	15.6
	60代	172	5.8	1.7	2.3	0.6	70.9	2.3	16.9
	70代	129	8.5	0.8	0.8	-	61.2	6.2	23.3
	80歳以上	112	3.6	0.9	-	-	55.4	5.4	34.8
	わからない	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-

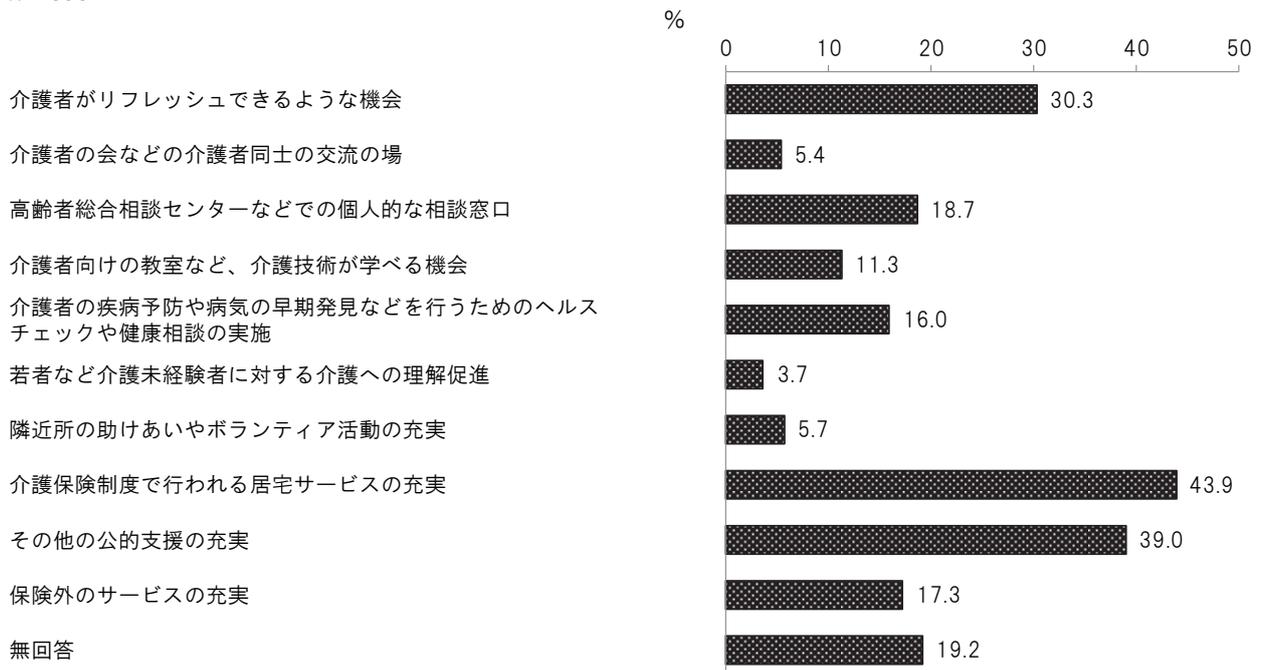
問 38 在宅介護を継続するにあたって、主に介護をしている方が、介護者支援として充実を望むことは何ですか。（主なもの3つまで○）

介護者支援として充実を望むことについては、「介護保険制度で行われる居宅サービスの充実」が43.9%と最も多く、「その他の公的支援の充実」（39.0%）、「介護者がリフレッシュできるような機会」（30.3%）となっています。

前者2つについては、就労を続けていくのが難しいと考える層にニーズが多く、介護者がリフレッシュできるような機会については、就労を続けていけると考える層からのニーズが多くなっています。

図表 84 介護者支援として充実を望むこと

N = 595



図表 85 就労継続意向別の主介護者が介護者支援として充実を望むこと

		回答者数	介護者がリフレッシュできるような機会	介護者の会などの介護者同士の交流の場	高齢者総合相談センターなどでの個人的な相談窓口	介護者向けの教室など、介護技術が学べる機会	介護者の疾病予防や病気の早期発見などを行うためのヘルスチェックや健康相談の実施	若者など介護未経験者に対する介護への理解促進	隣近所の助けあいやボランティア活動の充実	介護保険制度で行われる居宅サービスの充実	その他の公的支援の充実	保険外のサービスの充実	無回答
全体		595	30.3	5.4	18.7	11.3	16.0	3.7	5.7	43.9	39.0	17.3	19.2
就労継続意向	問題なく続けていける	21	28.6	-	14.3	14.3	4.8	4.8	14.3	42.9	33.3	28.6	19.0
	問題はあるが何とか続けていける	132	28.8	5.3	16.7	15.9	15.9	4.5	5.3	45.5	49.2	23.5	9.1
	続けていくのはやや難しい	27	14.8	-	25.9	-	22.2	-	3.7	85.2	74.1	29.6	-
	続けていくのは、かなり難しい	17	11.8	5.9	23.5	11.8	-	5.9	5.9	47.1	47.1	29.4	29.4

●最後に、在宅介護や介護保険に関するご意見やご希望がございましたらご自由にご記入ください

観点	主な回答内容
介護負担	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅で介護をしているが、介護されている本人は、福祉センターなど、ケアマネジャーさんから紹介を受けても行きたがらない。 ・介護をしているのは60代の娘。夫の理解を得ながら毎日泊まりで介護している。本人が在宅を強く希望している。 ・家族は24時間、365日、気が抜けない。老々介護は仕方がないと思うが、本人が自宅にいることを主張しつづける限り、負担は増すばかり。 ・フルタイムで働きながら介護をしているが、夜中の徘徊が大変。 ・認知症の家族の介護は肉体的より精神的な苦勞が大きい。認知症のドクターからは「今のこの時期が一番大変かもしれません」と言われた。寝たきりになる前のこの中途半端な時期の支援が何かあるとうれしい。
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定者世帯、特に老人同士の場合は防犯や、消防に不安がある。これらの対策が今以上、目に見えるものにしてほしい。 ・住居の情報、相談が欲しい。要介護の人と住む家族の民間住宅が少なすぎる、賃料など高めで大変。 ・金銭管理で、本人の人権を尊重する様な後見制度の見直しをしてほしい。もっと本人と家族に密接するサービスを。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術が学べる冊子の配付。 ・在宅介護の実態について、有用な事例を紹介して欲しい。認知症介護における参考例の紹介。 ・要支援から要介護になったらケアマネジャーが変わることを知らなかったので戸惑った。 ・介護保険サービスの詳しい内容がわからないので、より詳しく記されたパンフレット等を配布して欲しい。 ・利用できるサービスについてわかりやすくして欲しい。特に金銭面でのサポート。 ・ケアマネジャーから積極的な提案を受けたい。 ・高齢者総合相談センターなど、区のサービスの資料が欲しい。 ・新しいサービスや今必要な支援に対応するサービスについての情報取得が困難。自宅から情報を得られる術があれば良い。 ・介護保険制度は介護をする側にとっては分かりにくく、手間もかかり、ワンオペ介護を続ける事は本当に難しい。 ・介護サービスの利用について同じような経験の方々のお話が聞いてみたい。

観点	主な回答内容
サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し利用しやすい介護サービスを!ゴミ出しをタスケテ。 ・介護者が2~5日の短期の介護が出来ない場合に簡単な手続きで利用できる施設の設置。 ・夜間の相談窓口の充実。介護施設への入所が必要となったときに、スムーズに入所できるように施設を充実させてほしい。 ・ヘルパー週2回50分では何も出来ないのせめて、120分にしてもらいたい。 ・子供達と同居していても、必要な時に面倒を見てもらえるヘルパーが頼めると良い。 ・多少のお金がかかっても、日中、行動を共にしてくれるような援助があったら利用したい。(散歩に行く時に同行してくれる等) ・他の区よりもサービスが少ない。デイケア、デイサービス、訪問リハビリを自由に利用させて欲しい。 ・デイサービスの利用時間午後から夜(20時頃)まで利用できる箇所を増やしてもらいたい。 ・介護認定調査で現在住んでいる住所で事業所を必ず決められるが、それを、2~3カ所から選べるようにしてほしい。特定の事業所に個人情報など知られたくない。 ・移動の時、タクシーを使うことが多いのでタクシーチケットなどが貰えたら助かる。 ・介護者の外出時の支援。要介護度に関係なく車椅子が借りられると良い。
家族介護支援	<ul style="list-style-type: none"> ・老々介護対策。 ・世帯分離での介護ですが、介護者も高齢となるため、ヘルパーの利用が出来るようにしてほしい。 ・子供には病気があり、時々具合が悪くなることもある。介護保険がなくなれば私1人の生活は出来ない。 ・1か月に3日~7日ぐらい持病で介護ができず援助を頼んでいる。 ・家族がいる場合も、家事は介護保険で受けられるようにしてほしい。 ・介護休業は取りづらく、補助金もない。住所が近いからといって受けられるサービスが制限されると、勤務を続けていけるのか不安になる。 ・楽しく趣味などの話が自由にできるところが欲しい。 ・在宅で介護するストレスを解消できるような集まりや、話を聞いて貰えるところがあったら良い。 ・家族会での会話や、情報がすごく役立っている。益々の充実が望み。 ・リフレッシュのため出かけるとき等の対応で介護の方を延長できるといい(自費でも)。 ・ちょっとした時間(1時間程度)を簡単に頼めると良い。 ・先日、介護している私が、寝込んだり、ケガをしたりで、介護が大変だった。急な場合、対応してくれるところ、また、相談できるところが欲しい。

観点	主な回答内容
経済的負担	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料やサービス利用料が下がると助かる。 ・来度以降も月額28万円以下の人は1割負担として欲しい。 ・その家庭での収入に応じて、国からの支援を充実してほしい。 ・年々通所デイサービスの利用料金が上がっていくのが負担。 ・負担割合2割は負担。収入が年金だけなので片方がどこかに入所しなければならなくなったら、片方は生活出来なくなる。 ・介護者が突然の入院の場合にショートステイをしてもらうしか道が無いが、経費がかかりすぎて、苦しい状態が続いている。 ・負担割合3割なので、負担を軽くするため、サービスを使うことを制限している。 ・施設への入所をただ今検討しているが、高齢者が2人いるため、費用が倍かかる。 ・母は年金もなく、私が働かなければ生活していけない。介護費用によって世帯の生活が成立たない料金設定はやめて欲しい。 ・福祉用具レンタル撤廃。介護保険ですべて補う。レンタル料金高すぎ。 ・失禁が多く、おむつ代が大変。少しでも援助していただきたい。
制度の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害の場合、介護保険サービスがほとんど利用できないケースがある。訪問リハビリを受けているが料金が高額すぎる。 ・主人がパーキンソン認知症のため、医療保険でサービスを受けているが、自分の用事(病院)の時、主人をみてもらう方法がない。 ・“障害”でやってもらっていたサービスと全く同じサービスなのに65才で介護保険になってから、負担が増えたことに矛盾を感じる。 ・ショートステイなどを試すことはできないか。順番待ちで時間がかかると困る。 ・住宅改修補助について 上限20万円を使ってしまうと3段階以上介護度が上がらないと補助してもらえない。2段階でも介護者の負担は増すので補助の決まりを緩和してもらいたい。 ・補聴器の保険適用(あまりにも高価で購入出来ない)。 ・介護保険のサービスが複雑でわかりにくい。認定が厳しすぎる。判定が全国同じ基準だと聞くが、甘い基準で認定された友人もいる。 ・認知症による資産凍結に改革が必要。資産の有効利用が出来るようにするべき。 ・看護師とリハビリ師の仕事の分類を少し緩やかにしてほしい。ちょっと手伝って欲しいのに手伝ってもらえない。 ・介護保険では銭湯の手伝いをしていただくことが出来ずに困っている。 ・透析をしている者でも、ショートステイを利用できるようにしてほしい。 ・1ヶ月にショートステイの利用日が15日以内との基準を緩和してほしい。
窓口の対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーを変更したいと区役所に相談したが、変更することはできないと言われた。 ・区役所に行っても1カ所で全てができる様にして欲しい。 ・いろいろな手続き等をインターネットでできるようにしてほしい。電話も、相手が変わるたびに、全部最初から話さなければならず大変時間かかる。 ・地域包括支援センターに相談をしたことがあるが、あまり親切とはいえない感じでとても残念に思ったことがあった。 ・調査のためにいらした方ににこりもしないで怖い顔をされた。
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の時間の見守りが大変で、自宅も老朽化しているため、独り暮らしに限界を感じ、有料老人ホームに入居した。 ・特別養護老人ホームをもっと増やして欲しい。 ・特別養護老人ホームに入りたいが、難しい。 ・老健へ申し込んだが、服薬に制限があり受け入れられなかった。施設で医薬との連携を密にしてもらいたい。高齢者に負担額の少ない信頼できる施設を切望している。

観点	主な回答内容
ケアマネジャー	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に詳しいケアマネジャーを増やしてほしい/紹介するシステムがあるとよい。 ・同じ事業所のケアマネジャーでも意見が違うので、戸惑う事がある。 ・相性の合うケアマネジャーを選ぶのが大変。 ・ケアマネジャーの質の問題。人によって大きな差がある。 ・ベテランで誠意のあるケアマネジャーを充実して欲しい ・サービスの種類等について、ケアマネジャーから説明を受けられない。 ・信頼できるケアマネジャーの育成が充実されることを願う。
介護従事者の 処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・介護関係の方にもっと待遇をよくしてあげてほしい。 ・この仕事を選ぶ人たちが、安心して長く誠実に、誇りを持って、仕事に打ち込める環境を整えていくことが何より必要だ。
新型コロナウイルス感染症 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ等でショート、デイサービスが利用不可能になったとき、別の施設を利用出来る仕組みを早急に望む。 ・病院通いはタクシーが必要な状況。家から一歩も出ない。コロナで危険なのでデイサービスの利用もできない。 ・介護する側の人コロナになったとき、同居の介護対象者(本人)はおそらく濃厚接触者になると思われるが、その際に介護対象者を安心して頂けられる、施設があればありがたい。 ・勤務期間に合わせ、ショートステイを利用しているが、コロナ陽性者が出ると閉鎖されてしまう。施設スタッフの方達のワクチン接種、感染予防対策をもっと充実させて欲しい。 ・コロナの流行により、子や孫に会う機会も、町内会の活動にも制限があり、普通の生活をしたいだけなのに、思うようにいかない。 ・デイケアで、車での送迎があるが知人が何人も多分この車の中でコロナに感染している。 ・面会も出来なくなる、ガラス越しでも良いから出来る様にして欲しい。 ・タクシーでないと通院ができない。少しでもタクシー代を援助して頂れば本当に助かる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアを推進する医療関係、介護関係者の重荷にならないよう、出来る限り自力で頑張りたい。 ・民生委員のかかわりがわからない。 ・区に対する愛着が増すような方針や施策を願いたい。家族の結びつきを重視した介護のあり方をもっと深めて、新しい都市型の介護政策をリードしてもらいたい。 ・認知症のため質問に答えることはほとんどできない。そして、「認知症、介護」という話題は気分が悪くなるようだ。 ・在宅リハビリは月1回の訪問で、日々の変化に対応していない。事故や急病のときに、リハが可能かの判断はどこで誰が行なうのか？

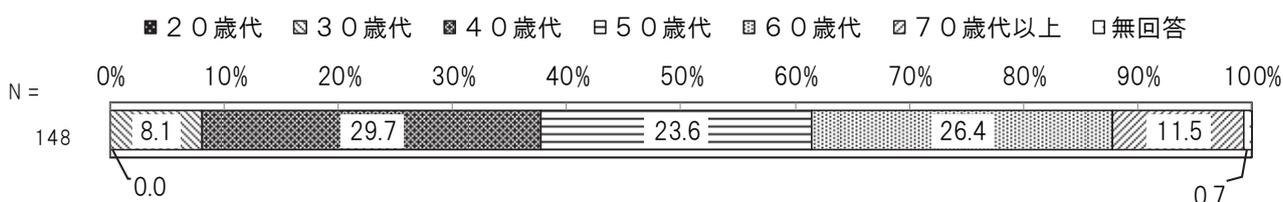
第3章 ケアマネジャー調査

1 本人について

問1 あなたの令和4年11月1日現在の年齢をお答えください。（ひとつだけ○）

ケアマネジャーの年齢については、「40歳代」が29.7%と最も多く、「60歳代」（26.4%）と続いています。「70歳代以上」も11.5%となっています。

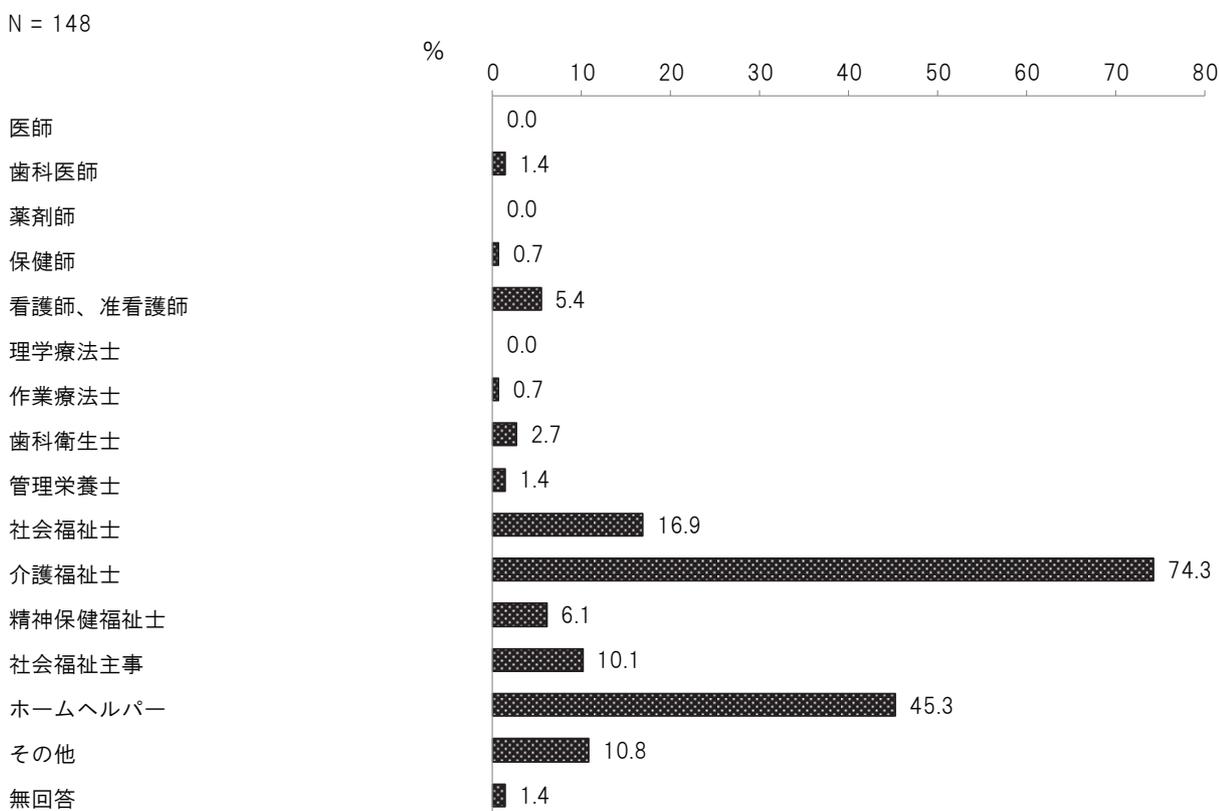
図表 86 年齢



問2 あなたはケアマネジャー以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。（あてはまるものすべてに○）

ケアマネジャーが保有する資格については、「介護福祉士」が74.3%と最も多く、「ホームヘルパー」（45.3%）と続いています。

図表 87 保有する資格

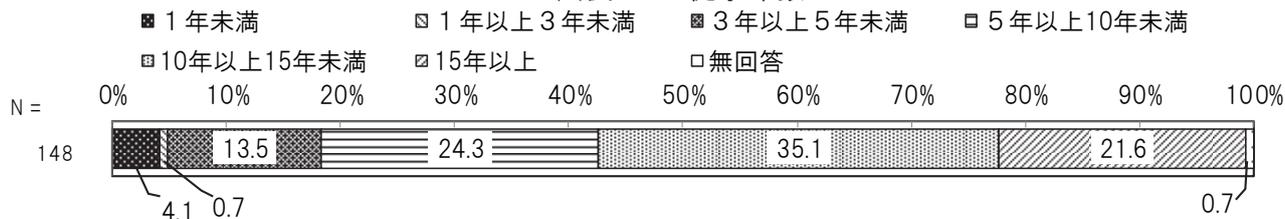


問3 あなたは、令和4年11月1日現在、ケアマネジャー業務に従事してどれくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合は、前職なども含めた合計期間でお答えください。（ひとつだけ○）

ケアマネジャーの従事年数については、「10年以上15年未満」が35.1%と最も多く、「5年以上10年未満」（24.3%）と続いています。

また、「15年以上」の経験者も21.6%であり、56.7%のケアマネジャーが10年以上の従事経験を持っています。

図表 88 従事年数



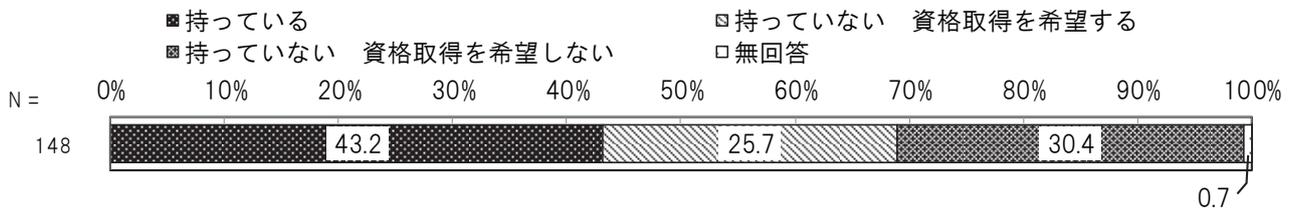
図表 89 年齢別の従事年数

		回答者数	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上	無回答
合計		148	4.1	0.7	13.5	24.3	35.1	21.6	0.7 (%)
年齢	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	12	8.3	8.3	41.7	25.0	8.3	8.3	-
	40歳代	44	2.3	-	18.2	27.3	38.6	11.4	2.3
	50歳代	35	8.6	-	14.3	34.3	28.6	14.3	-
	60歳代	39	2.6	-	5.1	15.4	38.5	38.5	-
	70歳代以上	17	-	-	-	17.6	47.1	35.3	-

問4 あなたは、現在、主任ケアマネジャーの資格を持っていますか。（ひとつだけ○）

主任ケアマネジャーの資格については、「持っている」が43.2%と最も多くなっています。一方で「資格取得を希望しない」方の割合は30.4%です。

図表 90 主任ケアマネジャーの資格



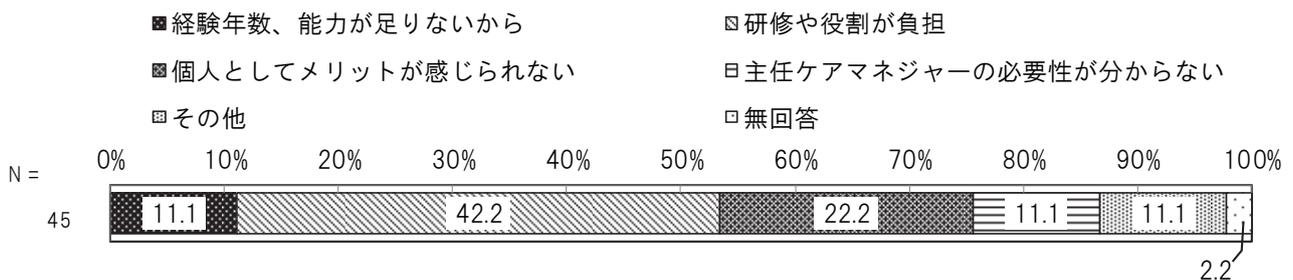
図表 91 年齢別の主任ケアマネジャーの資格

		回答者数	持っている	持っていない 資格取得を希望する	持っていない 資格取得を希望しない	無回答
合計		148	43.2	25.7	30.4	0.7 (%)
年齢	20歳代	-	-	-	-	-
	30歳代	12	16.7	41.7	41.7	-
	40歳代	44	40.9	38.6	20.5	-
	50歳代	35	42.9	31.4	25.7	-
	60歳代	39	48.7	12.8	38.5	-
	70歳代以上	17	52.9	-	41.2	5.9

問4-1 【問4で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】資格取得を希望しない理由は何ですか。（ひとつだけ○）

主任ケアマネジャーの資格取得を希望しない理由については、「研修や役割が負担」が42.2%と最も多く、「個人としてメリットが感じられない」(22.2%)と続いています。

図表 92 主任ケアマネジャーの資格取得を希望しない理由



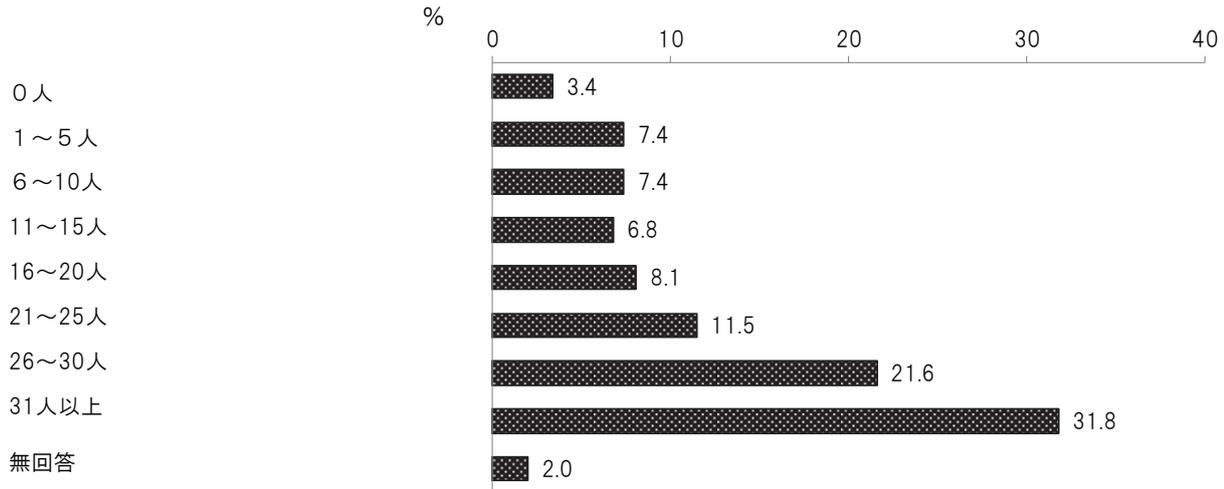
2 サービス基盤について

問5 あなたが現在豊島区でケアプラン作成を担当している人数をご記入ください。
(数値を記入)

ケアプラン作成人数（介護プラン）については、「31人以上」が31.8%と最も多く、「26～30人」（21.6%）と続いています。

図表 93 ケアプラン作成人数（介護プラン）

N = 148



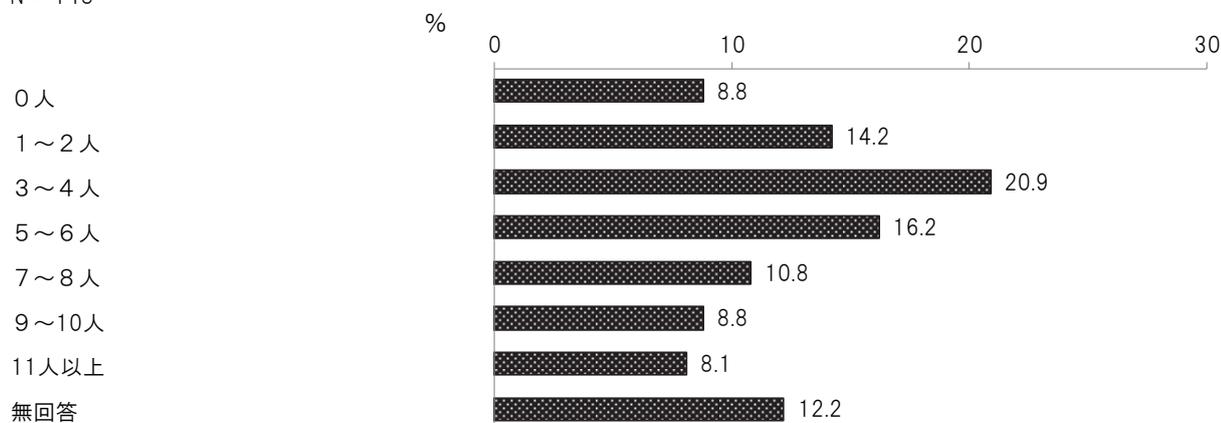
図表 94 従事年数別のケアプラン作成人数（介護プラン）

	回答者数	人数									無回答
		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上		
合計	148	3.4	7.4	7.4	6.8	8.1	11.5	21.6	31.8	2	(%)
従事年数	1年未満	6	-	16.7	16.7	16.7	-	33.3	-	16.7	-
	1年以上3年未満	1	-	-	-	-	-	-	100	-	
	3年以上5年未満	20	-	5	10	5	5	15	25	30	5
	5年以上10年未満	36	-	-	8.3	11.1	8.3	13.9	22.2	33.3	2.8
	10年以上15年未満	52	5.8	11.5	3.8	5.8	9.6	5.8	21.2	34.6	1.9
	15年以上	32	6.3	6.3	9.4	3.1	9.4	12.5	25	28.1	-

ケアプラン作成人数（介護予防プラン）については、「3～4人」が20.9%と最も多く、「5～6人」（16.2%）と続いています。

図表 95 ケアプラン作成人数（介護予防プラン）

N = 148



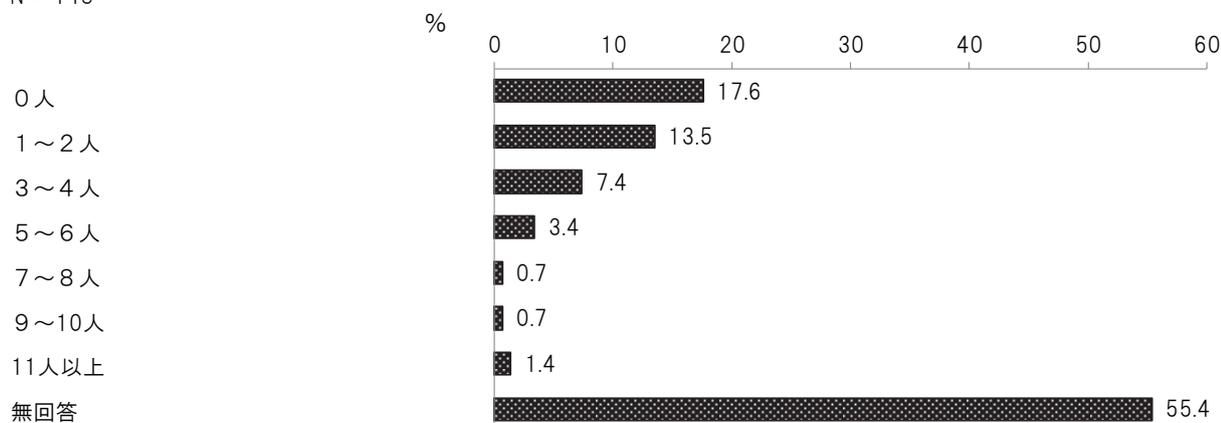
図表 96 従事年数別のケアプラン作成人数（介護予防プラン）

	全 体	作成人数								無 回 答	割合 (%)
		0 人	1 ～ 2 人	3 ～ 4 人	5 ～ 6 人	7 ～ 8 人	9 ～ 1 0 人	1 1 人 以 上			
合 計	148	8.8	14.2	20.9	16.2	10.8	8.8	8.1	12.2		
従 事 年 数	1年未満	6	-	33.3	16.7	16.7	-	-	-	33.3	
	1年以上3年未満	1	-	-	100	-	-	-	-	-	
	3年以上5年未満	20	-	15	30	20	10	5	10	10	
	5年以上10年未満	36	-	11.1	22.2	19.4	8.3	19.4	8.3	11.1	
	10年以上15年未満	52	17.3	15.4	17.3	15.4	11.5	3.8	7.7	11.5	
	15年以上	32	12.5	12.5	21.9	9.4	15.6	9.4	9.4	9.4	

ケアプラン作成人数（介護予防ケアマネジメント）については、「0人」が17.6%、次いで、「1～2人」が13.5%です。

図表 97 ケアプラン作成人数（介護予防ケアマネジメント）

N = 148



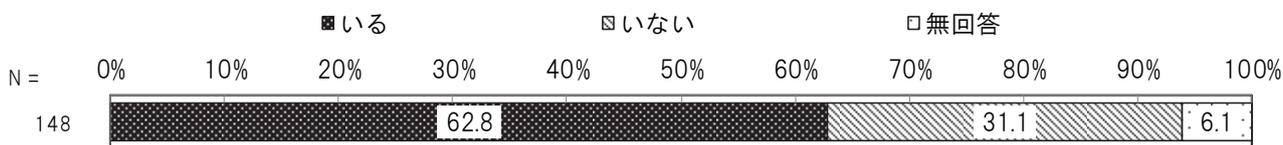
図表 98 従事年数別のケアプラン作成人数（介護予防ケアマネジメント）

		回答者数	0人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人	9 人	10 人	11 人以上	無回答
合計		148	17.6	13.5	7.4	3.4	0.7	0.7	1.4						55.4 (%)
従事年数	1年未満	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
	1年以上3年未満	1	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3年以上5年未満	20	15	30	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	45
	5年以上10年未満	36	5.6	13.9	11.1	5.6	-	-	-	-	-	-	-	2.8	61.1
	10年以上15年未満	52	23.1	11.5	7.7	3.8	-	-	1.9	-	-	-	-	-	51.9
	15年以上	32	28.1	6.3	6.3	-	-	3.1	-	-	-	-	-	3.1	53.1

問6 あなたが担当している利用者の中で、ご自宅にお住まいの方のうち、現在のサービス利用では、在宅生活の維持が難しくなっている方はいますか。（ひとつだけ○）

在宅生活の維持が困難な利用者については、「いる」が62.8%と最も多くなっています。

図表 99 在宅生活の維持が困難な利用者

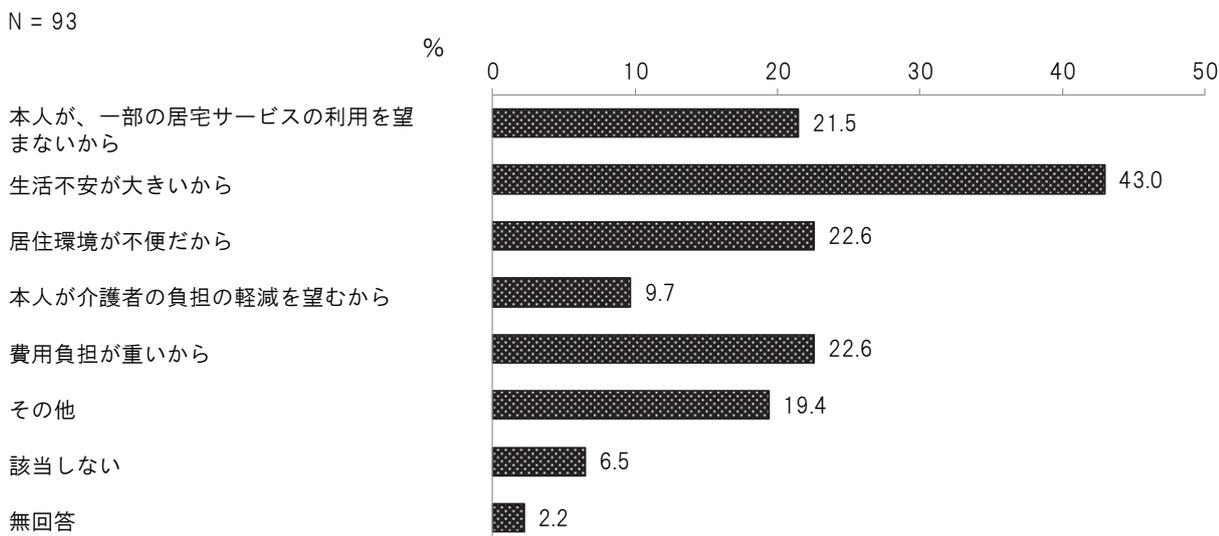


問6-1 【問6で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】現在のサービス利用では、在宅生活の維持が難しくなっている理由はどれですか。※複数のケースがある場合、あなたが特に困難であると考える1つのケースについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

在宅生活の維持が困難な利用者が「いる」と回答した方のうち、本人の意向等に関する理由については、「生活不安が大きいから」が43.0%と最も多く、「居住環境が不便だから」(22.6%)、「費用負担が重いから」(22.6%)と続いています。

①本人の意向等に関する理由

図表 100 在宅生活の維持が困難な理由（本人の意向等に関する理由）

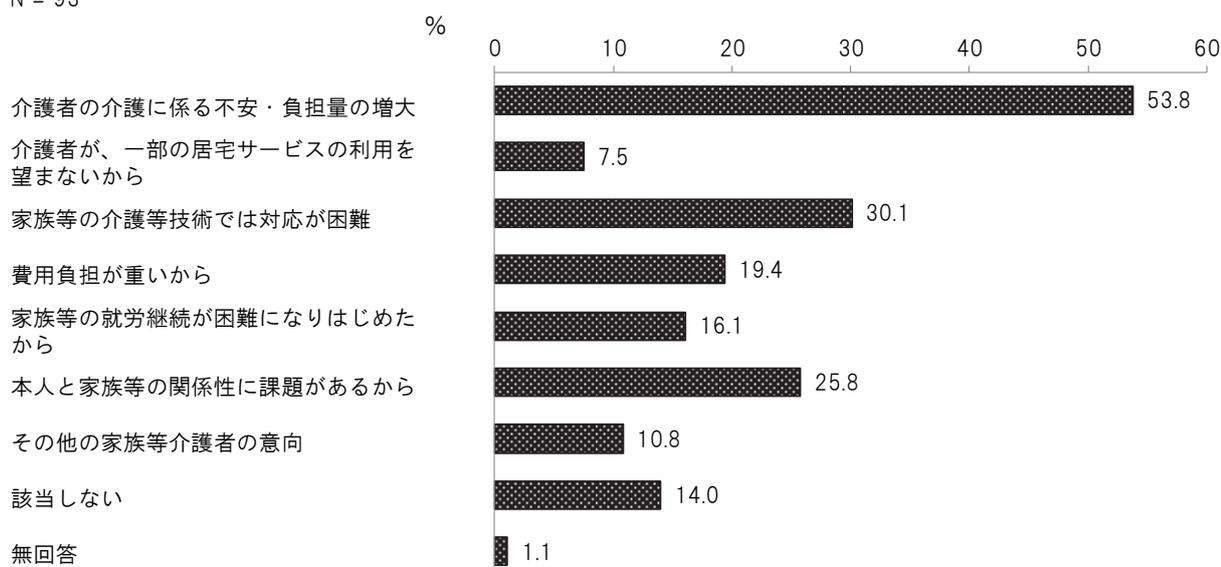


②家族等介護者の意向・負担等に関する理由

在宅生活の維持が困難な利用者が「いる」と回答した方のうち、家族等介護者の意向・負担等に関する理由については、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が53.8%と最も多く、「家族等の介護等技術では対応が困難」(30.1%)、「本人と家族等の関係性に課題があるから」(25.8%)と続いています。

図表 101 在宅生活の維持が困難な理由（家族等介護者の意向・負担等に関する理由）

N = 93

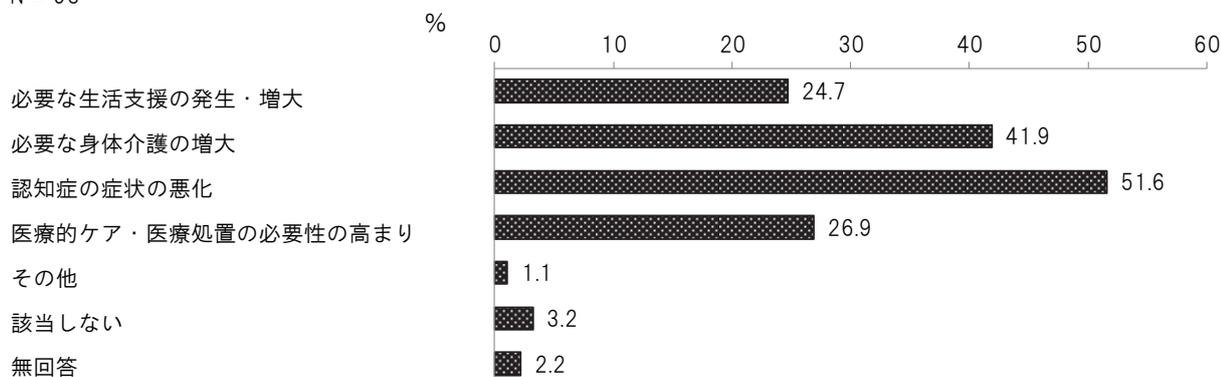


③本人の状態等に関する理由

在宅生活の維持が困難な利用者が「いる」と回答した方のうち、本人の状態等に関する理由については、「認知症の症状の悪化」が51.6%と最も多く、「必要な身体介護の増大」(41.9%)と続いています。

図表 102 在宅生活の維持が困難な理由（本人の状態等に関する理由）

N = 93

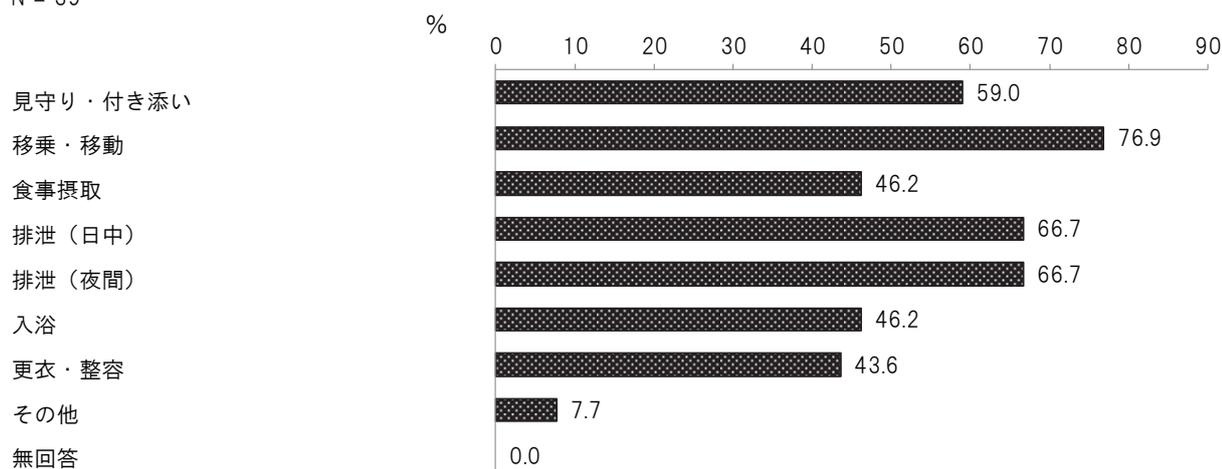


問6-2 【問6-1の③で、「2」に回答した方のみにおうかがいします。】生活の維持が難しくなっている要因となっている具体的な身体介護は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

本人の状態等に関する理由で、「必要な身体介護の増大」と回答した方のうち、身体的介護については、「移乗・移動」が76.9%と最も多く、「排泄（日中）」（66.7%）、「排泄（夜間）」（66.7%）と続いています。

図表 103 生活の維持が難しくなっている要因（身体的介護）

N = 39

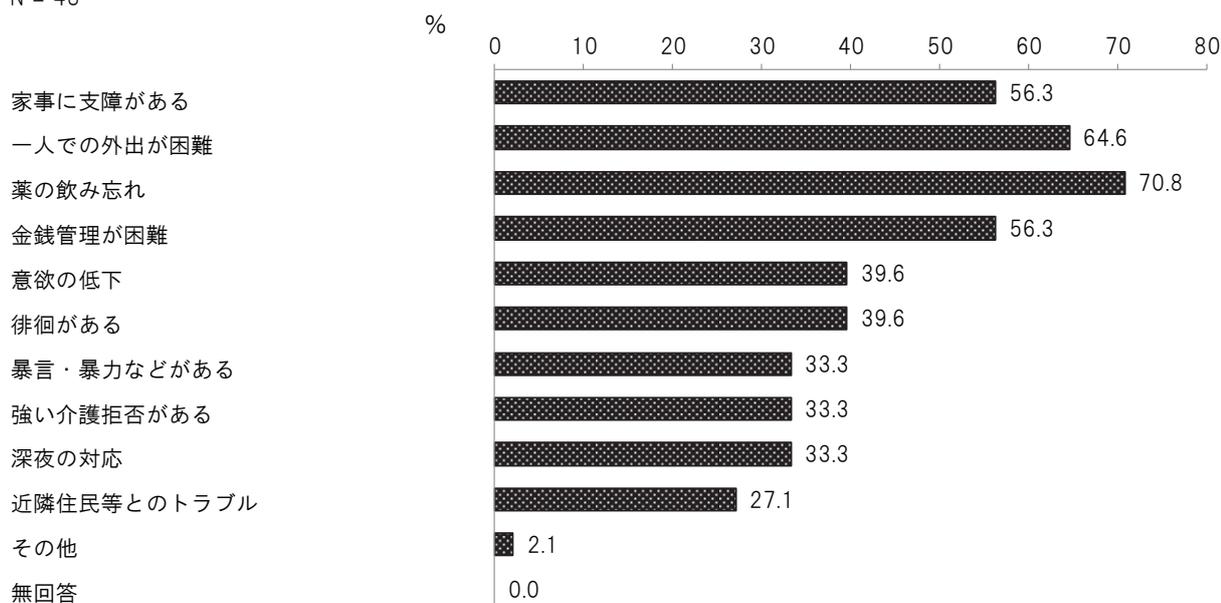


問6-3 【問6-1の③で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】生活の維持が難しくなっている要因となっている具体的な認知症の症状は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

本人の状態等に関する理由で、「認知症の症状」と回答した方のうち、認知症の症状については、「薬の飲み忘れ」が70.8%と最も多く、「一人での外出が困難」（64.6%）と続いています。

図表 104 生活の維持が難しくなっている要因（認知症の症状）

N = 48

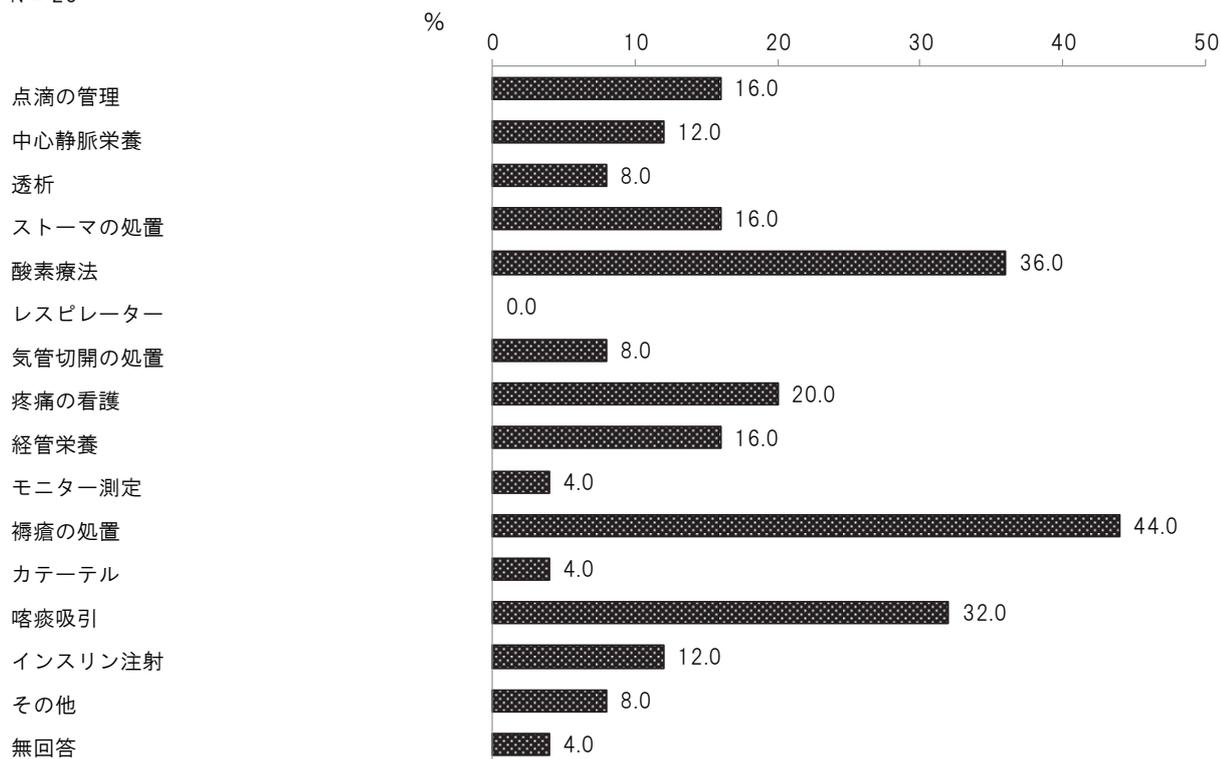


問6-4 【問6-1の③で、「4」に回答した方のみにおうかがいします。】生活の維持が難しくなっている要因となっている具体的な医療的ケア・医療処置は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

本人の状態等に関する理由で、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」と回答した方のうち、医療的ケア・医療処置については、「褥瘡の処置」が44.0%と最も多く、「酸素療法」(36.0%)と続いています。

図表 105 生活の維持が難しくなっている要因（医療的ケア・医療処置）

N = 25

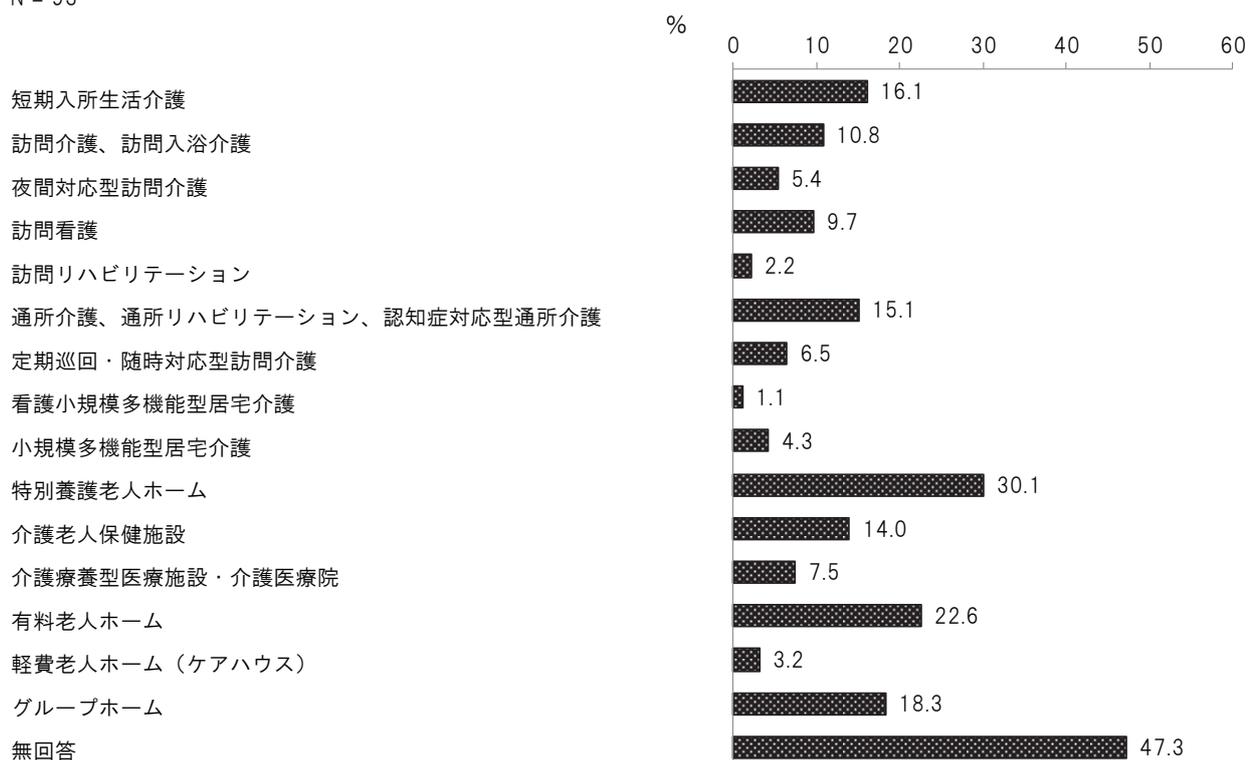


問6-5 【問6で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

在宅生活の維持が困難な利用者が「いる」と回答した方のうち、変更すべきサービスについては、「特別養護老人ホーム」が30.1%と最も多く、「有料老人ホーム」(22.6%)と続いています。

図表 106 在宅生活の維持が難しい場合に変更すべきサービス

N = 93

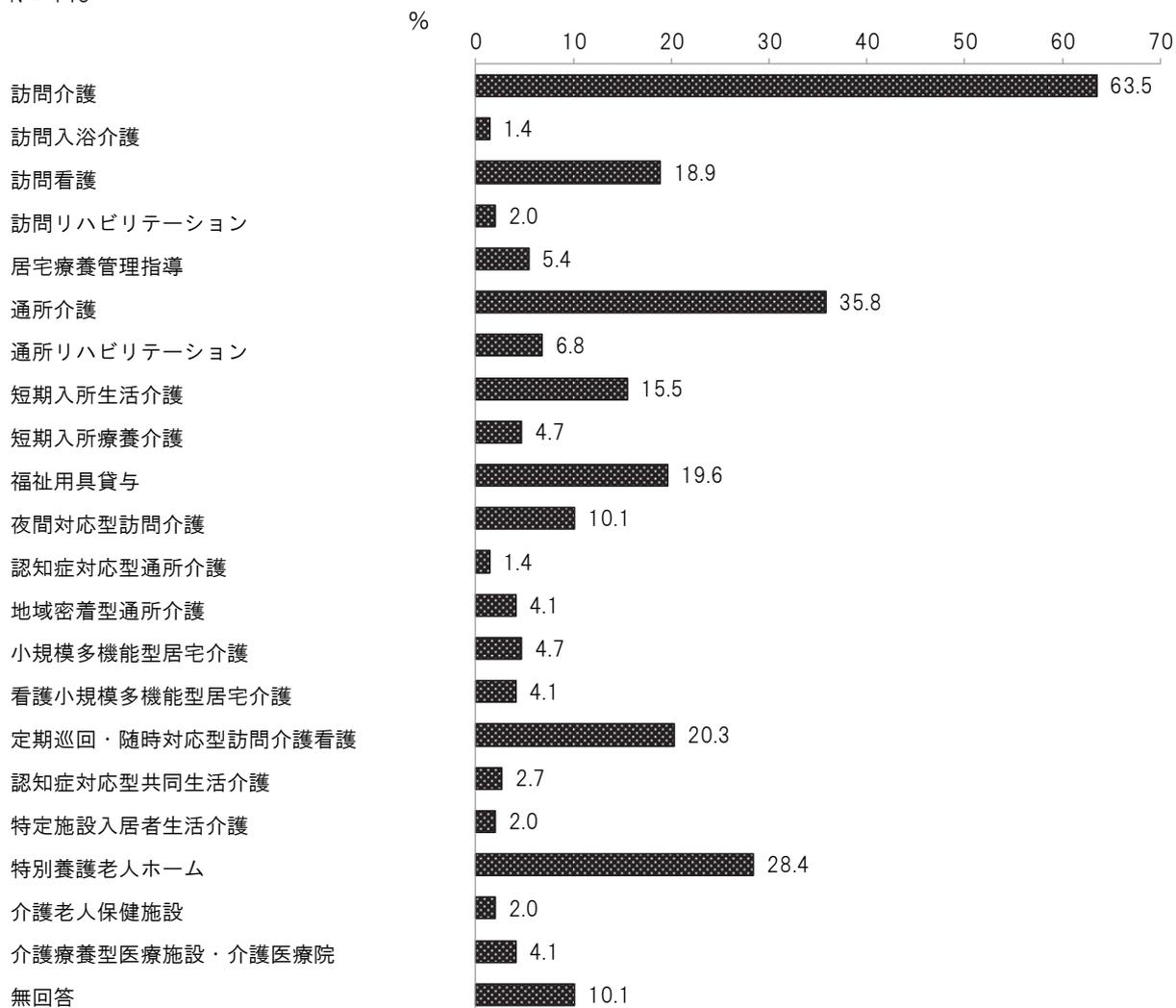


問7 あなたは、ケアマネジャーの立場から、高齢者が安心して生活するために、どのようなサービスをより充実させることが重要だと思いますか。（重要だと思うもの3つまでに○）

充実が必要なサービスについては、「訪問介護」が63.5%と最も多く、「通所介護」(35.8%)と続いています。

図表 107 充実が必要なサービス

N = 148



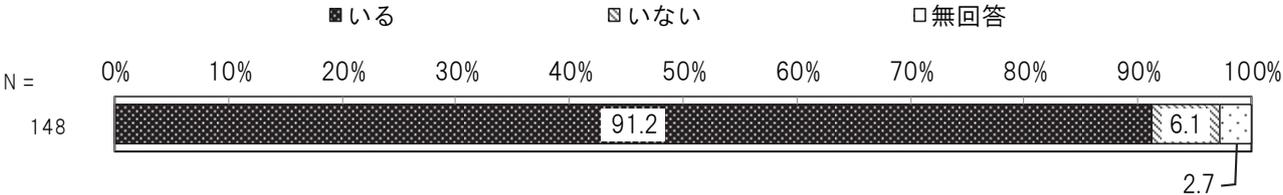
図表 108 従事年数別の充実が必要なサービス

	回答者数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	福祉用具貸与	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	認知症対応型共同生活介護	特定施設入居者生活介護	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設・介護医療院	無回答	
合計	148	63.5	1.4	18.9	2.0	5.4	35.8	6.8	15.5	4.7	19.6	10.1	1.4	4.1	4.7	4.1	20.3	2.7	2.0	28.4	2.0	4.1	10.1	
従事年数	1年未満	6	66.7	16.7	16.7	-	-	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	16.7	-	-	
	1年以上3年未満	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	3年以上5年未満	20	45.0	-	10.0	-	-	35.0	15.0	15.0	5.0	10.0	15.0	5.0	-	-	-	25.0	-	-	15.0	5.0	-	30.0
	5年以上10年未満	36	61.1	-	33.3	2.8	13.9	33.3	-	11.1	-	22.2	2.8	-	11.1	5.6	2.8	22.2	2.8	2.8	33.3	-	5.6	5.6
	10年以上15年未満	52	75.0	1.9	13.5	-	5.8	44.2	9.6	19.2	7.7	19.2	11.5	-	1.9	1.9	5.8	21.2	3.8	-	23.1	-	3.8	5.8
	15年以上	32	59.4	-	15.6	6.3	-	31.3	3.1	12.5	3.1	28.1	15.6	3.1	-	9.4	6.3	9.4	3.1	6.3	31.3	3.1	6.3	12.5

問8 あなたが担当する利用者のうち、居宅療養管理指導を利用している方はいますか。（ひとつだけ○）

居宅療養管理指導の利用者については、「いる」が91.2%と最も多くなっています。

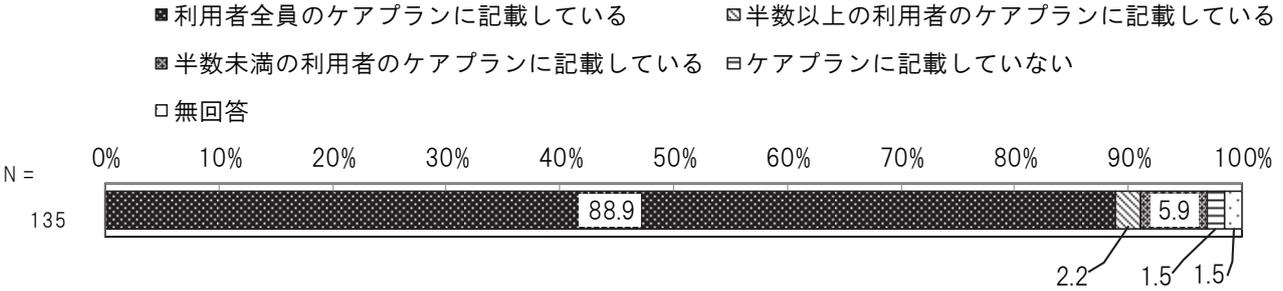
図表 109 居宅療養管理指導の利用状況



問8-1 【問8で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】当該利用者の居宅療養管理指導をケアプランに記載していますか。（ひとつだけ○）

居宅療養管理指導の利用者が「いる」と回答した方のうち、居宅療養管理指導のケアプランへの記載の有無については、「利用者全員のケアプランに記載している」が88.9%と最も多くなっています。

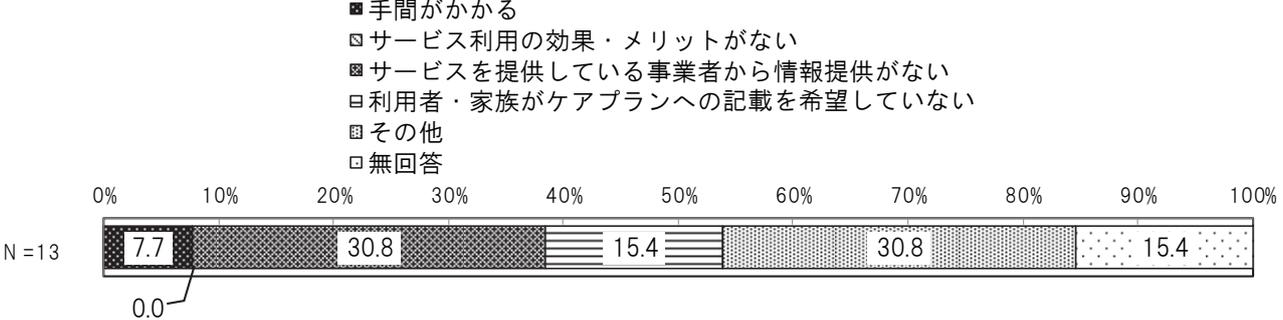
図表 110 居宅療養管理指導のケアプランへの記載の有無



問8-2 【問8-1で、「2」～「4」に回答した方のみにおうかがいします。】居宅療養管理指導をケアプランに記載していない主な理由を教えてください。（ひとつだけ○）

居宅療養管理指導をケアプランに記載しない理由については、「サービスを提供している事業者から情報提供がない」が30.8%と最も多くなっています。

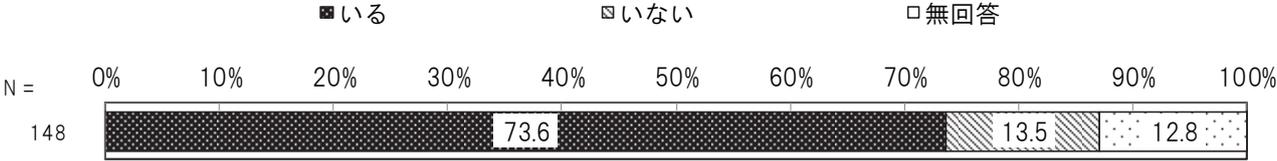
図表 111 居宅療養管理指導をケアプランに記載しない理由



問9 あなたが担当する利用者のうち、保険外サービスを利用している方はいますか。
 (ひとつだけ○)

保険外サービスの利用者については、「いる」が73.6%と最も多くなっています。

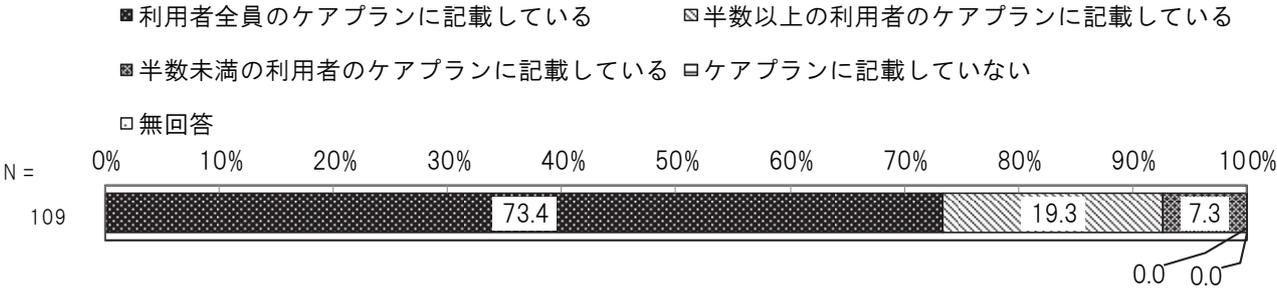
図表 112 保険外サービスの利用状況



問9-1 【問9で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】当該利用者の保険外サービスをケアプランに記載していますか。(ひとつだけ○)

保険外サービスの利用者が「いる」と回答した方のうち、保険外サービスのケアプランへの記載の有無については、「利用者全員のケアプランに記載している」が73.4%と最も多くなっています。

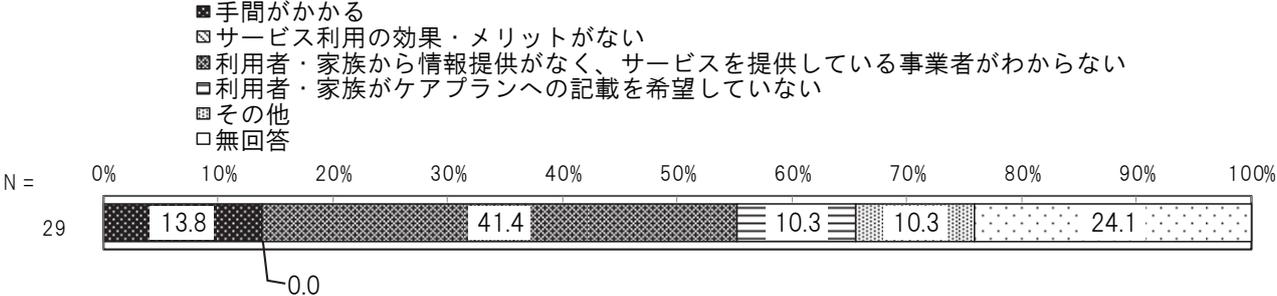
図表 113 保険外サービスのケアプランへの記載の有無



問9-2 【問9-1で、「2」～「4」に回答した方のみにおうかがいします。】保険外サービスをケアプランに記載していない主な理由を教えてください。(ひとつだけ○)

保険外サービスをケアプランに記載しない理由については、「利用者・家族から情報提供がなく、サービスを提供している事業者がわからない」が41.4%と最も多くなっています。

図表 114 保険外サービスのケアプランへの記載しない理由

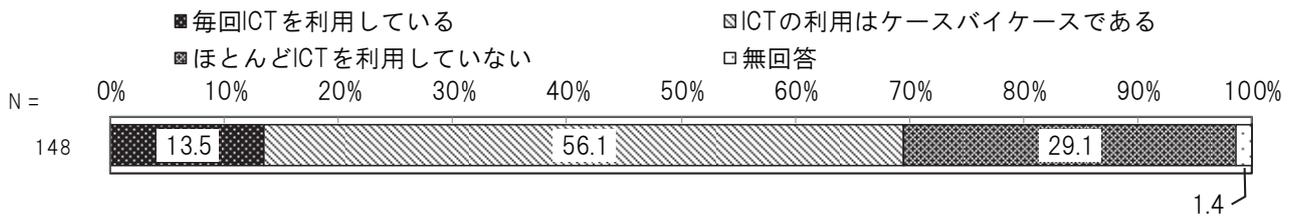


3 各種連携・調整について

問 10 あなたは利用者・家族との連絡や医療機関・他事業者との多職種連携において ICT を利用していますか。（ひとつだけ○）

利用者・家族との連絡や医療機関・他事業者との多職種連携における ICT の利用状況については、「ICT の利用はケースバイケース」が 56.1%と最も多く、「ほとんど ICT を利用していない」（29.1%）と続いています。

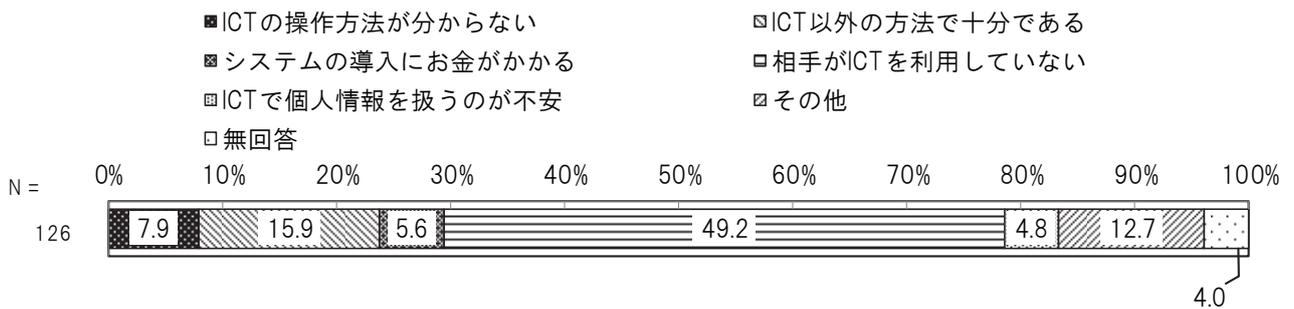
図表 115 利用者・家族との連絡や医療機関・他事業者との多職種連携における ICT の利用状況



問 10-1 【問 10 で、「2」または「3」に回答した方のみにおうかがいします。】あなたが ICT を利用しない理由は何ですか。（ひとつだけ○）

ICT を利用しない理由については、「相手が ICT を利用していない」が 49.2%と最も多く、「ICT 以外の方法で十分である」（15.9%）と続いています。

図表 116 利用者・家族との連絡や医療機関・他事業者との多職種連携において ICT を利用しない理由

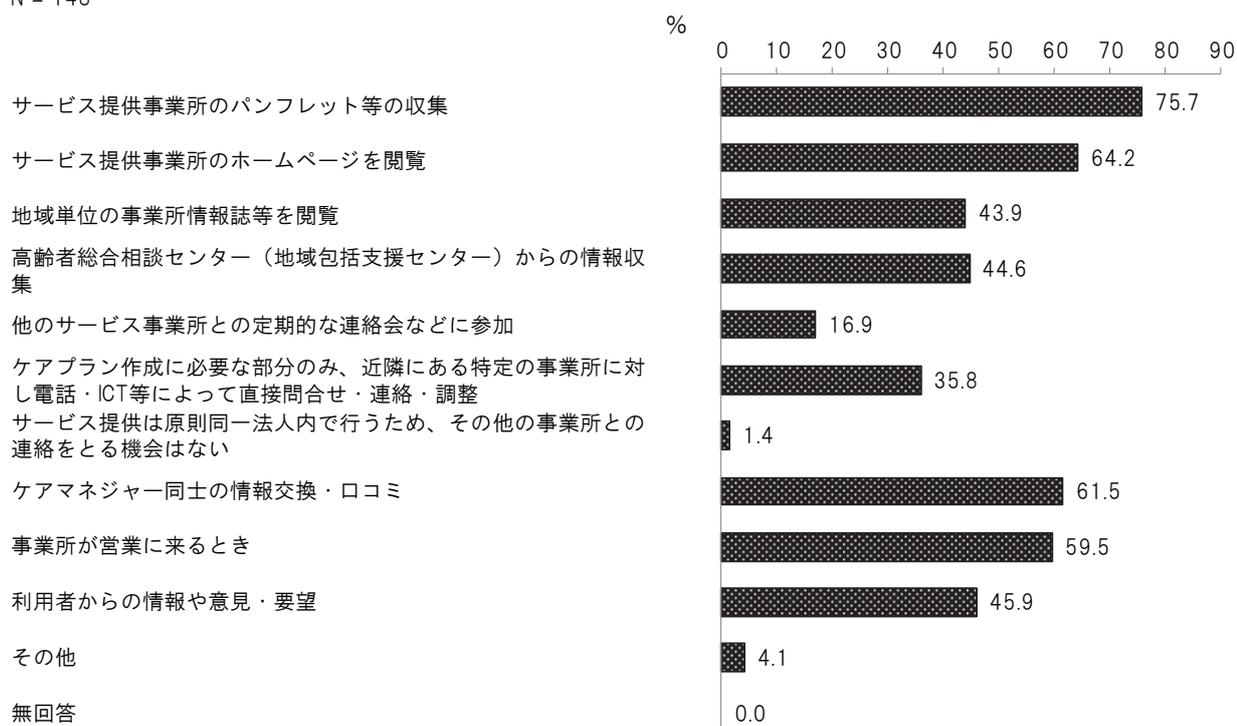


問 11 あなたは、サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

サービス提供事務所に関する情報収集や連絡・調整の方法については、「サービス提供事業所のパンフレット等の収集」が75.7%と最も多く、「サービス提供事業所のホームページを閲覧」（64.2%）と続いています。

図表 117 サービス提供事務所に関する情報収集や連絡・調整の方法

N = 148



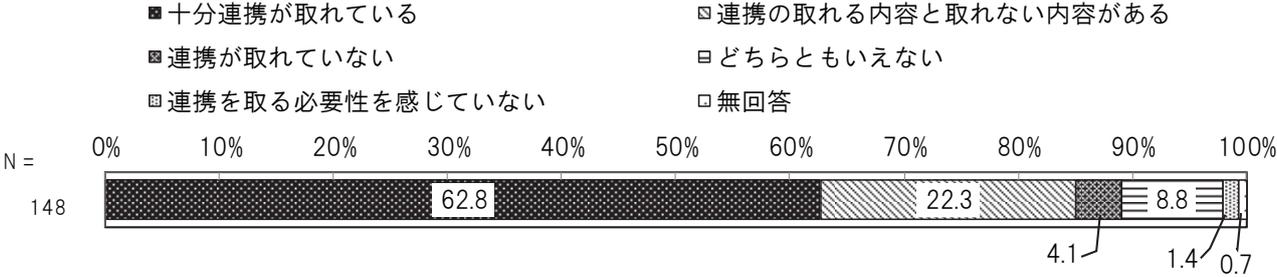
図表 118 従事年数別のサービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整の方法

	回答者数	サービス提供事業所のパンフレット等の収集	サービス提供事業所のホームページを閲覧	地域単位の事業所情報誌等を閲覧	高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）からの情報収集	他のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加	話・ICT等によつて直接問合せ・連絡・調整	ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電	サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業所との連絡をとる機会はない	ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ	事業所が営業に来るとき	利用者からの情報や意見・要望	その他
合計	148	75.7	64.2	43.9	44.6	16.9	35.8	1.4	61.5	59.5	45.9	4.1	(%)
従事年数	1年未満	6	66.7	50.0	16.7	16.7	-	-	-	83.3	33.3	50.0	-
	1年以上3年未満	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-
	3年以上5年未満	20	85.0	80.0	35.0	45.0	15.0	30.0	-	60.0	70.0	55.0	5.0
	5年以上10年未満	36	83.3	55.6	36.1	33.3	13.9	47.2	-	55.6	47.2	41.7	2.8
	10年以上15年未満	52	71.2	75.0	51.9	57.7	25.0	30.8	1.9	63.5	69.2	38.5	5.8
	15年以上	32	71.9	50.0	46.9	40.6	12.5	43.8	3.1	62.5	56.3	56.3	3.1

問12 あなたは、現在、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）との連携はとれていますか。（ひとつだけ○）

高齢者総合相談センターとの連携状況については、「十分連携が取れている」が62.8%と最も多く、「連携の取れる内容と取れない内容がある」（22.3%）と続いています。
 ≪連携を取っている≫が85.1%となっています。

図表 119 高齢者総合相談センターとの連携状況



図表 120 従事年数別の高齢者総合相談センターとの連携状況

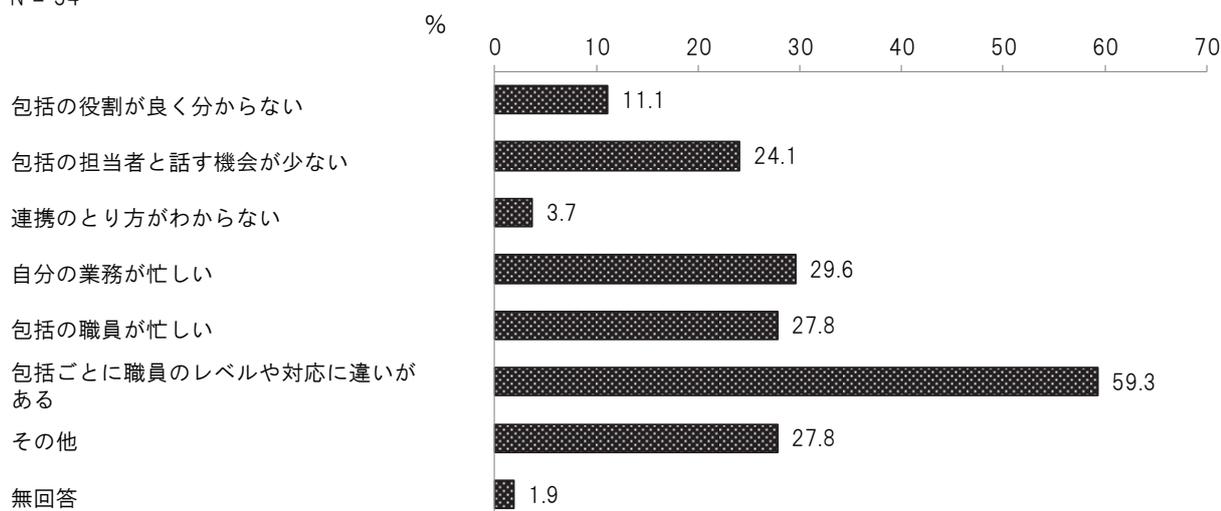
		回答者数	十分連携が取れている	連携の取れる内容と取れない内容がある	連携が取れていない	どちらともいえない	連携を取る必要性を感じていない	無回答
合計		148	62.8	22.3	4.1	8.8	1.4	0.7
従事年数	1年未満	6	16.7	50.0	-	33.3	-	-
	1年以上3年未満	1	100.0	-	-	-	-	-
	3年以上5年未満	20	65.0	15.0	-	20.0	-	-
	5年以上10年未満	36	55.6	36.1	2.8	2.8	-	2.8
	10年以上15年未満	52	69.2	17.3	5.8	7.7	-	-
	15年以上	32	68.8	15.6	6.3	6.3	3.1	-

問 12-1 【問 12 で、「2」～「5」に回答した方のみにおうかがいします。】現在、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）と連携がとれない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

高齢者総合相談センターとの連携がとれない理由については、「包括ごとに職員のレベルや対応に違いがある」が 59.3%と最も多く、「自分の業務が忙しい」（29.6%）と続いています。

図表 121 高齢者総合相談センターとの連携がとれない理由

N = 54



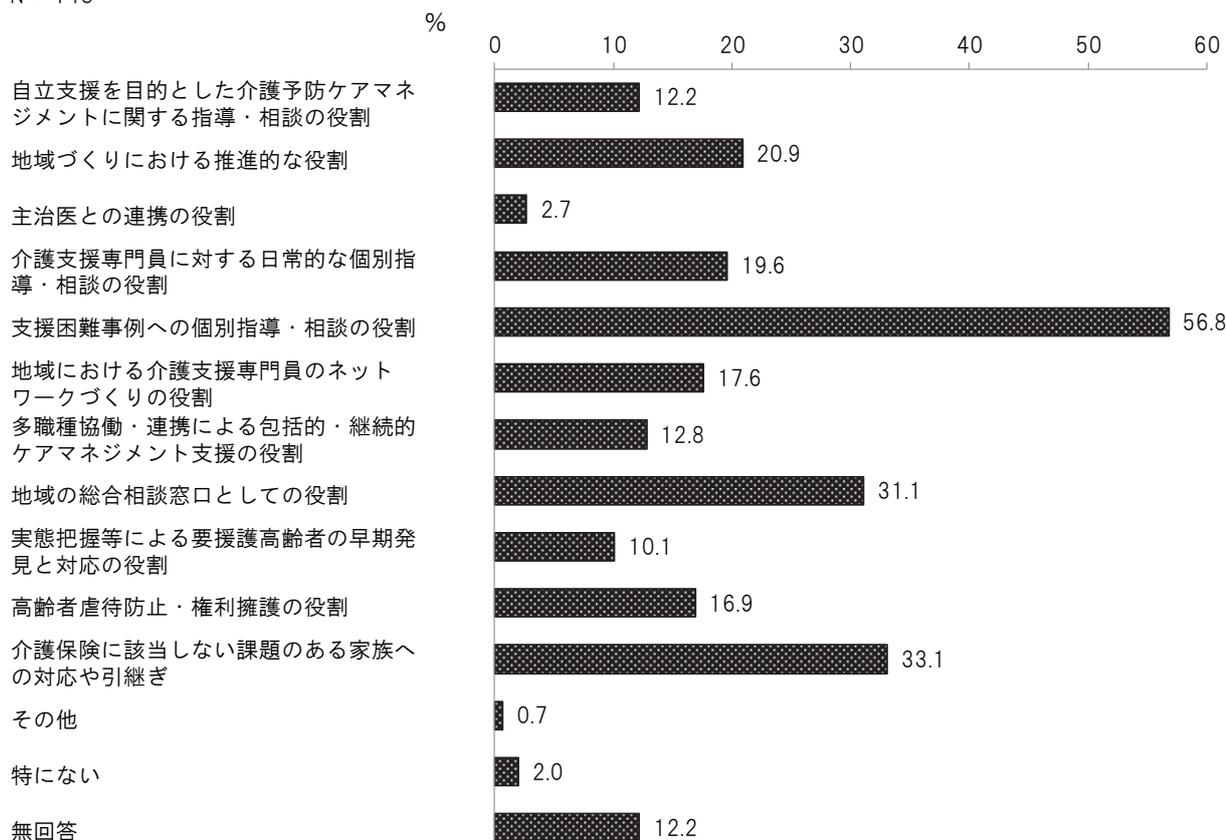
問 13 あなたは、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）に、今後、特に期待する役割は何ですか。（3つまで○）

高齢者総合相談センターに期待する役割については、「支援困難事例への個別指導・相談の役割」が56.8%と最も多く、「介護保険に該当しない課題のある家族への対応や引継ぎ」（33.1%）と続いています。

地域づくり、ネットワークづくりよりも、困難な事例に対する相談窓口の役割への期待が高いことが分かります。

図表 122 高齢者総合相談センターに期待する役割

N = 148



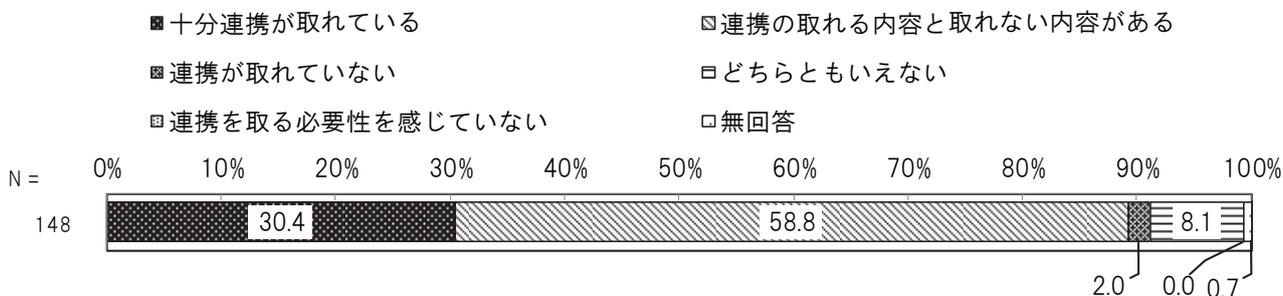
図表 123 従事年数、高齢者総合相談センターとの連携状況別の高齢者総合相談センターに期待する役割

	回答者数	自立支援を目的とした介護予防ケアマネジメントに関する指導・相談の役割	地域づくりにおける推進的な役割	主治医との連携の役割	介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談の役割	支援困難事例への個別指導・相談の役割	地域における介護支援専門員のネットワークづくりの役割	多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援の役割	地域の総合相談窓口としての役割	実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応の役割	高齢者虐待防止・権利擁護の役割	介護保険に該当しない課題のある家族への対応や引継ぎ	その他	特になし	無回答	
合計	148	12.2	20.9	2.7	19.6	56.8	17.6	12.8	31.1	10.1	16.9	33.1	0.7	2.0	12.2 (%)	
従事年数	1年未満	6	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-	-	
	1年以上3年未満	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
	3年以上5年未満	20	5.0	15.0	5.0	20.0	60.0	5.0	15.0	30.0	10.0	30.0	-	-	25.0	
	5年以上10年未満	36	16.7	19.4	2.8	13.9	52.8	16.7	16.7	27.8	8.3	19.4	36.1	-	2.8	16.7
	10年以上15年未満	52	5.8	23.1	-	21.2	59.6	23.1	9.6	32.7	11.5	17.3	34.6	1.9	-	9.6
	15年以上	32	15.6	25.0	3.1	25.0	59.4	15.6	15.6	37.5	9.4	12.5	34.4	-	3.1	6.3
高齢者総合相談センターとの連携状況	十分連携が取れている	93	50	77.4	25	62.1	64.3	61.5	73.7	76.1	53.3	72	65.3	-	33.3	-
	連携の取れる内容と取れない内容がある	33	22.2	12.9	75	20.7	20.2	26.9	21.1	17.4	33.3	16	22.4	100	-	-
	連携が取れていない	6	11.1	3.2	-	3.4	3.6	-	-	-	-	12	2	-	-	-
	どちらともいえない	13	11.1	6.5	-	13.8	9.5	11.5	5.3	6.5	13.3	-	6.1	-	33.3	-
	連携を取る必要性を感じていない	2	-	-	-	-	1.2	-	-	-	-	-	2	-	33.3	-
	無回答	1	5.6	-	-	-	1.2	-	-	-	-	-	2	-	-	-

問 14 あなたは、現在、医療機関との連携はとれていますか。（ひとつだけ○）

医療機関との連携については、「連携の取れる内容と取れない内容がある」が 58.8%と最も多く、「十分連携が取れている」(30.4%)と続いています。

図表 124 医療機関との連携



図表 125 従事年数別の医療機関との連携

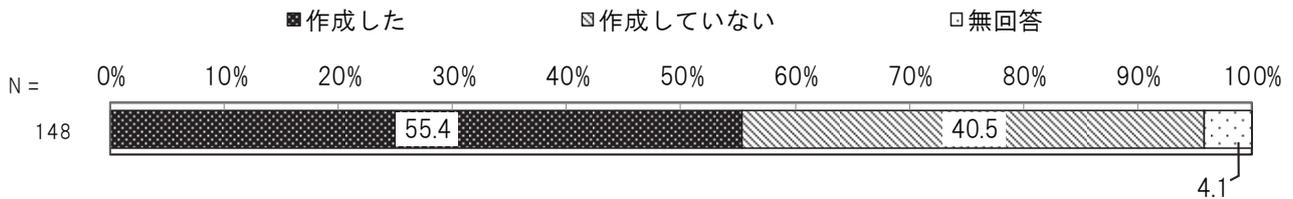
	回答者数	十分連携が取れている	連携の取れる内容と取れない内容がある	連携が取れていない	どちらともいえない	連携を取る必要性を感じていない	無回答
合計	148	30.4	58.8	2.0	8.1	-	0.7 (%)
従事年数	1年未満	6	16.7	50.0	-	33.3	-
	1年以上3年未満	1	-	100.0	-	-	-
	3年以上5年未満	20	15.0	70.0	-	15.0	-
	5年以上10年未満	36	33.3	52.8	2.8	8.3	-
	10年以上15年未満	52	28.8	65.4	1.9	3.8	-
	15年以上	32	43.8	50.0	-	6.3	-

問 15 あなたは、この1年間に、ターミナルケアに係る居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しましたか。（ひとつだけ○）

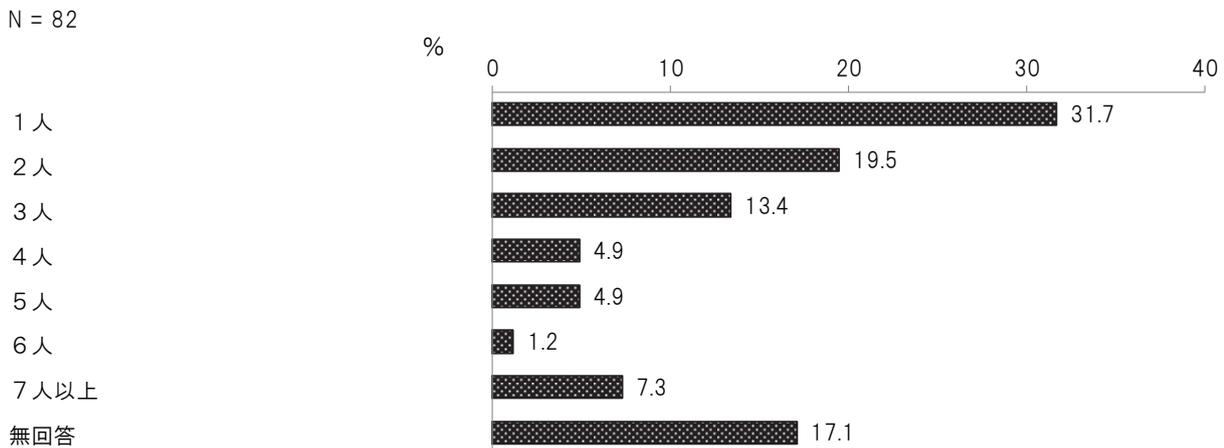
ターミナルケアにかかるケアプランの作成については、「作成した」が55.4%と最も多くなっています。

作成人数については、「1人」が31.7%と最も多く、「2人」（19.5%）と続いています。

図表 126 ターミナルケアにかかるケアプランの作成



図表 127 ターミナルケアにかかるケアプランの作成人数



図表 128 従事年数別のターミナルケアにかかるケアプランの作成

		全 体	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人 以 上	無 回 答	
合 計		82	31.7	19.5	13.4	4.9	4.9	1.2	7.3	17.1	(%)
従 事 年 数	1年未満	1	-	100	-	-	-	-	-	-	-
	1年以上3年未満	1	-	100	-	-	-	-	-	-	-
	3年以上5年未満	14	35.7	14.3	7.1	7.1	14.3	-	7.1	14.3	
	5年以上10年未満	20	50	5	15	-	5	-	10	15	
	10年以上15年未満	26	23.1	19.2	15.4	11.5	3.8	-	3.8	23.1	
	15年以上	20	25	30	15	-	-	5	10	15	

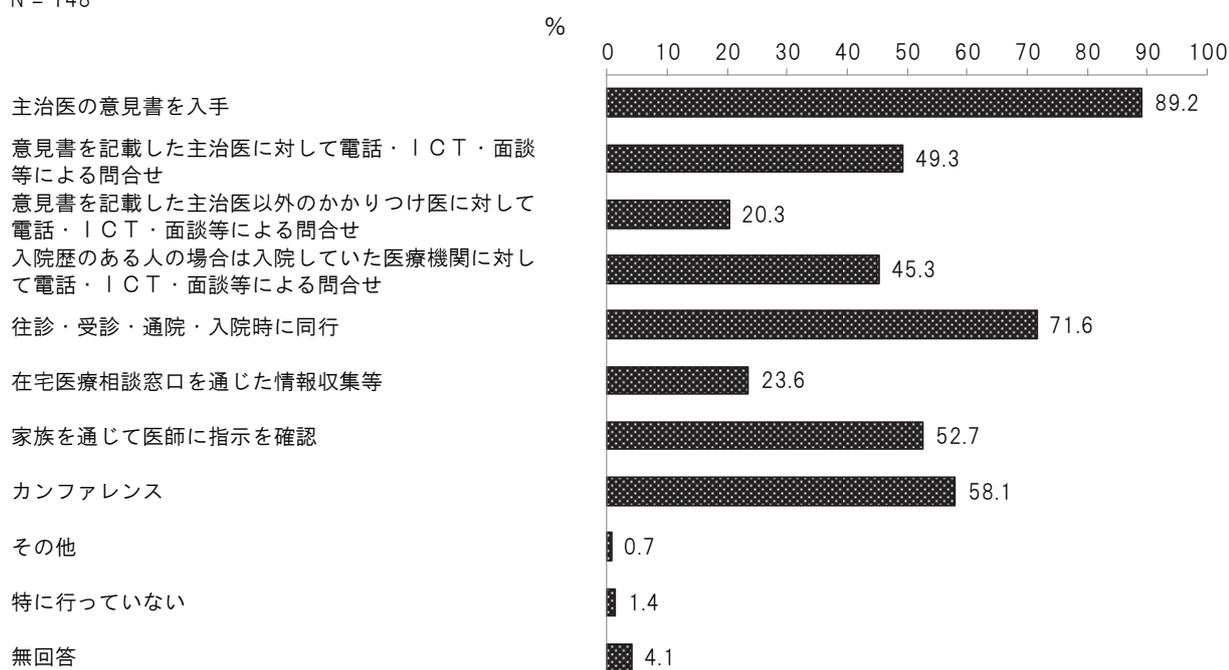
問 16 あなたは、特にケアプランの作成にあたって、どのように医療機関等からの情報収集などを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

ケアプランの作成に係る医療機関等からの情報収集方法については、「主治医の意見書を入手」が89.2%と最も多く、「往診・受診・通院・入院時に同行」(71.6%)と続いています。

「意見書を記載した主治医に対して電話・ICT・面談等による問合せ」と「入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して電話・ICT・面談等による問合せ」の割合は、問14(P.82)において「十分に連携が取れている」と回答した方が「連携が取れる内容と取れない内容がある」と回答した方より10ポイント以上多くなっており、十分に連携を取っている人は情報収集に積極的であることが分かります。

図表 129 ケアプランの作成に係る医療機関等からの情報収集方法

N = 148



図表 130 ケアプランの作成に係る医療機関等からの情報収集方法

	回答者数	主治医の意見書を入手	意見書を記載した主治医に対して電話・ICT・面談等による問合せ	意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・ICT・面談等による問合せ	入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して電話・ICT・面談等による問合せ	往診・受診・通院・入院時に同行	在宅医療相談窓口を通じた情報収集等	家族を通じて医師に指示を確認	カンファレンス	その他	特に行っていない	無回答	
合計	148	89.2	49.3	20.3	45.3	71.6	23.6	52.7	58.1	0.7	1.4	4.1 (%)	
医療機関との連携	十分連携が取れている	45	93.3	62.2	28.9	60.0	77.8	26.7	53.3	66.7	-	-	2.2
	連携の取れる内容と取れない内容がある	87	88.5	49.4	19.5	41.4	73.6	23.0	55.2	59.8	1.1	-	4.6
	連携が取れていない	3	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-
	どちらともいえない	12	83.3	16.7	-	33.3	50.0	25.0	50.0	25.0	-	8.3	8.3
	連携を取る必要性を感じていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 17 多職種連携について、課題があればご記入ください。

図表 131 多職種連携についての課題

観点	主な回答内容
医療機関の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・連携のとりやすい個人や訪問型クリニックと連携しにくい都立病院や大学病院がある。 ・区内に家庭医(総合的にみて下さる方)が少ない。 ・大きい病院になると対応が人により違い、連携がとりにくい。 ・医療機関の窓口が分からない。 ・退院する時に訪問診療や訪問看護のアクセスが病院側から全くなく、全てケアマネジャー任せのところもあり手間がかかる。 ・以前と比較したらここ2-3年の間に急に連携がとりやすくなってきたと感じている。特に訪問診療の先生にはお世話になっている。 ・主治医によっては「ケアマネが家族の意向を代弁するなんて」って怒ってしまう先生もいる。 ・医師側との温度差、医師側は連携の必要性を感じていないことが多い。
専門性の壁	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語を使いすぎる。 ・介護職と共通言語が作れない。 ・各職種間の業務に対する理解が低い。報告・相談の際の共通言語やルールを学びたい。(特に介護医療) ・自分なりに浅い上辺の知識しかないので、毎回、適切な質問ができない。 ・連携ツールがない。入院・入所や退院・退所の共有のシートが欲しい。 ・多職種連携が尊いというイメージにより、余計なサービスを盛り込みすぎる。医療・介護費の国費、公費のムダ遣いを助長しているように感じる。 ・もっと在宅や介護の現状について医師の知識を増やしてほしい。
調整の困難さ	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性の統一が曖昧になってしまう。 ・業務(書類や訪問)に追われていて営業時間内での連携は無理。 ・皆忙しく連携がケアマネジャー経由になり、ケアマネジャーもすぐに連絡をしているが、担当者には上手くつながらず時間がかかる。 ・事業所によって連携しようとは全く思っていない事業所があり、やりづらい。
困難事例への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に拒否がある場合、病院と連絡がとれず、全て家族のフィルターを通した情報のやりとりになってしまう。 ・精神科医は本人同意で動くことが多いため、本人の状態に異常を感じた際も、本人同席のもと話し合うのが大変。
研修・会議等への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携は支援の中ではきちんと連携が図れる一方、研修等の場合の参加職種に隔たりがある。 ・連携の会があっても夕方18時～が多く、家族の世話があると、なかなか出席できない。時には、日中、就業時間内であれば良いのに、と思う。
ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化への対応に課題有(導入コスト、セキュリティ管理面への不安、など) ・MCSをやっていないので、MCSで話が進みケアマネジャーが仲間外れ感がある。

4 業務の課題について

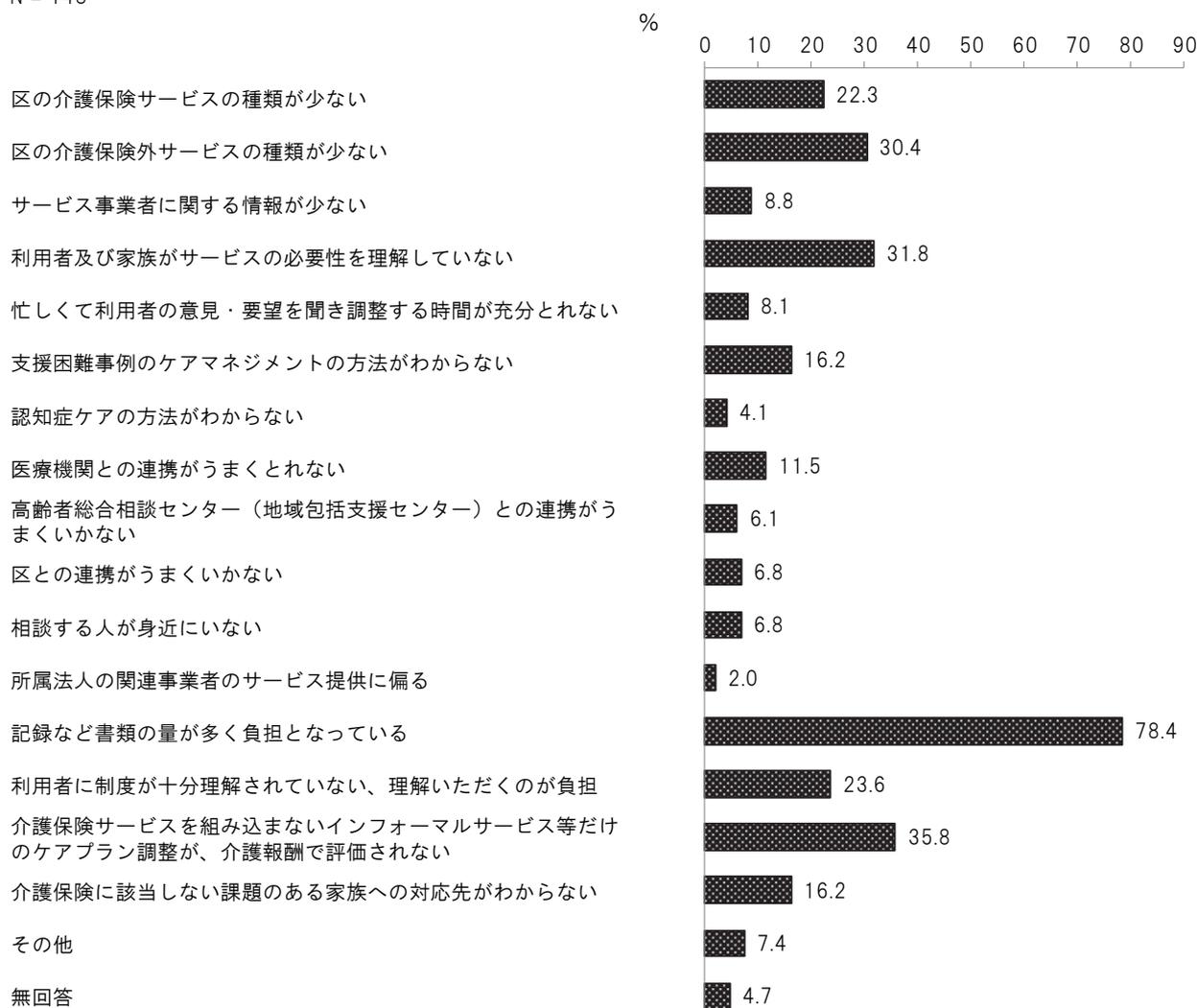
問 18 あなたは、ケアマネジャー業務を行う上で、どのようなことが課題となっていますか。（あてはまるものすべてに○）

ケアマネジャー業務を行う上での課題については、「記録など書類の量が多く負担となっている」が78.4%と最も多く、「介護保険サービスを組み込まないインフォーマルサービスサービス等だけのケアプラン調整が、介護報酬で評価されない」（35.8%）と続いています。

多くの設問において、従事年数が少ない方が課題とする割合が高くなっていますが、書類の量が多く負担という課題については、従事年数の差はありませんでした。

図表 132 ケアマネジャー業務を行う上での課題

N = 148



図表 133 従事年数別のケアマネジャー業務を行う上での課題

	全体	区の介護保険サービスの種類が少ない	区の介護保険外サービスの種類が少ない	サービス事業者に関する情報が少ない	利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない	忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が充分とれない	支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	認知症ケアの方法がわからない	医療機関との連携がうまくとれない	高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）との連携がうまくいかない	区との連携がうまくいかない	相談する人が身近にいない	所属法人の関連事業者のサービス提供に偏る	記録など書類の量が多く負担となっている	利用者に制度が十分理解されていない、理解いただくのが負担	ケアプラン調整が、介護報酬で評価されない	介護保険サービスを組み込まないインフォーマルサービス等だけのケアプラン調整が、介護報酬で評価されない	介護保険に該当しない課題のある家族への対応先がわからない	その他	無回答
合計	148	22.3	30.4	8.8	31.8	8.1	16.2	4.1	11.5	6.1	6.8	6.8	2.0	78.4	23.6	35.8	16.2	7.4	4.7	
従事年数	1年未満	6	16.7	33.3	16.7	33.3	-	50.0	-	50.0	16.7	-	-	66.7	16.7	16.7	16.7	-	-	
	1年以上3年未満	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3年以上5年未満	20	30.0	35.0	15.0	35.0	15.0	30.0	15.0	20.0	5.0	10.0	10.0	80.0	20.0	25.0	25.0	5.0	5.0	
	5年以上10年未満	36	25.0	27.8	11.1	36.1	13.9	13.9	2.8	16.7	11.1	11.1	11.1	2.8	77.8	22.2	44.4	19.4	-	-
	10年以上15年未満	52	15.4	26.9	5.8	28.8	3.8	13.5	1.9	5.8	5.8	1.9	1.9	-	80.8	25.0	32.7	19.2	7.7	5.8
	15年以上	32	28.1	37.5	6.3	28.1	6.3	6.3	3.1	3.1	-	9.4	9.4	-	81.3	28.1	43.8	3.1	18.8	9.4

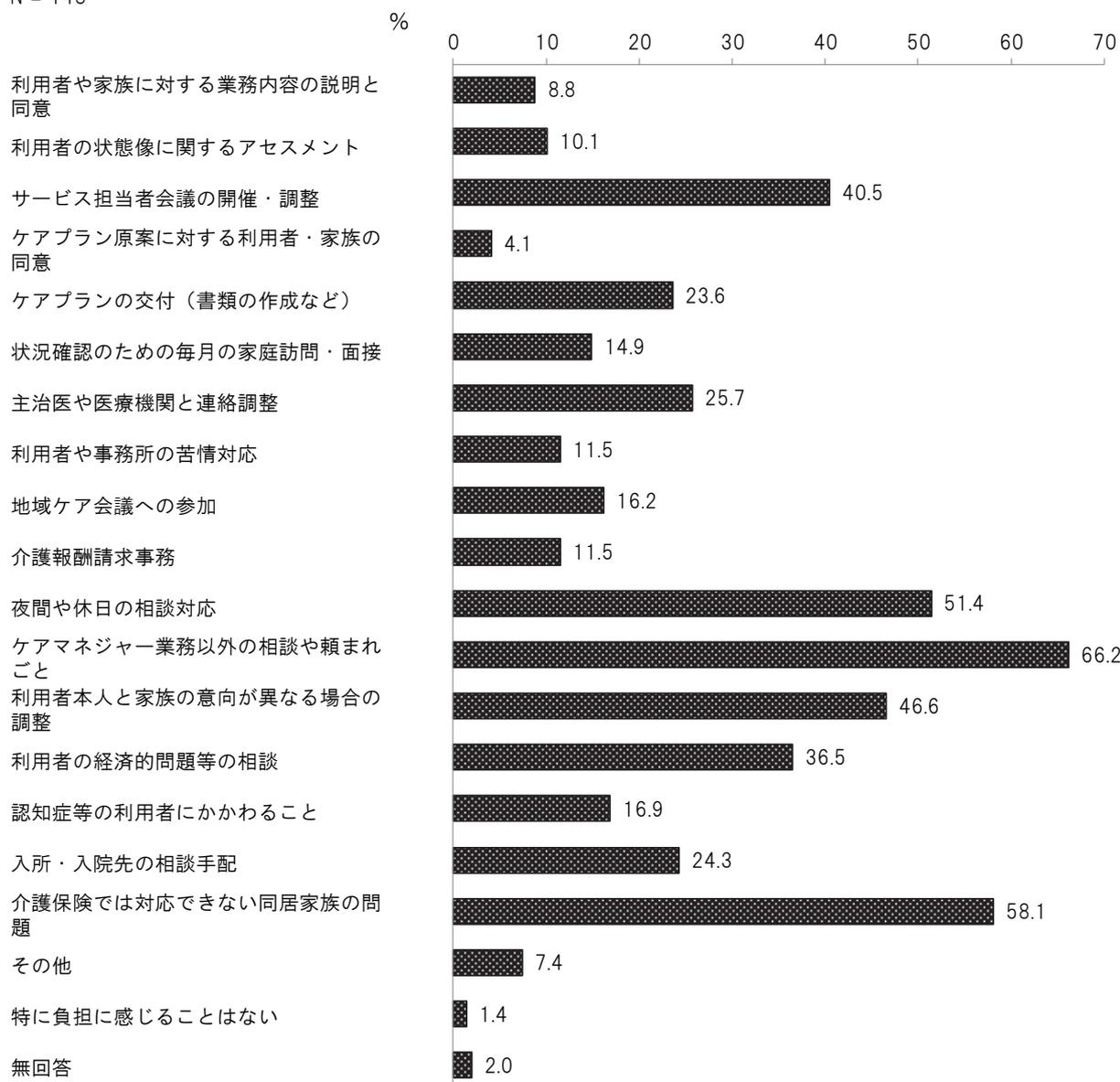
問 19 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担感を感じますか。（あてはまるものすべてに○）

ケアマネジャー業務における負担感については、「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」が66.2%と最も多く、「介護保険では対応できない同居家族の問題」(58.1%)と続いています。

従事年数による差はほとんどありませんでした。

図表 134 ケアマネジャー業務における負担感

N = 148



図表 135 従事年数別のケアマネジャー業務における負担感

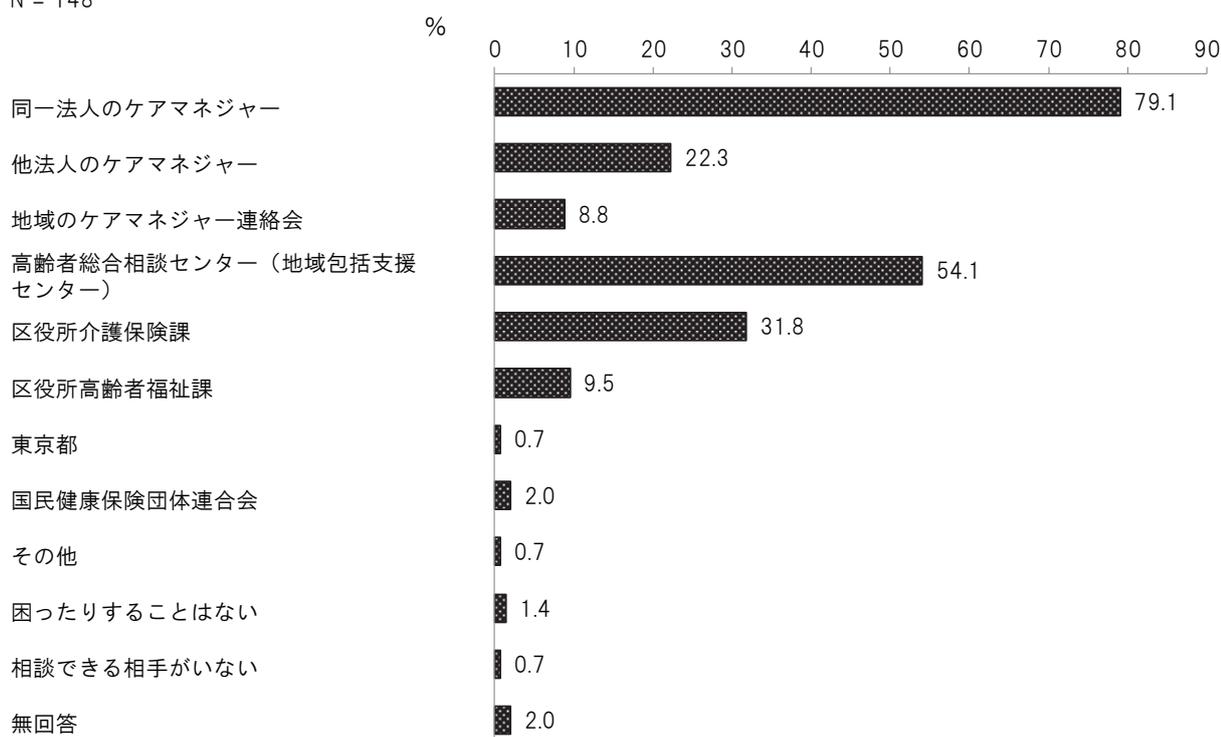
	回答者数	利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	利用者の状態像に関するアセスメント	サービス担当者会議の開催・調整	ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	ケアプランの交付（書類の作成など）	状況確認のための毎月の家庭訪問・面接	主治医や医療機関と連絡調整	利用者や事務所の苦情対応	地域ケア会議への参加	介護報酬請求事務	夜間や休日の相談対応	ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整	利用者の経済的問題等の相談	認知症等の利用者にかかわること	入所・入院先の相談手配	介護保険では対応できない同居家族の問題	その他	特に負担に感じることはない	無回答
合計	148	8.8	10.1	40.5	4.1	23.6	14.9	25.7	11.5	16.2	11.5	51.4	66.2	46.6	36.5	16.9	24.3	58.1	7.4	1.4	2.0
従事年数	1年未満	6	-	-	66.7	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	33.3	66.7	50.0	16.7	-	-	33.3	-	-	-
	1年以上3年未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	3年以上5年未満	20	20.0	10.0	50.0	10.0	25.0	25.0	40.0	10.0	10.0	50.0	60.0	60.0	65.0	25.0	55.0	60.0	15.0	-	-
	5年以上10年未満	36	11.1	11.1	38.9	2.8	27.8	16.7	27.8	13.9	22.2	13.9	55.6	63.9	55.6	38.9	13.9	11.1	69.4	-	-
	10年以上15年未満	52	5.8	9.6	38.5	3.8	23.1	11.5	21.2	11.5	17.3	11.5	50.0	73.1	46.2	32.7	19.2	21.2	53.8	5.8	-
	15年以上	32	6.3	12.5	34.4	-	18.8	12.5	21.9	12.5	15.6	9.4	56.3	65.6	25.0	28.1	12.5	28.1	59.4	15.6	6.3

問 20 あなたは、ケアプランを作成するうえでわからないことや困ったことがあった時、誰に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

ケアプランを作成するうえでわからないことや困ったことの相談相手については、「同一法人のケアマネジャー」が79.1%と最も多く、「高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）」（54.1%）と続いています。

図表 136 ケアプランを作成するうえでわからないことや困ったことの相談相手

N = 148



図表 137 従事年数別のケアプランを作成するうえでわからないことや困ったことの相談相手

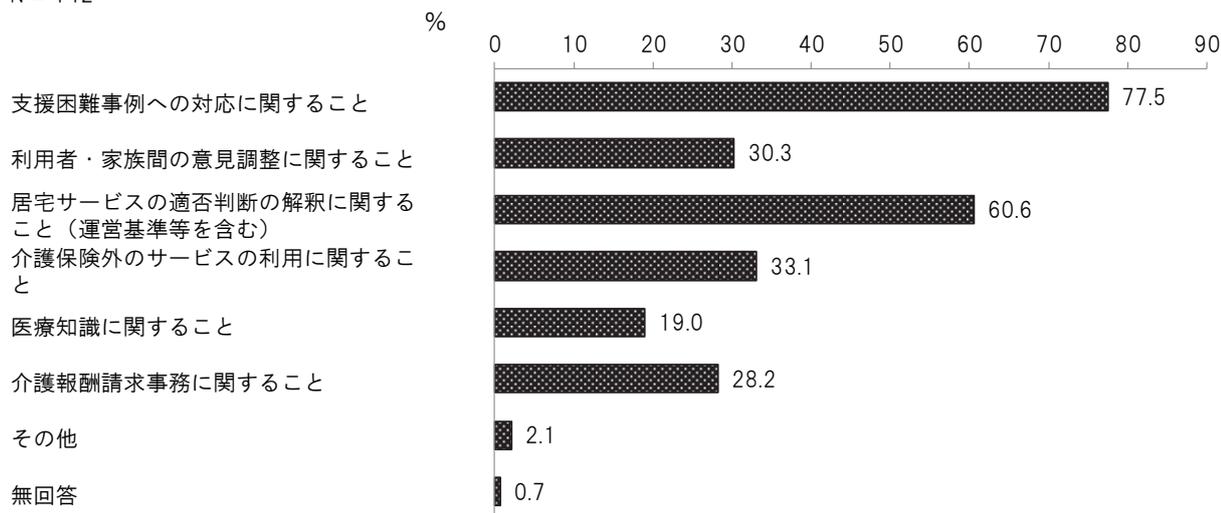
	回答者数	同一法人のケアマネジャー	他法人のケアマネジャー	地域のケアマネジャー連絡会	高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）	区役所介護保険課	区役所高齢者福祉課	東京都	国民健康保険団体連合会	その他	困ったりすることはない	相談できる相手がいない	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
合計	148	79.1	22.3	8.8	54.1	31.8	9.5	0.7	2.0	0.7	1.4	0.7	2.0
従事年数	1年未満	6	83.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	16.7
	1年以上3年未満	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	3年以上5年未満	20	90.0	5.0	10.0	60.0	35.0	15.0	-	-	-	-	-
	5年以上10年未満	36	80.6	22.2	11.1	38.9	36.1	11.1	-	5.6	-	-	-
	10年以上15年未満	52	71.2	21.2	9.6	59.6	38.5	9.6	-	-	1.9	-	3.8
	15年以上	32	81.3	37.5	3.1	62.5	18.8	6.3	3.1	3.1	-	6.3	3.1

問 20-1 【問 20 で、「1」～「9」に回答した方のみにおうかがいします。】どのよ
うなことを相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

相談相手への相談内容は、「支援困難事例への対応に関すること」が 77.5%と最も多く、
「居宅サービスの適否判断の解釈に関すること（運営基準等を含む）」(60.6%)と続いでい
ます。

図表 138 相談内容

N = 142



図表 139 従事年数別の相談内容

従事年数	回答者数	支援困難事例への対応に関すること	利用者・家族間の意見調整に関すること	居宅サービスの適否判断の解釈に関する こと（運営基準等を含む）	と介護保険外のサービスの利用に関するこ	医療知識に関すること	介護報酬請求事務に関すること	その他	無回答	合計 (%)
合計	142	77.5	30.3	60.6	33.1	19.0	28.2	2.1	0.7	(%)
1年未満	5	80.0	40.0	60.0	40.0	40.0	40.0	-	-	
1年以上3年未満	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	
3年以上5年未満	20	80.0	25.0	70.0	30.0	25.0	40.0	5.0	-	
5年以上10年未満	36	75.0	36.1	61.1	30.6	11.1	33.3	2.8	-	
10年以上15年未満	50	78.0	32.0	60.0	36.0	18.0	24.0	-	2.0	
15年以上	29	79.3	20.7	51.7	34.5	24.1	20.7	3.4	-	

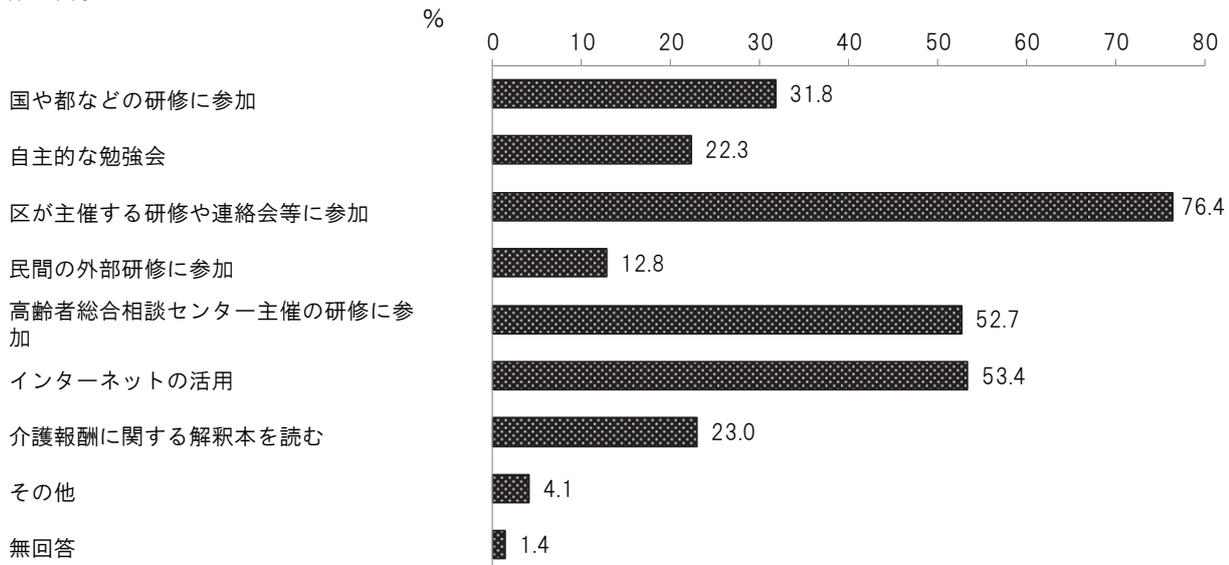
5 質の確保について

問 21 介護保険制度は3年ごとに大きな改正がありますが、改正内容をどのように学んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険制度改正の学習方法については、「区が主催する研修や連絡会等に参加」が76.4%と最も多く、「インターネットの活用」(53.4%)と続いています。

図表 140 介護保険制度改正の学習方法

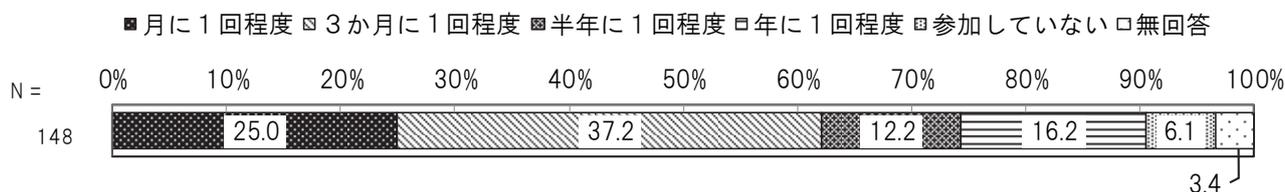
N = 148



問 22 あなたはどれくらいの頻度で研修に参加していますか。（それぞれひとつだけ○）

区主催の研修については、「3か月に1回程度」が37.2%と最も多く、「月に1回程度」が25.0%と続いています。

図表 141 研修の参加頻度（区主催の研修）

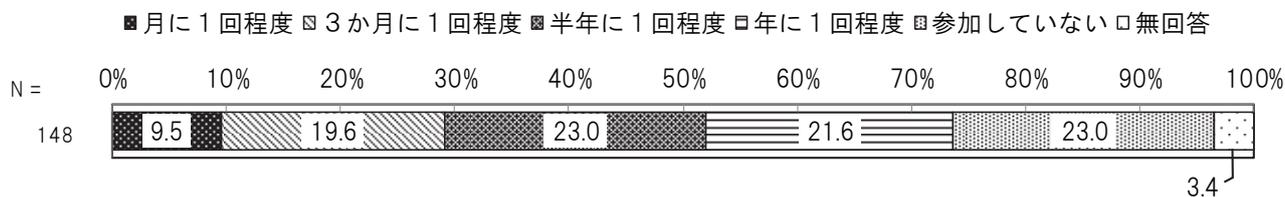


図表 142 従事年数別の研修の参加頻度（区主催の研修）

		回答者数	月に1回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	参加していない	無回答
合 計		148	25.0	37.2	12.2	16.2	6.1	3.4 (%)
従事年数	1年未満	6	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	1年以上3年未満	1	-	100.0	-	-	-	-
	3年以上5年未満	20	30.0	35.0	10.0	15.0	10.0	-
	5年以上10年未満	36	19.4	38.9	22.2	16.7	2.8	-
	10年以上15年未満	52	25.0	34.6	11.5	15.4	7.7	5.8
	15年以上	32	28.1	40.6	6.3	21.9	3.1	-

地域の職能団体（医師会等）が主催する研修については、「半年に1回程度」「参加していない」が23.0%と最も多くなっています。

図表 143 研修の参加頻度（地域の職能団体（医師会等）が主催する研修）

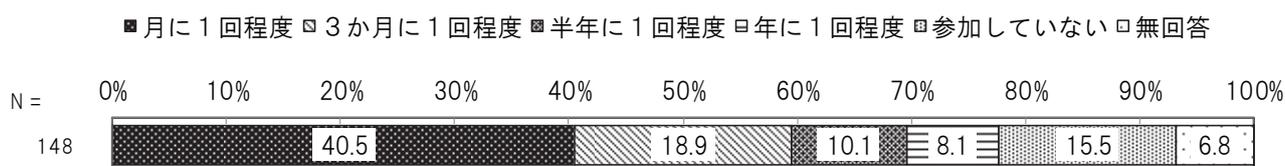


図表 144 従事年数別の研修の参加頻度（地域の職能団体（医師会等）が主催する研修）

		回答者数	月に1回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	参加していない	無回答
合計		148	9.5	19.6	23.0	21.6	23.0	3.4 (%)
従事年数	1年未満	6	16.7	33.3	16.7	-	-	33.3
	1年以上3年未満	1	-	-	-	100.0	-	-
	3年以上5年未満	20	15.0	15.0	15.0	20.0	35.0	-
	5年以上10年未満	36	11.1	25.0	25.0	22.2	13.9	2.8
	10年以上15年未満	52	7.7	17.3	25.0	25.0	25.0	-
	15年以上	32	6.3	18.8	25.0	18.8	25.0	6.3

事業所や同一法人が主催する研修については「月に1回程度」が40.5%と最も多く、「3か月に1回程度」（18.9%）と続いています。

図表 145 研修の参加頻度（事業所や同一法人が主催する研修）



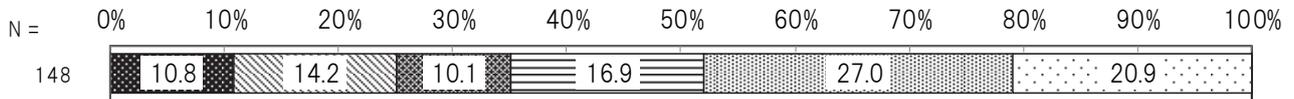
図表 146 従事年数別の研修の参加頻度（事業所や同一法人が主催する研修）

		回答者数	月に1回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	参加していない	無回答
合計		148	40.5	18.9	10.1	8.1	15.5	6.8 (%)
従事年数	1年未満	6	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	1年以上3年未満	1	100.0	-	-	-	-	-
	3年以上5年未満	20	50.0	20.0	5.0	5.0	20.0	-
	5年以上10年未満	36	41.7	19.4	11.1	11.1	11.1	5.6
	10年以上15年未満	52	38.5	19.2	15.4	5.8	15.4	5.8
	15年以上	32	34.4	15.6	6.3	12.5	21.9	9.4

その他の団体が主催する研修については、「参加していない」が27.0%と最も多く、「年に1回程度」(16.9%)と続いています。

図表 147 研修の参加頻度（その他の団体が主催する研修）

■月に1回程度 □3か月に1回程度 ■半年に1回程度 □年に1回程度 □参加していない □無回答



図表 148 従事年数別の研修の参加頻度（その他の団体が主催する研修）

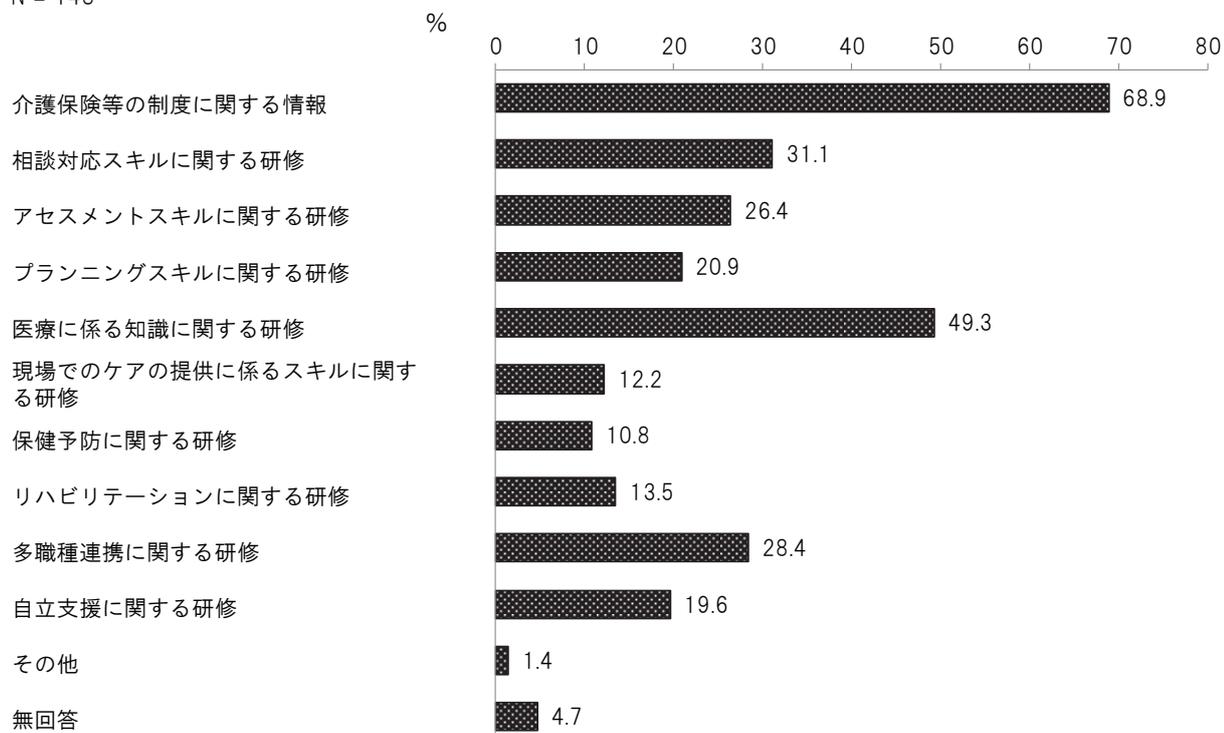
		回答者数	月に1回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	参加していない	無回答
合計		148	10.8	14.2	10.1	16.9	27.0	20.9 (%)
従事年数	1年未満	6	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	1年以上3年未満	1	-	-	-	-	-	100.0
	3年以上5年未満	20	20.0	15.0	-	15.0	30.0	20.0
	5年以上10年未満	36	8.3	11.1	13.9	16.7	30.6	19.4
	10年以上15年未満	52	11.5	19.2	5.8	21.2	25.0	17.3
	15年以上	32	-	6.3	21.9	15.6	31.3	25.0

問 23 あなたがこれまで受けた研修の中で、特に業務に役立った内容は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

業務に役立った研修内容については、「介護保険等の制度に関する情報」が68.9%と最も多く、「医療に係る知識に関する研修」が49.3%と続いています。

図表 149 業務に役立った研修内容

N = 148



図表 150 年齢、従事年数別の業務に役立った研修内容

		回答者数	介護保険等の制度に関する情報	相談対応スキルに関する研修	アセスメントスキルに関する研修	プランニングスキルに関する研修	医療に係る知識に関する研修	現場でのケアの提供に係るスキルに関する研修	保健予防に関する研修	リハビリテーションに関する研修	多職種連携に関する研修	自立支援に関する研修	その他	無回答
合計		148	68.9	31.1	26.4	20.9	49.3	12.2	10.8	13.5	28.4	19.6	1.4	4.7
年齢	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	12	66.7	25.0	25.0	8.3	41.7	8.3	16.7	8.3	33.3	33.3	-	8.3
	40歳代	44	63.6	40.9	25.0	18.2	47.7	6.8	11.4	13.6	31.8	20.5	2.3	2.3
	50歳代	35	68.6	25.7	22.9	28.6	48.6	11.4	11.4	17.1	14.3	11.4	2.9	5.7
	60歳代	39	76.9	30.8	25.6	25.6	46.2	10.3	10.3	10.3	25.6	20.5	-	5.1
	70歳代以上	17	70.6	17.6	35.3	11.8	64.7	29.4	5.9	17.6	52.9	23.5	-	5.9
従事年数	1年未満	6	33.3	16.7	33.3	-	50.0	-	-	16.7	50.0	16.7	-	33.3
	1年以上3年未満	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3年以上5年未満	20	65.0	15.0	20.0	30.0	50.0	5.0	15.0	10.0	35.0	10.0	5.0	5.0
	5年以上10年未満	36	66.7	27.8	22.2	22.2	44.4	13.9	11.1	13.9	33.3	19.4	2.8	-
	10年以上15年未満	52	71.2	40.4	28.8	23.1	63.5	15.4	11.5	13.5	23.1	23.1	-	1.9
	15年以上	32	75.0	31.3	28.1	15.6	34.4	12.5	9.4	15.6	25.0	21.9	-	9.4

(%)

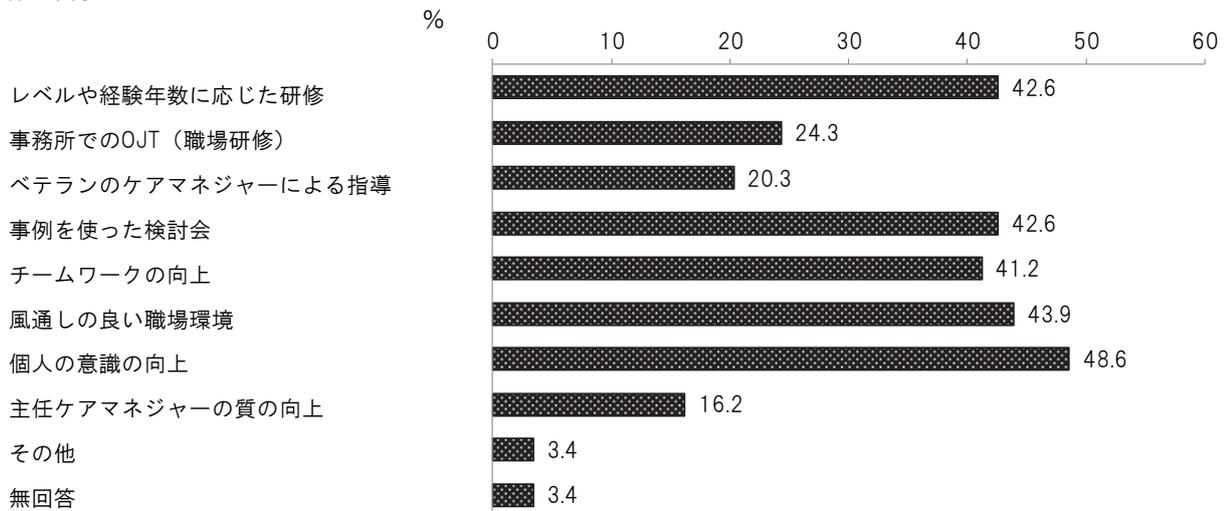
問 24 あなたが、ケアマネジャーの質の向上を図るために必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

ケアマネジャーの質の向上に必要なことについては、「個人の意識の向上」が48.6%と最も多く、「風通しの良い職場環境」が43.9%と続いています。

個人の意識の向上については従事年数による差はありませんが、他の設問については、従事年数が少ないほど必要であると回答する割合が高くなっています。

図表 151 ケアマネジャーの質の向上に必要なこと

N = 148



図表 152 従事年数別のケアマネジャーの質の向上に必要なこと

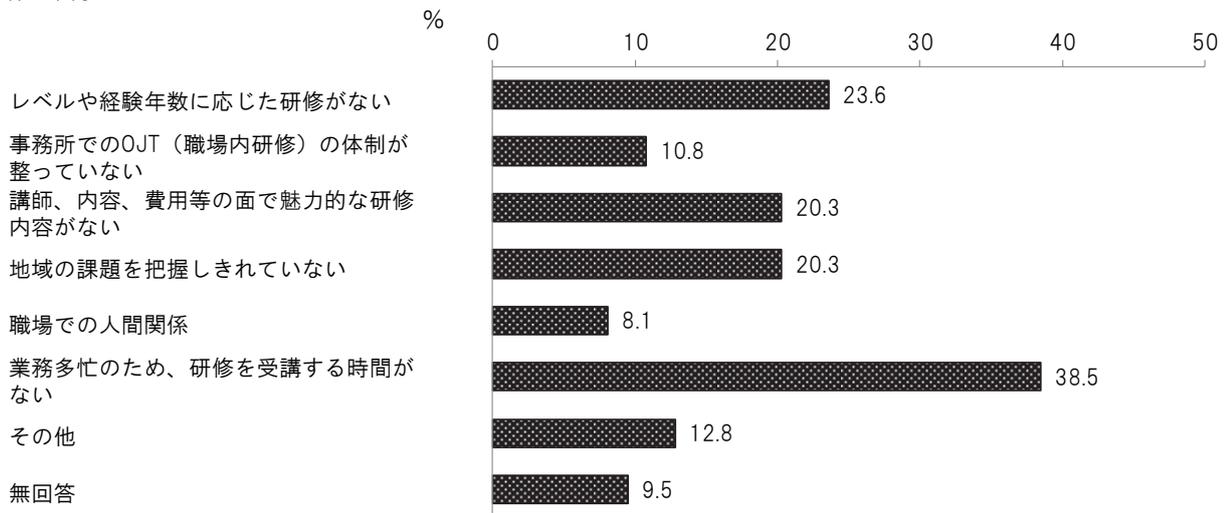
	回答者数	レベルや経験年数に応じた研修	事務所でのOJT (職場研修)	ベテランのケアマネジャーによる指導	事例を使った検討会	チームワークの向上	風通しの良い職場環境	個人の意識の向上	主任ケアマネジャーの質の向上	その他	無回答	
合計	148	42.6	24.3	20.3	42.6	41.2	43.9	48.6	16.2	3.4	3.4	
従事年数	1年未満	6	66.7	66.7	33.3	50.0	66.7	50.0	83.3	16.7	-	16.7
	1年以上3年未満	1	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-
	3年以上5年未満	20	55.0	25.0	45.0	40.0	45.0	50.0	40.0	35.0	-	-
	5年以上10年未満	36	50.0	33.3	22.2	41.7	44.4	50.0	58.3	27.8	-	-
	10年以上15年未満	52	42.3	17.3	15.4	50.0	46.2	42.3	40.4	7.7	1.9	1.9
	15年以上	32	25.0	12.5	6.3	34.4	21.9	31.3	50.0	6.3	9.4	9.4

問 25 あなたの所属する事業所におけるケアマネジャーの質の向上における課題は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

ケアマネジャーの質の向上における課題については、「業務多忙のため、研修を受講する時間がない」が38.5%と最も多く、「レベルや経験年数に応じた研修がない」が23.6%と続いています。

図表 153 ケアマネジャーの質の向上における課題

N = 148



図表 154 従事年数別のケアマネジャーの質の向上における課題

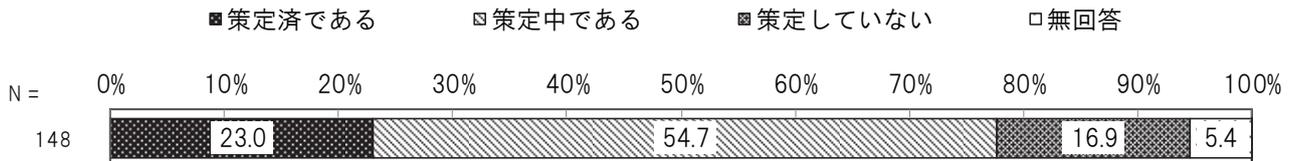
	回答者数	レベルや経験年数に応じた研修がない	整っていないOJT（職場内研修）の体制が	講師、内容、費用等の面で魅力的な研修内容がない	地域の課題を把握しきれていない	職場での人間関係	業務多忙のため、研修を受講する時間がない	その他	無回答	
合計	148	23.6	10.8	20.3	20.3	8.1	38.5	12.8	9.5 (%)	
従事年数	1年未満	6	-	-	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	
	1年以上3年未満	1	-	100.0	-	-	-	-	-	
	3年以上5年未満	20	35.0	20.0	15.0	15.0	10.0	45.0	15.0	5.0
	5年以上10年未満	36	41.7	11.1	33.3	22.2	11.1	47.2	5.6	8.3
	10年以上15年未満	52	15.4	7.7	19.2	25.0	3.8	36.5	17.3	7.7
15年以上	32	15.6	12.5	9.4	15.6	9.4	34.4	9.4	15.6	

6 災害時の対応について

問 26 国は、省令により、2024 年までに BCP（事業継続計画）の策定を義務づけています。あなたの所属する事業所では BCP を策定されていますか。（ひとつだけ○）

事業所における BCP の策定状況については、「策定中である」が 54.7%と最も多く、「策定済である」（23.0%）と続いています。

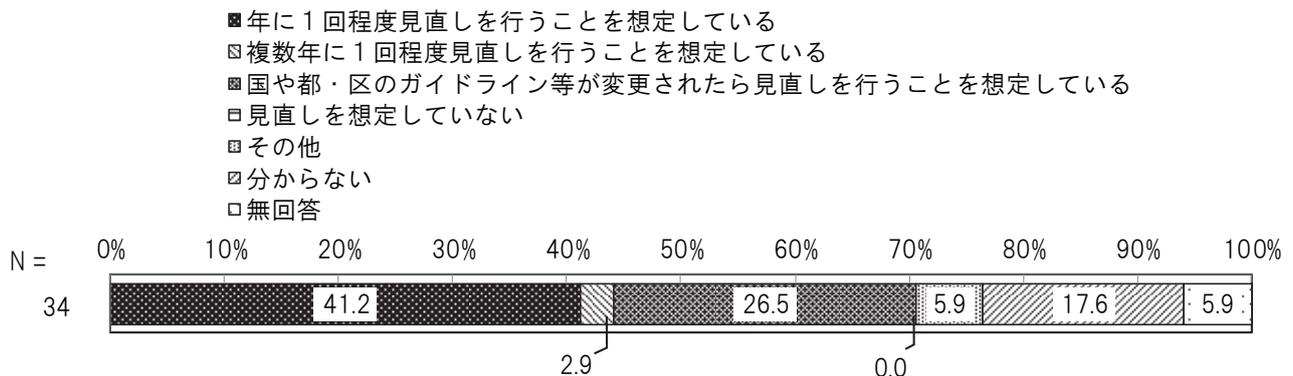
図表 155 事業所における BCP の策定状況



問 26-1 【問 26 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画の見直しはどのように想定されていますか。（ひとつだけ○）

BCP を「策定済である」と回答した方のうち、計画の見直しの想定については、「年に 1 回程度見直しを行うことを想定している」が 41.2%と最も多く、「国や都・区のガイドライン等が変更されたら見直しを行うことを想定している」（26.5%）と続いています。

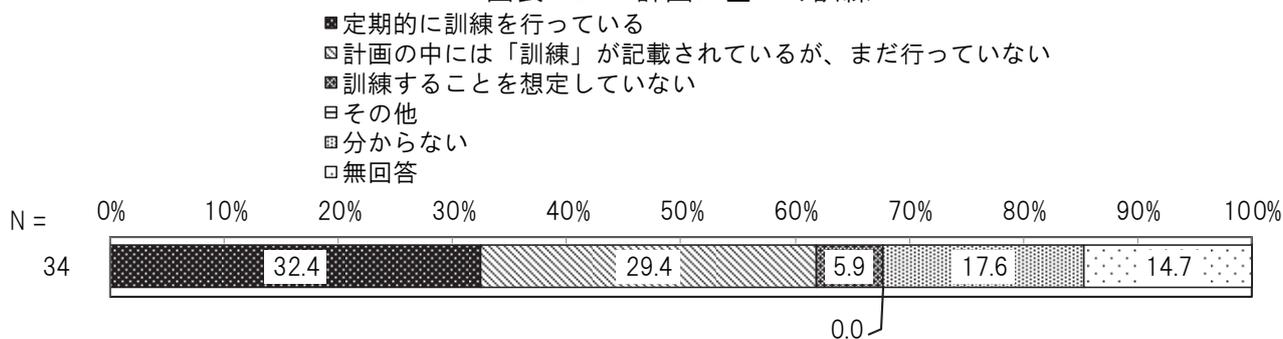
図表 156 計画の見直しの想定



問 26-2 【問 26 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画に基づく訓練は行われていますか。（ひとつだけ○）

BCPを「策定済である」と回答した方のうち、計画に基づく訓練については、「定期的に訓練を行っている」が32.4%と最も多く、「計画の中には「訓練」が記載されているが、まだ行っていない」（29.4%）と続いています。

図表 157 計画に基づく訓練

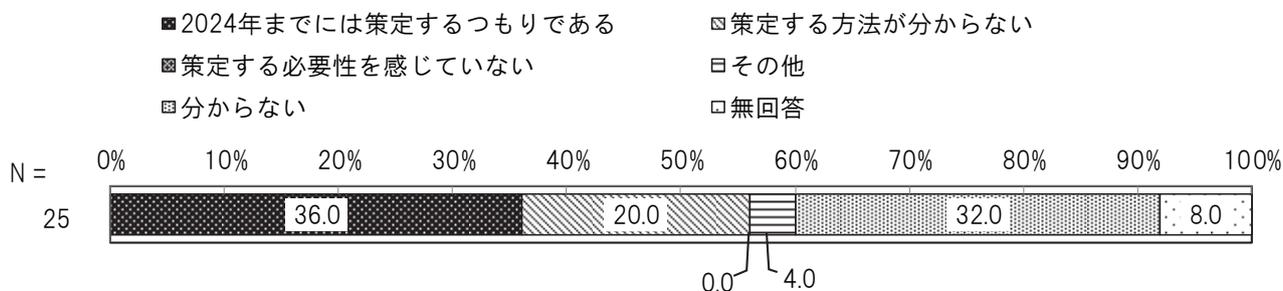


問 26-3 【問 26 で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】策定していない理由は何ですか。（ひとつだけ○）

BCPを策定していない理由については、「2024年までには策定するつもりである」が36.0%と最も多く、「分からない」が32.0%と続いています。

「策定する必要性を感じていない」事業所はありませんでした。

図表 158 事業所におけるBCPを策定しない理由

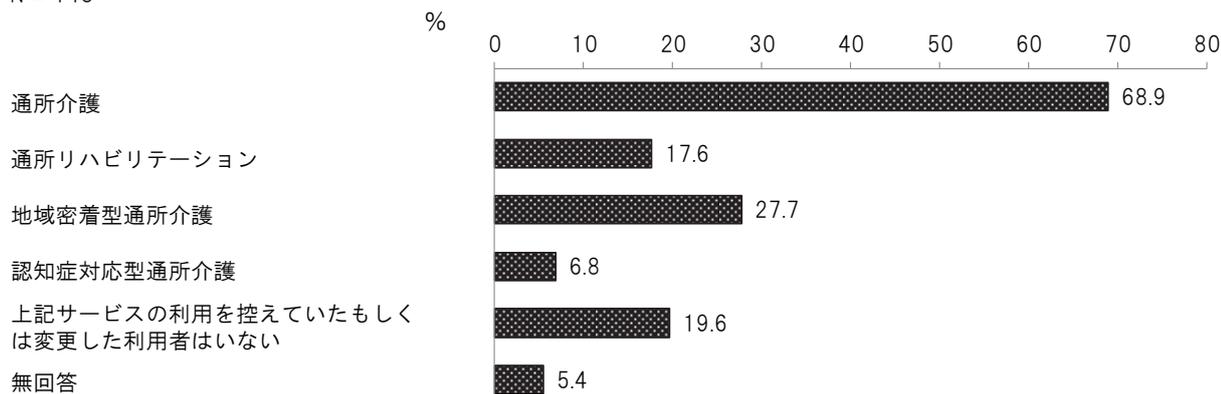


問 27 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、下記のサービスの利用を控えていたもしくは変更をした利用者はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、サービスの利用を控えていたもしくは変更をした利用者については、「通所介護」が68.9%と最も多く、「地域密着型通所介護」(27.7%)と続いています。

図表 159 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、サービスの利用を控えていたもしくは変更をした利用者

N = 148



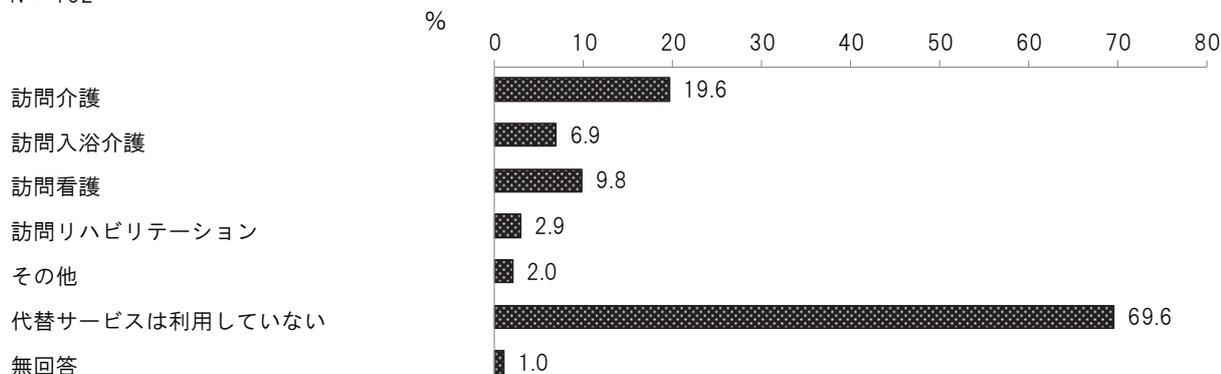
問 27-1 【問 27 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】代替サービスとして利用したサービスがあればお答えください。（あてはまるものすべてに○）

通所介護の代替サービスとして利用したサービスについては、「代替サービスは利用していない」が69.6%と最も多くなっています。

代替サービスとして最も利用したサービスは、「訪問介護」が19.6%です。

図表 160 通所介護の代替サービスとして利用したサービス

N = 102

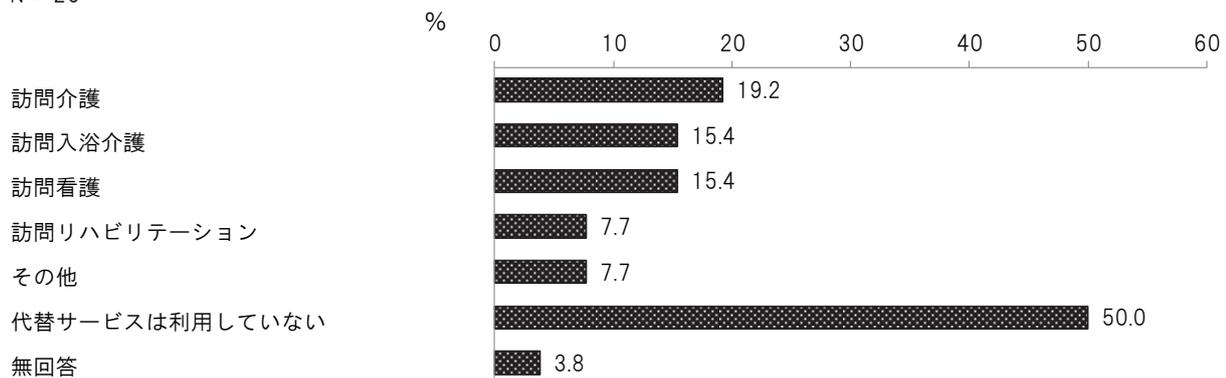


問 27-2 【問 27 で、「2」に回答した方のみにおうかがいします。】代替サービスとして利用したサービスがあればお答えください。（あてはまるものすべてに○）

通所リハビリテーションの代替サービスとして利用したサービスについては、「代替サービスは利用していない」が 50.0%と最も多くなっています。
 代替サービスとして最も利用したサービスは、「訪問介護」が 19.2%です。

図表 161 通所リハビリテーションの代替サービスとして利用したサービス

N = 26

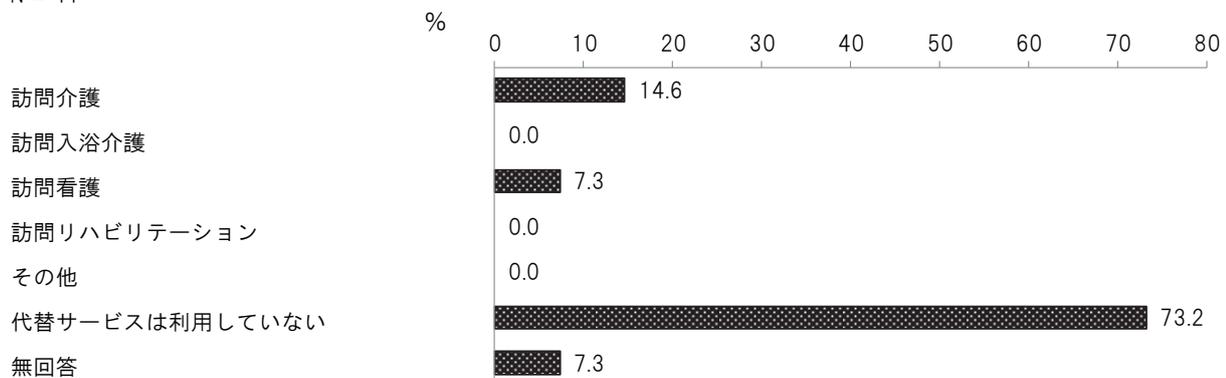


問 27-3 【問 27 で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】代替サービスとして利用したサービスがあればお答えください。（あてはまるものすべてに○）

地域密着型通所介護の代替サービスとして利用したサービスについては、「代替サービスは利用していない」が 73.2%と最も多くなっています。
 代替サービスとして最も利用したサービスは、「訪問介護」が 14.6%です。

図表 162 地域密着型通所介護の代替サービスとして利用したサービス

N = 41



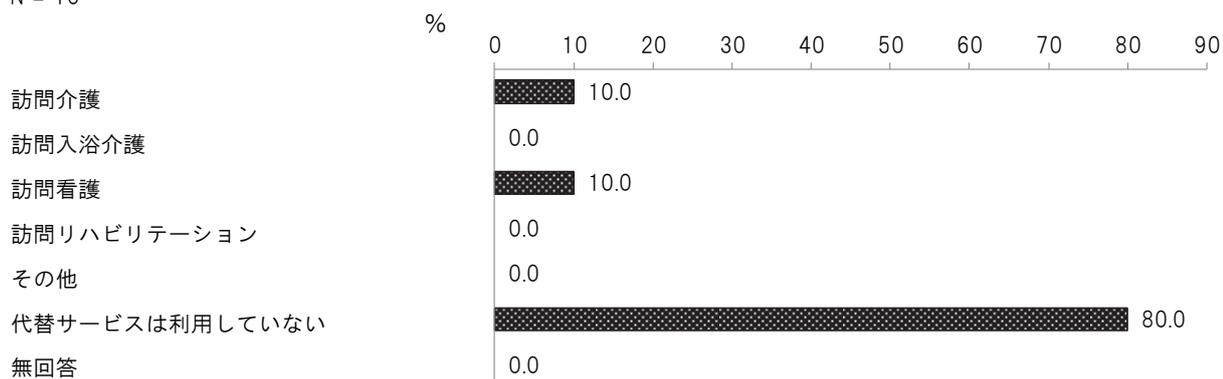
問 27-4 【問 27 で、「4」に回答した方のみにおうかがいします。】代替サービスとして利用したサービスがあればお答えください。（あてはまるものすべてに○）

認知症対応型通所介護の代替サービスとして利用したサービスについては、「代替サービスは利用していない」が 80.0%と最も多くなっています。

代替サービスとして最も利用したサービスは、「訪問介護」（10.0%）、「訪問看護」（10.0%）です。

図表 163 認知症対応型通所介護の代替サービスとして利用したサービス

N = 10



問 28 あなたが担当している利用者が、新型コロナウイルス感染症に罹患した、または濃厚接触者に該当した期間に作成したケアプランの件数をお答えください。（数値を記入）

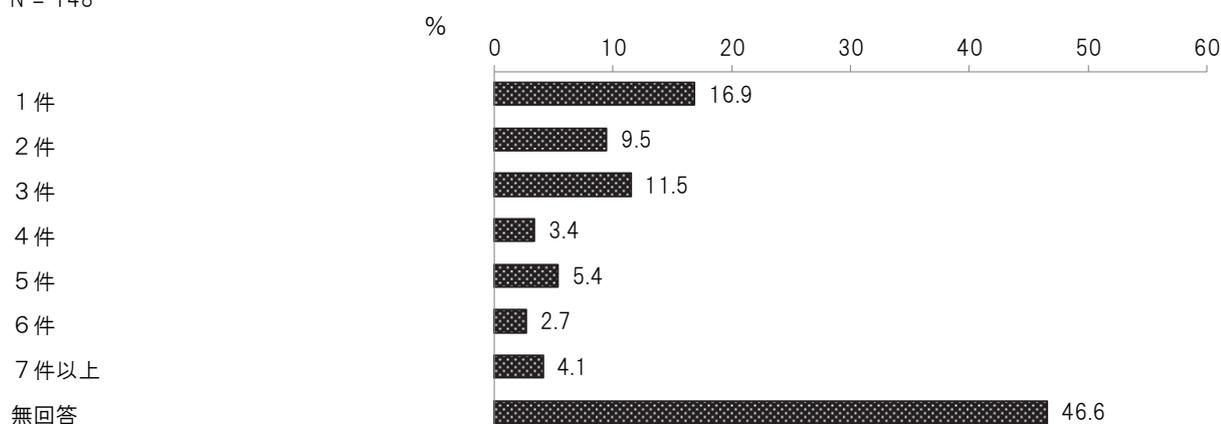
利用者が新型コロナウイルス感染症に罹患した、または濃厚接触者となった場合の影響について、該当した期間中に、訪問系サービスの提供が受けられなかったことによりケアプランの変更が必要になった割合は18.5%、利用者が希望したにもかかわらず代替のサービスが手配できなかった割合は14.6%と、サービスの利用に影響が出ている利用者が一定数あることが分かります。

図表 164 新型コロナウイルス感染症によりケアプランの変更、およびサービスが受けられなかった割合

	件数	割合
利用者が新型コロナウイルス感染症に罹患した、または濃厚接触者に該当した期間に作成したケアプランの件数	287	
サービス提供が受けられなかったことによりケアプランの変更が必要になった件数	53	18.5%
利用者が希望したにもかかわらず代替のサービスが手配できなかった件数	42	14.6%

図表 165 新型コロナウイルス感染症に罹患したもしくは濃厚接触者に該当した期間におけるケアプランの件数

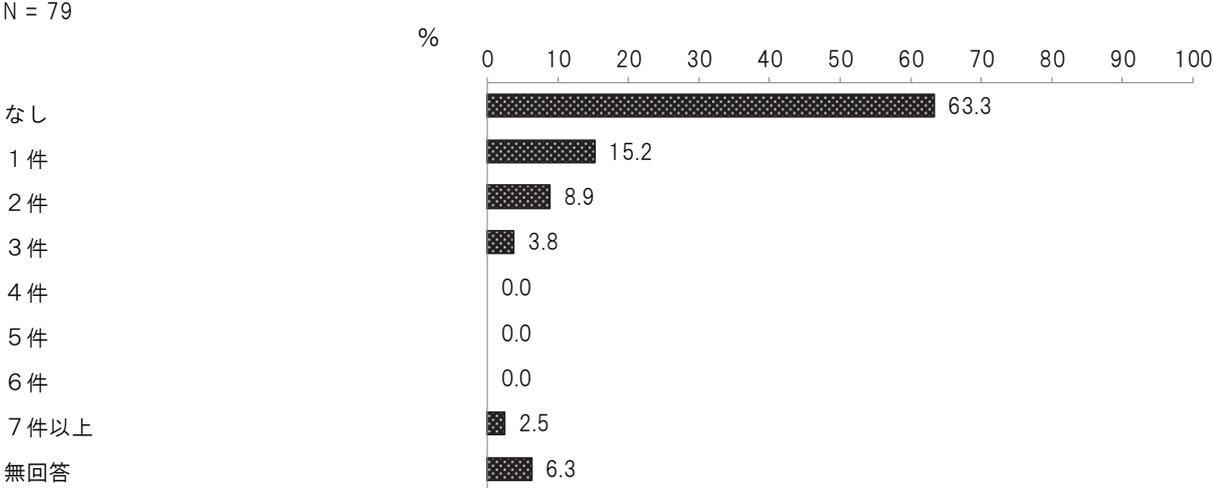
N = 148



問 28-1 【問 28 で、回答が 1 件以上あった方のみにおうかがいします。】問 28 のうち、訪問系のサービス提供事業所からサービスの提供を受けられなかったことにより、ケアプランの変更が必要となった件数をお答えください。（数値を記入）

訪問系のサービス提供事業所からサービスの提供を受けられなかったことにより、ケアプランの変更が必要となった件数については、「なし」が 63.3%と最も多くなっています。

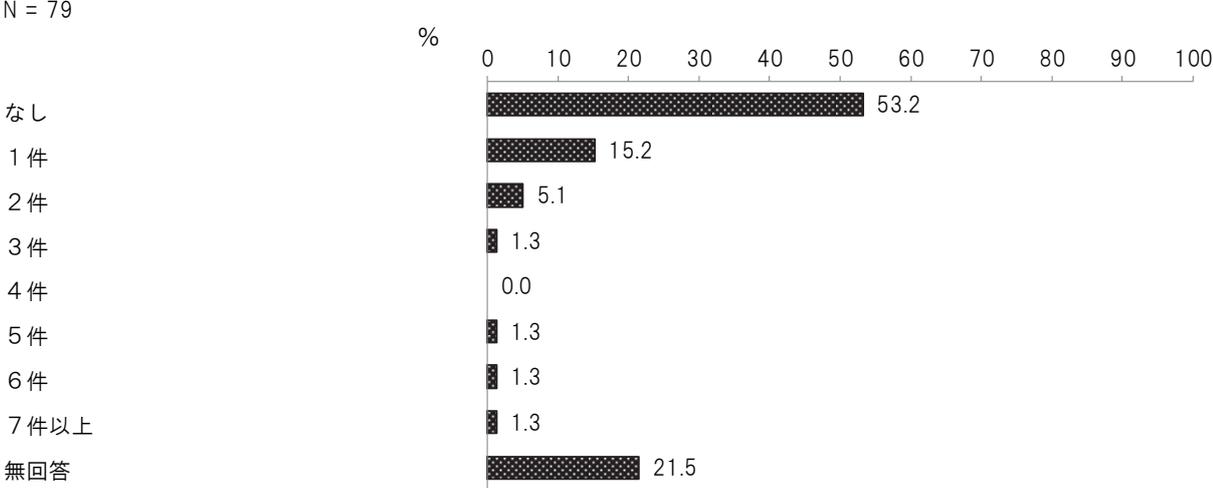
図表 166 訪問系のサービス提供事業所からサービスの提供を受けられなかったことにより、ケアプランの変更が必要となった件数



問 28-2 【問 28 で、回答が 1 件以上あった方のみにおうかがいします。】問 28 のうち、利用者が希望したにも関わらず代替のサービスが手配できなかった件数をお答えください。（数値を記入）

利用者が希望したにも関わらず代替のサービスが手配できなかった件数については、「なし」が 53.2%と最も多くなっています。

図表 167 利用者が希望したにも関わらず代替のサービスが手配できなかった件数



問 29 新型コロナウイルス感染拡大対策の現状や、今後の大規模災害が発生した場合の取り組みに関して、課題等があればご自由にお書きください。

図表 168 新型コロナウイルス感染拡大対策の現状

観点	主な回答内容
利用者・家族への負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人や家族がコロナに感染した時にサービスが利用できず、体調不良の家族が本人の介護をすることになり、申し訳なく思った。 ・ コロナにり患した利用者へは、ケアマネジャーも訪問できないし、他事業所にサービス依頼することも難しい。
ケアマネジャーへの負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染が疑われた場合の受診をケアマネジャーに要求されたことがあった。訪問診療が入っていないので誰が病院に連れていくのかと言われた。 ・ 自宅で看れないからデイサービスやショートステイ、ヘルパーを使っているのに、断られた。認知症日中独居の高齢者はケアマネジャーが行くしかない。 ・ 独居で身寄りがなかったり、居ても遠方であったりする場合や、独居で認知症のある方の感染の場合など対応が大変。コロナ陽性と判ったらすぐに対応できるようにマニュアルを整備すべき。 ・ 利用している訪問介護事業所でり患してしまったヘルパーがいて、業務に支障が出ていたため、今後も人員不足などでサービスが提供できなくなった場合のプラン変更が不安。 ・ デイサービスで濃厚接触者になったかもと連絡があってもケアマネジャーの訪問日程を変えてもらえず、自分も感染するかもしれない思いながらのコロナ禍だった。また、退院後の調整から、コロナ陽性判明など…支援は止められず、命がけです。
感染防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで行ってきたうがい、手洗いを今後も続けて行く。 ・ 防護服の着用の仕方、誰がどこまで対応するか(特に認知症の独居の方など)を日頃から話し合っておく必要がある。抗体検査や、医療や保健所とのやり取りなどマニュアルも必要。今後のことを見据えて入院できる施設や病院など情報を収集しておく、など。 ・ 感染防護服等の設置。除菌剤の保管。個室(別室)対応。
サービス提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 迅速な検査が必要。結果が分からないとすぐにサービスが入れない。 ・ コロナにり患した利用者に対してサービスが入ることができない場合に、緊急で利用可能な施設や病院を拡充してほしい。 ・ コロナにり患した利用者の再開時の対応が各事業所により微妙に違って、ケアマネジャー、家族もとまどった。豊島区としてのルールを明確にするべき。 ・ 多数の高齢者をサポートし続けなければならない介護事業所が感染者宅を訪問する事はリスクが高く難しいが、そのケースに合わせて特別チームなど組む人員もいない。自身の家族を気にせず働ける環境の方などが必要。
今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所全員が感染した際、どう対応するか。 ・ 通所型サービスで感染者が出ると、訪問型サービスやケアマネジャーにまで拡大するので、情報は迅速に公表してほしい。 ・ 救急搬送された場合に、受け入れる病院が見つかるまで時間がかかる状況は改善すべき。 ・ 独居で身寄りのない方、命の危険がある方は保健所の方でも極力優先してほしい。 ・ PPEの脱着や感染防止の対策研修や実施した時の報酬など区として検討してほしい。 ・ 濃厚接触の定義が転々とするので、保健所に都度状況説明し判断と対応を仰いでいる。毎週事業者から抗原検査を受けるよう指示があり行っている。

図表 169 大規模災害が発生した場合の取り組みの課題

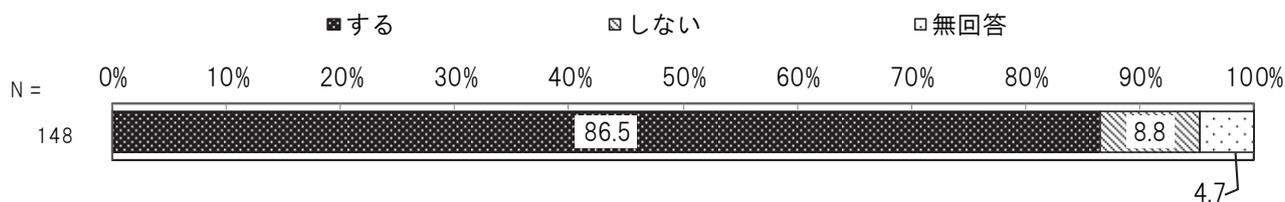
観点	主な回答内容
安否確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジャーが安否確認すると聞いているがそこまでの責任はあるのか?自衛隊や消防に任せざるべきではないか? ・ 東日本大震災(2011)のときも一人暮らしで外出困難の方を廻った。ケアマネジャーとかヘルパーの業務でなく行政の業務なのでは。 ・ 独居や高齢世帯の情報不足の解消が課題だが、それをすべてケアマネジャーにゆだねられても限界がある。公的な力だけでなく、近隣の力も借りていかないと対応できない。仕組みづくりが必要。 ・ 大規模災害が発生した場合、優先的に安否確認が必要な方については特に日頃からのサービス事業所との連携が大切と考え支援にあたっている。
災害時の懸念事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人暮らしや高齢夫婦の方をどのように支援していけば良いのか? ・ 事業所のケアマネジャー全員が対応できない状態、状況になったとき、ご利用者等の対応やプラン作成をどうするのだろうかと思う。 ・ ケアマネジャー・事業所にどのくらいの責任がかかるのか、業務量の増加になるのかが不明。 ・ 自身の安全を確保しながら、何が出来るのか。 ・ 大規模災害が起きた場合の避難場所や電話をケアプランに記載した方がいいか?
BCP・マニュアル整備への課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の仕事、業務が忙しく具体的に組み立てていない。 ・ 単独事業所向きの「ひな形」が欲しい。 ・ 非常食の設置。ヘルメット等の設置。 ・ 前回の震災時は、徹底していなかったため、同じ利用者の安否確認ではち合わせしたり、効率が悪かった。組織作りと緊急時の連絡方法を明確化する必要がある。 ・ 利用者と動ける職員の情報の総合とマッチング方法。 ・ 大規模災害発生時への対応。通信手段、生活インフラが停止した場合の対応。紙ベースで利用者情報を保管(定期的な更新)。 ・ 水などの備蓄に、備える余裕がない。(時間的、経済的)。 ・ 災害発生時の避難経路、避難先、歩行困難者の移動方法。 ・ 小人数の事業所のため、BCPでできることが少ない。他事業所との連携が必要だと感じている。
区内の体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区は、東日本大震災の時の対応について、現場の意見や体験をもっと聞いて欲しい。 ・ 大規模災害が発生した場合の取り組みに関しての政策は、住民や介護サービス提供者の意見を反映されたものではないと感じている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に避難することを、職場の中で常に声掛け合っていく。

7 今後の動向について

問 30 あなたは次回のケアマネジャーの資格更新をしますか。(ひとつだけ○)

ケアマネジャーの資格更新への意向については、「する」が86.5%となっています。

図表 170 ケアマネジャーの資格更新への意向



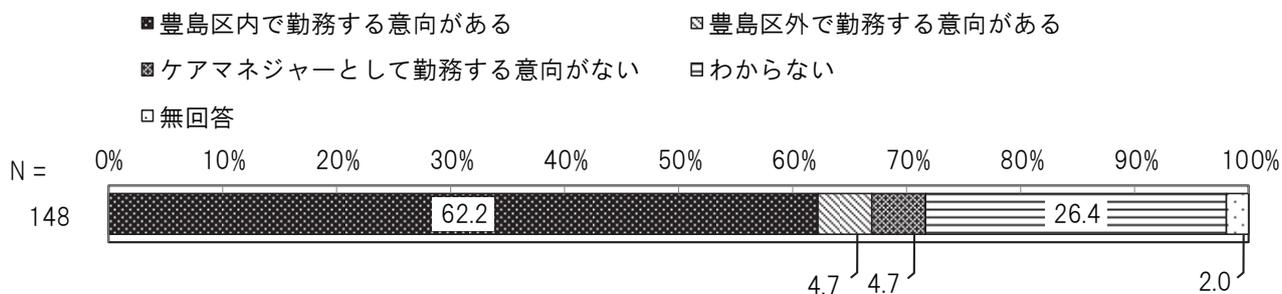
図表 171 年齢別のケアマネジャーの資格更新への意向

		回答者数	する	しない	無回答
合計		148	86.5	8.8	4.7 (%)
年齢	20歳代	-	-	-	-
	30歳代	12	75.0	8.3	16.7
	40歳代	44	97.7	-	2.3
	50歳代	35	91.4	5.7	2.9
	60歳代	39	87.2	12.8	-
	70歳代以上	17	52.9	29.4	17.6

問 31 あなたは、今後も豊島区内でケアマネジャーとして働き続ける意向がありますか。（ひとつだけ○）

ケアマネジャーとしての就労意向については、「豊島区内で勤務する意向がある」が62.2%と最も多く、「分からない」(26.4%)と続いています。

図表 172 ケアマネジャーとしての就労意向



図表 173 年齢別のケアマネジャーとしての就労意向

	回答者数	豊島区内で勤務する意向がある	豊島区外で勤務する意向がある	ケアマネジャーとして勤務する意向がない	わからない	無回答	
合計	148	62.2	4.7	4.7	26.4	2.0 (%)	
年齢	20歳代	-	-	-	-	-	
	30歳代	12	50.0	-	25.0	16.7	8.3
	40歳代	44	59.1	6.8	-	31.8	2.3
	50歳代	35	65.7	5.7	5.7	22.9	-
	60歳代	39	64.1	2.6	2.6	30.8	-
	70歳代以上	17	64.7	5.9	5.9	17.6	5.9

★最後に、今後の介護サービス基盤や地域包括ケアシステムの構築についてご意見やご要望がございましたらご自由にお書きください。

観点	主な回答内容
人材不足	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職の人手不足が深刻。リボンサービスも人手を増やして欲しい。
ケアマネジャーの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・書類ありきで評価されるため、きちんと日々関わり、相談に応じ対応していることに対する評価が行われない。訪問もせず記録(書類)作成ばかり行なっているケアマネジャーもいる。 ・自分が医療従事者であるため、介護系ケアマネジャーのアセスメント能力の不足により、適切なサービス利用の提案ができていないことが気になる。無駄な費用が生じている。 ・ケアマネの質の向上として、管理的になるよりも寄り添った指導や書類、QAなどお願いしたい。皆、豊島区は他区より厳しいと言っている。
業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険証を探すのがとても手間になるケースがあるので、介護保険証を目視で確認しないと要介護度が分からないというルールを変えて欲しい。照合システムの様なもので利用者の介護保険証を閲覧出来る様にして欲しい。 ・申請等、早急なデジタル化を希望。 ・実態把握を日頃から実施出来るシステム作りをお願いしたい。ケアマネジャーとしては事務負担が増えている。出来るだけ負担軽減に向けての支援を考えていただきたい。 ・介護制度が複雑になり過ぎている。監査に厳しくなり研修の量も増えている。効率を第一に考えるべき。ケアマネジャーは最初に関わるだけで利用者本人達でサービスを利用していくようにすれば効率的。 ・他区の方が連携、書類の簡素化されている。業務を減らしてほしい。
業務負荷	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人や家族の困りごとはいろいろあり、利用できるサービスでまかなえないことがある。身寄りのいない方等は介護保険以外の手続等を支援することも多く、それに時間をとられる。 ・"要介護高齢者の安否確認等に関する協定"など何でもかんでもケアマネジャーに依頼されるのは困る。介護保険以外のことでも対応が困難なことは、"ケアマネジャーにきいて"という風潮がある。区でシステムの構築を検討して欲しい。 ・仕事量が多すぎて、休みもなく働いている状況。疲れている。 ・要支援のプラン作成等が大きな負担となっています。見直しをして頂き、広く支援させて頂けるようになると良い。
サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援、要介護者の住宅問題。特別に入居できるアパートを作って頂きたい。 ・区によってサービスが違い、受けられる受けられないと差があることに疑問がある。
制度の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援の方の通院同行や救急車対応など、報酬をつけて頂きたい。 ・兼務だと主任ケアマネジャーがとれない制度の是正を求める。

観点	主な回答内容
行政とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・区に相談する時に敷居が高く、緊張してしまう。 ・他区に比べて行政が介護事業者の話を聞いてくれないという印象がある。行政側ももっと柔軟に色々なこと(主にコロナ)に耳を傾け対応していただきたい。 ・「豊島区ルール」は、厚労省が出している法令・通達・解釈とやや乖離しているように感じる。区としてケアマネジャーをはじめとした介護事業所を育てようという方針は感じるが、現場の意見もなくやや独善的に感じる。職能団体を中心とした現場との意見交換充実するべき。 ・豊島区も、新宿区のようにきめ細やかで柔軟な対応をしていただけると良い。選択的介護にあんなに力を入れていたのにこのところ、ほぼ区からの紹介がない。
地域包括ケアシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者、介護関係者、障害、高齢者及び家族、区、町の関係者以外の方にも地域包括ケアシステムが構築できるよう広くPRするべき。 ・連携を取りやすい地域なので引き続き、顔の見える関係を築いていきたい。 ・今の包括は何から何まで守備範囲が広い割に全体をまとめる専門がない、もしくは他の業務に追われてしまっているよう思える。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・住民や介護サービス提供者を置き去りにして、行政側の優等生的な政策になっていると感じる。柔軟性を持ち、住民や介護サービス提供者の声を聞いてほしい。 ・研修もアンケートも短めにしてほしい。 ・コロナ対策として、ヘルパー会社などに特別な報酬をあてて頂きたい。

第4章 介護サービス事業所調査

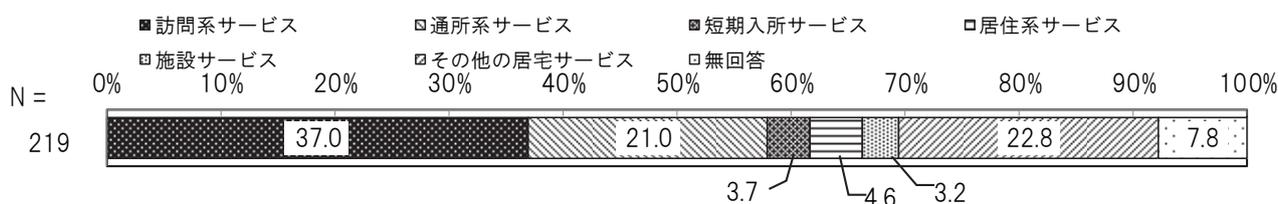
1 事業所の概要について

問1 貴事業所で取り扱っているサービスの種類を選択してください。（調査票はサービス種別ごとに記入するため、ひとつだけ○）

図表 174 サービス種別

	回答者数	割合 (%)
全体	219	100.0 (%)
訪問介護	36	16.4
訪問入浴介護	2	0.9
訪問看護	27	12.3
訪問リハビリテーション	5	2.3
通所介護	16	7.3
通所リハビリテーション	4	1.8
短期入所生活介護	6	2.7
短期入所療養介護	2	0.9
福祉用具貸与	8	3.7
夜間対応型訪問介護	1	0.5
認知症対応型通所介護	4	1.8
地域密着型通所介護	22	10.0
小規模多機能型居宅介護	2	0.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0.9
認知症対応型共同生活介護	8	3.7
特定施設入居者生活介護	2	0.9
介護老人福祉施設	5	2.3
介護老人保健施設	1	0.5
介護療養型医療施設	1	0.5
居宅介護支援	48	21.9
無回答	17	7.8

図表 175 サービス類型



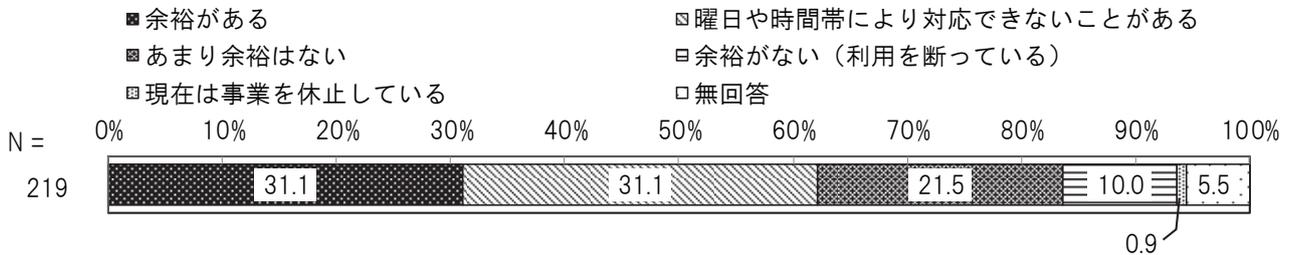
図表 176 サービス類型

	回答者数	割合 (%)
無回答	219	100.0 (%)
訪問系サービス	81	37.0
通所系サービス	46	21.0
短期入所サービス	8	3.7
居住系サービス	10	4.6
施設サービス	7	3.2
その他の居宅サービス	50	22.8
無回答	17	7.8

問3 貴事業所の、利用申込者の受け入れ状況についてお答えください。（ひとつだけ○）

利用申込者の受け入れ状況については、「余裕がある」「曜日や時間帯により対応できないことがある」が31.1%と最も多くなっています。

図表 177 利用申込者の受け入れ状況



図表 178 サービス種別、サービス類型別の利用申込者の受け入れ状況

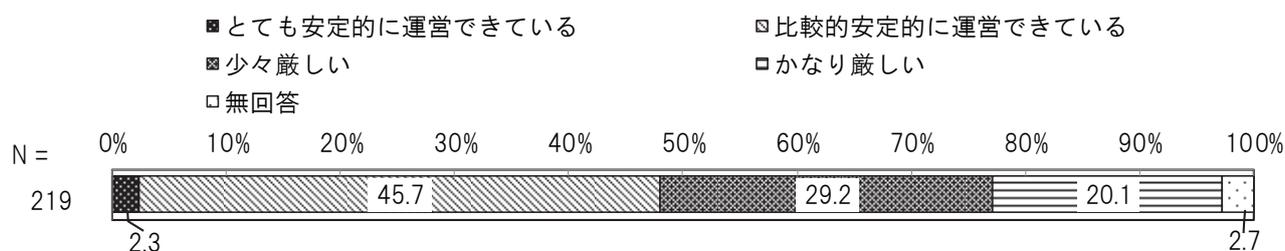
		全体数	余裕がある	曜日や時間帯により対応できないことがある	あまり余裕はない	余裕がない (利用を断っている)	現在は事業を休止している	無回答
全体		219	31.1	31.1	21.5	10.0	0.9	5.5 (%)
サービス種別	訪問介護	36	5.6	69.4	13.9	2.8	-	8.3
	訪問入浴介護	2	50.0	-	-	-	-	50.0
	訪問看護	27	44.4	37.0	14.8	-	-	3.7
	訪問リハビリテーション	5	-	60.0	20.0	20.0	-	-
	通所介護	16	56.3	18.8	12.5	6.3	-	6.3
	通所リハビリテーション	4	-	75.0	-	25.0	-	-
	短期入所生活介護	6	66.7	33.3	-	-	-	-
	短期入所療養介護	2	50.0	-	50.0	-	-	-
	福祉用具貸与	8	75.0	-	12.5	-	12.5	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	100.0	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	4	75.0	25.0	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	22	27.3	68.2	4.5	-	-	-
	小規模多機能型居宅介護	2	50.0	50.0	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-	50.0	50.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	8	25.0	12.5	25.0	37.5	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	-	-	-	-	-
介護老人福祉施設	5	80.0	-	-	-	-	20.0	
介護老人保健施設	1	100.0	-	-	-	-	-	
介護療養型医療施設	1	-	-	100.0	-	-	-	
居宅介護支援	48	18.8	2.1	50.0	25.0	2.1	2.1	
サービス類型	訪問系サービス	81	25.9	49.4	14.8	2.5	1.2	6.2
	通所系サービス	46	39.1	47.8	6.5	4.3	-	2.2
	短期入所サービス	8	62.5	25.0	12.5	-	-	-
	居住系サービス	10	40.0	10.0	20.0	30.0	-	-
	施設サービス	7	71.4	-	14.3	-	-	14.3
	その他の居宅サービス	50	20.0	4.0	48.0	24.0	2.0	2.0

問4 貴事業所の、経営状況についてお答えください。(ひとつだけ○)

経営状況については、「比較的安定的に運営できている」が45.7%と最も多く、「少々厳しい」(29.2%)と続いています。

「かなり厳しい」についてサービス種別的にみると、「短期入所生活介護」(66.7%)、「介護老人福祉施設」(60.0%)、「認知症対応型通所介護」(50.0%)、「小規模多機能型居宅介護」(50.0%)、「特定施設入居者生活介護」(50.0%)などが高い割合となっています。

図表 179 経営状況



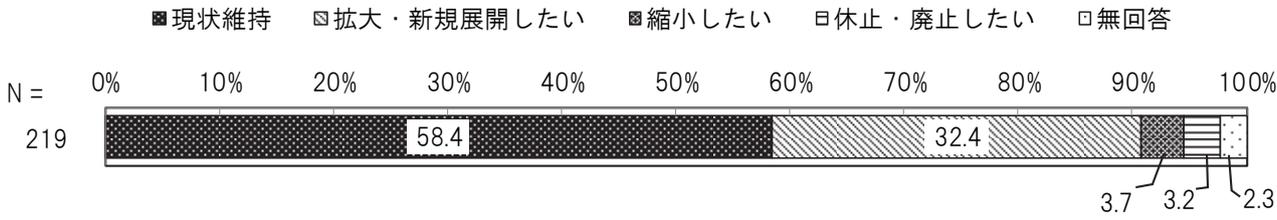
図表 180 サービス種別、サービス類型別の経営状況

	全体数	とても安定的に運営できている	比較的安定的に運営できている	少々厳しい	かなり厳しい	無回答
全体	219	2.3	45.7	29.2	20.1	2.7
サービス種別						
訪問介護	36	-	47.2	44.4	8.3	-
訪問入浴介護	2	50.0	-	50.0	-	-
訪問看護	27	7.4	63.0	25.9	3.7	-
訪問リハビリテーション	5	-	100.0	-	-	-
通所介護	16	-	18.8	31.3	43.8	6.3
通所リハビリテーション	4	-	50.0	25.0	25.0	-
短期入所生活介護	6	-	16.7	16.7	66.7	-
短期入所療養介護	2	-	50.0	50.0	-	-
福祉用具貸与	8	-	62.5	25.0	12.5	-
夜間対応型訪問介護	1	-	100.0	-	-	-
認知症対応型通所介護	4	-	50.0	-	50.0	-
地域密着型通所介護	22	-	54.5	22.7	22.7	-
小規模多機能型居宅介護	2	-	-	50.0	50.0	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-	100.0	-	-	-
認知症対応型共同生活介護	8	-	25.0	37.5	37.5	-
特定施設入居者生活介護	2	-	50.0	-	50.0	-
介護老人福祉施設	5	-	20.0	20.0	60.0	-
介護老人保健施設	1	-	100.0	-	-	-
介護療養型医療施設	1	-	-	100.0	-	-
居宅介護支援	48	4.2	41.7	33.3	16.7	4.2
サービス類型						
訪問系サービス	81	3.7	58.0	32.1	6.2	-
通所系サービス	46	-	41.3	23.9	32.6	2.2
短期入所サービス	8	-	25.0	25.0	50.0	-
居住系サービス	10	-	30.0	30.0	40.0	-
施設サービス	7	-	28.6	28.6	42.9	-
その他の居宅サービス	50	4.0	40.0	34.0	18.0	4.0

問5 貴事業所の、今後4年間における事業展開の意向についてお答えください。（ひとつだけ○）

事業展開の意向については、「現状維持」が58.4%と最も多く、「拡大・新規展開したい」(32.4%)と続いています。

図表 181 事業展開の意向



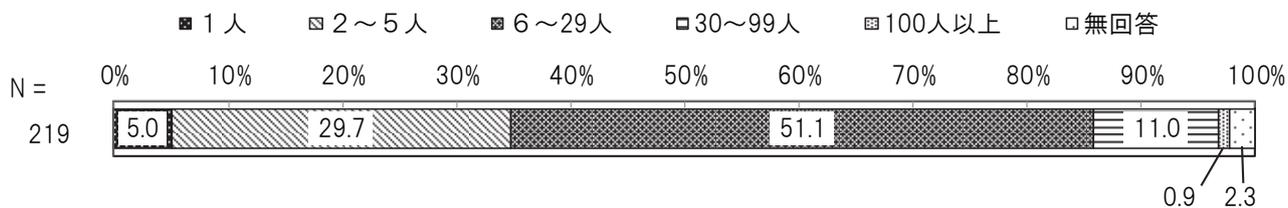
図表 182 サービス種別、サービス類型別の事業展開の意向

		全体数	現状維持	拡大・新規展開したい	縮小したい	休止・廃止したい	無回答
全体		219	58.4	32.4	3.7	3.2	2.3 (%)
サービス種別	訪問介護	36	52.8	44.4	2.8	-	-
	訪問入浴介護	2	-	100.0	-	-	-
	訪問看護	27	48.1	48.1	3.7	-	-
	訪問リハビリテーション	5	60.0	40.0	-	-	-
	通所介護	16	68.8	18.8	6.3	-	6.3
	通所リハビリテーション	4	100.0	-	-	-	-
	短期入所生活介護	6	50.0	16.7	33.3	-	-
	短期入所療養介護	2	50.0	-	-	50.0	-
	福祉用具貸与	8	12.5	62.5	-	25.0	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	100.0	-	-	-
	認知症対応型通所介護	4	50.0	50.0	-	-	-
	地域密着型通所介護	22	59.1	36.4	4.5	-	-
	小規模多機能型居宅介護	2	100.0	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-	100.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	8	87.5	12.5	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	5	100.0	-	-	-	-
	介護老人保健施設	1	-	100.0	-	-	-
介護療養型医療施設	1	-	-	-	100.0	-	
居宅介護支援	48	62.5	27.1	4.2	4.2	2.1	
サービス類型	訪問系サービス	81	44.4	50.6	2.5	2.5	-
	通所系サービス	46	65.2	28.3	4.3	-	2.2
	短期入所サービス	8	50.0	12.5	25.0	12.5	-
	居住系サービス	10	90.0	10.0	-	-	-
	施設サービス	7	71.4	14.3	-	14.3	-
	その他の居宅サービス	50	64.0	26.0	4.0	4.0	2.0

問6 令和4年11月1日現在の貴事業所における、従業員数（管理者や事務員も含む）についてお答えください。（ひとつだけ○）

従業員数については、「6～29人」が51.1%と最も多く、「2～5人」（29.7%）と続いています。

図表 183 従業員数



2 人材の確保・定着・育成について

問7 貴事業所における正社員・非正社員の、職種および年齢構成別の人数をご記入ください。

無回答の場合には「0」として集計されます。(人数を記入)

図表 184 年齢構成別従業員数（正社員）

		回答者数	職員計（人）	平均職員（人）	正社員計（人）	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(%)
全体		202	2663	13	1425	0.3	17.0	22.0	25.5	21.5	10.6	3.2	
サービス種別	訪問介護	36	589	16	183	0.0	7.7	15.3	28.4	23.5	13.1	12.0	
	訪問入浴介護	2	14	7	13	0.0	61.5	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	
	訪問看護	27	246	9	148	0.0	29.1	30.4	18.9	14.9	6.1	0.7	
	訪問リハビリテーション	5	26	5	23	0.0	26.1	21.7	21.7	21.7	8.7	0.0	
	通所介護	16	210	13	93	0.0	24.7	18.3	22.6	28.0	6.5	0.0	
	通所リハビリテーション	4	28	7	22	0.0	13.6	18.2	36.4	31.8	0.0	0.0	
	短期入所生活介護	6	299	50	193	0.5	20.7	25.4	30.6	17.6	5.2	0.0	
	短期入所療養介護	2	152	76	106	0.9	17.0	28.3	20.8	15.1	16.0	1.9	
	福祉用具貸与	8	32	4	26	0.0	7.7	7.7	34.6	26.9	7.7	15.4	
	夜間対応型訪問介護	1	28	28	13	0.0	23.1	23.1	15.4	30.8	7.7	0.0	
	認知症対応型通所介護	4	39	10	19	0.0	10.5	15.8	26.3	31.6	15.8	0.0	
	地域密着型通所介護	22	207	9	77	0.0	19.5	20.8	26.0	26.0	7.8	0.0	
	小規模多機能型居宅介護	2	21	11	7	0.0	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	48	24	21	0.0	14.3	28.6	19.0	33.3	4.8	0.0	
	認知症対応型共同生活介護	8	100	13	41	0.0	2.4	9.8	22.0	26.8	31.7	7.3	
	特定施設入居者生活介護	2	57	29	31	0.0	16.1	19.4	19.4	29.0	12.9	3.2	
	介護老人福祉施設	5	267	53	178	0.6	20.8	25.3	30.3	18.0	5.1	0.0	
介護老人保健施設	1	111	111	78	1.3	20.5	33.3	20.5	12.8	11.5	0.0		
介護療養型医療施設	1	41	41	28	0.0	7.1	14.3	21.4	21.4	28.6	7.1		
居宅介護支援	48	148	3	125	0.0	0.8	12.0	25.6	32.0	21.6	8.0		
サービス類型	訪問系サービス	81	983	12	427	0.0	18.5	21.8	23.7	20.6	9.1	6.3	
	通所系サービス	46	484	11	211	0.0	20.4	19.0	25.6	28.0	7.1	0.0	
	短期入所サービス	8	451	56	299	0.7	19.4	26.4	27.1	16.7	9.0	0.7	
	居住系サービス	10	157	16	72	0.0	8.3	13.9	20.8	27.8	23.6	5.6	
	施設サービス	7	419	60	284	0.7	19.4	26.4	26.8	16.9	9.2	0.7	
	その他の居宅サービス	50	169	3	132	0.0	0.8	12.9	27.3	31.1	20.5	7.6	
職種	訪問介護員（ヘルパー）		693		195	0.5	13.3	19.5	23.6	28.7	8.7	5.6	
	介護職員		1099		666	0.6	21.0	23.3	23.4	21.9	8.4	1.4	
	看護師・准看護師		419		233	0.0	16.7	24.5	22.3	19.7	13.7	3.0	
	機能訓練指導員		168		87	0.0	23.0	37.9	21.8	12.6	4.6	0.0	
	介護支援専門員		219		179	0.0	0.0	11.2	34.6	24.0	22.3	7.8	
	福祉用具専門相談員		52		48	0.0	6.3	12.5	33.3	33.3	10.4	4.2	
その他職員		424		217	0.0	16.6	19.4	30.0	25.3	6.9	1.8		

図表 185 年齢構成別従業員数（非正社員）

		回答者数	職員計（人）	平均職員（人）	非正社員計（人）	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全体		202	2663	13	1238	0.2	6.1	12.0	19.2	19.2	26.1	17.3
サービス種別	訪問介護	36	589	16	406	0.0	3.2	6.9	14.8	23.6	28.1	23.4
	訪問入浴介護	2	14	7	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	訪問看護	27	246	9	98	0.0	22.4	26.5	29.6	7.1	11.2	3.1
	訪問リハビリテーション	5	26	5	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	通所介護	16	210	13	117	1.7	6.8	14.5	17.9	17.1	29.1	12.8
	通所リハビリテーション	4	28	7	6	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0
	短期入所生活介護	6	299	50	106	0.0	6.6	6.6	21.7	13.2	30.2	21.7
	短期入所療養介護	2	152	76	46	0.0	8.7	23.9	19.6	6.5	26.1	15.2
	福祉用具貸与	8	32	4	6	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	33.3	16.7
	夜間対応型訪問介護	1	28	28	15	0.0	0.0	13.3	20.0	26.7	20.0	20.0
	認知症対応型通所介護	4	39	10	20	0.0	5.0	5.0	25.0	25.0	20.0	20.0
	地域密着型通所介護	22	207	9	130	0.0	3.1	16.9	23.1	27.7	17.7	11.5
	小規模多機能型居宅介護	2	21	11	14	0.0	0.0	7.1	28.6	0.0	50.0	14.3
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	48	24	27	0.0	0.0	14.8	14.8	29.6	29.6	11.1
	認知症対応型共同生活介護	8	100	13	59	0.0	3.4	10.2	20.3	25.4	30.5	10.2
	特定施設入居者生活介護	2	57	29	26	0.0	0.0	19.2	0.0	19.2	34.6	26.9
	介護老人福祉施設	5	267	53	89	0.0	7.9	7.9	23.6	13.5	29.2	18.0
	介護老人保健施設	1	111	111	33	0.0	6.1	24.2	15.2	9.1	30.3	15.2
介護療養型医療施設	1	41	41	13	0.0	15.4	23.1	30.8	0.0	15.4	15.4	
居宅介護支援	48	148	3	23	0.0	4.3	0.0	21.7	26.1	30.4	17.4	
サービス類型	訪問系サービス	81	983	12	556	0.0	6.5	10.8	17.8	21.2	24.8	18.9
	通所系サービス	46	484	11	273	0.7	5.1	14.7	20.5	22.7	22.7	13.6
	短期入所サービス	8	451	56	152	0.0	7.2	11.8	21.1	11.2	28.9	19.7
	居住系サービス	10	157	16	85	0.0	2.4	12.9	14.1	23.5	31.8	15.3
	施設サービス	7	419	60	135	0.0	8.1	13.3	22.2	11.1	28.1	17.0
	その他の居宅サービス	50	169	3	37	0.0	2.7	2.7	24.3	16.2	37.8	16.2
職種	訪問介護員（ヘルパー）		693		498	0.0	2.8	7.4	13.7	22.3	30.5	23.3
	介護職員		1099		433	0.5	6.2	14.1	21.2	21.5	25.9	10.6
	看護師・准看護師		419		186	0.0	7.0	21.0	31.2	5.9	18.8	16.1
	機能訓練指導員		168		81	0.0	17.3	34.6	23.5	8.6	11.1	4.9
	介護支援専門員		219		40	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	35.0	25.0
	福祉用具専門相談員		52		4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	その他職員		424		207	0	4.8	5.8	14.5	17.4	33.3	24.2

(%)

問8 貴事業所における、過去1年間（令和3年10月1日から令和4年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数をお答えください。なお、無回答は「0」として集計されます。（人数を記入）

図表 186 採用者数（正社員）

		回答者数	採用者数（人）	0人（無回答者含む）	1人	2人	3人	4人	5人	6人〜9人	10人以上	採用あり
全体		202	229	51.1	15.3	8.7	3.9	3.1	2.6	2.6	0.9	48.9
サービス種別	訪問介護	36	22	69.4	16.7	5.6	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	30.6
	訪問入浴介護	2	4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	訪問看護	27	45	40.7	14.8	14.8	11.1	7.4	7.4	3.7	0.0	59.3
	訪問リハビリテーション	5	2	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	通所介護	16	20	43.8	31.3	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	56.3
	通所リハビリテーション	4	4	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	短期入所生活介護	6	23	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	100.0
	短期入所療養介護	2	20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
	福祉用具貸与	8	1	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	夜間対応型訪問介護	1	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型通所介護	4	1	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	地域密着型通所介護	22	14	45.5	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5
	小規模多機能型居宅介護	2	3	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	1	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	認知症対応型共同生活介護	8	11	50.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	50.0
	特定施設入居者生活介護	2	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	介護老人福祉施設	5	20	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	100.0
	介護老人保健施設	1	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	介護療養型医療施設	1	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
	居宅介護支援	48	14	83.3	8.3	6.3	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	16.7
サービス類型	訪問系サービス	81	75	61.7	14.8	8.6	4.9	4.9	3.7	1.2	0.0	38.3
	通所系サービス	46	39	47.8	37.0	8.7	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	52.2
	短期入所サービス	8	43	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	12.5	25.0	12.5	100.0
	居住系サービス	10	15	40.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	60.0
	施設サービス	7	40	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	100.0
	その他の居宅サービス	50	17	82.0	8.0	6.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	18.0
	その他	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職種	訪問介護員（ヘルパー）	45	28	66.7	17.8	6.7	6.7	0.0	2.2	0.0	0.0	33.3
	介護職員	61	127	23.0	31.1	18.0	6.6	4.9	4.9	11.5	0.0	77.0
	看護師・准看護師	42	58	21.4	42.9	21.4	9.5	2.4	0.0	2.4	0.0	78.6
	機能訓練指導員	23	24	52.2	26.1	4.3	8.7	0.0	8.7	0.0	0.0	47.8
	介護支援専門員	41	14	73.2	19.5	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.8
	福祉用具専門相談員	20	3	85.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0
	その他職員	28	20	60.7	28.6	3.6	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	39.3

図表 187 採用者数（非正社員）

		回答者数	採用者数（人）	0人（無回答者含む）	1人	2人	3人	4人	5人	6人～9人	10人以上	採用あり
全体		202	222	12.6	6.3	5.9	1.8	0.9	4.5	0.9	0.0	87.4
サービス種別	訪問介護	36	61	58.3	11.1	5.6	11.1	2.8	0.0	8.3	2.8	41.7
	訪問入浴介護	2	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	訪問看護	27	35	51.9	25.9	3.7	3.7	3.7	7.4	3.7	0.0	48.1
	訪問リハビリテーション	5	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通所介護	16	25	43.8	31.3	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	56.3
	通所リハビリテーション	4	1	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	短期入所生活介護	6	14	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	83.3
	短期入所療養介護	2	11	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0
	福祉用具貸与	8	1	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	夜間対応型訪問介護	1	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型通所介護	4	1	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	地域密着型通所介護	22	24	45.5	13.6	27.3	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5
	小規模多機能型居宅介護	2	7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	1	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	認知症対応型共同生活介護	8	18	37.5	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	62.5
	特定施設入居者生活介護	2	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護老人福祉施設	5	12	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0
介護老人保健施設	1	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	
介護療養型医療施設	1	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
居宅介護支援	48	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
サービス類型	訪問系サービス	81	98	63.0	16.0	3.7	6.2	2.5	2.5	4.9	1.2	37.0
	通所系サービス	46	51	50.0	21.7	15.2	10.9	0.0	0.0	0.0	2.2	50.0
	短期入所サービス	8	25	12.5	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	87.5
	居住系サービス	10	18	50.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	50.0
	施設サービス	7	23	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	85.7
	その他の居宅サービス	50	7	96.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	4.0
職種	訪問介護員（ヘルパー）	40	63	60.0	10.0	5.0	12.5	2.5	2.5	5.0	2.5	40.0
	介護職員	53	89	22.6	32.1	20.8	11.3	7.5	3.8	1.9	0.0	77.4
	看護師・准看護師	41	47	31.7	41.5	17.1	4.9	0.0	4.9	0.0	0.0	68.3
	機能訓練指導員	23	16	60.9	21.7	4.3	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.1
	介護支援専門員	26	4	84.6	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
	福祉用具専門相談員	19	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	39	35	41.0	35.9	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	59.0

(%)

図表 188 離職者数（正社員）

		回答者数	離職者数（人）	0人（無回答者含む）	1人	2人	3人	4人	5人	6人～9人	10人以上	離職あり
全体		202	183	21.9	10.4	3.3	0.0	1.6	3.3	1.1	0.0	78.1
サービス種別	訪問介護	36	13	69.4	25.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.6
	訪問入浴介護	2	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	訪問看護	27	24	48.1	29.6	14.8	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	51.9
	訪問リハビリテーション	5	1	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	通所介護	16	6	68.8	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3
	通所リハビリテーション	4	5	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	短期入所生活介護	6	25	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	100.0
	短期入所療養介護	2	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
	福祉用具貸与	8	2	87.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	夜間対応型訪問介護	1	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型通所介護	4	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型通所介護	22	11	59.1	31.8	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.9
	小規模多機能型居宅介護	2	5	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護	8	9	50.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	特定施設入居者生活介護	2	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	介護老人福祉施設	5	23	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	100.0
	介護老人保健施設	1	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	介護療養型医療施設	1	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
居宅介護支援	48	9	81.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	
サービス類型	訪問系サービス	81	40	66.7	22.2	8.6	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	33.3
	通所系サービス	46	22	63.0	26.1	10.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.0
	短期入所サービス	8	48	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	100.0
	居住系サービス	10	13	40.0	10.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
	施設サービス	7	46	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	42.9	14.3	100.0
	その他の居宅サービス	50	14	78.0	18.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0
職種	訪問介護員（ヘルパー）	45	15	71.1	24.4	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.9
	介護職員	57	114	28.1	22.8	19.3	12.3	7.0	3.5	7.0	0.0	71.9
	看護師・准看護師	39	56	30.8	38.5	10.3	7.7	2.6	10.3	0.0	0.0	69.2
	機能訓練指導員	20	15	60.0	25.0	5.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	介護支援専門員	40	9	77.5	22.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.5
	福祉用具専門相談員	19	2	94.7	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
	その他職員	30	24	46.7	40.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	53.3

図表 189 離職者数（非正社員）

		回答者数	離職者数（人）	0人（無回答者含む）	1人	2人	3人	4人	5人	6人～9人	10人以上	離職あり
全体		202	175	12.6	12.0	3.4	2.9	1.1	3.4	1.1	0.0	87.4
サービス種別	訪問介護	36	32	58.3	16.7	13.9	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	41.7
	訪問入浴介護	2	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	訪問看護	27	7	81.5	11.1	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.5
	訪問リハビリテーション	5	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通所介護	16	17	62.5	0.0	18.8	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5
	通所リハビリテーション	4	2	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	短期入所生活介護	6	23	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	66.7
	短期入所療養介護	2	11	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0
	福祉用具貸与	8	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夜間対応型訪問介護	1	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型通所介護	4	5	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	地域密着型通所介護	22	25	40.9	36.4	13.6	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	59.1
	小規模多機能型居宅介護	2	5	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	認知症対応型共同生活介護	8	13	25.0	12.5	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	特定施設入居者生活介護	2	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	介護老人福祉施設	5	18	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	60.0
介護老人保健施設	1	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	
介護療養型医療施設	1	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
居宅介護支援	48	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
サービス類型	訪問系サービス	81	41	74.1	11.1	9.9	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	25.9
	通所系サービス	46	49	52.2	19.6	15.2	4.3	6.5	0.0	2.2	0.0	47.8
	短期入所系サービス	8	34	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	75.0
	貸与サービス	10	17	20.0	10.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	地域密着型サービス	7	29	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	71.4
	施設等サービス	50	5	96.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	4.0
職種	訪問介護員（ヘルパー）	42	36	57.1	14.3	21.4	2.4	2.4	2.4	0.0	0.0	42.9
	介護職員	54	90	22.2	31.5	24.1	13.0	3.7	3.7	1.9	0.0	77.8
	看護師・准看護師	32	31	40.6	40.6	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	59.4
	機能訓練指導員	22	9	68.2	22.7	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.8
	介護支援専門員	28	5	82.1	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.9
	福祉用具専門相談員	19	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	36	35	41.7	30.6	16.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	58.3

(%)

図表 190 離職者数に対する採用者数の比率（合計）

		回答者数	職員計（人）	採用者数（人）	離職者数（人）	採用と離職の差分	採用率（％）	離職率（％）	採用者数に対する離職者数の比率（％）
全体		202	2663	451	358	93	16.9	13.4	126
サービス種別	訪問介護	36	589	83	45	38	14.1	7.6	184
	訪問入浴介護	2	14	4	0	4	28.6	0.0	0
	訪問看護	27	246	80	31	49	32.5	12.6	258
	訪問リハビリテーション	5	26	2	1	1	7.7	3.8	200
	通所介護	16	210	45	23	22	21.4	11.0	196
	通所リハビリテーション	4	28	5	7	-2	17.9	25.0	71
	短期入所生活介護	6	299	37	48	-11	12.4	16.1	77
	短期入所療養介護	2	152	31	34	-3	20.4	22.4	91
	福祉用具貸与	8	32	2	2	0	6.3	6.3	100
	夜間対応型訪問介護	1	28	0	0	0	0.0	0.0	0
	認知症対応型通所介護	4	39	2	5	-3	5.1	12.8	40
	地域密着型通所介護	22	207	38	36	2	18.4	17.4	106
	小規模多機能型居宅介護	2	21	10	10	0	47.6	47.6	100
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	48	2	2	0	4.2	4.2	100
	認知症対応型共同生活介護	8	100	29	22	7	29.0	22.0	132
	特定施設入居者生活介護	2	57	4	8	-4	7.0	14.0	50
	介護老人福祉施設	5	267	32	41	-9	12.0	15.4	78
	介護老人保健施設	1	111	23	24	-1	20.7	21.6	96
	介護療養型医療施設	1	41	8	10	-2	19.5	24.4	80
	居宅介護支援	48	148	14	9	5	9.5	6.1	156
サービス類型	訪問系サービス	81	983	169	77	92	17.2	7.8	219
	通所系サービス	46	484	50	74	-24	10.3	15.3	68
	短期入所系サービス	8	451	68	34	34	15.1	7.5	200
	貸与サービス	10	157	2	5	-3	1.3	3.2	40
	地域密着型サービス	7	419	81	121	-40	19.3	28.9	67
	施設等サービス	50	169	67	34	33	39.6	20.1	197
職種類型	訪問介護員（ヘルパー）		693	28	51	-23	4.0	7.4	55
	介護職員		1099	216	204	12	19.7	18.6	106
	看護師・准看護師		419	105	87	18	25.1	20.8	121
	機能訓練指導員		168	40	24	16	23.8	14.3	167
	介護支援専門員		219	18	14	4	8.2	6.4	129
	福祉用具専門相談員		52	3	2	1	5.8	3.8	150
	その他職員			424	55	59	-4	13.0	13.9

図表 191 離職者数に対する採用者数の比率（正社員）

		回答者数	職員計（人）	採用者数（人）	離職者数（人）	採用と離職の差分	採用率（％）	離職率（％）	採用者数に対する離職者数の比率
全体		202	1425	229	183	46	16.1	12.8	125
サービス種別	訪問介護	36	183	22	13	9	12.0	7.1	169
	訪問入浴介護	2	13	4	0	4	30.8	0.0	0
	訪問看護	27	148	45	24	21	30.4	16.2	188
	訪問リハビリテーション	5	23	2	1	1	8.7	4.3	200
	通所介護	16	93	20	6	14	21.5	6.5	333
	通所リハビリテーション	4	22	4	5	-1	18.2	22.7	80
	短期入所生活介護	6	193	23	25	-2	11.9	13.0	92
	短期入所療養介護	2	106	20	23	-3	18.9	21.7	87
	福祉用具貸与	8	26	1	2	-1	3.8	7.7	50
	夜間対応型訪問介護	1	13	0	0	0	0.0	0.0	0
	認知症対応型通所介護	4	19	1	0	1	5.3	0.0	0
	地域密着型通所介護	22	77	14	11	3	18.2	14.3	127
	小規模多機能型居宅介護	2	7	3	5	-2	42.9	71.4	60
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	21	1	0	1	4.8	0.0	0
	認知症対応型共同生活介護	8	41	11	9	2	26.8	22.0	122
	特定施設入居者生活介護	2	31	4	4	0	12.9	12.9	100
	介護老人福祉施設	5	178	20	23	-3	11.2	12.9	87
	介護老人保健施設	1	78	14	14	0	17.9	17.9	100
	介護療養型医療施設	1	28	6	9	-3	21.4	32.1	67
	居宅介護支援	48	125	14	9	5	11.2	7.2	156
サービス類型	訪問系サービス	81	427	73	38	35	17.1	8.9	192
	通所系サービス	46	211	24	55	-31	11.4	26.1	44
	短期入所サービス	8	299	43	0	43	14.4	0.0	0
	居住系サービス	10	72	1	5	-4	1.4	6.9	20
	施設サービス	7	284	30	71	-41	10.6	25.0	42
	その他の居宅サービス	50	132	44	1	43	33.3	0.8	4400
職種類型	訪問介護員（ヘルパー）		195	28	15	13	14.4	7.7	187
	介護職員		666	127	114	13	19.1	17.1	111
	看護師・准看護師		233	58	56	2	24.9	24.0	104
	機能訓練指導員		87	24	15	9	27.6	17.2	160
	介護支援専門員		179	14	9	5	7.8	5.0	156
	福祉用具専門相談員		48	3	2	1	6.3	4.2	150
その他職員		217	20	24	-4	9.2	11.1	83	

図表 192 離職者数に対する採用者数の比率（非正社員）

	回答者数	非正社員計（人）	採用者数（人）	離職者数（人）	採用と離職の差分	採用率（％）	離職率（％）	採用者数に対する離職者数の比率
全体	202	1238	222	175	47	17.9	14.1	127
サービス種別	訪問介護	36	406	61	32	29	15.0	7.9
	訪問入浴介護	2	1	0	0	0	0.0	0
	訪問看護	27	98	35	7	28	35.7	7.1
	訪問リハビリテーション	5	3	0	0	0	0.0	0
	通所介護	16	117	25	17	8	21.4	14.5
	通所リハビリテーション	4	6	1	2	-1	16.7	33.3
	短期入所生活介護	6	106	14	23	-9	13.2	21.7
	短期入所療養介護	2	46	11	11	0	23.9	23.9
	福祉用具貸与	8	6	1	0	1	16.7	0.0
	夜間対応型訪問介護	1	15	0	0	0	0.0	0.0
	認知症対応型通所介護	4	20	1	5	-4	5.0	25.0
	地域密着型通所介護	22	130	24	25	-1	18.5	19.2
	小規模多機能型居宅介護	2	14	7	5	2	50.0	35.7
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	27	1	2	-1	3.7	7.4
	認知症対応型共同生活介護	8	59	18	13	5	30.5	22.0
	特定施設入居者生活介護	2	26	0	4	-4	0.0	15.4
	介護老人福祉施設	5	89	12	18	-6	13.5	20.2
	介護老人保健施設	1	33	9	10	-1	27.3	30.3
	介護療養型医療施設	1	13	2	1	1	15.4	7.7
	居宅介護支援	48	23	0	0	0	0.0	0.0
サービス類型	訪問系サービス	81	556	96	39	57	17.3	7.0
	通所系サービス	46	273	26	19	7	9.5	7.0
	短期入所サービス	8	152	25	34	-9	16.4	22.4
	居住系サービス	10	85	1	0	1	1.2	0.0
	施設サービス	7	135	51	50	1	37.8	37.0
	その他の居宅サービス	50	37	23	33	-10	62.2	89.2
職種類型	訪問介護員（ヘルパー）		498		36	-36	0.0	7.2
	介護職員		433	89	90	-1	20.6	20.8
	看護師・准看護師		186	47	31	16	25.3	16.7
	機能訓練指導員		81	16	9	7	19.8	11.1
	介護支援専門員		40	4	5	-1	10.0	12.5
	福祉用具専門相談員		4	0	0	0	0.0	0.0
その他職員		207	35	35	0	16.9	16.9	

問9 貴事業所で実施する介護サービスに従事する職員について、職種・雇用形態ごとに現在募集している人数をお答えください。なお、無回答の場合には「0」として集計されます。（人数を記入）

図表 193 募集人数（正社員）

		回答者数	募集人（人）	0人（無回答者含む）	1人	2人	3人	4人	5人	6人～9人	10人以上	募集あり
全体		202	279	32	19	11	3	2	2	4	1	68 (%)
サービス種別	訪問介護	36	79	25	28	28	0	3	6	8	3	75
	訪問入浴介護	2	21	0	0	0	0	0	0	50	50	100
	訪問看護	27	32	33	37	19	7	0	0	4	0	67
	訪問リハビリテーション	5	2	60	40	0	0	0	0	0	0	40
	通所介護	16	20	44	19	25	6	0	0	6	0	56
	通所リハビリテーション	4	5	25	25	50	0	0	0	0	0	75
	短期入所生活介護	6	12	33	17	17	17	0	0	17	0	67
	短期入所療養介護	2	5	50	0	0	0	0	50	0	0	50
	福祉用具貸与	8	5	50	38	13	0	0	0	0	0	50
	夜間対応型訪問介護	1	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症対応型通所介護	4	2	75	0	25	0	0	0	0	0	25
	地域密着型通所介護	22	13	59	23	18	0	0	0	0	0	41
	小規模多機能型居宅介護	2	3	0	50	50	50	0	0	0	0	100
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	8	50	0	0	0	0	0	50	0	50
	認知症対応型共同生活介護	8	9	63	13	0	0	25	0	0	0	38
	特定施設入居者生活介護	2	1	50	50	0	0	0	0	0	0	50
	介護老人福祉施設	5	11	40	0	20	20	0	0	20	0	60
	介護老人保健施設	1	5	0	0	0	0	0	100	0	0	100
	介護療養型医療施設	1	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0
	居宅介護支援	48	46	54	29	2	6	4	2	2	0	46
サービス類型	訪問系サービス	81	147	33	31	20	2	1	2	7	2	67
	通所系サービス	46	40	52	20	24	2	0	0	2	0	48
	短期入所サービス	8	17	38	13	13	13	0	13	13	0	63
	居住系サービス	10	10	60	20	0	0	20	0	0	0	40
	施設サービス	7	16	43	0	14	14	0	14	14	0	57
	その他の居宅サービス	50	49	52	30	4	6	4	2	2	0	48
	その他											
職種	訪問介護員（ヘルパー）	48	87	38	23	19	8	0	4	4	4	63
	介護職員	60	91	18	35	30	10	7	0	0	0	82
	看護師・准看護師	36	42	25	44	22	6	3	0	0	0	75
	機能訓練指導員	22	12	55	36	9	0	0	0	0	0	45
	介護支援専門員	56	63	29	55	2	5	7	2	0	0	71
	福祉用具専門相談員	19	5	79	16	5	0	0	0	0	0	21
	その他職員	32	22	41	50	9	0	0	0	0	0	59

図表 194 募集人数（非正社員）

		回答者数	募集人（人）	0人（無回答者含む）	1人	2人	3人	4人	5人	6人～9人	10人以上	募集あり
全体		202	257	46	12	6	4	2	3	2	2	54 (%)
サービス種別	訪問介護	36	117	28	11	6	25	0	17	3	11	72
	訪問入浴介護	2	6	0	50	0	0	0	50	0	0	100
	訪問看護	27	11	74	15	7	4	0	0	0	0	26
	訪問リハビリテーション	5	1	80	20	0	0	0	0	0	0	20
	通所介護	16	23	44	31	13	6	0	0	0	6	56
	通所リハビリテーション	4	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0
	短期入所生活介護	6	15	17	17	33	0	17	0	17	0	83
	短期入所療養介護	2	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉用具貸与	8	1	88	13	0	0	0	0	0	0	13
	夜間対応型訪問介護	1	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症対応型通所介護	4	3	50	25	25	0	0	0	0	0	50
	地域密着型通所介護	22	21	50	32	9	0	5	0	5	0	50
	小規模多機能型居宅介護	2	4	0	0	100	0	0	0	0	0	100
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	12	50	0	0	0	0	0	0	50	50
	認知症対応型共同生活介護	8	14	38	38	0	0	13	0	13	0	63
	特定施設入居者生活介護	2	4	50	0	0	0	50	0	0	0	50
	介護老人福祉施設	5	13	20	20	20	0	20	0	20	0	80
介護老人保健施設	1	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護療養型医療施設	1	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	
居宅介護支援	48	12	88	6	4	0	0	2	0	0	13	
サービス類型	訪問系サービス	81	148	53	14	5	12	0	9	1	6	47
	通所系サービス	46	47	52	28	11	2	2	0	2	2	48
	短期入所サービス	8	15	38	13	25	0	13	0	13	0	63
	居住系サービス	10	18	40	30	0	0	20	0	10	0	60
	施設サービス	7	13	43	14	14	0	14	0	14	0	57
	その他の居宅サービス	50	16	84	6	8	0	0	2	0	0	16
職種	訪問介護員（ヘルパー）	48	168	33	6	4	27	8	8	0	13	67
	介護職員	50	68	22	50	12	10	2	2	2	0	78
	看護師・准看護師	30	24	37	47	17	0	0	0	0	0	63
	機能訓練指導員	17	9	65	24	6	6	0	0	0	0	35
	介護支援専門員	29	15	62	31	3	0	3	0	0	0	38
	福祉用具専門相談員	15	1	93	7	0	0	0	0	0	0	7
	その他職員	32	25	38	53	6	0	3	0	0	0	63

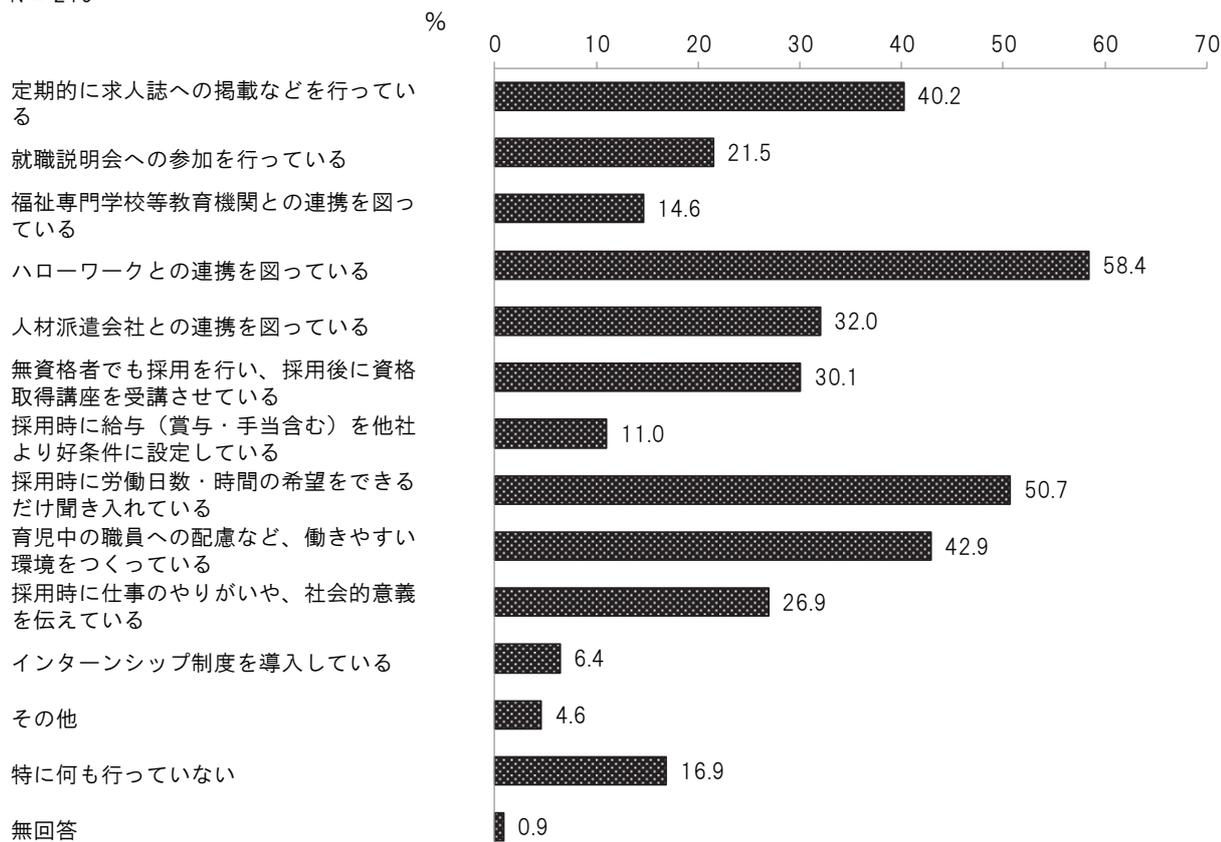
問 10 貴事業所では、人材の確保に向けて、どのような取り組みを行っていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

人材確保に向けた取り組みについては、「ハローワークとの連携を図っている」が58.4%と最も多く、「採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」(50.7%)と続いています。

事業規模が大きな事業所ほど人材確保に向けた取り組みに積極的です。

図表 195 人材確保に向けた取り組み

N = 219



図表 196 法人種別の人材確保に向けた取り組み

	全体数	定期的に求人誌への掲載などを行っている	就職説明会への参加を行っている	福祉専門学校等教育機関との連携を図っている	ハローワークとの連携を図っている	人材派遣会社との連携を図っている	無回答	採用時に給与（賞与・手当含む）を他社より好条件に設定している	採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている	インターンシップ制度を導入している	その他	特に何も行ってない	無回答
全体	219	40.2	21.5	14.6	58.4	32.0	30.1	11.0	50.7	42.9	26.9	6.4	4.6	16.9	0.9
従業員数	1人	11	9.1	-	-	18.2	-	-	-	-	9.1	-	-	81.8	-
	2～5人	65	23.1	9.2	4.6	38.5	21.5	13.8	7.7	40.0	30.8	24.6	4.6	9.2	29.2
	6～29人	112	50.0	22.3	17.0	65.2	37.5	37.5	10.7	57.1	49.1	31.3	8.9	3.6	8.0
	30～99人	24	45.8	54.2	29.2	91.7	41.7	50.0	20.8	70.8	62.5	16.7	-	-	-
	100人以上	2	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-

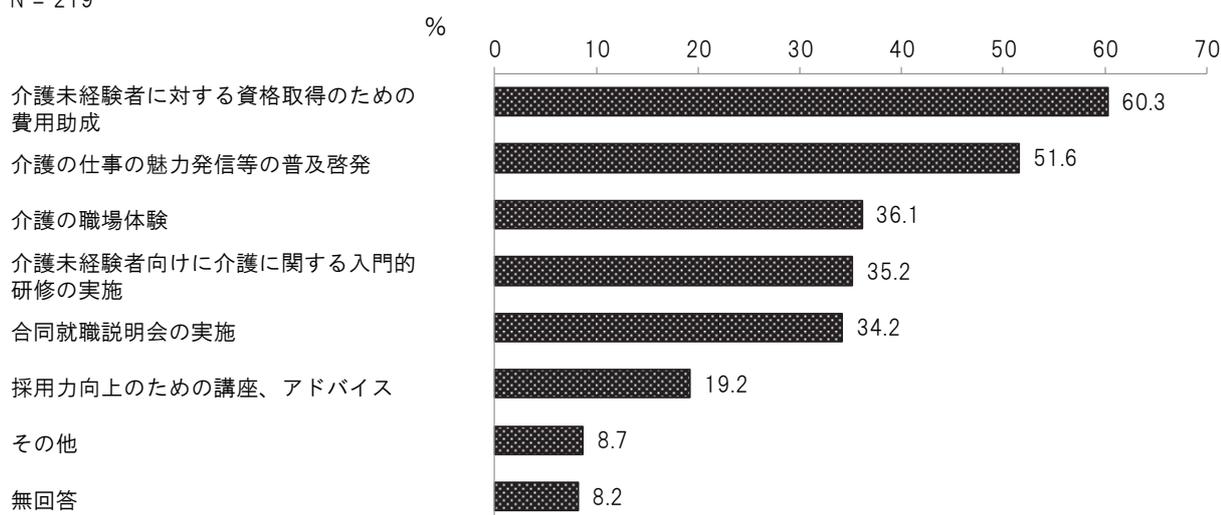
(%)

問 11 人材の確保に向けて、どのような公的支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

人材確保に向けて必要な公的支援については、「介護未経験者に対する資格取得のための費用助成」が60.3%と最も多く、「介護の仕事の魅力発信等の普及啓発」(51.6%)と続いています。

図表 197 人材確保に向けて必要な公的支援

N = 219



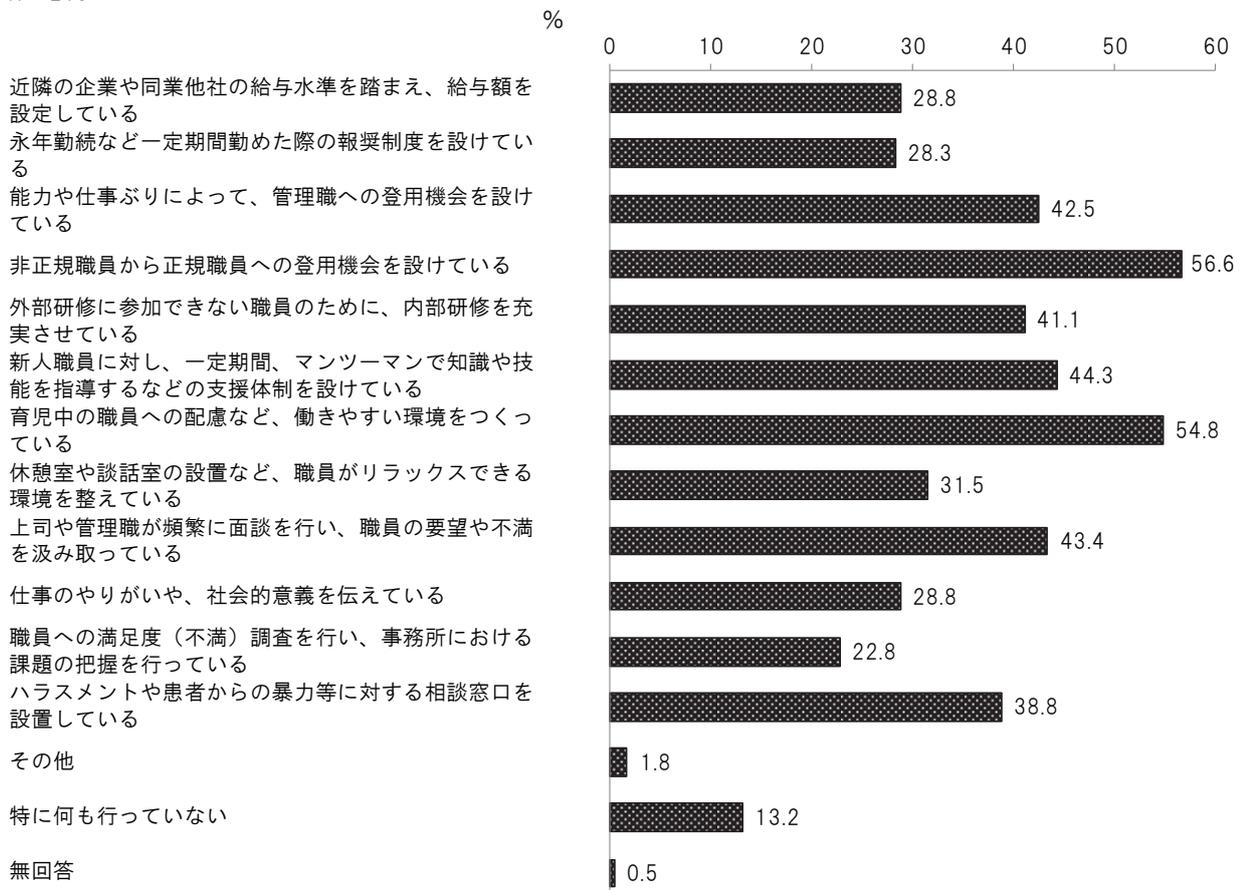
問 12 貴事業所では、人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

人材の定着・育成に向けた取り組みについては、「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」が56.6%と最も多く、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」（54.8%）と続いています。

全体的に事業規模が大きい事業所ほど、人材の定着・育成に積極的です。

図表 198 人材の定着・育成に向けた取り組み

N = 219



図表 199 従業員数別の人材の定着・育成に向けた取り組み

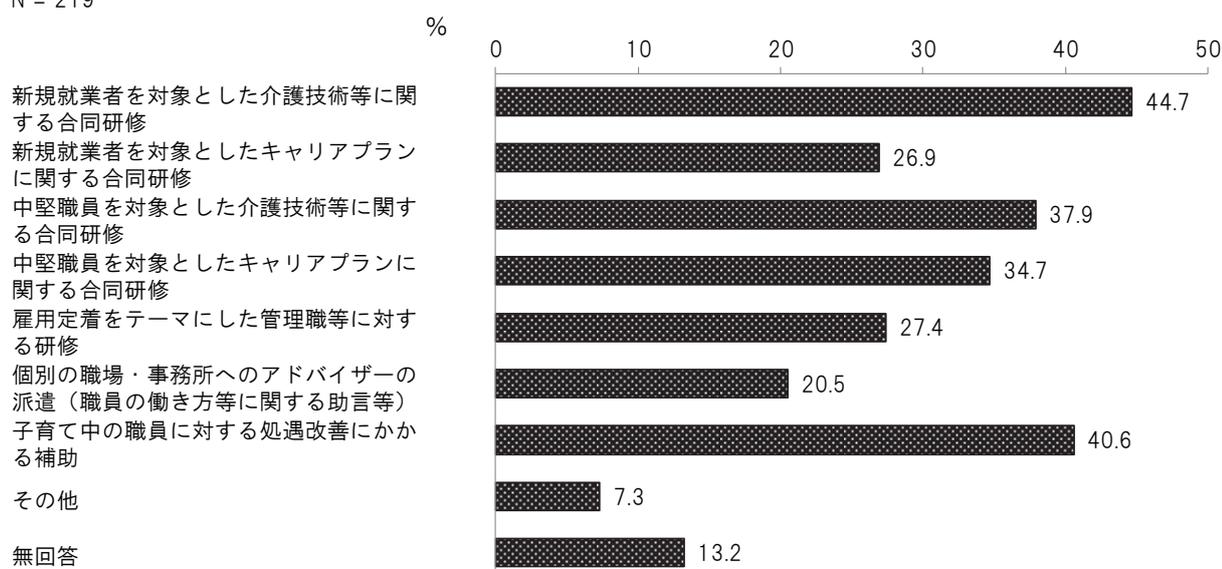
	全体数	近隣の企業や同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している	永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている	能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている	非正規職員から正規職員への登用機会を設けている	外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている	無回答	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	休憩室や談話室の設置など、職員がリラクゼーションできる環境を整えている	上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている	仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている	職員への満足度（不満）調査を行い、事務所における課題の把握を行っている	ハラスメントや患者からの暴力等に対する相談窓口を設置している	その他	特に何も行っていない	無回答	
全体	219	28.8	28.3	42.5	56.6	41.1	44.3	54.8	31.5	43.4	28.8	22.8	38.8	1.8	13.2	0.5	
従業員数	1人	11	-	-	-	9.1	9.1	9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	81.8	-
	2～5人	65	30.8	20.0	36.9	43.1	24.6	29.2	43.1	26.2	32.3	29.2	21.5	27.7	4.6	21.5	-
	6～29人	112	33.0	28.6	45.5	63.4	48.2	50.9	66.1	34.8	48.2	31.3	28.6	43.8	-	5.4	0.9
	30～99人	24	8.3	54.2	54.2	83.3	58.3	54.2	54.2	29.2	58.3	12.5	12.5	50.0	4.2	-	-
	100人以上	2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-

問 13 人材の定着に向けて、どのような公的支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

人材の定着・育成に向けて公的支援の必要性については、「新規就業者を対象とした介護技術等に関する合同研修」が44.7%と最も多く、「子育て中の職員に対する処遇改善にかかる補助」(40.6%)と続いています。

図表 200 人材の定着・育成に向けて公的支援の必要性

N = 219

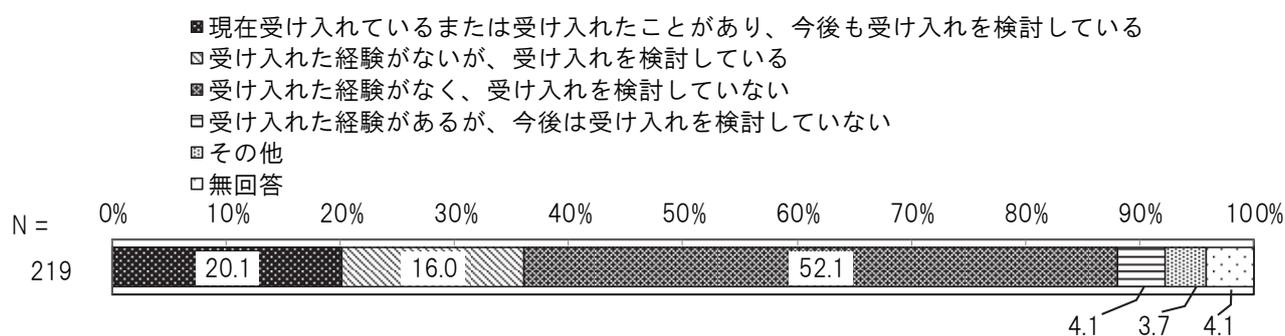


問 14 貴事業所における、介護職員としての外国人労働者の受け入れ状況について教えてください。（ひとつだけ○）

外国人労働者の受け入れ状況については、「受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない」が52.1%と最も多く、「現在受け入れているまたは受け入れたことがあり、今後も受け入れを検討している」(20.1%)と続いています。

サービス類型別にみると、受け入れている・受け入れたことがあり、今後も受け入れを検討している割合が高いのは、「施設サービス」(85.7%)、「短期入所サービス」(75.0%)と施設系が高く、逆に「訪問系サービス」(6.2%)、「その他の居宅サービス」(6.0%)などが低くなっています。

図表 201 外国人労働者の受け入れ状況



図表 202 サービス種別、サービス類型別の外国人労働者の受け入れ状況

	全体数	現在も受け入れを検討している	受け入れた経験がないが、受け入れを検討している	受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない	受け入れた経験があるが、今後は受け入れを検討していない	その他	無回答
全体	219	20.1	16.0	52.1	4.1	3.7	4.1
サービス種別	訪問介護	36	13.9	27.8	36.1	8.3	8.3
	訪問入浴介護	2	-	-	50.0	-	50.0
	訪問看護	27	-	11.1	77.8	-	11.1
	訪問リハビリテーション	5	-	-	100.0	-	-
	通所介護	16	37.5	18.8	25.0	12.5	6.3
	通所リハビリテーション	4	50.0	-	50.0	-	-
	短期入所生活介護	6	66.7	33.3	-	-	-
	短期入所療養介護	2	100.0	-	-	-	-
	福祉用具貸与	8	-	-	87.5	-	12.5
	夜間対応型訪問介護	1	-	100.0	-	-	-
	認知症対応型通所介護	4	50.0	25.0	25.0	-	-
	地域密着型通所介護	22	22.7	18.2	45.5	9.1	4.5
	小規模多機能型居宅介護	2	50.0	-	50.0	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-	100.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	8	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5
	特定施設入居者生活介護	2	50.0	50.0	-	-	-
	介護老人福祉施設	5	80.0	20.0	-	-	-
	介護老人保健施設	1	100.0	-	-	-	-
	介護療養型医療施設	1	100.0	-	-	-	-
居宅介護支援	48	4.2	8.3	79.2	-	2.1	
サービス類型	訪問系サービス	81	6.2	19.8	58.0	3.7	4.9
	通所系サービス	46	32.6	17.4	37.0	8.7	2.2
	短期入所サービス	8	75.0	25.0	-	-	-
	居住系サービス	10	40.0	30.0	10.0	10.0	10.0
	施設サービス	7	85.7	14.3	-	-	-
	その他の居宅サービス	50	6.0	8.0	78.0	-	2.0

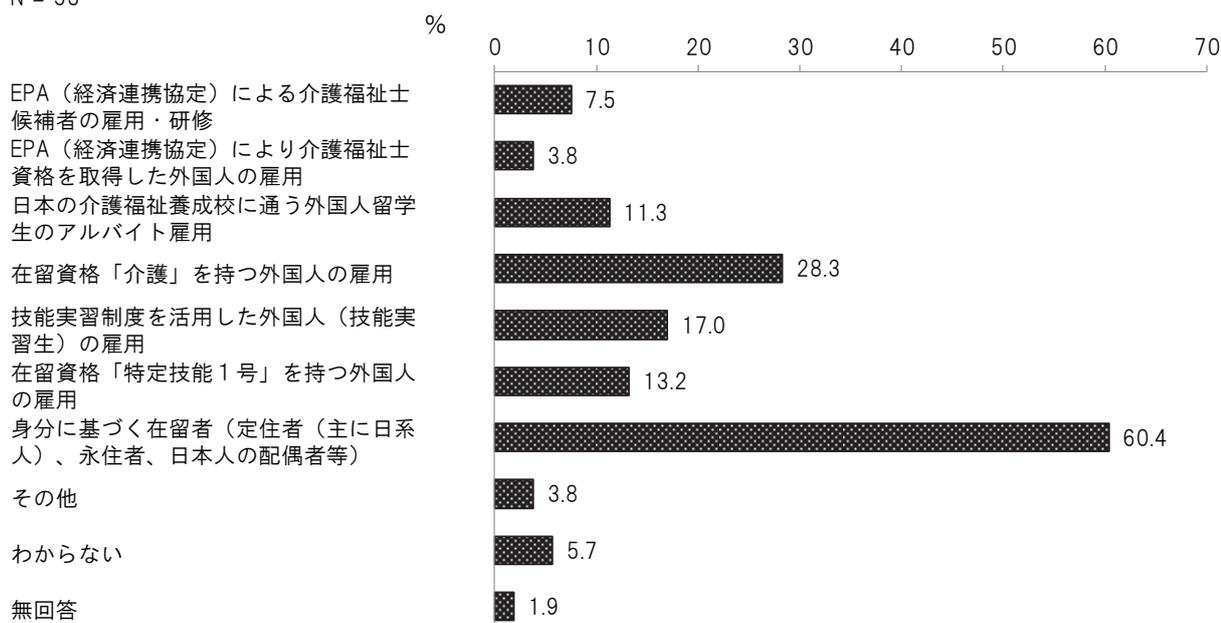
(%)

問 14-1 【問 14 で、「1」または「4」に回答した方のみにおうかがいします。】貴事業所で就業歴のある外国人はどのような制度で雇用された方ですか。雇用時点で利用していた制度についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

外国人労働者の雇用状況については、「身分に基づく在留者（定住者（主に日系人）、永住者、日本人の配偶者等）」が 60.4%と最も多く、「在留資格「介護」を持つ外国人の雇用」（28.3%）と続いています。

図表 203 外国人労働者の雇用状況

N = 53

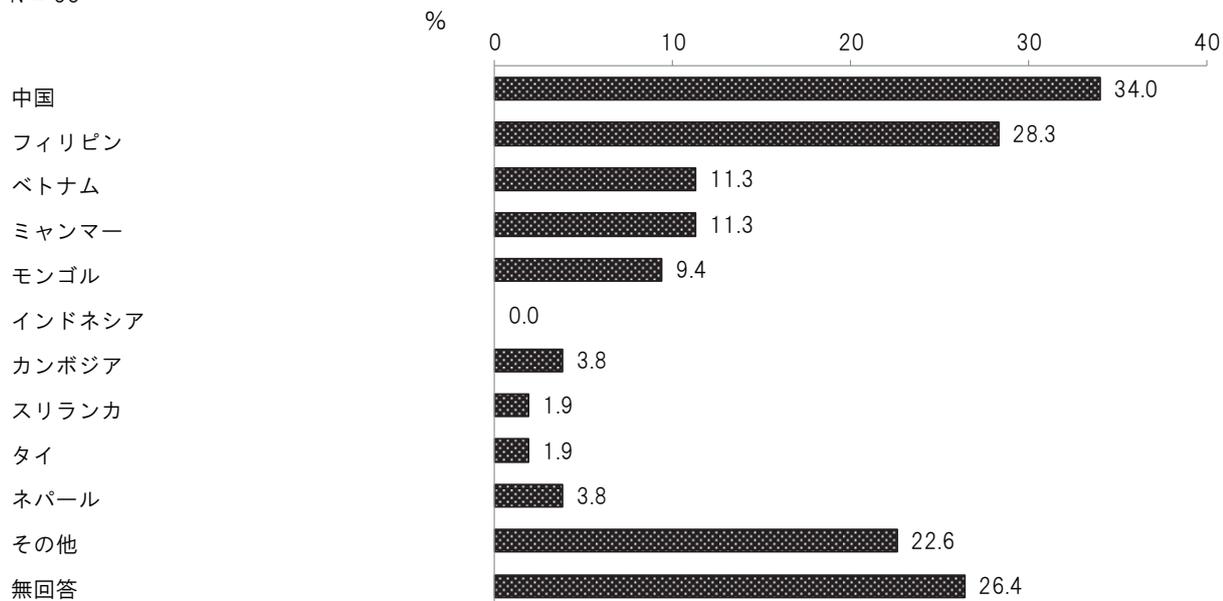


問 14-2 【問 14 で、「1」または「4」に回答した方のみにおうかがいします。】貴事業所で就業歴のある外国人の出身国はどちらですか。（あてはまるものすべてに○）

外国人労働者の出身国については、「中国」が 34.0%と最も多く、「フィリピン」(28.3%)と続いています。

図表 204 外国人労働者の出身国

N = 53



問 15 貴事業所において外国人の受け入れにあたって課題と思われること（なっていること）を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

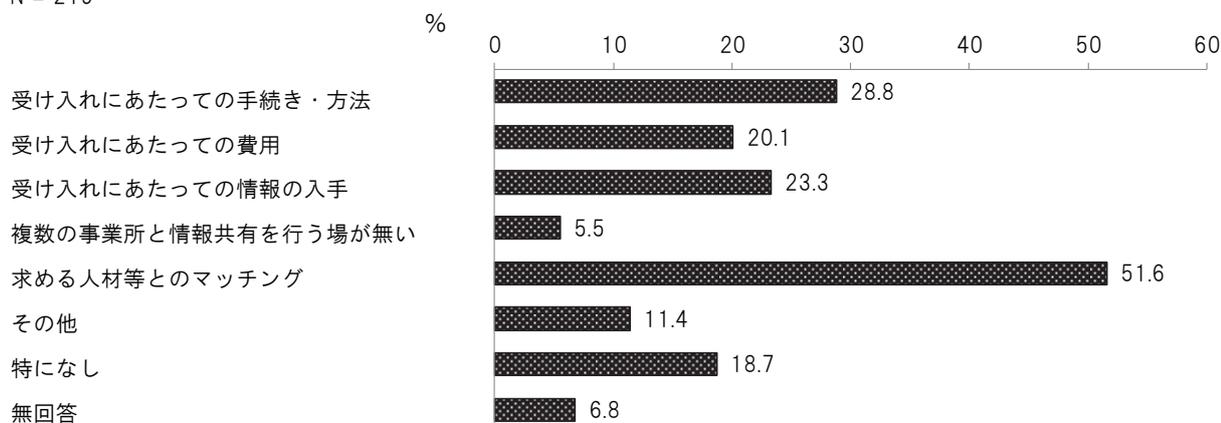
① 受け入れ時に課題と思われる（なっている）こと

受け入れ時の課題と思われることについては、「求める人材等とのマッチング」が51.6%と最も多く、「受け入れにあたっての手続き・方法」(28.8%)と続いています。

「短期入所サービス」(75.0%)、「施設サービス」(71.4%)とすでに外国人の受け入れが進んでいるサービス類型において、「求める人材等とのマッチング」の割合が高くなっています。

図表 205 外国人労働者の受け入れにあたっての課題（受け入れ時）

N = 219



図表 206 外国人労働者の受け入れ状況別、サービス類型別の外国人労働者の受け入れにあたっての課題（受け入れ時）

		全体数	受け入れにあたっての 手続き・方法	受け入れにあたっての 費用	受け入れにあたっての 情報の入手	複数の事業所と情報共有を行う場が無い	求める人材等との マッチング	無回答	特になし	無回答
全 体		219	28.8	20.1	23.3	5.5	51.6	11.4	18.7	6.8 (%)
外国人労働者の受け入れ状況	現在受け入れているまたは受け入れたことがあり、今後も受け入れを検討している	44	27.3	25.0	18.2	6.8	54.5	9.1	20.5	2.3
	受け入れた経験がないが、受け入れを検討している	35	37.1	42.9	40.0	8.6	74.3	2.9	11.4	-
	受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない	114	30.7	14.9	25.4	4.4	48.2	10.5	22.8	7.9
	受け入れた経験があるが、今後は受け入れを検討していない	9	22.2	11.1	-	11.1	33.3	22.2	-	22.2
	その他	8	-	-	-	-	25.0	62.5	12.5	-
サービス類型	訪問系サービス	81	24.7	13.6	25.9	7.4	54.3	14.8	14.8	7.4
	通所系サービス	46	34.8	23.9	28.3	2.2	54.3	10.9	17.4	2.2
	短期入所サービス	8	37.5	50.0	12.5	12.5	75.0	-	12.5	-
	居住系サービス	10	50.0	40.0	30.0	20.0	60.0	-	10.0	10.0
	施設サービス	7	42.9	57.1	14.3	-	71.4	-	14.3	-
	その他の居宅サービス	50	22.0	12.0	16.0	4.0	44.0	10.0	30.0	12.0

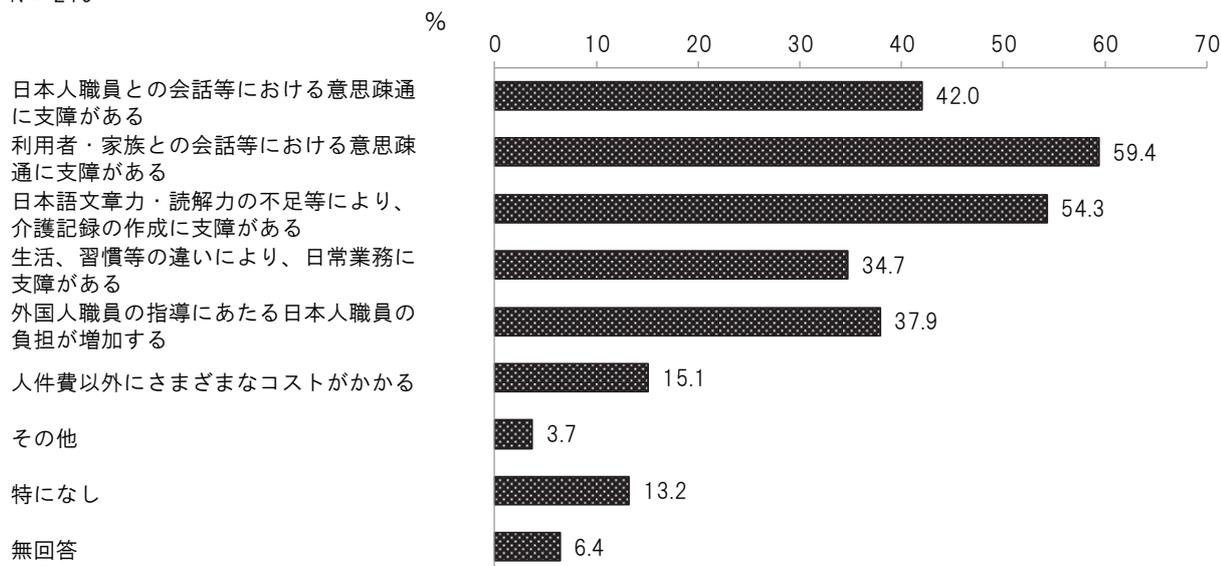
② 受け入れ後に課題と思われる（なっている）こと

受け入れ後に課題と思われることについては、「利用者・家族との会話等における意思疎通に支障がある」が59.4%と最も多く、「日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある」(54.3%)と続いています。

サービス類型別で見ると、利用者・家族との意思疎通への課題が高いのは、「通所系サービス」(69.6%)、「訪問系サービス」(60.5%)、また、介護記録の作成への課題が高いのは、「短期入所サービス」(87.5%)、「施設サービス」(85.7%)です。

図表 207 外国人労働者の受け入れにあたっての課題（受け入れ後）

N = 219



図表 208 外国人労働者の受け入れ状況別、サービス類型別の外国人労働者の受け入れにあたっての課題（受け入れ後）

#NAME?		全体数	日本人職員との会話等における意思疎通に支障がある	利用者・家族との会話等における意思疎通に支障がある	日本語文書力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある	生活、習慣等の違いにより、日常業務に支障がある	外国人職員の指導にあたる日本人職員の負担が増加する	人件費以外に様々なコストがかかる	その他	特になし	無回答
全 体		219	42.0	59.4	54.3	34.7	37.9	15.1	3.7	13.2	6.4
外国人労働者の受け入れ状況	現在受け入れているまたは受け入れたことがあり、今後も受け入れを検討している	44	47.7	61.4	81.8	29.5	47.7	20.5	4.5	-	2.3
	受け入れた経験がないが、受け入れを検討している	35	37.1	65.7	57.1	54.3	28.6	31.4	-	5.7	2.9
	受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない	114	43.9	63.2	48.2	34.2	42.1	10.5	2.6	18.4	5.3
	受け入れた経験があるが、今後は受け入れを検討していない	9	55.6	44.4	44.4	33.3	33.3	11.1	11.1	-	33.3
	その他	8	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	-	25.0	62.5	-
サービス類型	訪問系サービス	81	35.8	60.5	49.4	45.7	32.1	8.6	3.7	12.3	9.9
	通所系サービス	46	54.3	69.6	73.9	28.3	52.2	17.4	4.3	8.7	-
	短期入所サービス	8	37.5	50.0	87.5	37.5	50.0	50.0	-	-	-
	居住系サービス	10	60.0	60.0	60.0	30.0	40.0	30.0	-	-	10.0
	施設サービス	7	42.9	42.9	85.7	42.9	57.1	57.1	-	-	-
	その他の居宅サービス	50	32.0	54.0	40.0	26.0	30.0	12.0	-	26.0	8.0

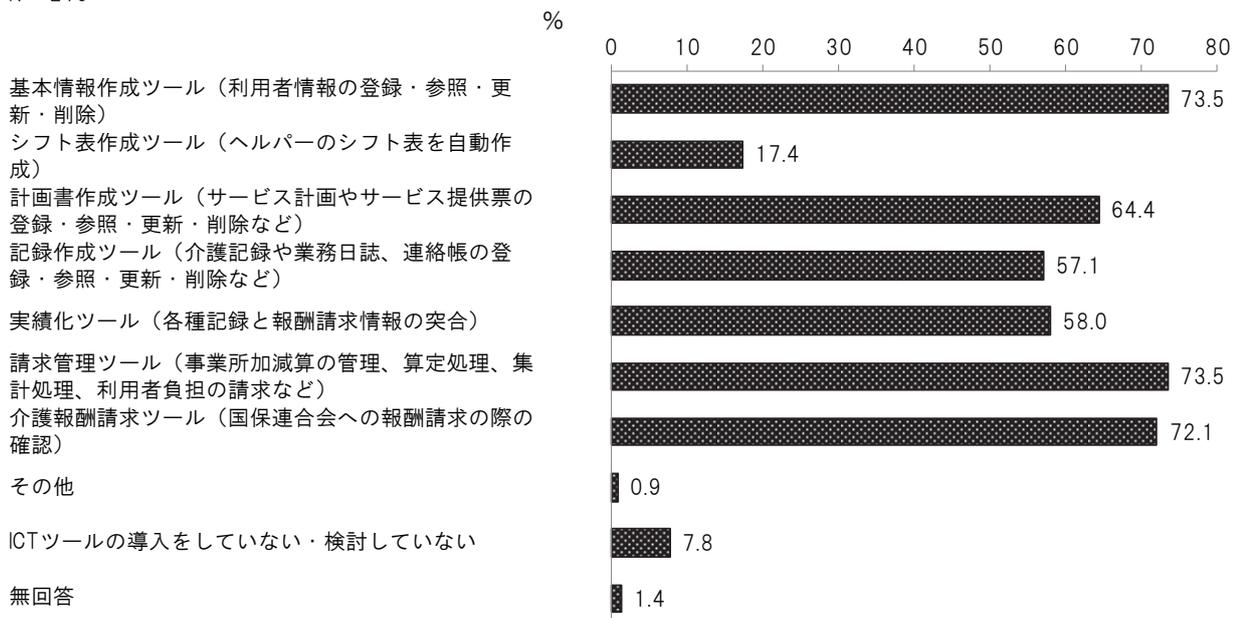
問 16 貴事業所で業務改善のために導入している・導入を検討している ICT ツールはどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

導入している・導入を検討している ICT ツールについては、「基本情報作成ツール（利用者情報の登録・参照・更新・削除）」、「請求管理ツール（事業所加減算の管理、算定処理、集計処理、利用者負担の請求など）」が 73.5%と最も多く、「介護報酬請求ツール（国保連合会への報酬請求の際の確認）」（72.1%）と続いています。

「ICT ツールを導入していない・検討していない」事業所は 7.8%です。

図表 209 導入している・導入を検討している ICT ツール

N = 219



図表 210 サービス種別、サービス類型別の導入している・導入を検討している ICT ツール

	全体数	基本情報作成ツール（利用者情報の登録・参照・更新・削除）	シフト表作成ツール（ヘルパーのシフト表を自動作成）	計画書作成ツール（サービス計画やサービス提供票の登録・参照・更新・削除など）	記録作成ツール（介護記録や業務日誌、連絡帳の登録・参照・更新・削除など）	実績化ツール（各種記録と報酬請求情報の突合）	無回答	介護報酬請求ツール（国保連合会への報酬請求の際の確認）	その他	ICTツールの導入をしていない・検討していない	無回答	
全体	219	73.5	17.4	64.4	57.1	58.0	73.5	72.1	0.9	7.8	1.4	
サービス種別	訪問介護	36	72.2	33.3	50.0	55.6	61.1	83.3	72.2	2.8	2.8	-
	訪問入浴介護	2	100.0	-	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-
	訪問看護	27	63.0	29.6	63.0	59.3	55.6	74.1	59.3	3.7	7.4	3.7
	訪問リハビリテーション	5	20.0	-	-	20.0	20.0	40.0	40.0	-	40.0	-
	通所介護	16	75.0	18.8	68.8	56.3	56.3	75.0	68.8	-	6.3	-
	通所リハビリテーション	4	75.0	-	50.0	25.0	50.0	75.0	50.0	-	25.0	-
	短期入所生活介護	6	100.0	16.7	83.3	100.0	83.3	100.0	100.0	-	-	-
	短期入所療養介護	2	50.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-
	福祉用具貸与	8	62.5	-	50.0	25.0	50.0	62.5	75.0	-	12.5	-
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	認知症対応型通所介護	4	100.0	-	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	-	-	-
	地域密着型通所介護	22	59.1	9.1	59.1	50.0	36.4	72.7	68.2	-	9.1	4.5
	小規模多機能型居宅介護	2	50.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	50.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	8	62.5	25.0	50.0	62.5	50.0	75.0	75.0	-	12.5	-
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	-	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	介護老人福祉施設	5	100.0	20.0	100.0	100.0	80.0	100.0	100.0	-	-	-
	介護老人保健施設	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	介護療養型医療施設	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
居宅介護支援	48	83.3	4.2	77.1	47.9	54.2	68.8	75.0	-	4.2	2.1	
サービス類型	訪問系サービス	81	65.4	27.2	51.9	54.3	58.0	75.3	66.7	2.5	7.4	1.2
	通所系サービス	46	69.6	10.9	63.0	52.2	47.8	73.9	67.4	-	8.7	2.2
	短期入所サービス	8	87.5	12.5	75.0	87.5	75.0	87.5	87.5	-	12.5	-
	居住系サービス	10	70.0	20.0	60.0	70.0	50.0	70.0	70.0	-	10.0	-
	施設サービス	7	85.7	14.3	85.7	85.7	71.4	85.7	85.7	-	14.3	-
	その他の居宅サービス	50	82.0	4.0	76.0	48.0	54.0	68.0	76.0	-	4.0	2.0

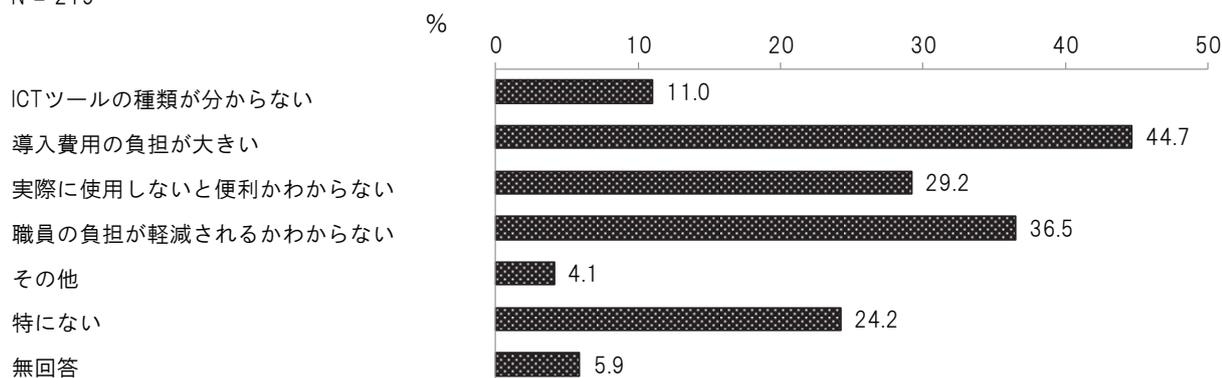
問 17 貴事業所において ICT ツールの導入にあたって課題となっていることを具体的に教えてください。（あてはまるものすべてに○）

① 導入時に関する課題

導入時に関する課題については、「導入費用の負担が大きい」が 44.7%と最も多く、「職員の負担が軽減されるかわからない」(36.5%)と続いています。

図表 211 ICT ツールの導入にあたっての課題（導入時）

N = 219



図表 212 サービス類型別の導入している・導入を検討している ICT ツール

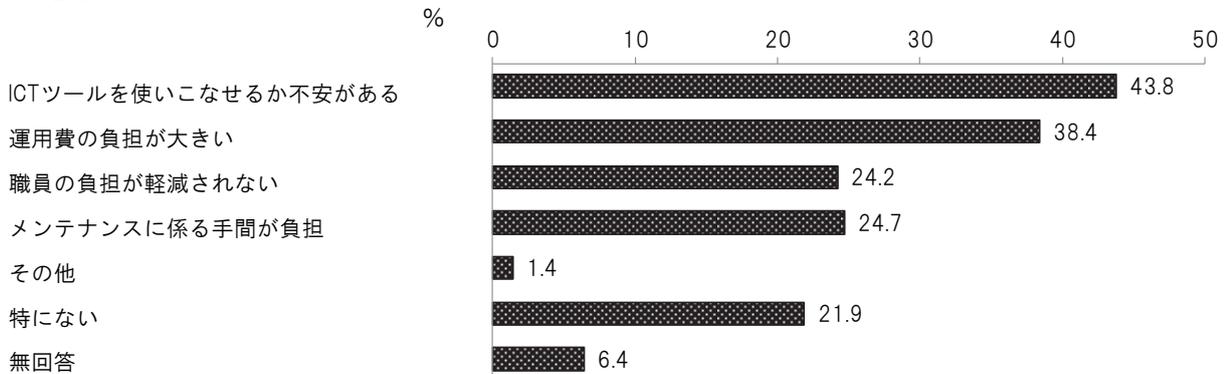
		全 体 数	か ら な い I C T ツ ー ル の 種 類 が 分 ら な い	導 入 費 用 の 負 担 が 大 き い	わ か ら な い に 使 用 し な い と 便 利 か	わ か ら な い 職 員 の 負 担 が 軽 減 さ れ る か	そ の 他	特 に な い	無 回 答	(%)
全 体		219	11.0	44.7	29.2	36.5	4.1	24.2	5.9	
サー ビ ス 類 型	訪問系サービス	81	12.3	30.9	30.9	25.9	3.7	27.2	11.1	
	通所系サービス	46	13.0	60.9	28.3	50.0	4.3	10.9	4.3	
	短期入所サービス	8	-	75.0	37.5	75.0	-	12.5	-	
	居住系サービス	10	10.0	50.0	30.0	40.0	10.0	20.0	-	
	施設サービス	7	-	85.7	28.6	71.4	-	14.3	-	
	その他の居宅サービス	50	10.0	40.0	32.0	28.0	4.0	30.0	4.0	

② 導入後の運用に関する課題

導入後の運用に関する課題については、「ICT ツールを使いこなせるか不安がある」が 43.8%と最も多く、「運用費の負担が大きい」(38.4%)と続いています。

図表 213 ICT ツールの導入にあたっての課題（導入後）

N = 219



図表 214 サービス類型別の導入している・導入を検討している ICT ツール

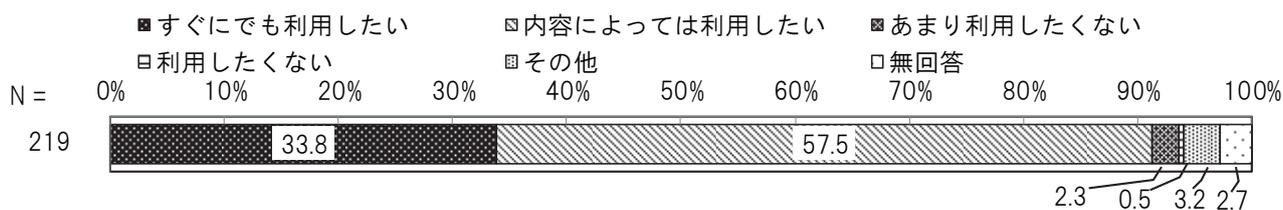
		全体数	ICT ツールを使いこなせるか不安がある (%)	運用費の負担が大きい (%)	職員の負担が軽減されない (%)	メンテナンスに係る手間が負担 (%)	その他 (%)	特になし (%)	無回答 (%)
全体		219	43.8	38.4	24.2	24.7	1.4	21.9	6.4
サービス類型	訪問系サービス	81	42.0	32.1	12.3	21.0	1.2	25.9	7.4
	通所系サービス	46	50.0	56.5	32.6	28.3	2.2	8.7	4.3
	短期入所サービス	8	62.5	50.0	50.0	50.0	-	12.5	-
	居住系サービス	10	70.0	10.0	20.0	20.0	-	20.0	10.0
	施設サービス	7	71.4	57.1	42.9	57.1	-	14.3	-
	その他の居宅サービス	50	34.0	38.0	30.0	24.0	-	24.0	10.0

問 18 国は介護サービスに係る指定及び報酬請求（加算届出を含む）に関連する申請・届出について、介護事業所が所要の申請・届出を簡易に行うことを可能とする観点から、令和7年度までにすべての自治体で「電子申請届出システム」を利用して手続きを完結できるようにするとしています。が、「電子申請届出システム」が開始された場合の貴事業所の利用意向について教えてください。（ひとつだけ〇）

「電子申請届出システム」の利用意向については、「内容によっては利用したい」が57.5%と最も多く、「すぐにでも利用したい」（33.8%）と続いています。

《利用したい》意向が91.3%です。

図表 215 「電子申請届出システム」の利用意向

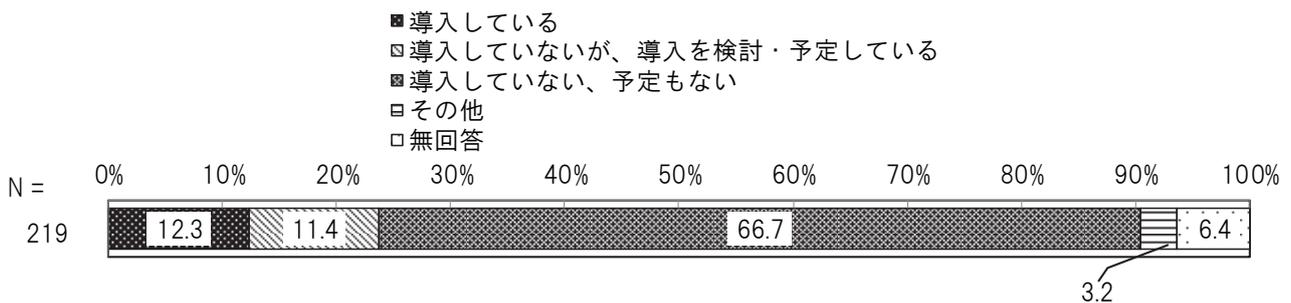


問 19 貴事業所において介護助手（介護補助）は導入していますか。（ひとつだけ〇）
 【介護助手とは、介護施設や事務所等で掃除や食事の配膳・片づけ、ベッドメイキング、利用者の話相手等、身体介護以外の業務で、介護職員の補助的な業務を担う仕事です。ボランティアではありません。資格の必要がない職種です。】

介護助手の導入状況については、「導入していない、予定もない」が66.7%と最も多く、「導入している」(12.3%)と続いています。

サービス類型によって導入状況は大きく異なっており、「短期入所サービス」(75.0%)、「施設サービス」(71.4%)などで導入が進んでいます。

図表 216 介護助手の導入状況



図表 217 サービス類型別の介護助手の導入状況

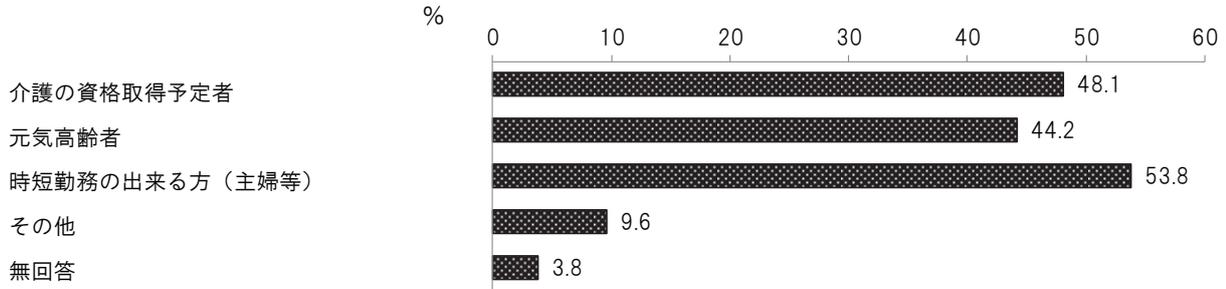
		全体数	導入している	導入していないが、導入を検討・予定している	導入していない、予定もない	その他	無回答
全 体		219	12.3	11.4	66.7	3.2	6.4
サービス類型	訪問系サービス	81	1.2	11.1	77.8	2.5	7.4
	通所系サービス	46	19.6	13.0	58.7	2.2	6.5
	短期入所サービス	8	75.0	12.5	12.5	-	-
	居住系サービス	10	20.0	30.0	50.0	-	-
	施設サービス	7	71.4	14.3	14.3	-	-
	その他の居宅サービス	50	4.0	4.0	76.0	6.0	10.0

問 19-1 【問 19 で、「1」または「2」に回答した方のみにおうかがいします。】どのような人材を活用していますか。（あてはまるものすべてに○）

介護助手の人材種類については、「時短勤務の出来る方（主婦等）」が 53.8%と最も多く、「介護の資格取得予定者」（48.1%）と続いています。

図表 218 介護助手の人材種類

N = 52



図表 219 サービス類型別の介護助手の人材種類

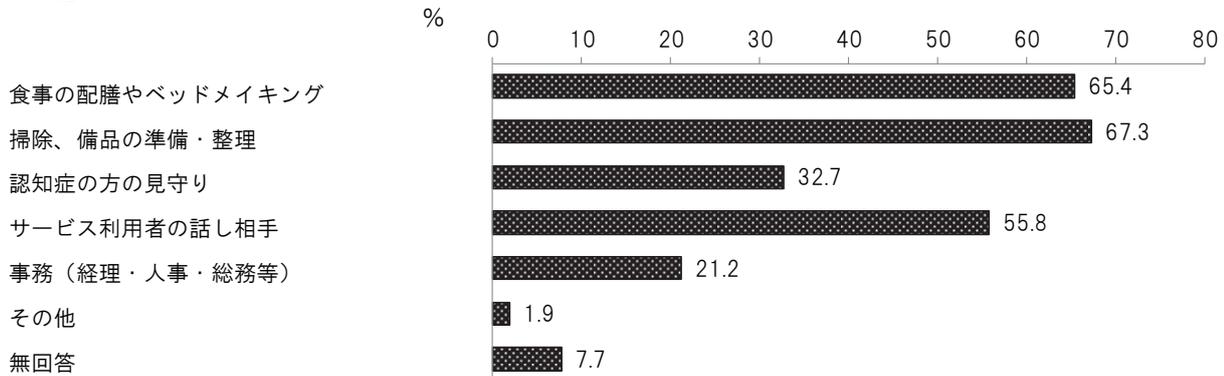
		全体数	介護の資格取得予定者	元気高齢者	時短勤務の出来る方（主婦等）	その他	無回答
全体		52	48.1	44.2	53.8	9.6	3.8 (%)
サービス類型	訪問系サービス	10	70.0	30.0	40.0	-	10.0
	通所系サービス	15	53.3	33.3	53.3	20.0	6.7
	短期入所サービス	7	28.6	85.7	42.9	14.3	-
	居住系サービス	5	20.0	60.0	60.0	-	-
	施設サービス	6	33.3	83.3	50.0	16.7	-
	その他の居宅サービス	4	25.0	25.0	100.0	-	-

問 19-2 【問 19 で、「1」または「2」に回答した方のみにおうかがいします。】どのような業務での活用を考えていますか。（あてはまるものすべてに○）

介護助手の活用内容については、「掃除、備品の準備・整理」が 67.3%と最も多く、「食事の配膳やベッドメイキング」（65.4%）と続いています。

図表 220 介護助手の活用内容

N = 52



図表 221 サービス類型別の介護助手の活用内容

		回答者数	食事の配膳やベッドメイキング	掃除、備品の準備・整理	認知症の方の見守り	サービス利用者の話し相手	事務（経理・人事・総務等）	その他	無回答
全体		52	65.4	67.3	32.7	55.8	21.2	1.9	7.7
サービス類型	訪問系サービス	10	20.0	40.0	20.0	50.0	60.0	-	-
	通所系サービス	15	66.7	73.3	60.0	73.3	6.7	6.7	20.0
	短期入所サービス	7	100.0	100.0	14.3	57.1	-	-	-
	居住系サービス	5	80.0	100.0	20.0	-	20.0	-	-
	施設サービス	6	100.0	100.0	16.7	50.0	-	-	-
	その他の居宅サービス	4	25.0	50.0	25.0	50.0	75.0	-	-

問 19-3 【問 19 で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】導入しないと考える理由をお聞かせください。

図表 222 介護助手を利用したくない理由

観点	主な回答内容
業務における必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に必要なが無い。職種として相応しくない。 ・介護スタッフのみで充足している。補助業務も含めて通所介護業務であると捉えている。 ・必要なスタッフの配置などを考えると導入する必要性がない。 ・サービスオペレーション上必要性を感じない。 ・助手として一人スタッフを雇うことは合理的ではない。全てのスタッフに、一人前の仕事をしてもらう必要がある。 ・業務に資格が必須。
ビジネスメリット・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で充足している。 ・本社が採用を行っているから。 ・算定できないので必要性は無い。経済的余裕はない。 ・小規模のため、介護職員で対応可能。1日の職員数も限られるため、介護助手ではなく、可能な限り介護職員を配置したい。 ・事務員を雇用するより、介護支援専門員を雇用したい。 ・法人に介護助手という雇用スタイルがなく、又、介護職員としての人材が不足している中で、補助というスタンスでの雇用とはなりにくい。 ・業務の中の1つとして時間内に遂行できるものだと考える。もちろん効率性はあがるメリットはあるが複数の訪問を嫌がる方も中にはおり、人件費も考えると、不要だと考えている。 ・事務作業にも細かなことが必要なため。 ・利用者が助手と理解できない可能性がある。サービス全体の責任感が薄れると予想される。 ・業務指導、安全管理などが十分に行えない。
検討中	<ul style="list-style-type: none"> ・介護助手について知識がない為良く知ってから考えたい。 ・有用性を検討中。

3 処遇改善の状況について

問 20 【問 20 は訪問看護、訪問リハビリテーション、福祉用具貸与、居宅介護支援以外の事業所がお答えください。】貴事業所では、介護職員等ベースアップ等支援加算を申請していますか。（ひとつだけ○）

介護職員等ベースアップ等支援加算の申請状況については、「申請している」が 77.2%と最も多くなっています。

図表 223 介護職員等ベースアップ等支援加算の申請状況



図表 224 サービス類型別の介護職員等ベースアップ等支援加算の申請状況

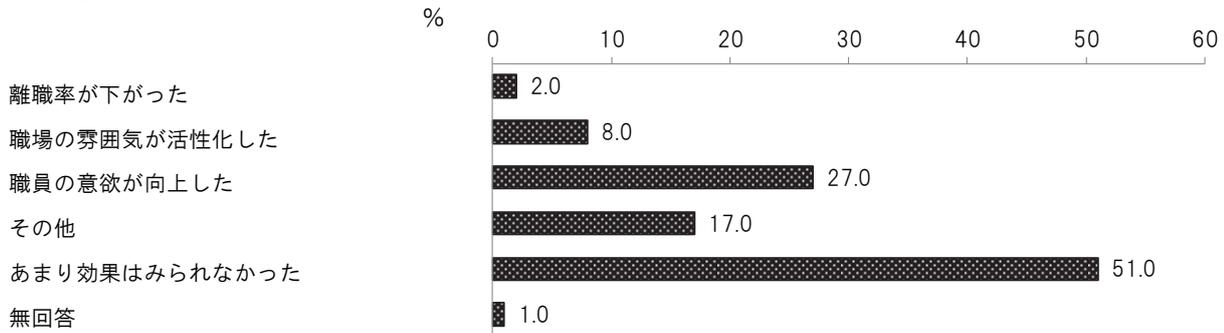
		全体数	申請している	申請していない	無回答
全 体		114	77.2	14.0	8.8 (%)
サービス類型	訪問系サービス	41	78.0	12.2	9.8
	通所系サービス	46	73.9	19.6	6.5
	短期入所サービス	8	87.5	12.5	-
	居住系サービス	10	80.0	-	20.0
	施設サービス	7	85.7	14.3	-
	その他の居宅サービス	2	50.0	-	50.0

問 20-1 【問 20 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】介護職員等ベースアップ等支援加算を利用した処遇の改善を図ったことで、貴事業所の従業員にどのような効果があったと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

介護職員等ベースアップ等支援加算利用の効果については、「あまり効果はみられなかった」が 51.0%と最も多く、「職員の意欲が向上した」(27.0%)と続いています。

図表 225 介護職員等ベースアップ等支援加算利用の効果

N = 100

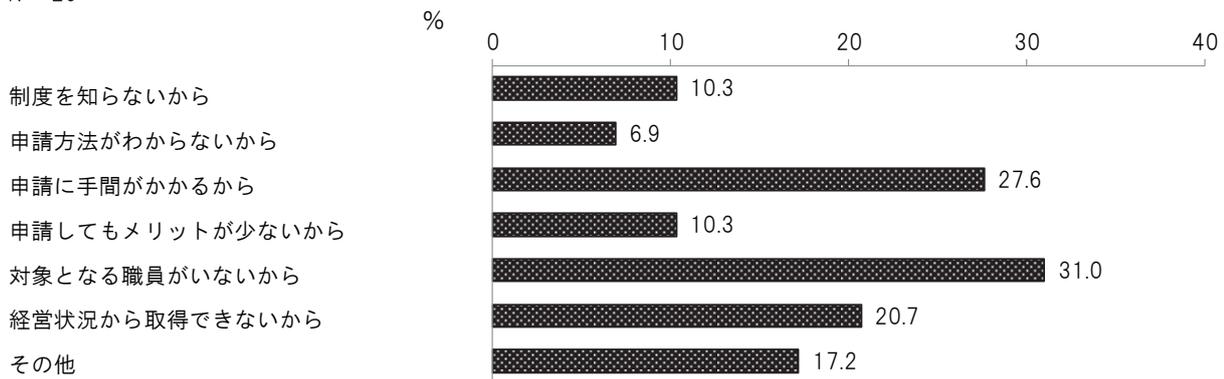


問 20-2 【問 20 で、「2」に回答した方のみにおうかがいします。】介護職員等ベースアップ等支援加算の申請を行っていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護職員等ベースアップ等支援加算を申請していない理由については、「対象となる職員がいないから」が 31.0%と最も多く、「申請に手間がかかるから」(27.6%)と続いています。

図表 226 介護職員等ベースアップ等支援加算を申請していない理由

N = 29



4 各種連携の状況について

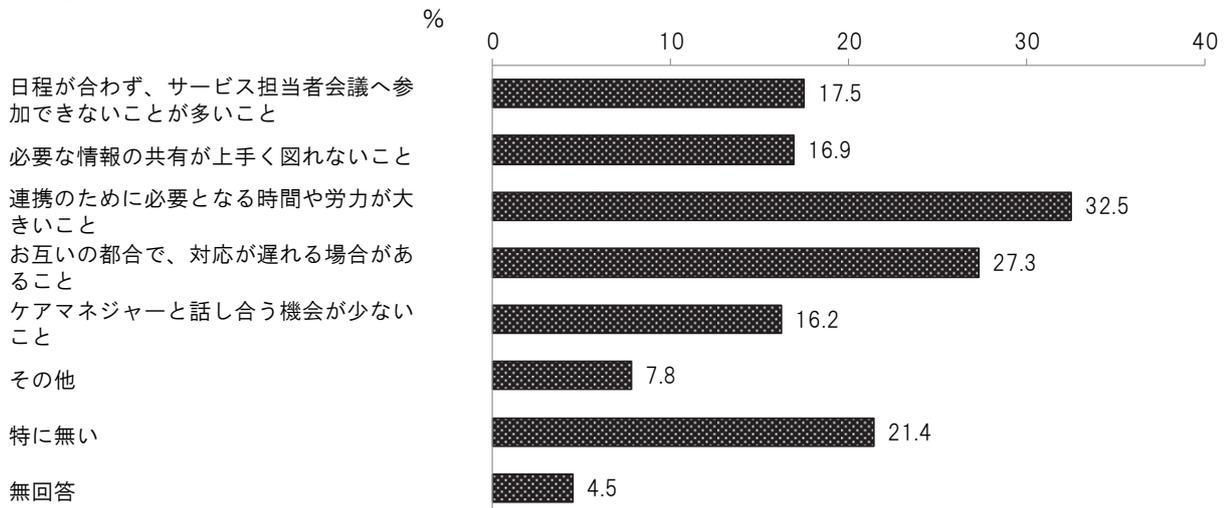
問 21 【問 21 は居宅介護支援以外の事業所がお答えください。】高齢者への適切なケアの提供にあたっては、ケアマネジャーと十分な連携がとれていることが重要ですが、貴事業所にとって、ケアマネジャーとの連携における課題は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

ケアマネジャーとの連携における課題については、「連携のために必要となる時間や労力が大きいこと」が32.5%と最も多く、「お互いの都合で、対応が遅れる場合があること」（27.3%）と続いています。

「連携のために必要となる時間や労力が大きいこと」の割合が高いのは、「短期入所サービス」（75.0%）、「施設サービス」（57.1%）です。また、「お互いの都合で、対応が遅れる場合があること」の割合が高いのは「訪問系サービス」（33.3%）と、サービス類型によって連携の課題が異なることが分かります。

図表 227 ケアマネジャーとの連携における課題

N = 154



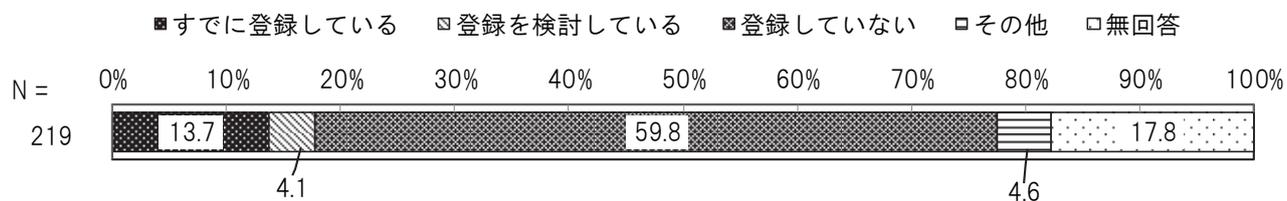
図表 228 サービス種別、サービス類型別のケアマネジャーとの連携における課題

	全体数	日程が合わず、サービス担当者会議へ参加できないこと	必要な情報の共有が上手く回れないこと	連携のために必要となる時間や労力が大きいこと	お互いの都合で、対応が遅れる場合があること	ケアマネジャーと話し合う機会が少ないこと	無回答	特に無い	無回答	
全体	154	17.5	16.9	32.5	27.3	16.2	7.8	21.4	4.5	
サービス種別	訪問介護	36	11.1	16.7	27.8	36.1	13.9	-	22.2	8.3
	訪問入浴介護	2	100.0	-	-	-	50.0	-	-	-
	訪問看護	27	22.2	18.5	25.9	29.6	11.1	3.7	22.2	3.7
	訪問リハビリテーション	5	60.0	-	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-
	通所介護	16	12.5	18.8	31.3	12.5	25.0	25.0	25.0	-
	通所リハビリテーション	4	100.0	25.0	75.0	50.0	50.0	-	-	-
	短期入所生活介護	6	16.7	50.0	100.0	16.7	16.7	-	-	-
	短期入所療養介護	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-
	福祉用具貸与	8	-	12.5	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	4	25.0	25.0	25.0	50.0	-	75.0	-	-
	地域密着型通所介護	22	13.6	9.1	36.4	27.3	22.7	9.1	13.6	4.5
	小規模多機能型居宅介護	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	8	-	-	-	12.5	-	12.5	62.5	12.5
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-
	介護老人福祉施設	5	20.0	20.0	80.0	-	20.0	-	20.0	-
介護老人保健施設	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
介護療養型医療施設	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
居宅介護支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
サービス類型	訪問系サービス	81	18.5	16.0	25.9	33.3	14.8	2.5	21.0	4.9
	通所系サービス	46	21.7	15.2	37.0	26.1	23.9	19.6	15.2	2.2
	短期入所サービス	8	12.5	50.0	75.0	12.5	12.5	-	12.5	-
	居住系サービス	10	-	-	10.0	10.0	-	10.0	60.0	10.0
	施設サービス	7	14.3	28.6	57.1	-	14.3	-	28.6	-
	その他の居宅サービス	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0

問 22 貴事業所では、喀痰吸引等登録事業者の登録をしていますか。（ひとつだけ○）

喀痰吸引等登録事業者の登録状況については、「登録していない」が 59.8%と最も多く、「すでに登録している」(13.7%)と続いています。

図表 229 喀痰吸引等登録事業者の登録状況



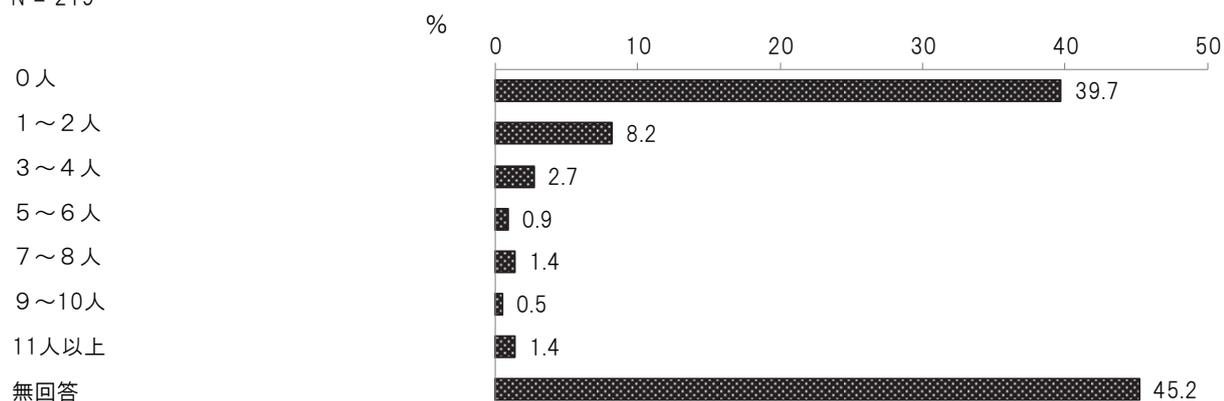
問 23 貴事業所の介護職員の中で認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けている方の人数をお答えください。（喀痰吸引等登録事業者以外もお答えください。把握している範囲で結構です。）（人数を記入）

認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けている従業員数については、「0人」が39.7%と最も多くなっています。

喀痰吸引等登録事業者の登録者数は1事業所あたり「1～2人」が8.2%となっています。

図表 230 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けている従業員数

N = 219

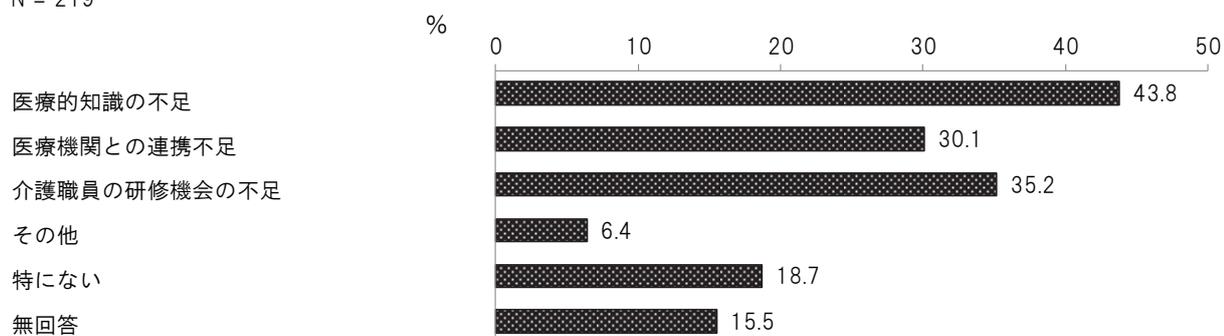


問 24 貴事業所では、ターミナルケアに取り組むにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

ターミナルケアへの対応における課題については、「医療的知識の不足」が43.8%と最も多く、「介護職員の研修機会の不足」（35.2%）と続いています。

図表 231 ターミナルケアへの対応における課題

N = 219



5 サービスの質の向上について

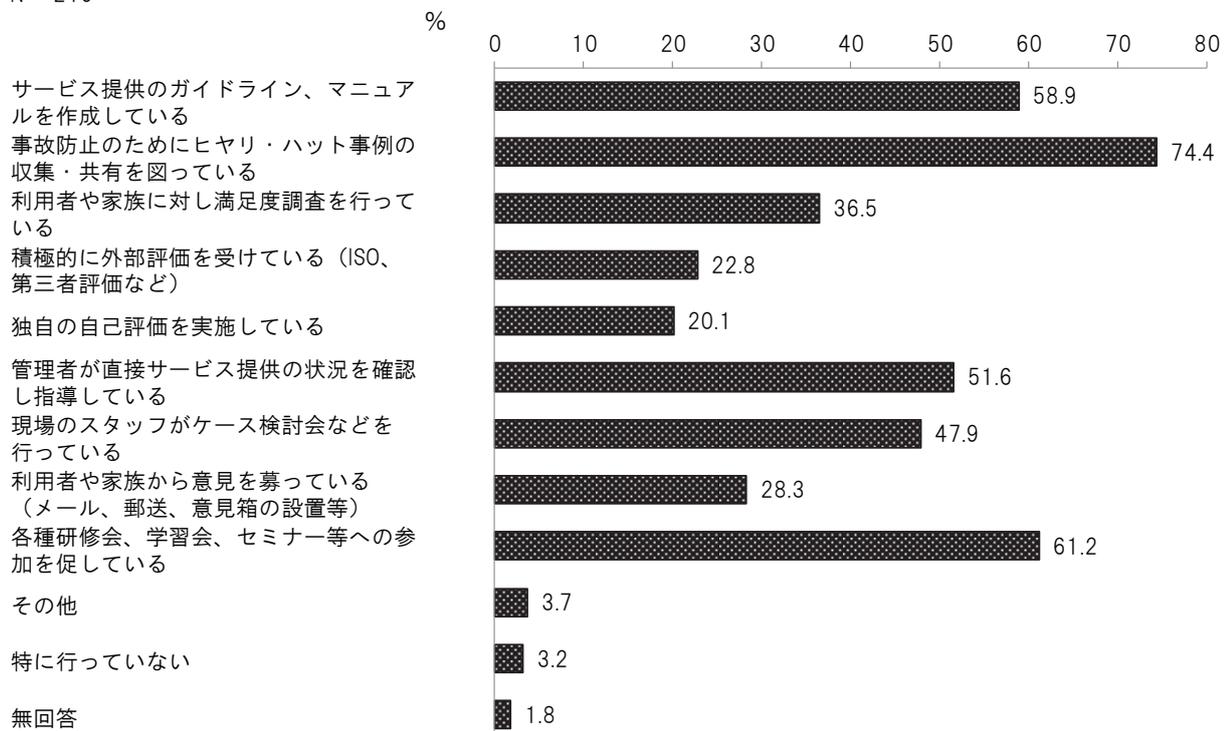
問 25 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

サービスの質の向上に向けた取り組みについては、「事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている」が74.4%と最も多く、「各種研修会、学習会、セミナー等への参加を促している」（61.2%）と続いています。

ヒヤリ・ハット事例の収集・共有については、「短期入所サービス」「居住系サービス」「施設サービス」において100%の実施率となっています。

図表 232 サービスの質の向上に向けた取り組み

N = 219



図表 233 サービス類型別のサービスの質の向上に向けた取り組み

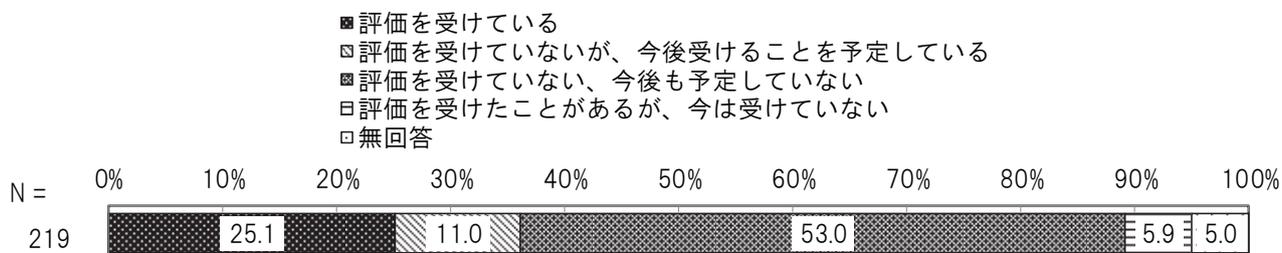
	全体数	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	積極的に外部評価を受けている (ISO、第三者評価など)	独自の自己評価を実施している	無回答	現場のスタッフがケース検討会などを行っている	利用者や家族から意見を募っている (メール、郵送、意見箱の設置等)	各種研修会、学習会、セミナー等への参加を促している	その他	特に行っていない	無回答	
全体	219	58.9	74.4	36.5	22.8	20.1	51.6	47.9	28.3	61.2	3.7	3.2	1.8	
サービス類型	訪問系サービス	81	64.2	74.1	38.3	8.6	23.5	59.3	49.4	21.0	63.0	1.2	1.2	3.7
	通所系サービス	46	67.4	91.3	43.5	30.4	21.7	71.7	45.7	37.0	50.0	10.9	2.2	2.2
	短期入所サービス	8	62.5	100.0	25.0	62.5	12.5	37.5	62.5	62.5	75.0	12.5	-	-
	居住系サービス	10	60.0	100.0	40.0	80.0	40.0	50.0	70.0	40.0	60.0	-	-	-
	施設サービス	7	57.1	100.0	42.9	71.4	14.3	42.9	57.1	71.4	71.4	14.3	-	-
	その他の居宅サービス	50	46.0	46.0	34.0	18.0	10.0	34.0	40.0	14.0	72.0	-	10.0	-

(%)

問 26 貴事業所では、第三者評価を受けていますか。(ひとつだけ○)

第三者評価の有無については、「評価を受けていない、今後も予定していない」が 53.0%と最も多く、「評価を受けている」(25.1%)と続いています。

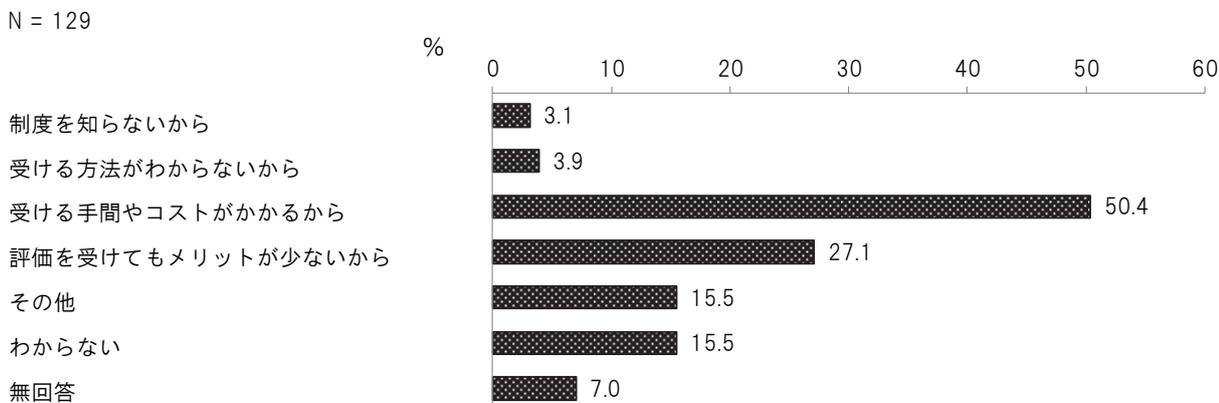
図表 234 第三者評価の有無



問 26-1 【問 26 で、「3」または「4」に回答した方のみにおうかがいします。】第三者評価を受けない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

第三者評価を受けない理由については、「受ける手間やコストがかかるから」が 50.4%と最も多く、「評価を受けてもメリットが少ないから」(27.1%)と続いています。

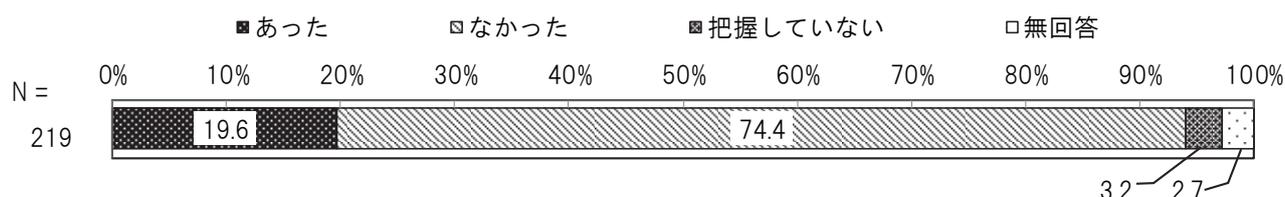
図表 235 第三者評価を受けない理由



問 27 過去1年間（令和3年10月1日から令和4年9月30日）に、貴事業所の従業員に対する利用者・家族等からのハラスメント（セクハラ、パワハラ等）について、従業員等から相談や報告等ありましたか。（ひとつだけ○）

従業員に対する利用者・家族等からのハラスメント（セクハラ、パワハラ等）について、従業員等から相談や報告等については、「なかった」が74.4%と最も多くなっています。従業員に対する利用者・家族等からのハラスメントがあった割合は、19.7%です。

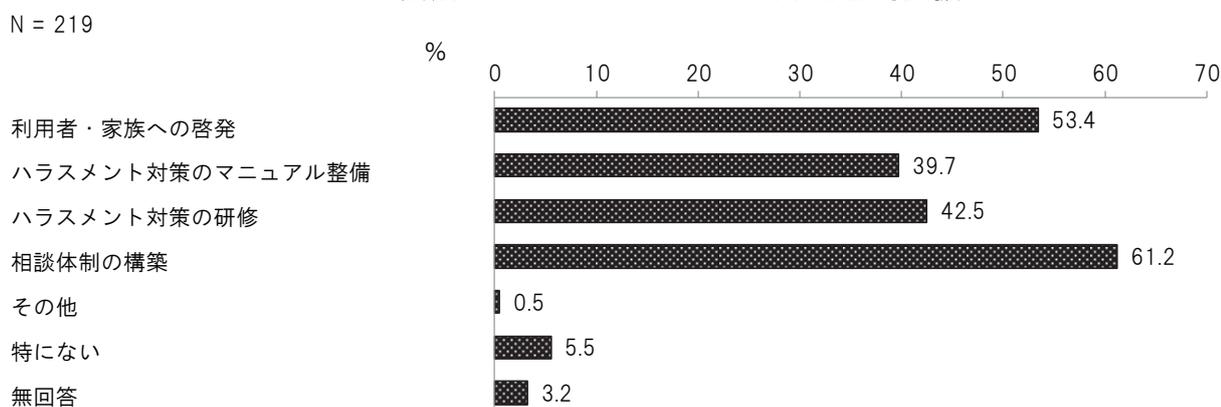
図表 236 従業員に対する利用者・家族等からのハラスメント（セクハラ、パワハラ等）について、従業員等から相談や報告等



問 28 ハラスメントに対して、どのような公的支援が必要ですか。（あてはまるものすべてに○）

ハラスメントに対する公的支援については、「相談体制の構築」が61.2%と最も多く、「利用者・家族への啓発」(53.4%)と続いています。

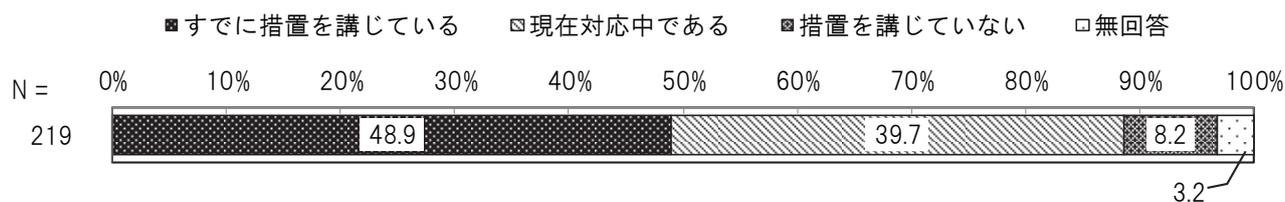
図表 237 ハラスメントに対する公的支援



問 29 国は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等の観点から、虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定めることを義務付けています。（令和6年3月31日まで努力義務）貴事業所では、上記の虐待の防止にかかる措置を講じていますか。（ひとつだけ〇）

虐待の防止にかかる措置状況については、「すでに措置を講じている」が48.9%と最も多く、「現在対応中である」（39.7%）と続いています。

図表 238 虐待の防止にかかる措置状況



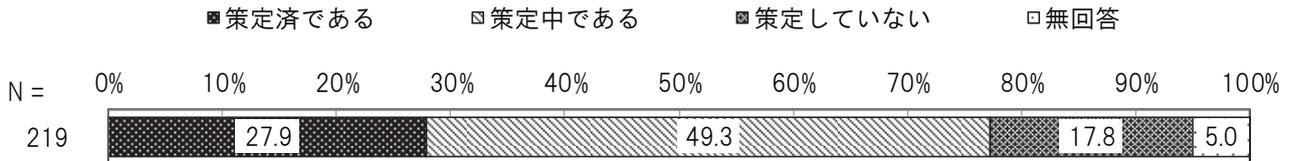
6 災害時の対応について

問 30 国は、省令により、2024 年までに BCP（事業継続計画）の策定を義務づけています。貴事業所では BCP を策定されていますか。（ひとつだけ○）

BCP の策定状況については、「策定中である」が 49.3%と最も多く、「策定済である」(27.9%) と続いています。

策定の割合が高いのは、「施設サービス」(85.7%)、「短期入所サービス」(75.0%) です。

図表 239 BCP の策定状況



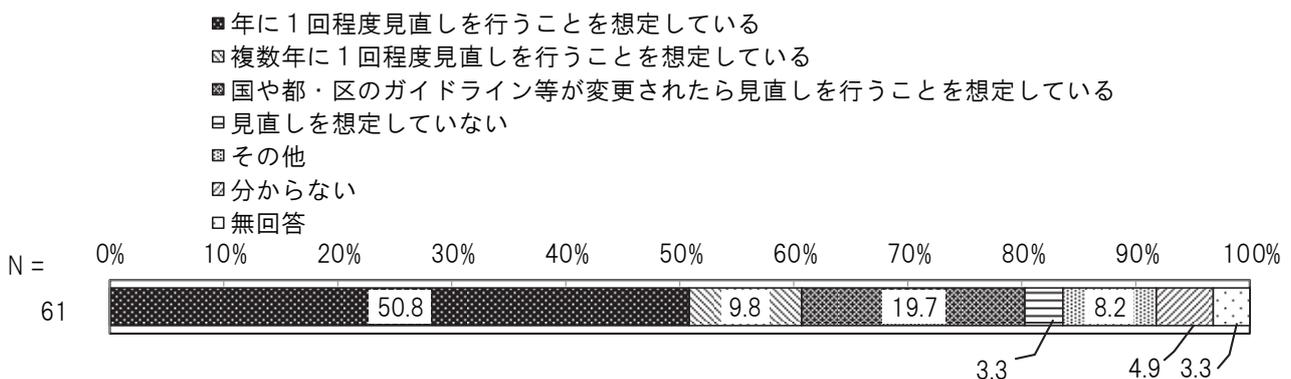
図表 240 サービス類型別、事業規模別の BCP の策定状況

		全体数	策定済である	策定中である	策定していない	無回答
全体		219	27.9	49.3	17.8	5.0 (%)
サービス類型	訪問系サービス	81	27.2	46.9	19.8	6.2
	通所系サービス	46	23.9	56.5	15.2	4.3
	短期入所サービス	8	75.0	12.5	12.5	-
	居住系サービス	10	40.0	60.0	-	-
	施設サービス	7	85.7	14.3	-	-
	その他の居宅サービス	50	20.0	50.0	24.0	6.0

問 30-1 【問 30 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画の見直しはどのように想定されていますか。（ひとつだけ○）

BCP の見直しの想定については、「年に 1 回程度見直しを行うことを想定している」が 50.8%と最も多く、「国や都・区のガイドライン等が変更されたら見直しを行うことを想定している」(19.7%) と続いています。

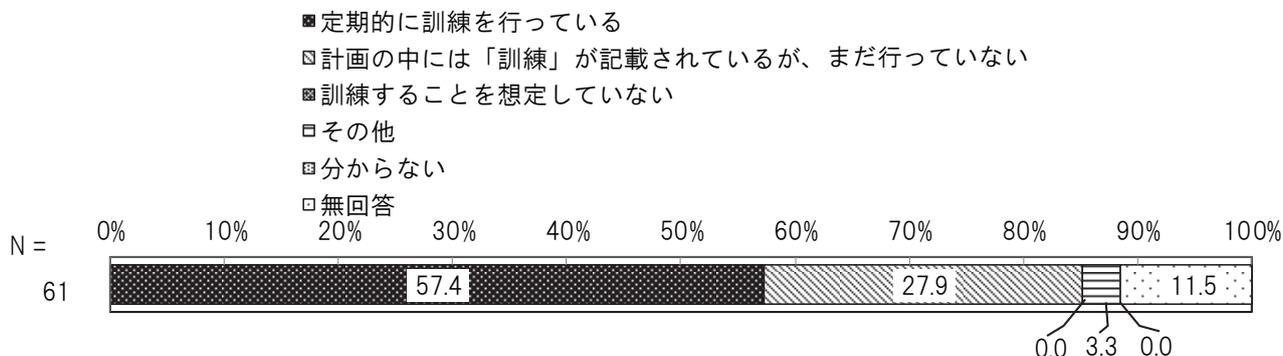
図表 241 BCP の見直しの想定



問 30-2 【問 30 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画に基づく訓練は行われていますか。（ひとつだけ○）

BCP に基づく訓練については、「定期的に訓練を行っている」が 57.4%と最も多く、「計画の中には「訓練」が記載されているが、まだ行っていない」（27.9%）と続いています。

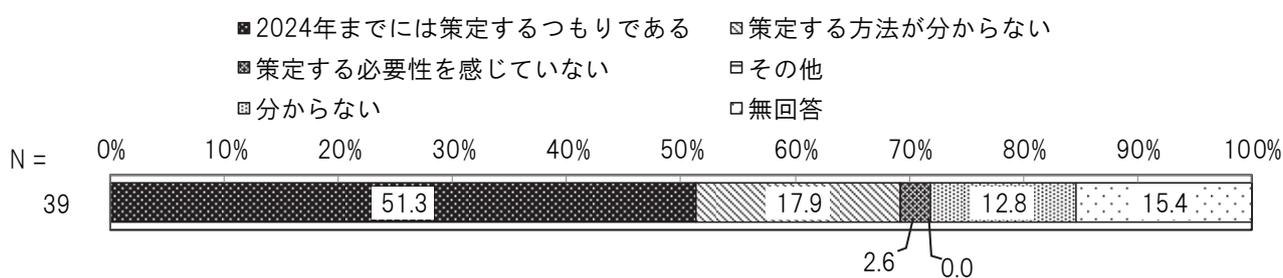
図表 242 BCP に基づく訓練



問 30-3 【問 30 で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】策定していない理由は何ですか。（ひとつだけ○）

BCP を策定していない理由については、「2024 年までには策定するつもりである」が 51.3%と最も多く、「策定する方法が分からない」（17.9%）と続いています。

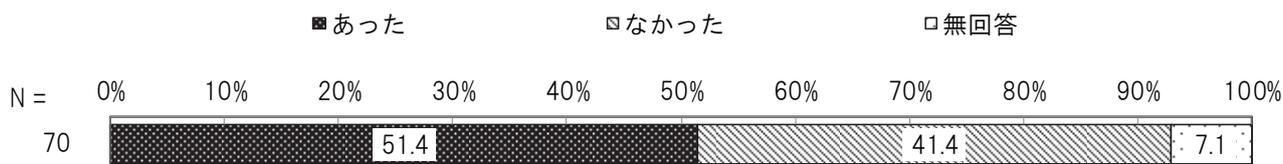
図表 243 BCP を策定していない理由



問 31 【問 31 は訪問系のサービスを取り扱っている事業所のみお答えください。】
 令和4年10月までの間で、新型コロナウイルス感染症を理由としてサービスの提供ができなかったことはありますか。（ひとつだけに○）

新型コロナウイルス感染症によるサービス提供の影響については、影響は「あった」が51.4%と最も多くなっています。

図表 244 新型コロナウイルス感染症によるサービス提供の影響

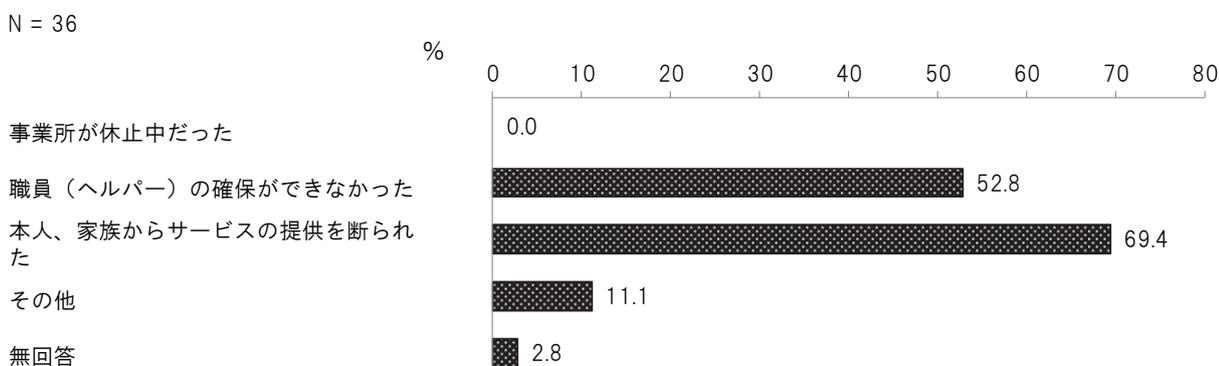


問 31-1 【問 31 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】サービスの提供ができなかった理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

サービスが提供できなかった理由については、「本人、家族からサービスの提供を断られた」が69.4%と最も多く、「職員（ヘルパー）の確保ができなかった」（52.8%）と続いています。

「事業所が休止中だった」という理由はありませんでした。

図表 245 サービスが提供できなかった理由

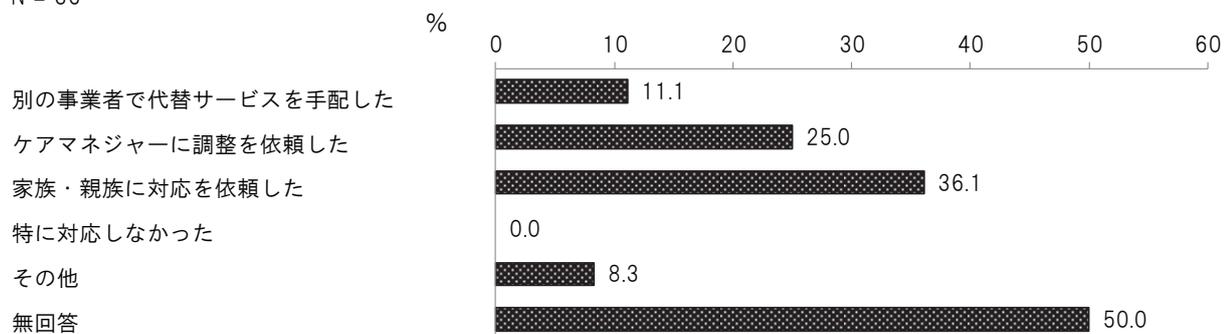


問 31-2 【問 31 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】サービスの提供ができなかった際にどのような対応をとりましたか。（あてはまるものすべてに○）

サービスの提供が出来なかった時の対応については、「家族、親族に対応を依頼した」が36.1%と最も多く、「ケアマネジャーに調整を依頼した」（25.0%）と続いています。

図表 246 サービスが提供できなかった時の対応

N = 36



問 32 新型コロナウイルス感染拡大対策の現状や、今後の大規模災害が発生した場合の取り組みに関して、課題等があればご自由にお書きください。

図表 247 新型コロナウイルス感染拡大対策の現状

観点	主な回答内容
サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年の夏頃に集中して感染者が出た時には利用者へのサービス提供が調整できないこともあった。現在は比較的安定している。 ・現時点では新型コロナウイルス感染により代替サービスを手配することが必要なケースは無かったが、気が抜けない状況が続いている。 ・職員1名が感染し、1日間のみ休業としたが、運営推進会議で対処法を聞いていたので問題等はおきなかった。また、休業事業者のサービスを当方で受け入れ、在宅生活の継続を支援した。 ・利用者が感染した際に訪問介護は介入拒否となる。独居の場合、生死に関わるので新宿区のように介入できる事業所を準備してほしい。 ・コロナ陽性の利用者には、訪問をしないことになっている為、コロナ陽性者が増加した場合、受け入れ先病院様を探す事ができるかどうかが課題。 ・通所介護や短期入所生活介護の施設でコロナクラスターが発生した場合、休業や一時閉鎖により利用者がサービスを受け入れられなくなり、代替の場やサービスが見つからない。
利用者の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方は特にマスクを外してしまう。一人暮らし(ケアの必要な)の高齢者の対応が必要となってくる。
業務の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナに関しては、職員数が少ないため、一人でも感染した際の業務の停滞の度合いが大きくなってしまう。 ・職員に陽性者や濃厚接触者が出た場合の代替要員の確保が必要。 ・感染症拡大時の受け入れ。入所後の感染対応 特養のことを考えると外部の人を内部に入れることを極力減らしたいが、ショートステイの方を受け入れなければならない。リスクとのバランスがとても難しい。 ・コロナなど感染症の方の家を訪問した看護師は、他の利用者様の訪問ができなくなるので、一時的な協力要員を派遣する仕組みや、助成金の仕組みがほしい。 ・一週間運営を中止した際に、家庭訪問はしたもののサービスの提供に至らず、皆様にご迷惑をかけてしまった。東京都や豊島区に相談しながら、必要な方へのサービスを継続できるようにしていける体制が取りたい。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査や抗原検査キット購入による費用負担の増加および入手困難時の対応に掛かる手間などの負担に課題。 ・濃厚接触した方のPCR検査検査をいつでも無料でできるよう介護施設に配って欲しい。 ・PCR検査や抗原検査によるモニタリングは欠かせない、今後も継続して欲しい。 ・週に1度職員に対してスクリーニング検査の為にPCR検査を行っているが、その間に陽性になっている職員を特定するのにタイムラグが生じる。抗原検査キットも持たせているが、無症状で陽性の場合には自覚がないので施設に持ち込んでしまうことを防ぎきれない。 ・家族の理解度にバラつきがあるため、報告の重要性に差が生じる。それにより対応が後手になり、複数名へ拡大したことがあった。報告を受けてからも、スクリーニングをかけるため、毎日夕方～夜間にかけて、家族へ連絡を取り、検査をするために車で走り回っていた。
感染対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー稼働前の体調チェック、手洗い、うがい、手指消毒、換気、マスク、手袋の使用などの徹底、利用者宅に訪問した際の利用者の体調チェック→異変があった場合に、瞬時に会社への連絡を徹底など。コロナ対策だけでなく普段から行っている。 ・感染拡大対策として、スタンダードプリコーションを守っている。

観点	主な回答内容
介護従事者への負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ withコロナの状況で3年が経とうとしているが従事者のストレスは相当と思われる。メンタルへの配慮は今後も注視していかなければならない。
制度面等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報優先して感染情報は伝わっていない事がある。 ・ 新型コロナウイルス感染による死亡率はインフルエンザと同等になっており、早急に対応策の緩和をお願いしたい。 ・ 在宅は家族り患によるクラスターが発生しやすいので情報収集が必要不可欠である。

図表 248 大規模災害が発生した場合の取り組みの課題

観点	主な回答内容
災害時の懸念事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の確保。 ・ 他事業所との連携。 ・ 利用者の安否や介護状況の確認が必要。 ・ 身寄りのない独居生活の患者や医療者の介入が必須な状態にある患者のサポート。 ・ 認知症の入居者の避難場所。移動手段。 ・ 利用者の安否確認や用具の破損状況などを把握するのが大変。 ・ 災害時、送迎に出ている時に連絡がつかなくなった際の対応方法。
BCP・マニュアル整備への課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常業務以外に、対策を考えたり、準備したりする時間がない。 ・ 専門部門の設置をする必要あるが、日々の業務に追われて取り組みが進んでいない。管理面の人員確保を行っていくことが課題。 ・ BCP作成義務付け発表以来、小規模事業所としてどういう内容が求められているのか良く理解出来ていないのが課題。 ・ 介護事業所に対する、感染・災害などの研修の必要性を強く感じる。 ・ 大規模災害時、利用者家族と連絡がとれない時等の対応の明確化。 ・ 各役割で管理者を置く事が難しい。実際、地震や火災、水災害等が起きた時に、事業所責任者が、各ケアマネジャーに連絡が取れるかは要シュミレーションではないか。 ・ 火災や大規模災害発生時の避難ルートの確保やインフラが長期的に停止してしまった時に課題が残る。 ・ サービスを提供できる事業所とそうでない事業所がある、ケアマネとしてはサービス提供を強要できない。 ・ 災害でのBCPに関しては整備不十分な現状である。職員への、BCP発動に持っていくまでにはまだまだ準備と時間が必要と思われる。 ・ 自然災害のBCP作成時に、あった方が良くと思われる物品があるが、高価でなかなかすぐに手を出せない物があると感じた。

観点	主な回答内容
災害時の体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応では事業所の責任と裁量に任せられる事が多く限界があった。ワンストップで支援をしてくれる担当者や担当部署を設置し、小規模事業者のあらゆる相談に対応できるシステムをつくるべき。 ・自治体は、介護事業所に対し、災害発生時の情報提供や、具体的な対応指示支援を行なって欲しい。 ・大規模災害に関しては、地域の課題として常に包括へ議題として提案。地域で検討しないと個人主体では取り組みが難しい。 ・優先的な安否確認や対応が必要な利用者については、日頃からのサービス事業所や包括、地域との連携、連絡先の確認などが必要。 ・大規模災害で安否確認のようなことを言われるが、人手がない。包括1エリア4人の安否確認人員が必要である。 ・発災時の担当利用者との連絡調整がどこまで出来るのか。自治体、包括との連携が欠かせない。 ・職員の減少により対応できなくなった利用者を地域全体でカバーできるような仕組みを行政主導で構築して欲しい。(体制、制度、報酬など) ・一時的に休んでも、再開した場合、できる限り、元の状態に戻せるような、ルール作りと、補助金の制度の充実。 ・福祉避難所の指定を受けているが、豊島区からの受け入れに対する、取り決めがない。 ・福祉避難所の指定を受けて独自に訓練(備品チェック)を行っているが、自治体と連携しての訓練はまだないので、その様な機会を設けることが出来ると良い。
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・都市化により、新しい方、若い方、外国籍の方が増えた。地域コミュニティの弱体化による孤立が問題。また、治安も心配。 ・包括や各町内会の方々との連携をしっかりと構築していく必要がある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・何か相談してもそれはケアマネジャーと相談しろと言うだけでは無意味。

★最後に、今後の介護サービス基盤や地域包括ケアシステムの構築についてご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

観点	主な回答内容
人材確保・ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足が厳しい。 ・介護職の給与が安いとため、人材の確保が難しい。公的な支援や介護報酬のアップが必要。 ・中・大規模事業所が人材を吸収してしまい、人材が集まらない小規模は消えていく。 ・訪問看護ばかり増えていき、ヘルパー不足が常態化している。ケアマネジャーも減っているため、在宅での生活が難しい。人材育成が必要。 ・訪問介護の有効求人倍率は15倍を超え、平均年齢も高い。介護の仕事を目指す者は、資格が必要のない介護施設などへの就職を第一に考えるため、訪問介護に人材がまわってこない。小規模零細の事業所が多く、後継者の問題も浮上している。 ・何をすることも包括支援センターが中心。人材の育成、補充、適材適所、役所としてフォロー体制を。
事業所運営	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に加え、燃料費の高騰、電気料金等の値上げなどで、事業所運営がとても大変な状況が続いている。利用者が休んだ時の補填等を考えて貰えるとありがたい。 ・介護の仕事に対する対価を上げてほしい。
制度等	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足の解消の為に、賃金体制の強化が必要であり利用者の安定したサービス利用が不可欠。負担額がこれ以上増えることは、あってはならない。来年の報酬改定の一律2割負担は、サービス事業者の運営にも関わってくる大きな問題である。 ・要介護1、2の総合事業への移行は反対。 ・要介護1、2の総合事業への移行が検討されているようだが、そのようになった際の運営への影響が心配。 ・特養の稼働率は平均90%であり、社会資源の有効活用を図るためにも入所申請の更新制(介護保険有効期間)を実施するべき。 ・短期入所稼働は入退所等により変動が大きいが、特養の動きと連動しているのでなかなか稼働を改善することが難しい。ショート床の確保も必要とも思うが、特養床への転換も必要なのではないか。 ・介護保険の多様化により特養待機場所も自宅ではなくサ高住や有料等入所施設を選ぶ方が多い。通所系サービスを含めサービス量の調整を図るべきではないか。 ・要支援1は月4回まで、要支援2は月8回まで、5回や9回になった場合は事業所の判断に任せるといのはおかしい。独自で包括単位などをもうけて、5回や9回の利用になっても双方安心して利用、運営している地区もある。豊島区としての制度の整備を。 ・介護支援専門員の管理者要件について。管理者に主任の肩書きを要件としているが、主任の実務内容に管理者の業務を入れ、事務、条件を効率的に運営して欲しい。

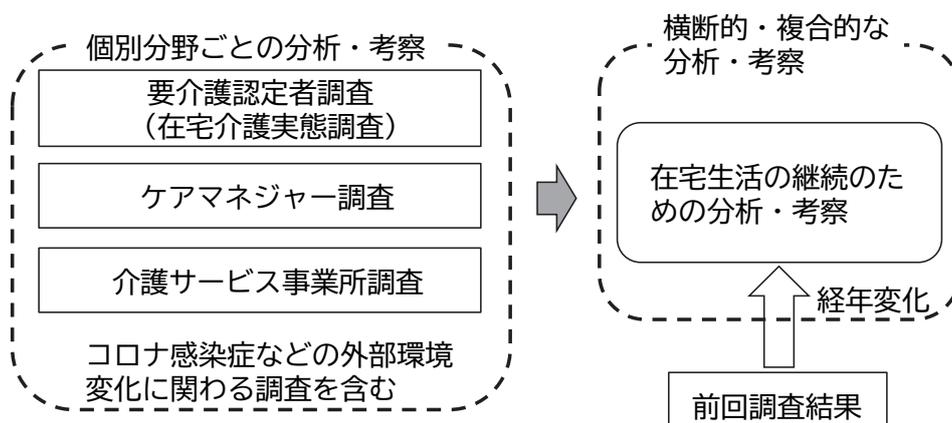
観点	主な回答内容
地域包括ケアシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の減少と高齢者の増加というアンバランスな状況の中で、地域が担う役割は益々増えていく。地域資源の掘り起こしや個々人の健康寿命を伸ばす仕組みが必要である。 ・介護保険サービスの細分化された規定により、サービス事業所が地域包括ケアシステムに加入することが負担となっている。特に、プライバシーや個人主義を重んじる都区内では、現実的には時間を要する。高齢者の生活ニーズに合わせていかない限り、絵に描いた餅になってしまう。 ・2024年に通所、訪問を組み合わせた新サービスが予定されているが、"豊島型"の地域包括ケアシステムを構築してほしい。認知症の方、障害のある方、子ども、心に病をもつ方等誰でも参加し、共生していけるようなサービス居点の構築を。 ・地域包括支援センターや保健所から、要介護者等だけでなく8050/9060問題や精神疾患のある方の依頼が増えると良い。 ・地域包括支援センターの負担が多すぎないか。人員を増やさないと、地域の方やサービス事業所、研修や連携に手がまわらないのでは。その上で、役割を明確に行なってほしい。
多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、各関連職種との連携強化は必要だと感じる。 ・ケアマネジャーや現場のヘルパー等が集って意見交換でき、情報、知識、意識の共有がもっとできると良い。 ・他職種との連携をもっとしっかりとできるといい。また、ホームレスや外国人が多い豊島区ならではの連携が早急に必要。外国人への通訳、ホームレスへの支援。介護保険、生保等、利用の取組み。上記の方々が楽しめるデイサービスのスタッフに外国語を話せる人がいるなど。
ICT化による業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器は定着に向けた取り組み、継続的指導、社内研修がなければ、負担が大きくなる。大手以外の事業所はそこがネックとなる。 ・各事業所でバラバラの書式を一つにまとめ共通書式にするとよい。MCSの活用を広げるとよい。
西巣鴨地区高齢者施設整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・西巣鴨地区高齢者施設整備計画については医療的ケアで入所が難しい方々の受け皿として介護医療院の整備を。 ・西巣鴨地区高齢者施設整備計画においては入所待機者の実数把握に努め、必要とする施設整備に取り組んでいただきたい。入所待機者には特養では受け入れることが難しい医療依存度の高い方が多いので介護医療院等の整備をお願いしたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような課題に対してどういう提案をしてどういうことが具体化されたのかなどが分かり難いという話を聞いたことがあるので、保険者のワーキンググループに区内のケアマネジャーが関わっている内容を知りたい。

第5章 分析・考察

各実態調査の詳細な結果については、第2章から第4章に取りまとめており、本章においては、個別調査における主要テーマに関する調査結果、および、分析・考察を掲載していません。図表 249 に示す通り、個別分野ごとの分析・考察では、要介護認定者調査（在宅介護実態調査）、ケアマネジャー調査、介護サービス事業所調査、それぞれの個別分析を行い、在宅生活の継続に係る横断的・複合的な分析考察では、横断的・複合的な分析・考察を行いました。

図表 250 に示す通り、ここでは、要介護認定者の在宅生活の維持に向け、「要介護認定者が不安なく在宅生活を継続できる」「家族介護者が安心して介護を継続できる」「在宅生活の維持に必要な介護資源が整っている」の3つの視点から分析・考察を行いました。

図表 249 概要版における分析・考察の全体像



図表 250 分析・考察の内容

目的	検討すべき内容	調査項目（○は主に個別分析、◎は主に横断的分析を行う）			横断的な分析・考察の内容
		要介護認定者調査	ケアマネジャー調査	介護サービス事業所調査	
要介護認定者が不安なく在宅生活を継続できる	(1)要介護認定者の実態（要介護になった原因等）および、要介護認定者自身の現状のニーズは何か	○			在宅生活が困難になっている要介護認定者に対する必要な支援策について
	(2)現状のニーズを踏まえ、在宅生活の維持に必要な支援は何か	◎	◎		
家族介護者が安心して介護を継続できる	(3)家族介護者の就労の状況や、現状のニーズは何か	○			介護負担が増加している家族に必要な支援策について
	(4)現状のニーズを踏まえ、家族が介護を継続するために必要な支援は何か	◎	◎		
在宅生活の維持に必要な介護資源が整っている	(5-1)介護サービスの質の向上に必要な課題は何か（ケアマネジャー視点）		○		在宅生活の継続のために必要なサービスの充実に向けた課題・支援策について
	(5-2)介護サービスの質の向上に必要な課題は何か（介護サービス事業所視点）			○	
	(6)新型コロナウイルス感染症の影響について	◎	◎	◎	
	(7)外部環境変化への対応について		◎	◎	

1 個別調査における分析・考察

1. 要介護認定者調査

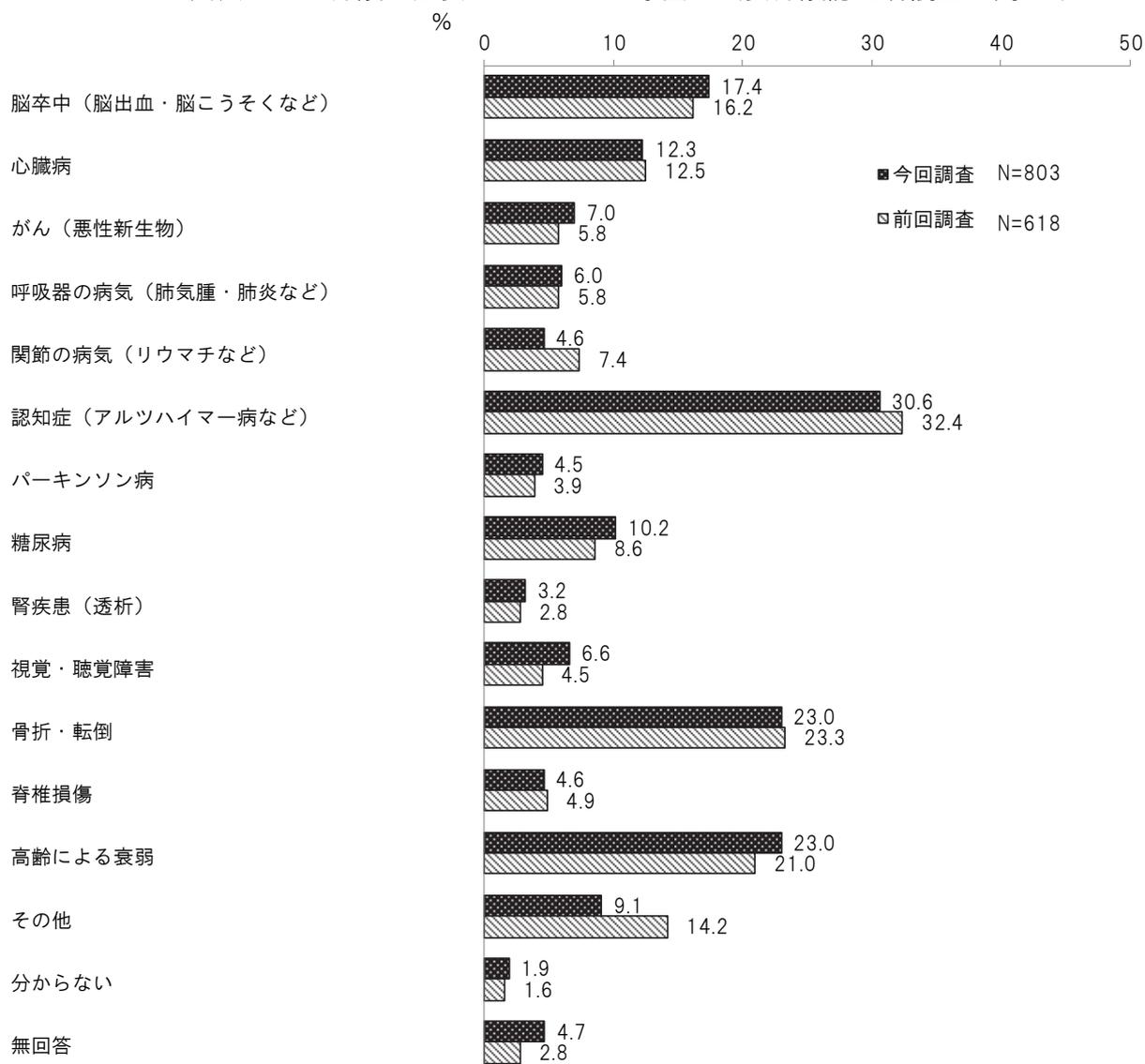
今後、介護を必要とする高齢者が増加することが見込まれる中、要介護認定者が在宅生活を継続するために必要な支援の拡充、および、介護を行う家族の負担を減少させる方策の充実に努める必要があります。ここでは、要介護認定者の現状や、家族介護者の介護の実態を分析し、要介護者や家族が抱える課題を整理しています。

(1) 要介護認定者の状況について

① 要介護認定者の状況

要介護認定者が、介護が必要になった主な原因については、前回調査と大きな変化はなく、「認知症」が30.6%と最も多く、「骨折・転倒」(23.0%)、「高齢による衰弱」(23.0%)と続いています。

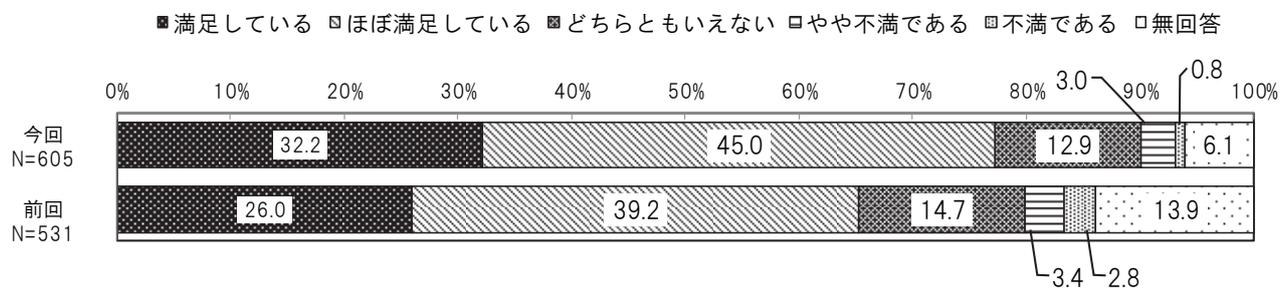
図表 251 介護が必要になった主な原因 (要介護認定者調査 問10)



②利用している介護サービスについて

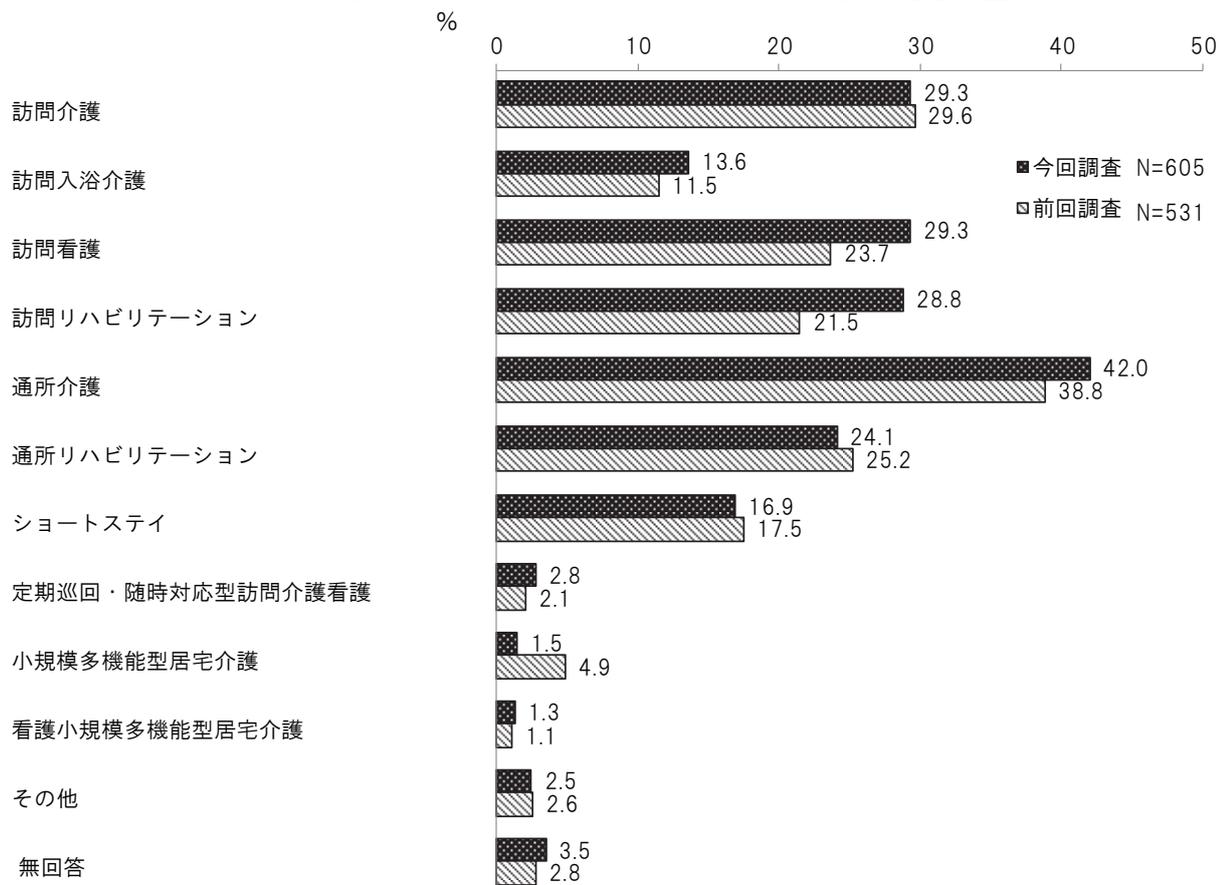
要介護認定者のケアプランへの満足度については、前回調査と比較すると向上しており、「満足している」(32.2%)と「ほぼ満足している」(45.0%)を合わせた《満足している》と感じている方は77.2%となっています。

図表 252 ケアプランへの満足度（要介護認定者調査 問 11-2）



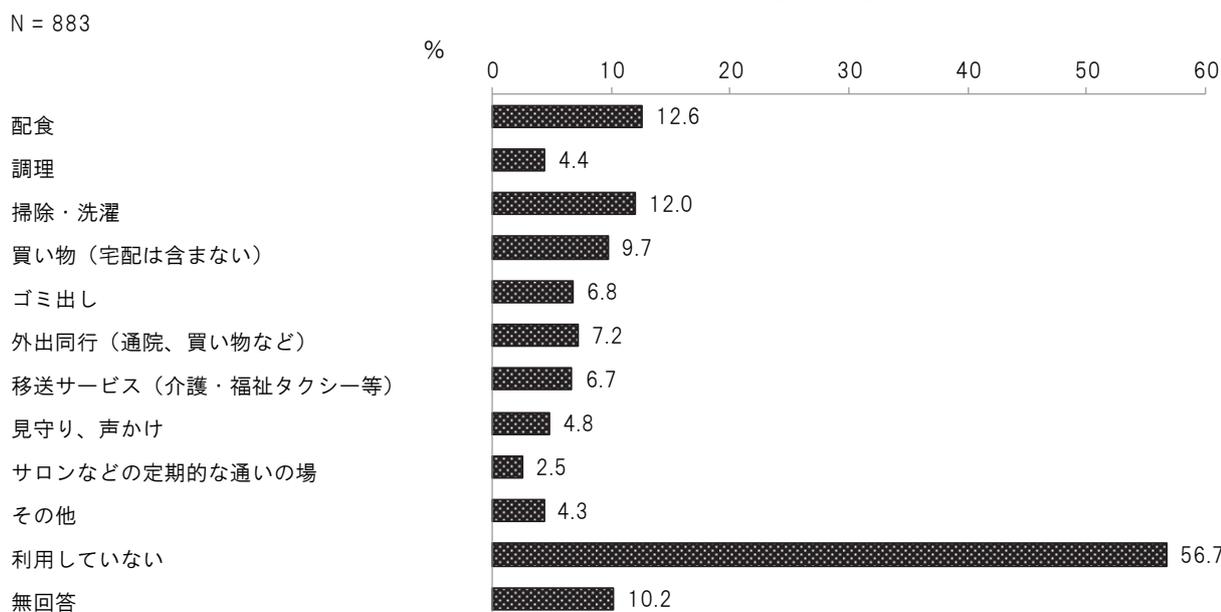
要介護認定者が利用している介護保険サービスについては、「通所介護」が42.0%と最も多くなっています。前回調査と比較すると、「訪問看護」が5.6ポイント、「訪問リハビリテーション」が7.3ポイント、「通所介護」が3.2ポイント増加しています。

図表 253 利用している介護保険サービス（要介護認定者調査 問 11-1）

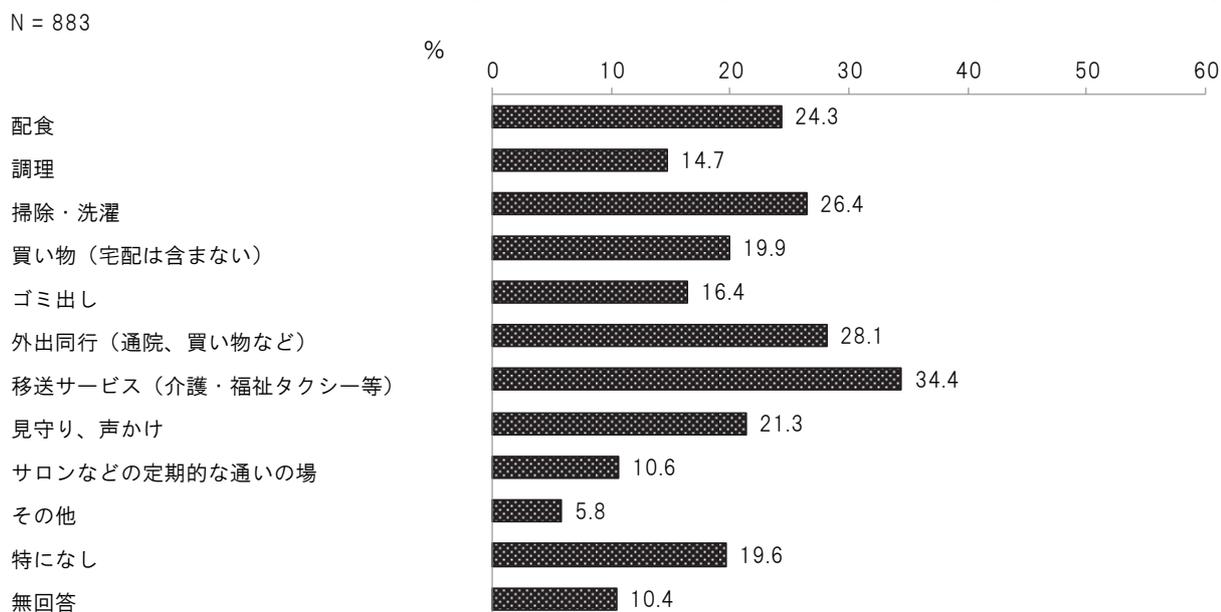


介護保険サービス以外に利用している支援・サービスについては、「配食」が12.6%と最も多く、「掃除・洗濯」(12.0%)が続いています。また、半数以上の方は、介護保険サービス以外の支援・サービスを利用していませんでした。同じ設問で、今後の在宅生活継続に必要なと思う支援・サービスは、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(34.4%)や「外出同行(通院、買い物など)」(28.1%)が高く、現在は介護保険サービス以外の支援・サービスを利用していない方でも、移動に対する支援・サービスを必要としていることが分かります。

図表 254 介護保険サービス以外に利用している支援・サービス
(要介護認定者調査 問 19)



図表 255 今後の在宅生活継続に必要なと思う支援・サービス(要介護認定者調査 問 20)

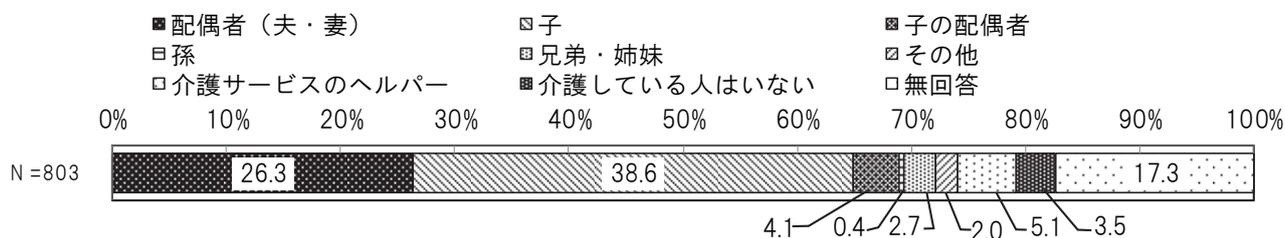


(2) 介護を行う家族の負担について

①主に介護をしている方について

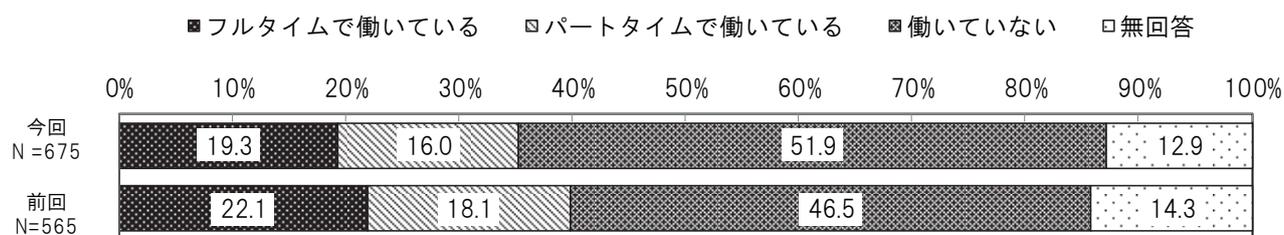
主に介護をしている方については、「子」が38.6%と最も多く、「配偶者」(26.3%)が続いています。

図表 256 主に介護をしている方の関係 (要介護認定者調査 問 30)



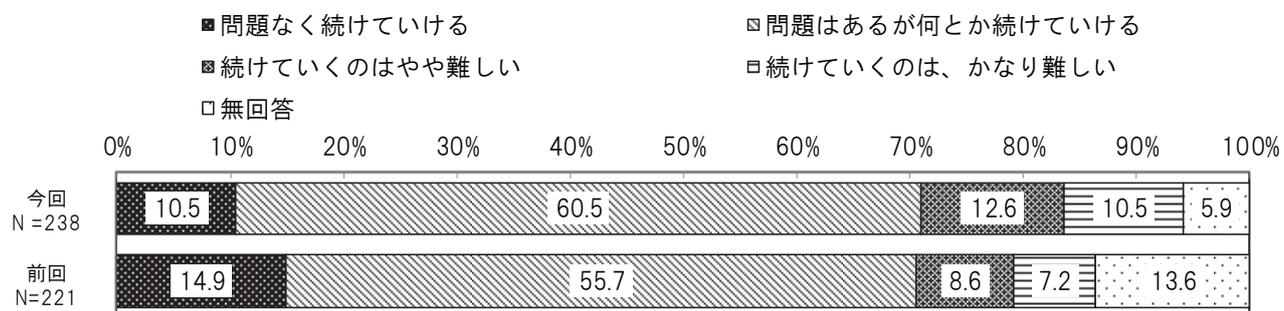
主に介護をしている方の就労割合については、前回調査に比較して4.9ポイント減少しています。

図表 257 主に介護をしている方の就労状況 (要介護認定者調査 問 36)



このうち、現在就労している方の今後の就労意向については、前回調査と比較して、「問題なく続けていける」が4.4ポイント減少し、「問題はあるが何とか続けていける」が4.8ポイント増加しています。在宅介護に問題を抱えながらも、仕事を続けている方が増加していることが分かります。

図表 258 主に介護をしている方の今後の就労意向 (要介護認定者調査 問 36-2)

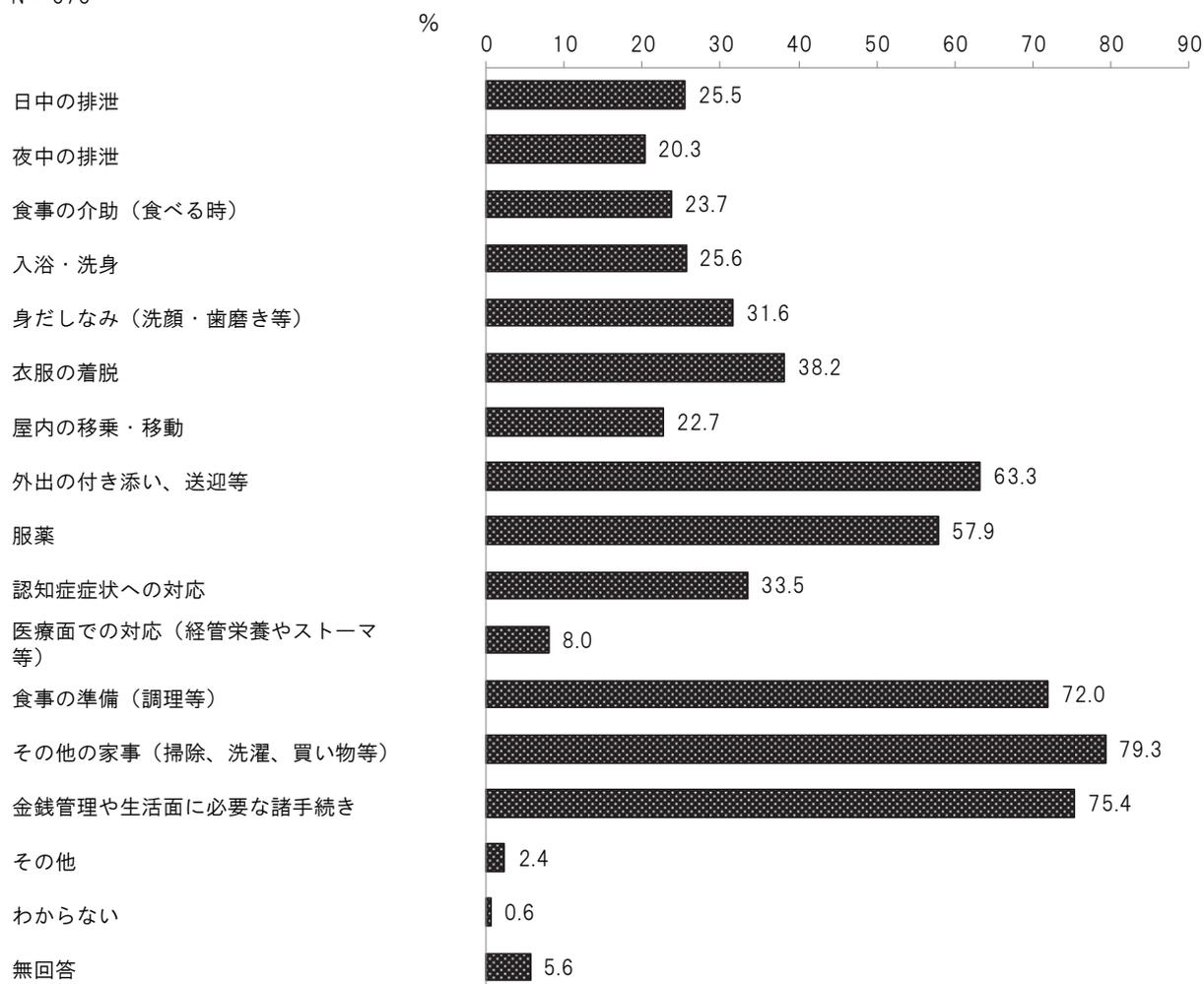


②主に介護をしている人が行っている介護について

主な介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.3%と最も多く、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（75.4%）、「食事の準備（調理等）」（72.0%）と続いています。

図表 259 主な介護者が行っている介護（要介護認定者調査 問 33）

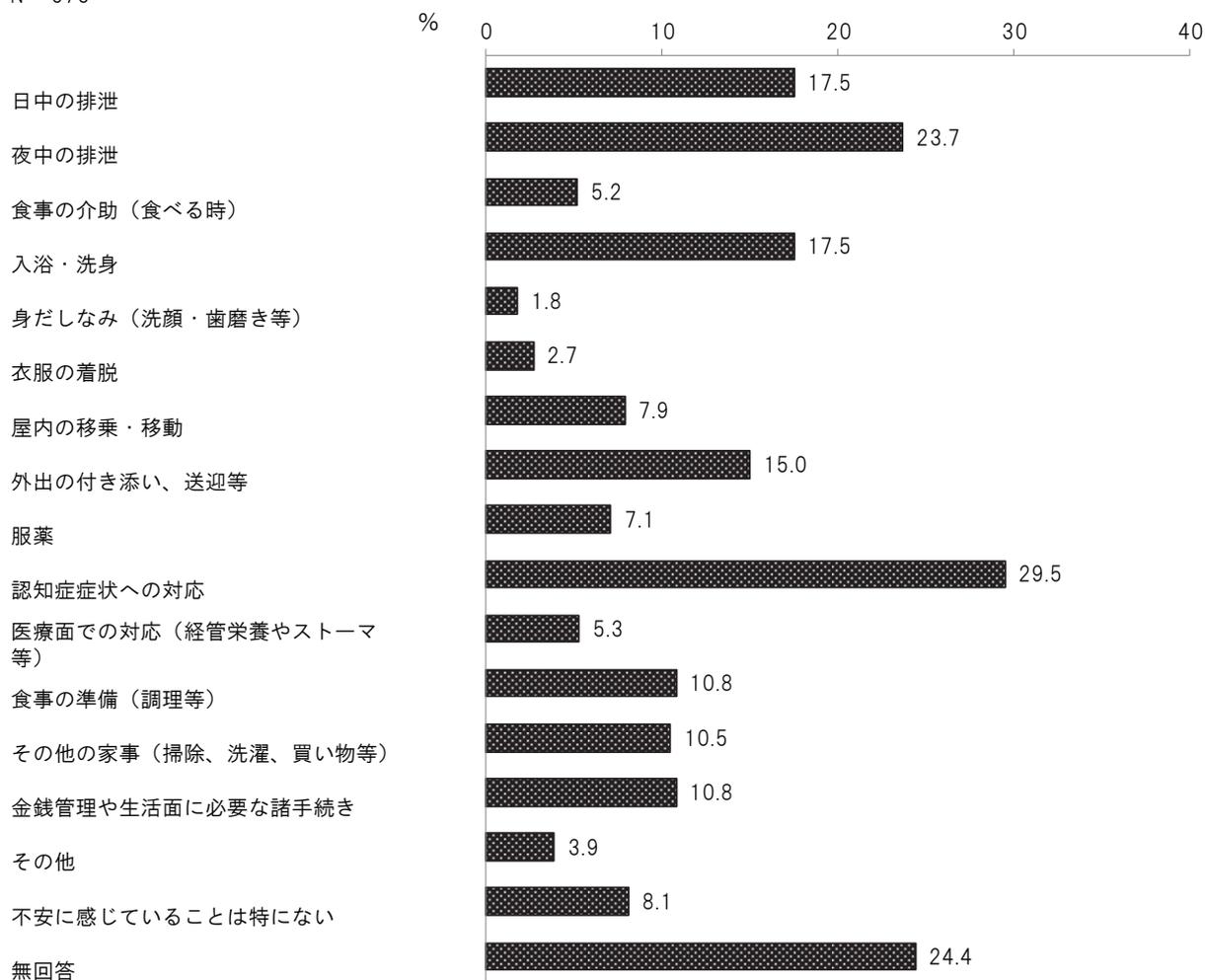
N = 675



主な介護者が不安に感じている介護については、「認知症症状への対応」が29.5%と最も多く、「夜中の排泄」(23.7%)、「日中の排泄」(17.5%)、「入浴・洗身」(17.5%)と続いています。

図表 260 主な介護者が不安に感じている介護（要介護認定者調査 問 34）

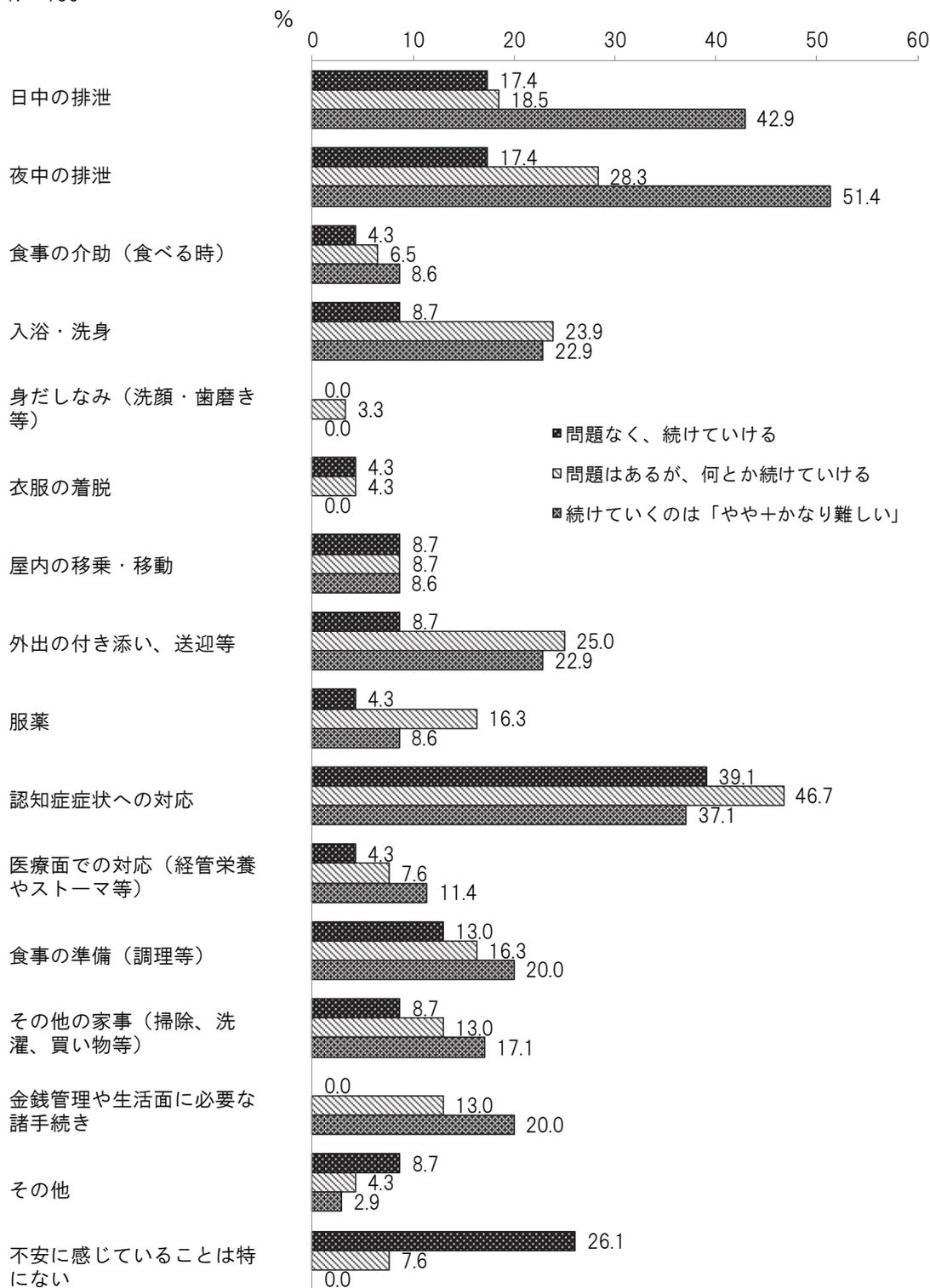
N = 675



主な介護者のうち、フルタイムとパートタイムで働いている人の不安に感じている介護については、今後の就労意向が「続けていくのは「やや+かなり難しい」層で、「夜中の排泄」が51.4%、「日中の排泄」が42.9%と多くなっています。

図表 261 主な介護者が不安に感じている介護（フルタイムとパートタイム介護者のみ）
（要介護認定者調査 問 34）

N = 150



2. ケアマネジャー調査

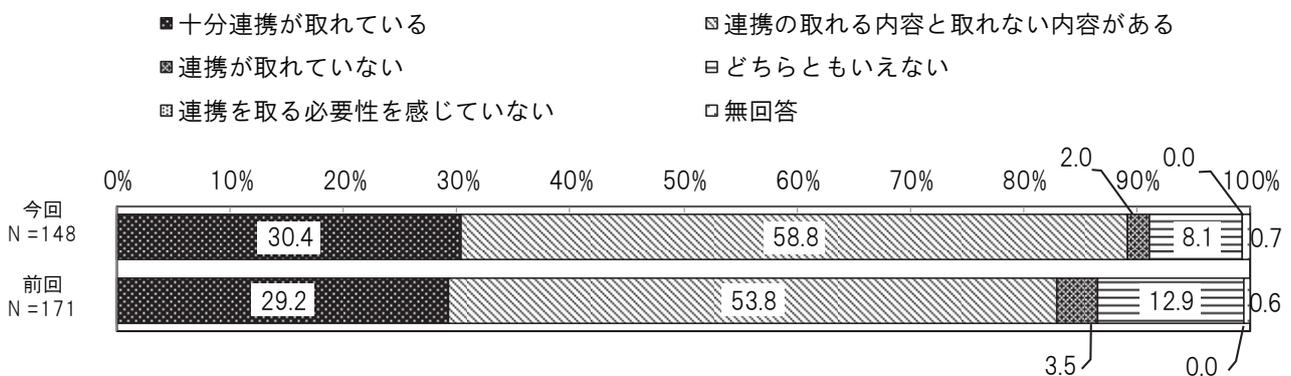
ケアマネジャーは、地域包括ケアの中心的な役割として、要介護者や家族と、介護・医療等の専門職の橋渡しの役を担っています。ここでは、特に近年重要となっている ICT の利用状況を含めた、各種関係機関との連携の状況や、サービスの質の向上に向けた状況について整理しています。

(1) 多職種連携について

①医療機関との連携状況

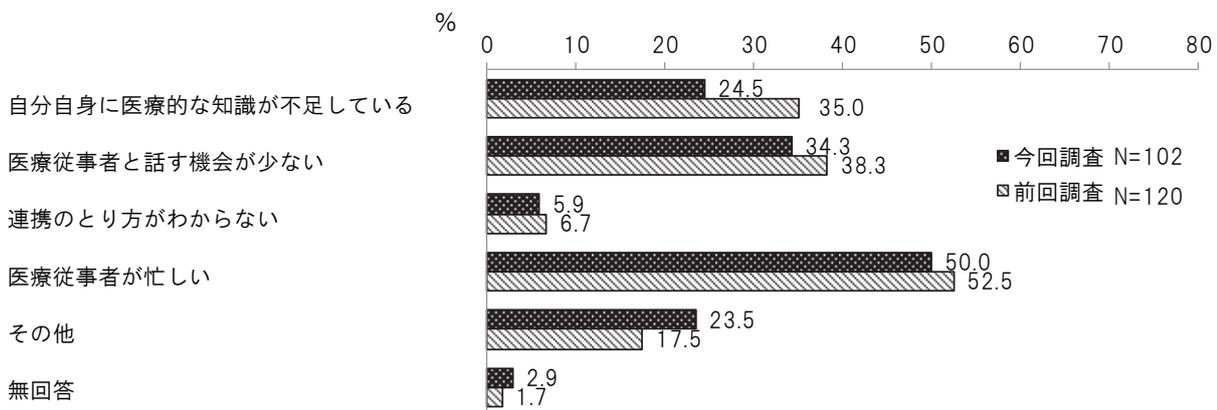
ケアマネジャーと医療機関との連携状況については、前回調査と比較して、「十分連携が取れている」が1.2ポイント、「連携の取れる内容と取れない内容がある」が5.0ポイント増加しています。

図表 262 医療機関との連携状況（ケアマネジャー調査 問 14）



医療機関と連携していない理由については、前回調査と同じく、「医療従事者が忙しい」が50.0%と最も多くなっています。前回調査と比較して、「自分自身に医療的な知識が不足している」が10.5ポイント減少しており、研修等によりケアマネジャーの医療的知識の習得が進んでいることが考えられます。

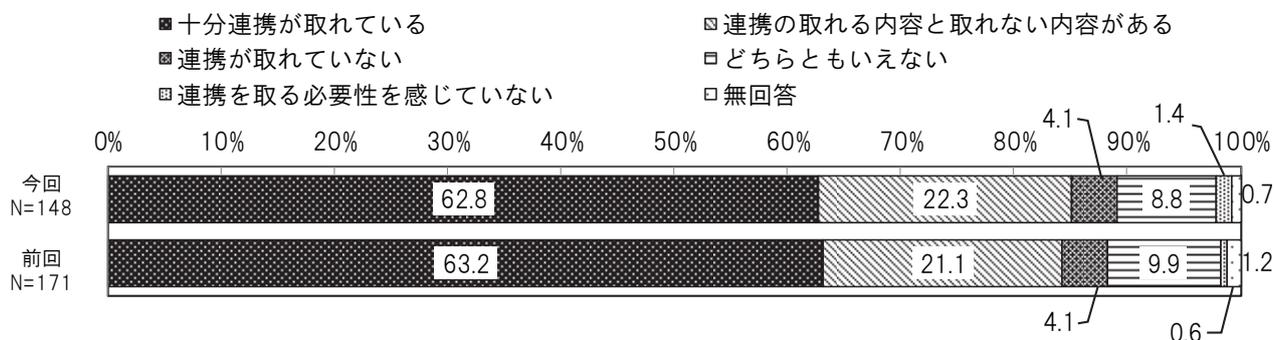
図表 263 医療機関と連携が取れない理由（ケアマネジャー調査 問 14-1）



②高齢者総合相談センターとの連携状況

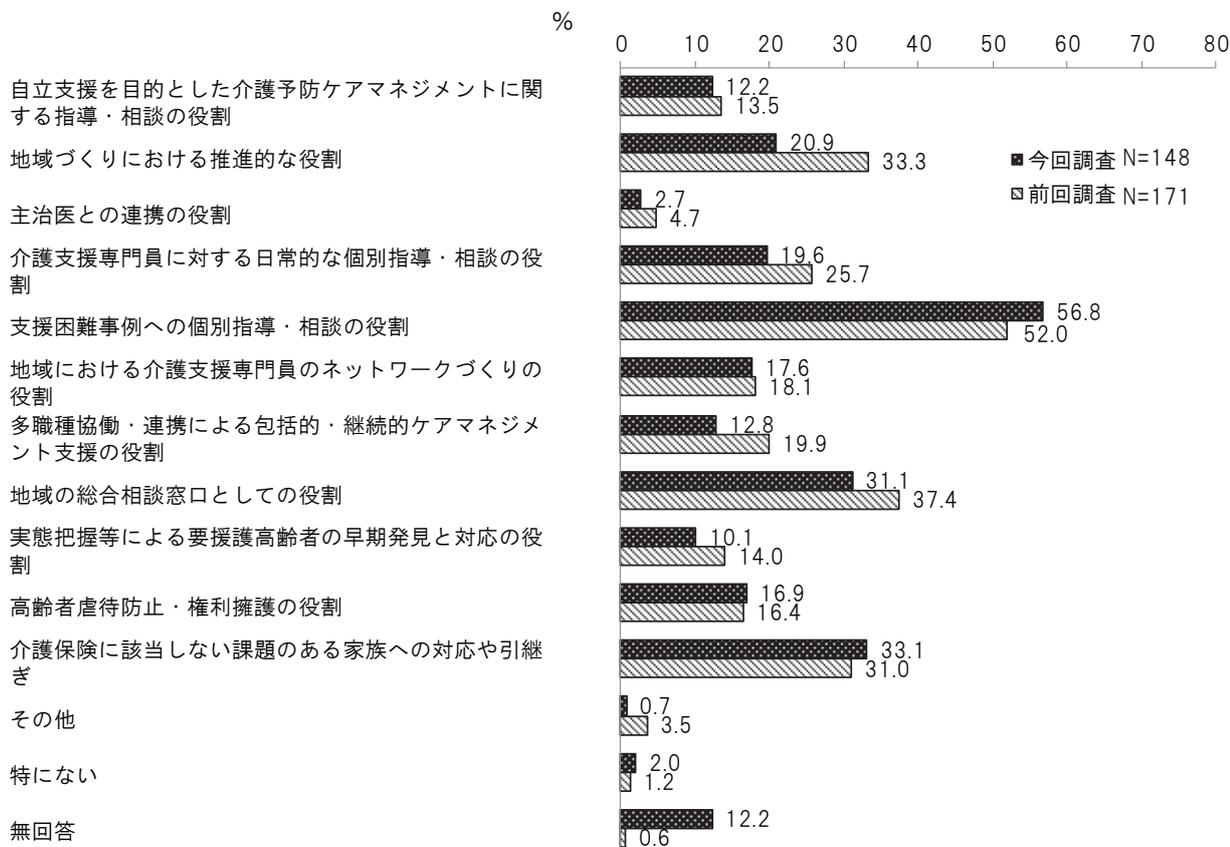
ケアマネジャーと高齢者総合相談センターとの連携の状況については、前回調査と変わらず「十分連携が取れている」が62.8%と最も多くなっています。

図表 264 高齢者総合相談センターとの連携状況（ケアマネジャー調査 問 12）



ケアマネジャーが高齢者総合相談センターに期待する役割については、前回調査と比較すると、「支援困難事例への個別指導・相談の役割」が4.8ポイント、「介護保険に該当しない課題のある家族への対応や引継ぎ」が2.1ポイント増加していることから、近年増加している生活支援・家族関係に係る支援困難事例に対する支援への期待が大きいことがわかります。

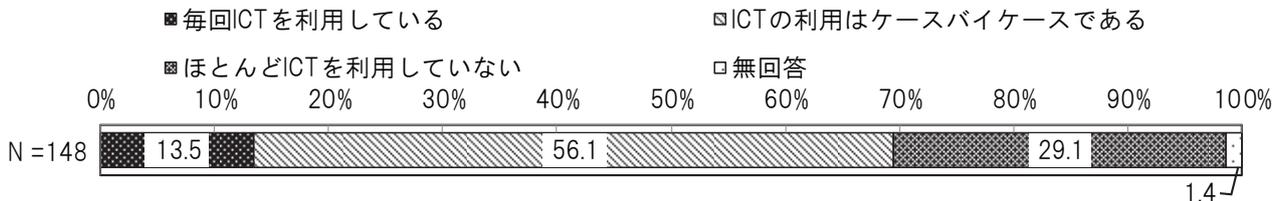
図表 265 高齢者総合相談センターに期待する役割（ケアマネジャー調査 問 13）



③ICT の利用状況

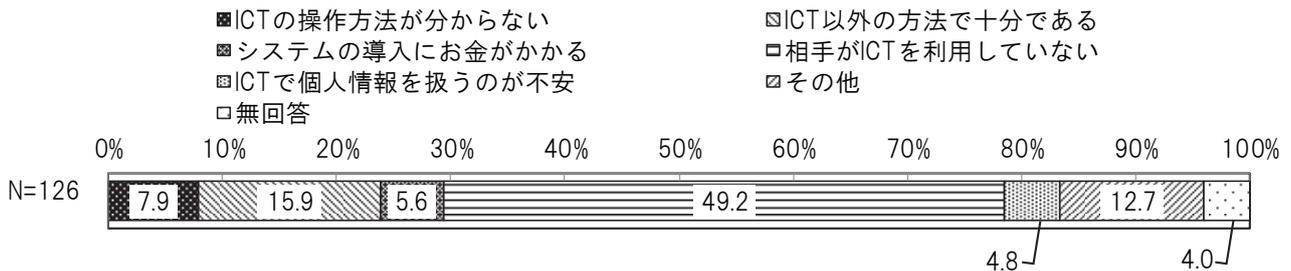
利用者・家族との連絡や多職種連携におけるケアマネジャーの ICT の利用状況については、「毎回 ICT を利用している」(13.5%)、「ICT の利用はケースバイケースである」(56.1%) を合わせた《ICT を利用している》割合は 69.6% となっており、多くのケアマネジャーが ICT を利用している一方、ICT を利用していないケアマネジャーも一定数いることが分かります。

図表 266 ケアマネジャーの ICT の利用状況 (ケアマネジャー調査 問 10)



「ケースバイケース」および「ICT を利用しない」と答えた方の理由については、「相手が ICT を利用していない」(49.2%) が半数程度で、まだ ICT が完全には普及していない中で、相手の状況に合わせて臨機応変に ICT を利用している状況が分かります。

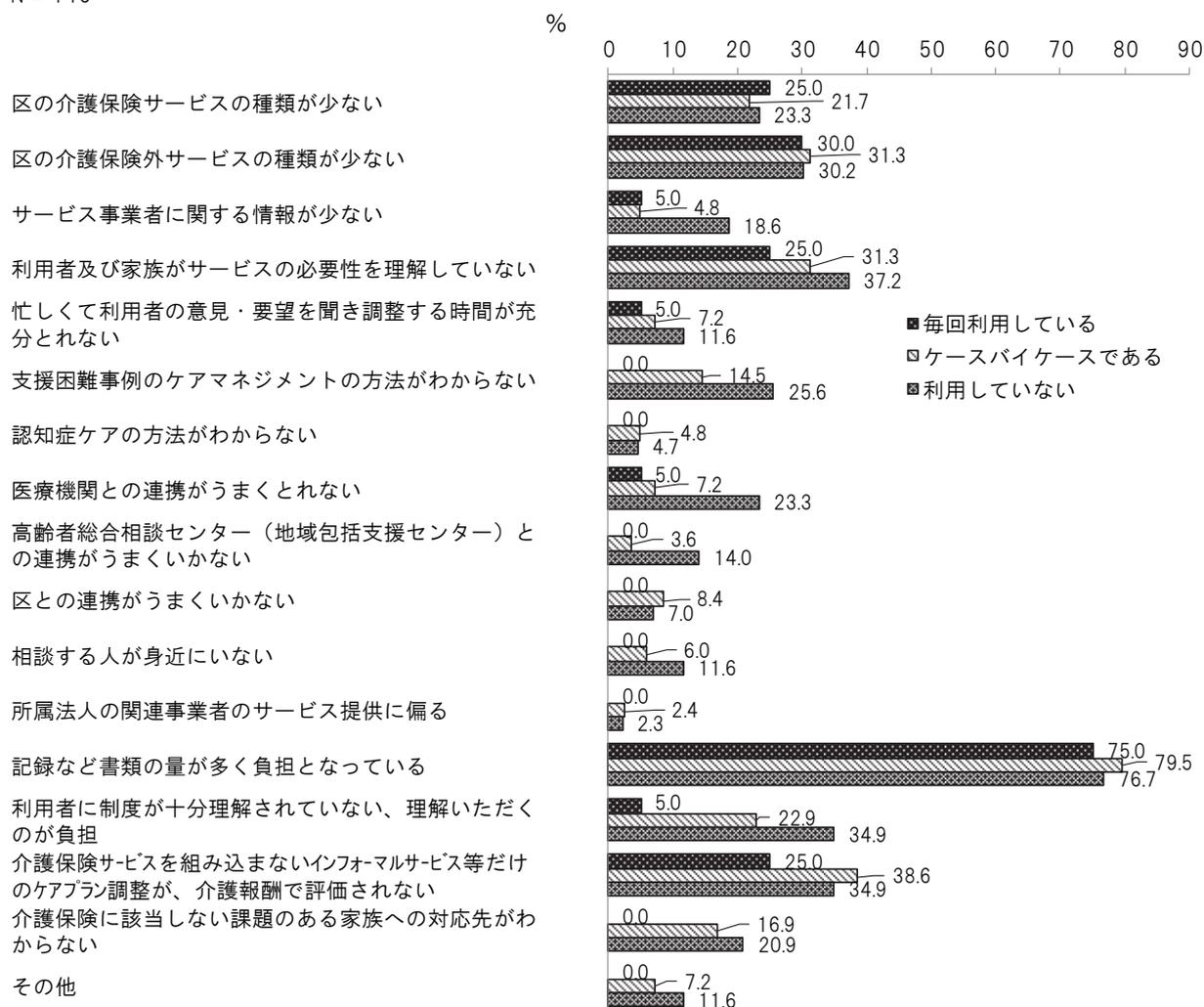
図表 267 「ケースバイケース」「利用しない」と答えた方が ICT を利用しない理由 (ケアマネジャー調査 問 10-1)



事業所におけるケアマネジャーの質の向上における課題を、ICTの利用状況別にみると、「医療機関との連携がうまくとれない」や「高齢者総合相談センターとの連携がうまくいかない」などでは、ICTを利用していない方が課題と捉える割合が高くなっており、ICT利用の有無により多職種連携で差が生じていることが分かります。

図表 268 事業所におけるケアマネジャー業務の課題（ICT利用）
（ケアマネジャー調査 問18）

N = 146

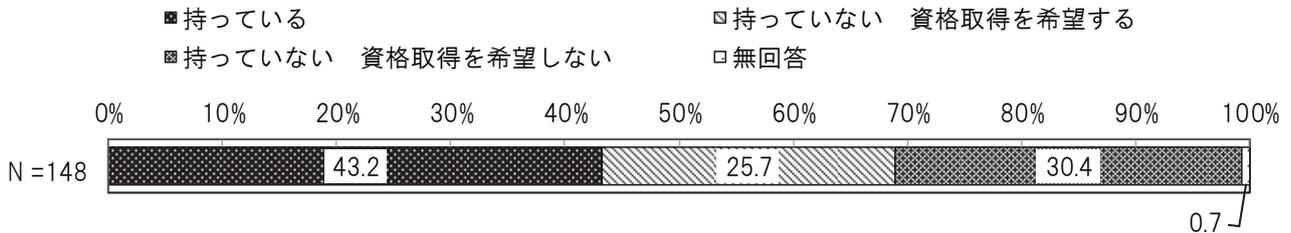


(2) 質の確保に向けた取り組み

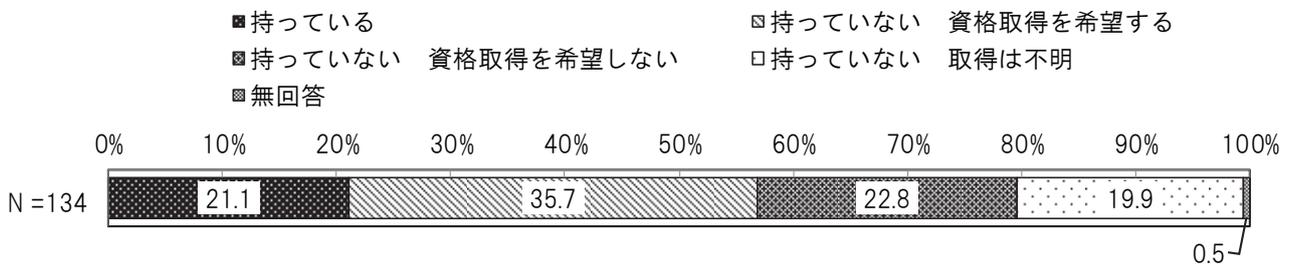
① ケアマネジャーの質の向上

主任ケアマネジャー資格を「持っている」については、前回調査と比較すると、22.1ポイント増加しています。前回調査で「持っていない 資格取得を希望する」と答えた方の資格取得が進んだものと考えられます。

図表 269 主任ケアマネジャー資格の取得状況（ケアマネジャー調査 問4）

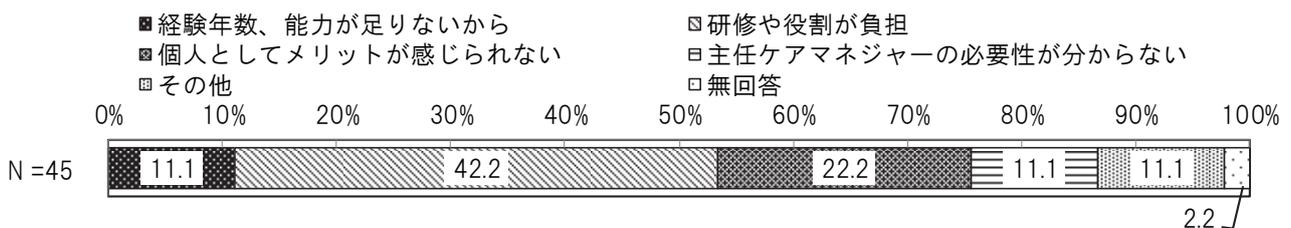


図表 270 主任ケアマネジャー資格の取得状況（前回調査）



主任ケアマネジャー資格を取得しない理由については、「研修や役割が負担」が42.2%と最も多くなっており、ケアマネジャーが受講しやすい研修の開催等が求められています。

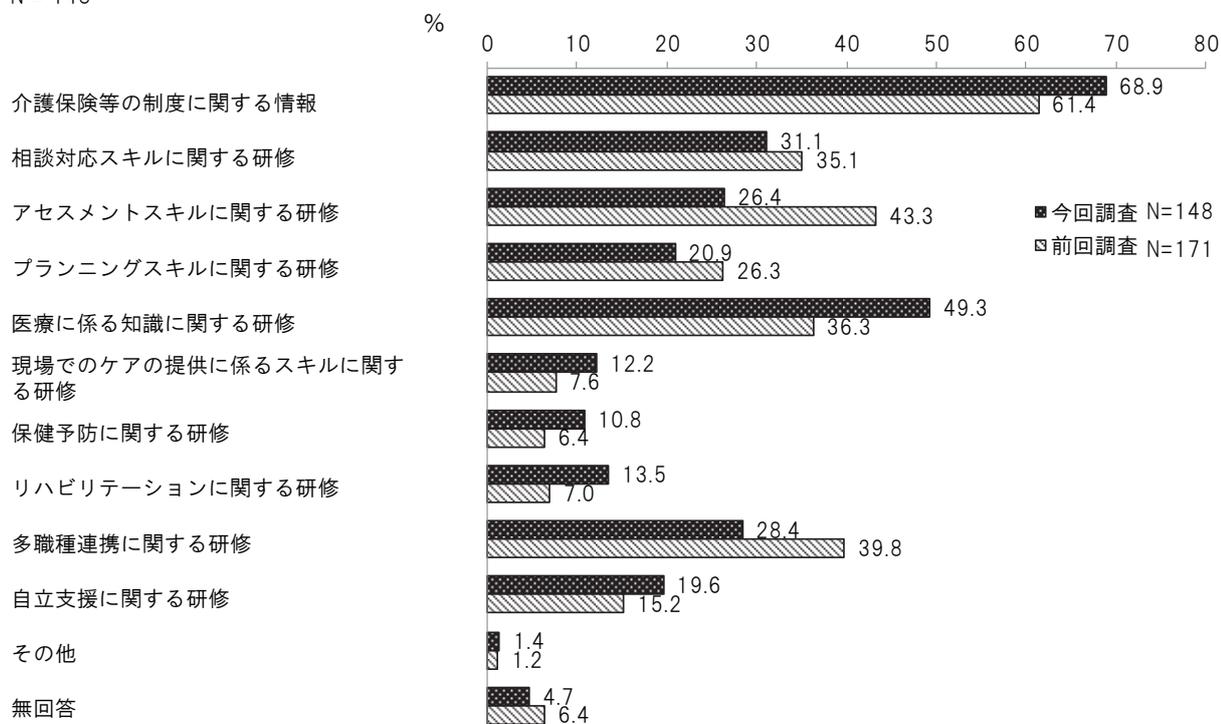
図表 271 主任マネジャー資格を取得しない理由（ケアマネジャー調査 問4-1）



これまで受けた研修の中で特に役に立った内容については、前回調査と比較すると、「介護保険等の制度に関する情報」や「医療に係る知識に関する研修」が増えているのに対し、「アセスメントスキルに関する研修」や「多職種連携に関する研修」が減少しています。介護保険制度改正により変化する介護保険制度の動向や、医療的ケアの必要性が大きいことによる医療関係の研修が求められていることが分かります。

図表 272 これまで受けた研修の中で特に役に立った内容（ケアマネジャー調査 問 23）

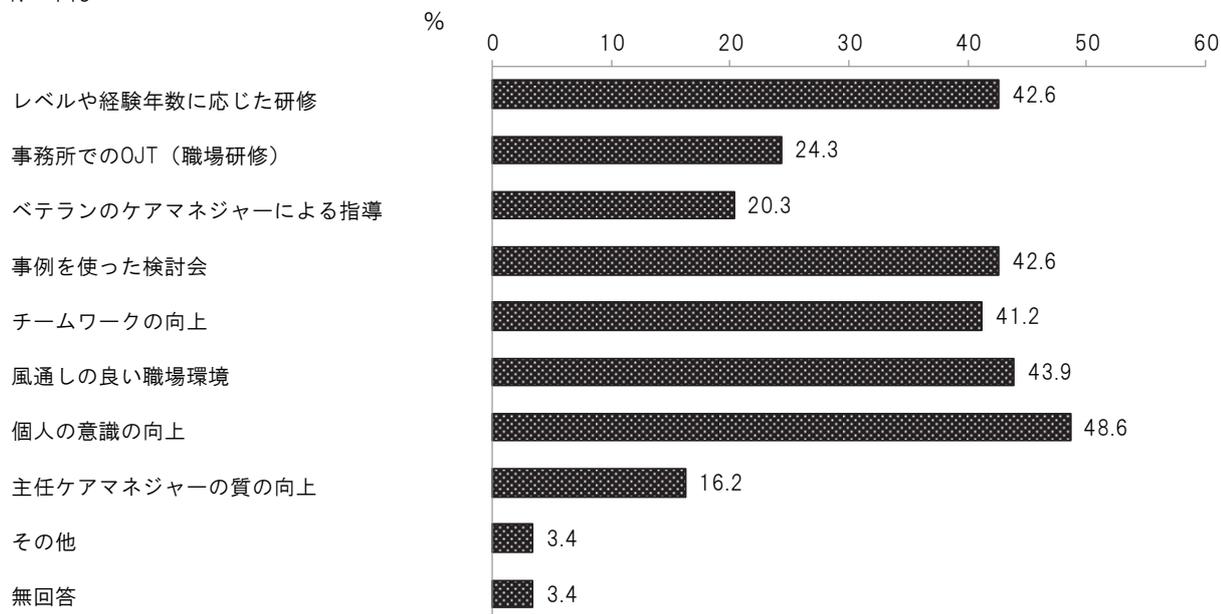
N = 148



ケアマネジャーの質の向上に必要なだと思うことについては、「個人の意識の向上」が48.6%と最も多く、「風通しの良い職場環境」(43.9%)、「レベルや経験年数に応じた研修」(42.6%)、「事例を使った検討会」(42.6%)、「チームワークの向上」(41.2%)と続いています。

図表 273 ケアマネジャーの質の向上に必要なと思うこと (ケアマネジャー調査 問 24)

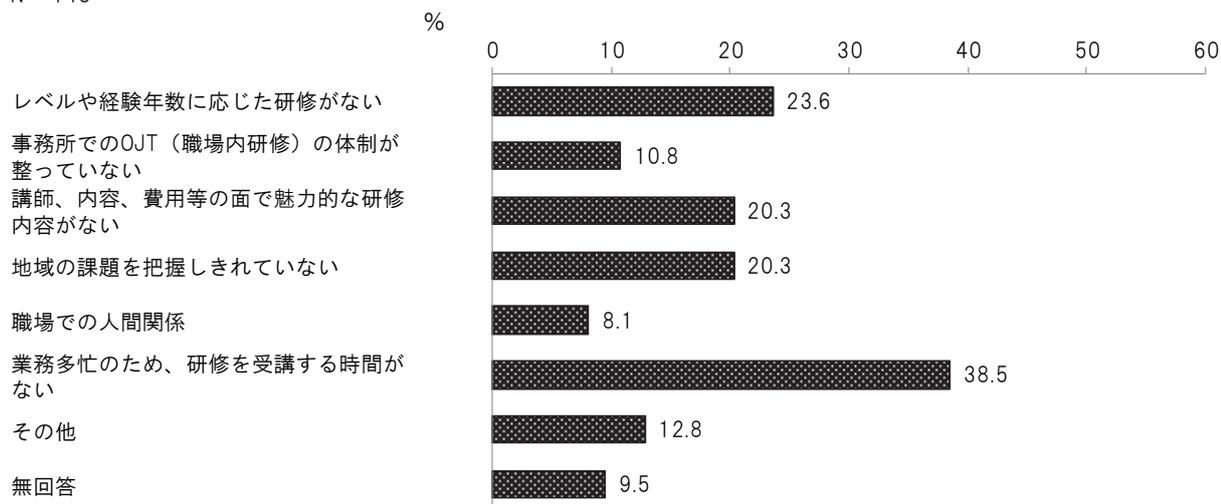
N = 148



事業所におけるケアマネジャーの質の向上に対する課題については、「業務多忙のため、研修を受講する時間がない」が38.5%と最も多くなっています。

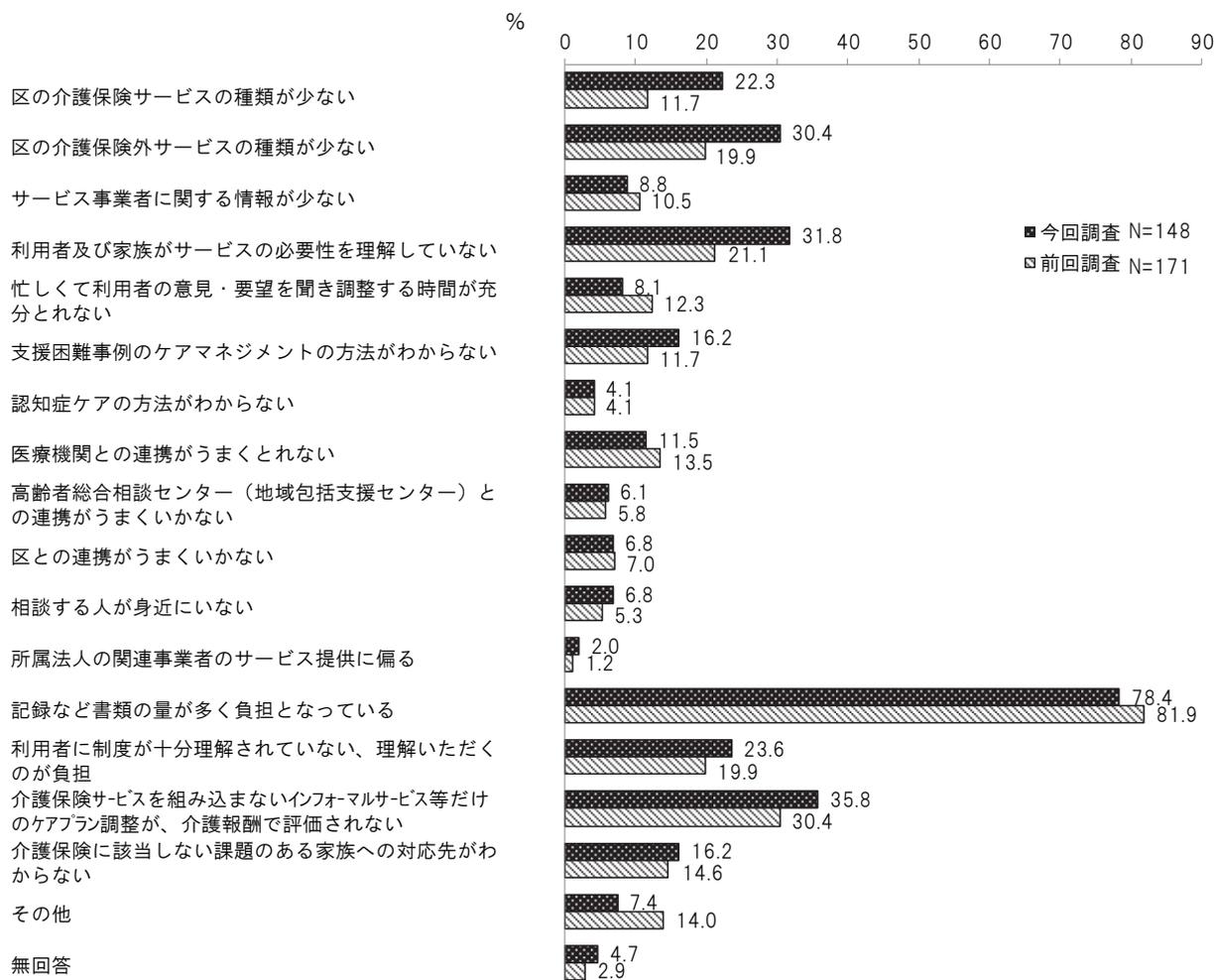
図表 274 事業所におけるケアマネジャーの質の向上に対する課題 (ケアマネジャー調査 問 25)

N = 148



事業所におけるケアマネジャーの業務の課題については、「記録など書類の量が多く負担となっている」が78.4%と最も多くなっているのは前回調査と変わらず、「区の介護保険サービスの種類が少ない」「区の保険外サービスの種類が少ない」「利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない」が10ポイント以上の増加をしています。

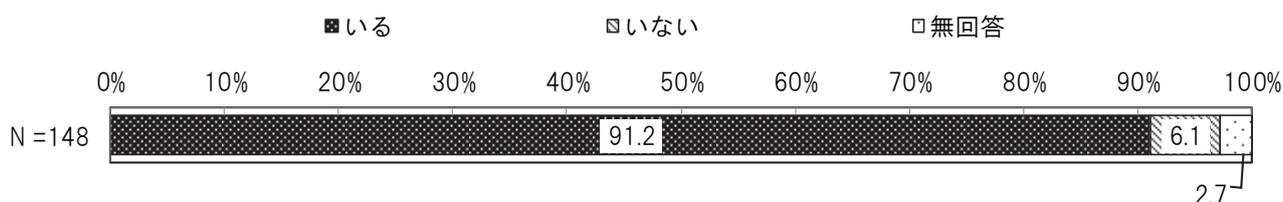
図表 275 事業所におけるケアマネジャー業務の課題（経年変化）（ケアマネジャー調査 問18）



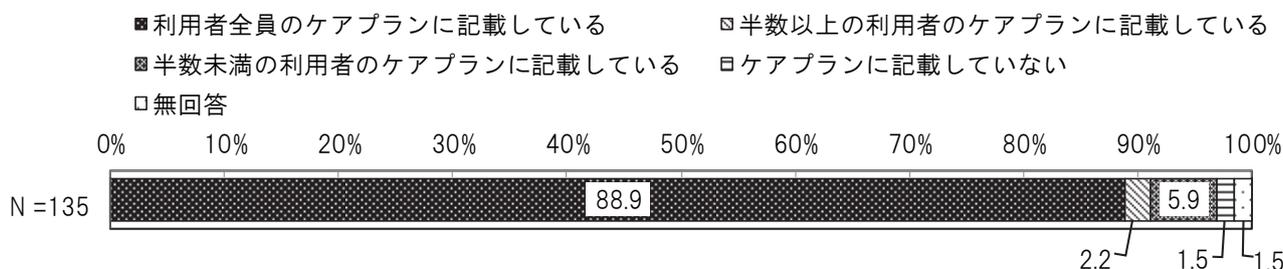
②ケアプランの質の向上

ケアプランへのサービスの記載状況を把握するため、居宅療養管理指導、および、保険外サービスについて、ケアプランに掲載しているかについて調査しました。担当する利用者が「居宅療養管理指導を利用している」(91.2%) 場合、そのうち当該利用者の居宅療養管理指導をケアプランに掲載しているかについては、「利用者全員のケアプランに掲載している」は88.9%となっています。

図表 276 担当する利用者が居宅療養管理指導を利用している割合
(ケアマネジャー調査 問8)



図表 277 当該利用者の居宅療養管理指導をケアプランに記載している状況
(ケアマネジャー調査 問8-1)

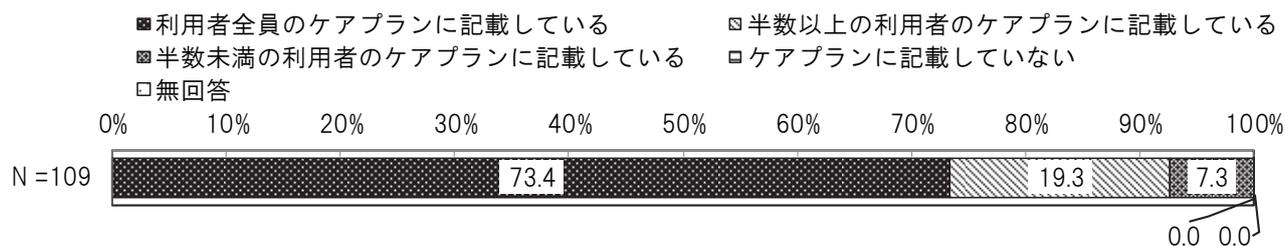


担当する利用者が「保険外サービスを利用している」(73.6%) 場合、そのうち当該利用者の保険外サービスをケアプランに掲載しているかについては、「利用者全員のケアプランに掲載している」が73.4%と最も多くなっています。

図表 278 担当する利用者が保険外サービスを利用している割合
(ケアマネジャー調査 問9)



図表 279 当該利用者の保険外サービスをケアプランに記載している状況
(ケアマネジャー調査 問 9-1)



以上のことから、ケアマネジャーはケアプランへの記載が義務付けられている介護保険サービスだけでなく、保険外サービス等も含めたその他のサービスについてもケアプランに記載し、多様化する高齢者や家族の生活課題に対して、様々な資源を活用した柔軟なケアマネジメントを行っていることが分かります。

3. 介護サービス事業所調査

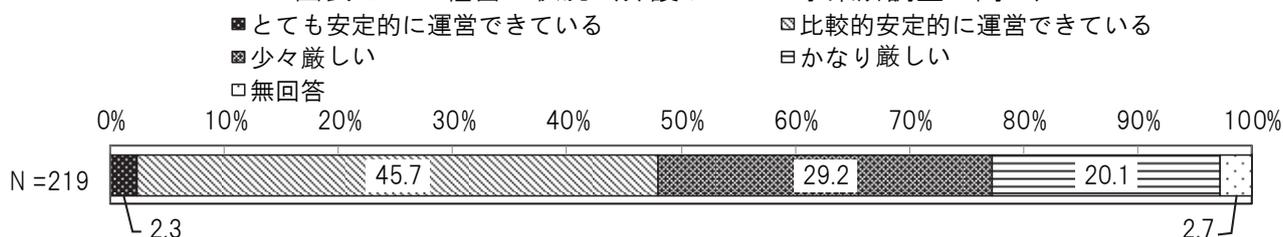
各種介護保険サービスを提供する事業所においては、今後拡大する介護需要に対応することが求められています。ここでは、外国人雇用や介護助手などを含めた人材確保の状況や、ICTの導入やハラスメント対策・人権擁護等を含めた、サービスの質の向上について整理しています。

(1) 経営状況および人材の確保について

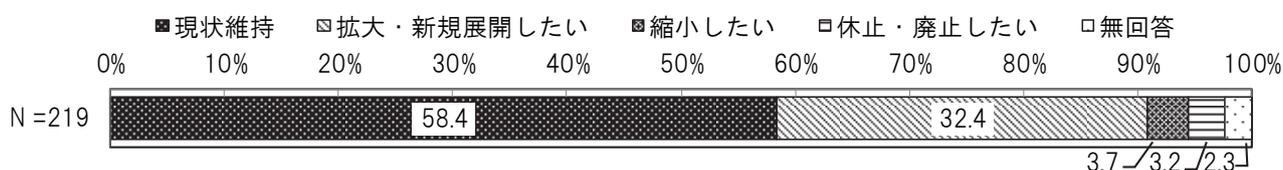
① 経営の状況について

経営の状況については、「とても安定的に運営できている」(2.3%)「比較的安定的に運営できている」(45.7%)を合わせた《安定的に運営できている》割合は半数以下となっており、経営状況に課題があることが分かります。今後の事業展開の意向においては「現状維持」が58.4%と最も多いものの、「拡大、新規事業展開したい」(32.4%)と続いており、事業展開には前向きの事業者が一定数いることが分かります。

図表 280 経営の状況（介護サービス事業所調査 問4）



図表 281 事業展開の意向（介護サービス事業所調査 問5）



②介護人材の採用の状況

各事業所における現在の正社員数・非正社員数、および、過去1年間（令和3年10月1日から令和4年9月30日）における採用者・離職者数については、サービス種別ごとに見ると、訪問系サービスや通所介護では、正社員、非正社員数が増加しているのに対し、短期入所系サービスや介護老人福祉施設、介護老人保健施設ではやや減少しています。

図表 282 サービス種別ごとの正社員・非正社員別の採用者・離職者数
（介護サービス事業所調査 問8）

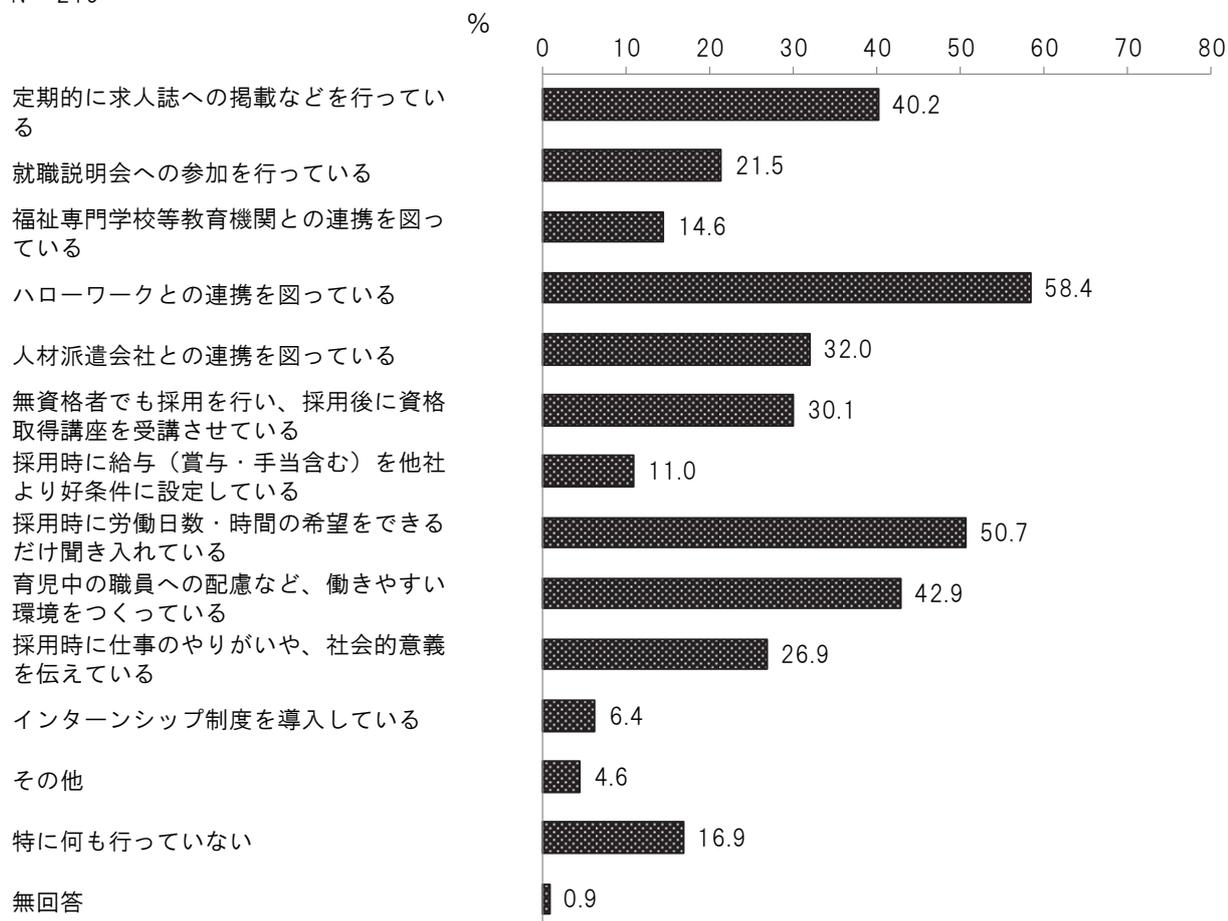
正社員	総数	採用	離職	増減	増減率
訪問介護	183	22	13	9	4.9%
訪問入浴介護	13	4	0	4	30.8%
訪問看護	148	45	24	21	14.2%
訪問リハビリテーション	23	2	1	1	4.3%
通所介護	93	20	6	14	15.1%
通所リハビリテーション	22	4	5	-1	-4.5%
短期入所生活介護	193	23	25	-2	-1.0%
短期入所療養介護	106	20	23	-3	-2.8%
福祉用具貸与	26	1	2	-1	-3.8%
夜間対応型訪問介護	13	0	0	0	0.0%
認知症対応型通所介護	19	1	0	1	5.3%
地域密着型通所介護	77	14	11	3	3.9%
小規模多機能型居宅介護	7	3	5	-2	-28.6%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	1	0	1	4.8%
認知症対応型共同生活介護	41	11	9	2	4.9%
特定施設入居者生活介護	31	4	4	0	0.0%
介護老人福祉施設	178	20	23	-3	-1.7%
介護老人保健施設	78	14	14	0	0.0%
介護療養型医療施設	28	6	9	-3	-10.7%
居宅介護支援	125	14	9	5	4.0%

非正社員	総数	採用	離職	増減	増減率
訪問介護	406	61	32	29	7.1%
訪問入浴介護	1	0	0	0	0.0%
訪問看護	98	35	7	28	28.6%
訪問リハビリテーション	3	0	0	0	0.0%
通所介護	117	25	17	8	6.8%
通所リハビリテーション	6	1	2	-1	-16.7%
短期入所生活介護	106	14	23	-9	-8.5%
短期入所療養介護	46	11	11	0	0.0%
福祉用具貸与	6	1	0	1	16.7%
夜間対応型訪問介護	15	0	0	0	0.0%
認知症対応型通所介護	20	1	5	-4	-20.0%
地域密着型通所介護	130	24	25	-1	-0.8%
小規模多機能型居宅介護	14	7	5	2	14.3%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	27	1	2	-1	-3.7%
認知症対応型共同生活介護	59	18	13	5	8.5%
特定施設入居者生活介護	26	0	4	-4	-15.4%
介護老人福祉施設	89	12	18	-6	-6.7%
介護老人保健施設	33	9	10	-1	-3.0%
介護療養型医療施設	13	2	1	1	7.7%
居宅介護支援	23	0	0	0	0.0%

人材の確保に向けた取り組みについては、「ハローワークとの連携を図っている」が58.4%と最も多く、「採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」(50.7%)と続いています。人材確保に向けて求人を行うだけでなく、幅広い層に介護分野に参入してもらえるよう、多様な働き方に柔軟に対応していることが分かります。

図表 283 人材の確保に向けた取り組み（介護サービス事業所調査 問10）

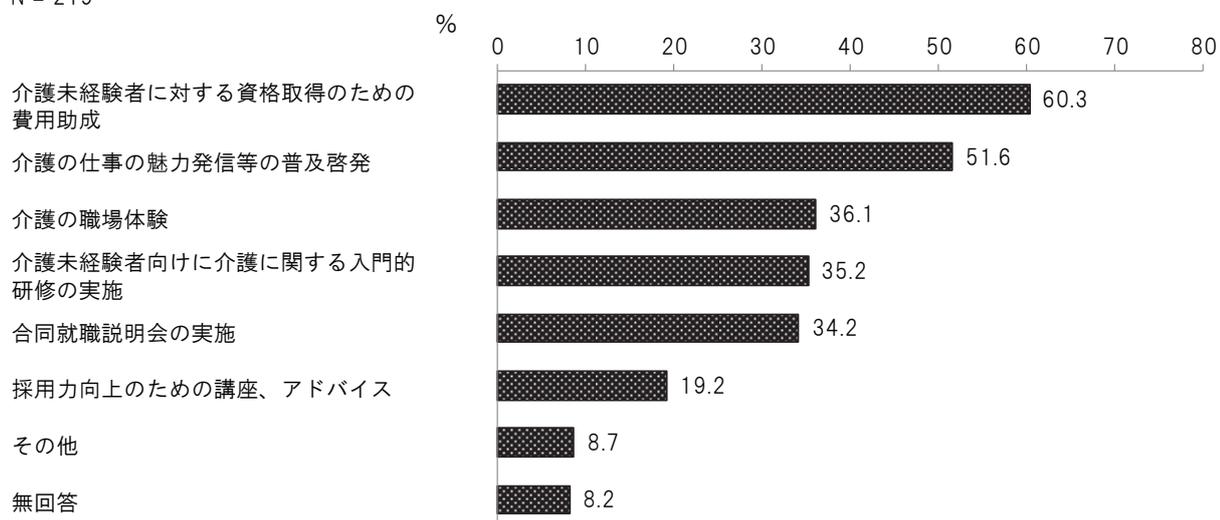
N = 219



人材確保に必要な公的支援については、「介護未経験者に対する資格取得のための費用助成」が60.3%と最も多く、「介護の仕事の魅力発信等の普及啓発」(51.6%)と続いています。介護に従事するにあたり必要な初任者研修等の受講費用が高額であり、公的機関からの費用助成が求められているとともに、若年層への介護の仕事の魅力発信等の普及啓発活動が求められていることが分かります。

図表 284 人材確保に必要な公的支援（介護サービス事業所調査 問 11）

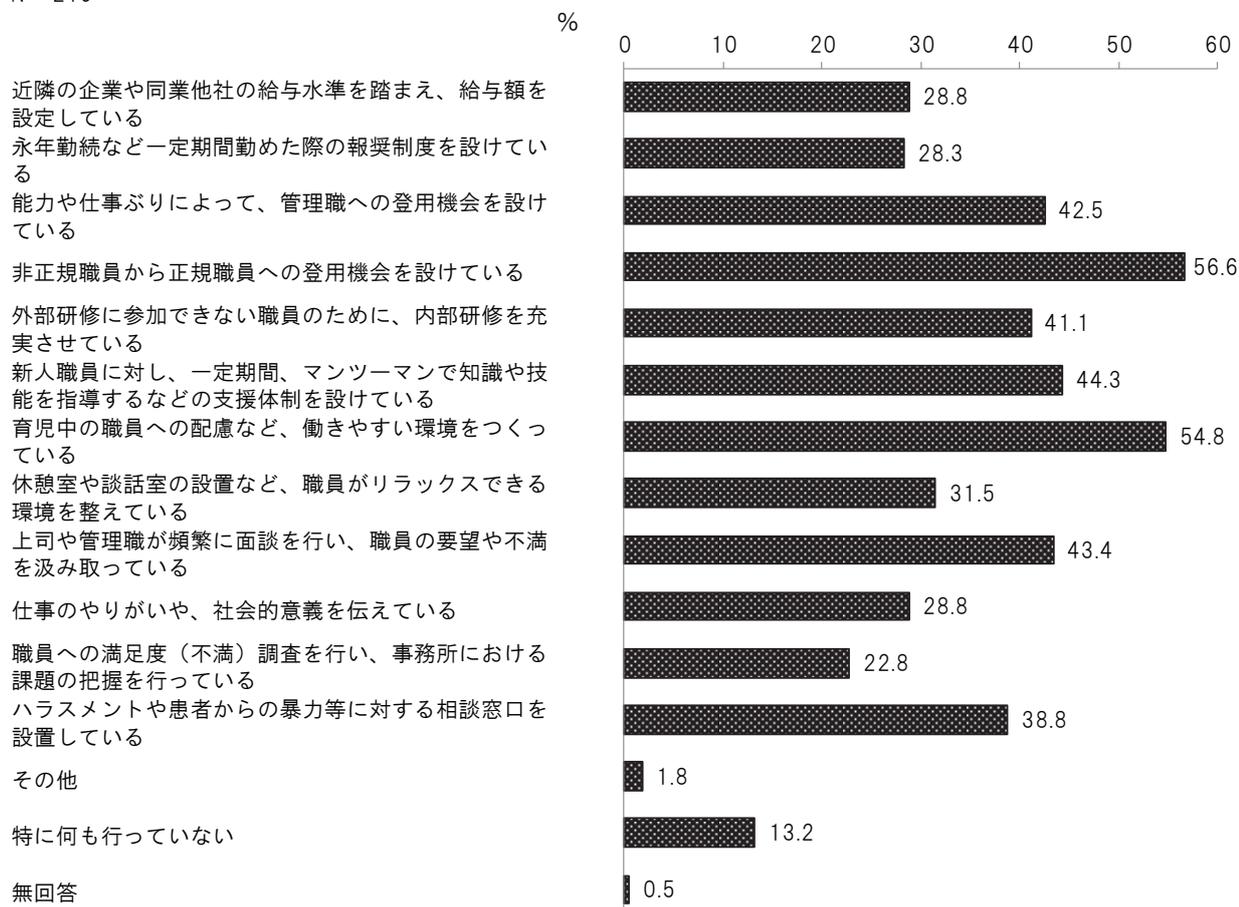
N = 219



人材の定着・育成についての取り組みについては、「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」が56.6%と最も多く、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」(54.8%)と続いています。人材の定着のため、正規職員への登用機会を設けるとともに、柔軟な働き方に対応し、働きやすい環境をつくっていることが分かります。

図表 285 人材の定着・育成についての取り組み（介護サービス事業所調査 問12）

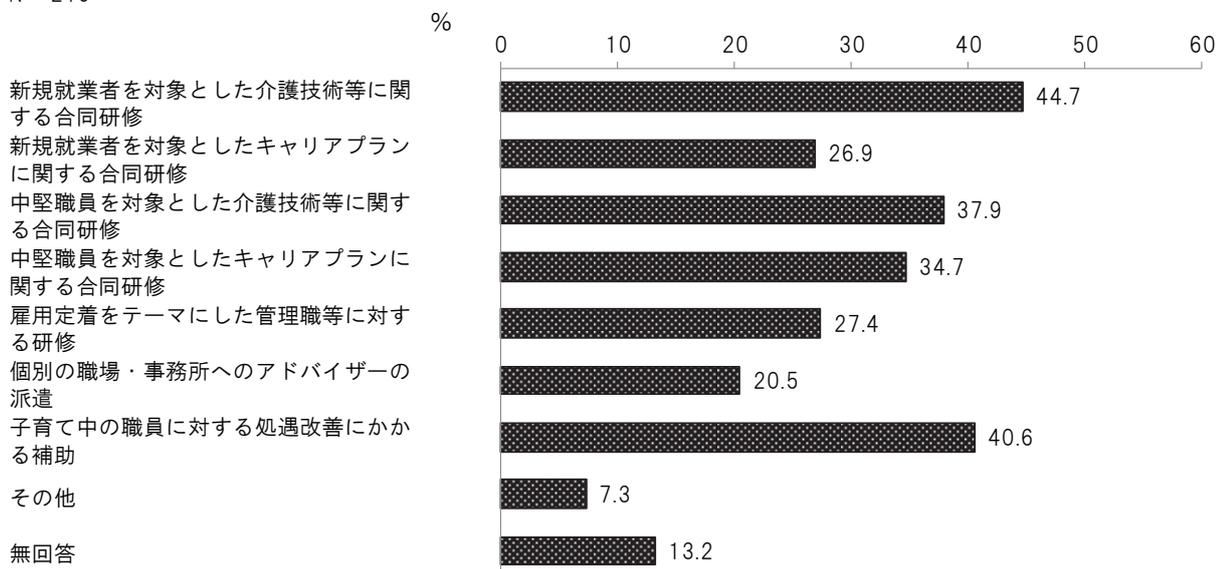
N = 219



人材の定着に必要な公的支援については、「新規就業者を対象とした介護技術等に関する合同研修」が44.7%と最も多く、「子育て中の職員に対する処遇改善にかかる補助」(40.6%)と続いています。事業所単位では開催が難しい若手や中堅などの階層別の研修が求められていることが分かります。

図表 286 人材の定着に必要な公的支援（介護サービス事業所調査 問13）

N = 219

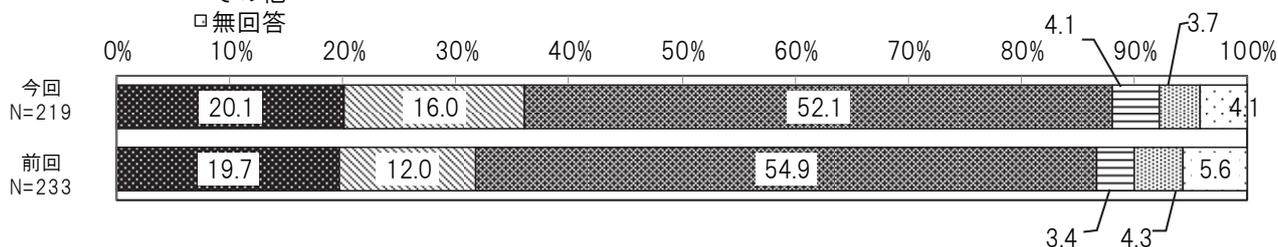


③外国人および介護助手

外国人の受け入れ状況は、「受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない」が52.1%と最も多いものの、「受け入れた経験がないが、受け入れを検討している」が前回調査から4ポイント増加し、人材確保策の一つとして、外国人材の採用への関心が高まりつつあることが分かります。

図表 287 外国人の受け入れ状況（介護サービス事業所調査 問14）

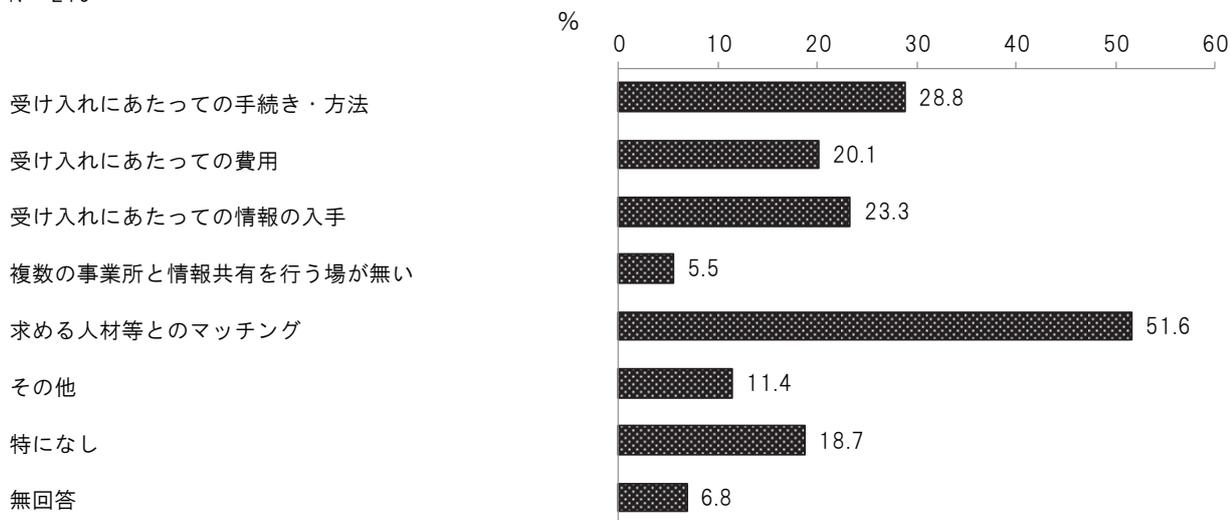
- 現在受け入れているまたは受け入れたことがあり、今後も受け入れを検討している
- ▨ 受け入れた経験がないが、受け入れを検討している
- ▩ 受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない
- 受け入れた経験があるが、今後は受け入れを検討していない
- その他
- 無回答



外国人の受け入れ時の課題については、「求める人材等とのマッチング」が51.6%と最も多くなっています。

図表 288 外国人の受け入れ時の課題（介護サービス事業所調査 問 15①）

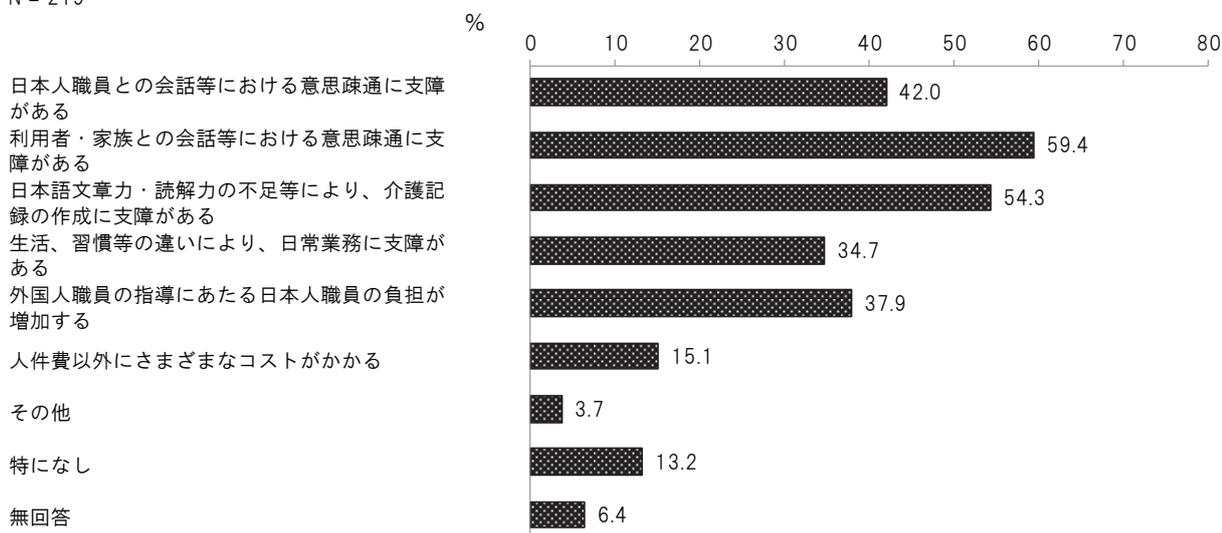
N = 219



外国人の受け入れ後の課題については、「利用者・家族との会話等における意思疎通に支障がある」が59.4%と最も多く、「日本語文章力・読解力の不足により、介護記録の作成に支障がある」(54.3%)と続いています。日本語能力の不足によるコミュニケーションについて課題があることが分かります。

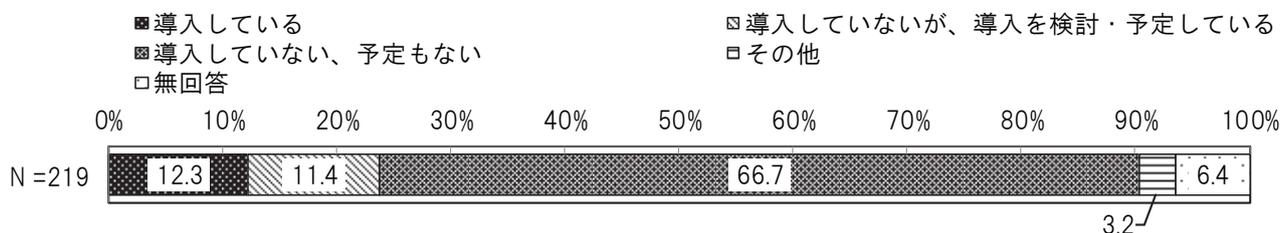
図表 289 外国人の受け入れ後の課題（介護サービス事業所調査 問 15②）

N = 219



介護助手の導入状況については、「導入している」は12.3%、「導入していないが、導入を検討・予定している」は11.4%となっており、特にサービス類型別でみると、短期入所サービスや施設サービスで導入が進んでいることが分かります。介護助手として活用している、または活用を検討している人材は「時短勤務の出来る方（主婦等）」（53.8%）、「介護の資格取得予定者」（48.1%）、「元気高齢者」（44.2%）となっています。

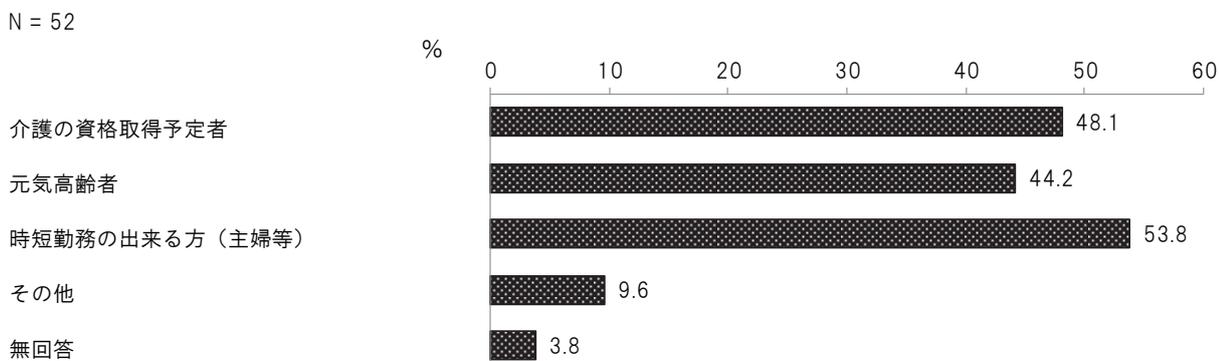
図表 290 介護助手の導入状況（介護サービス事業所調査 問 19）



図表 291 サービス類型別介護助手の導入状況（介護サービス事業所調査 問 19）

サービス類型	全体数	導入状況 (%)				不明 (%)
		導入している	導入していないが、導入を検討・予定している	導入していない、予定もない	その他	
全体	219	12.3	11.4	66.7	3.2	6.4
訪問系サービス	81	1.2	11.1	77.8	2.5	7.4
通所系サービス	46	19.6	13.0	58.7	2.2	6.5
短期入所サービス	8	75.0	12.5	12.5	-	-
居住系サービス	10	20.0	30.0	50.0	-	-
施設サービス	7	71.4	14.3	14.3	-	-
その他の居宅サービス	50	4.0	4.0	76.0	6.0	10.0

図表 292 介護助手の人材（介護サービス事業所調査 問 19-1）



(2) サービスの質の向上について

①ICT ツールの導入状況

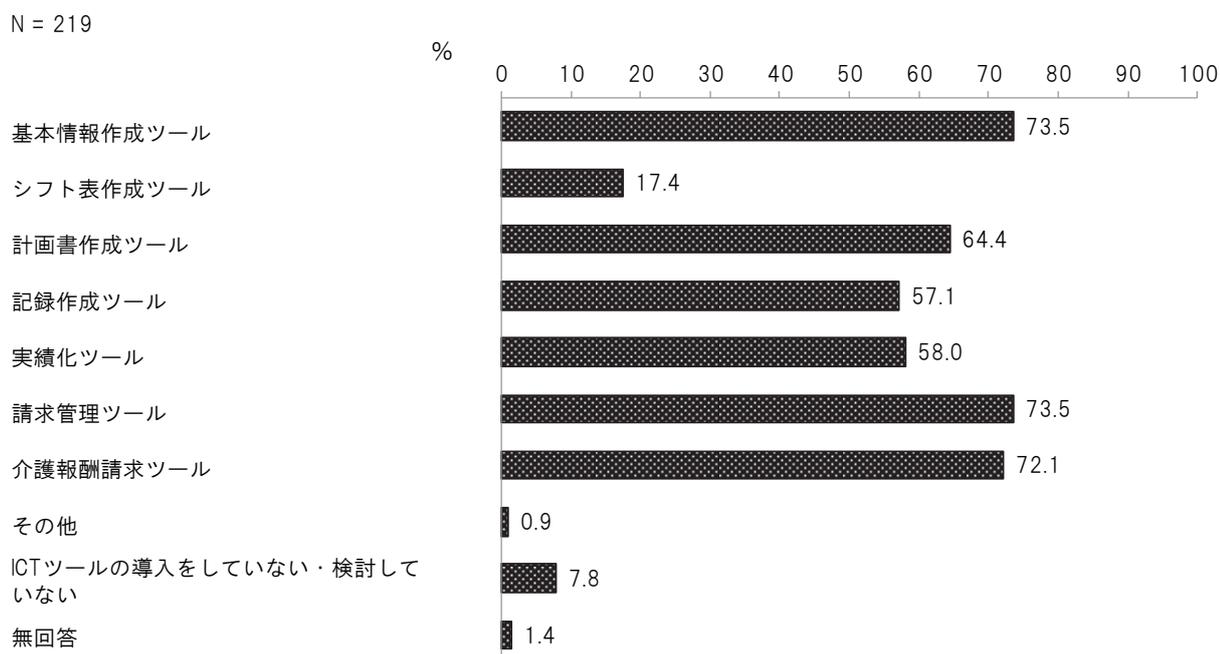
利用している ICT ツールについては、「ICT ツールの導入をしていない・検討していない」が 7.8%となっており、多くの事業所に ICT ツールが普及していることが分かります。

ICT 導入時の課題は、「導入費用の負担が大きい」が 44.7%と最も多く、「職員の負担が軽減されるかわからない」(36.5%)と続いています。

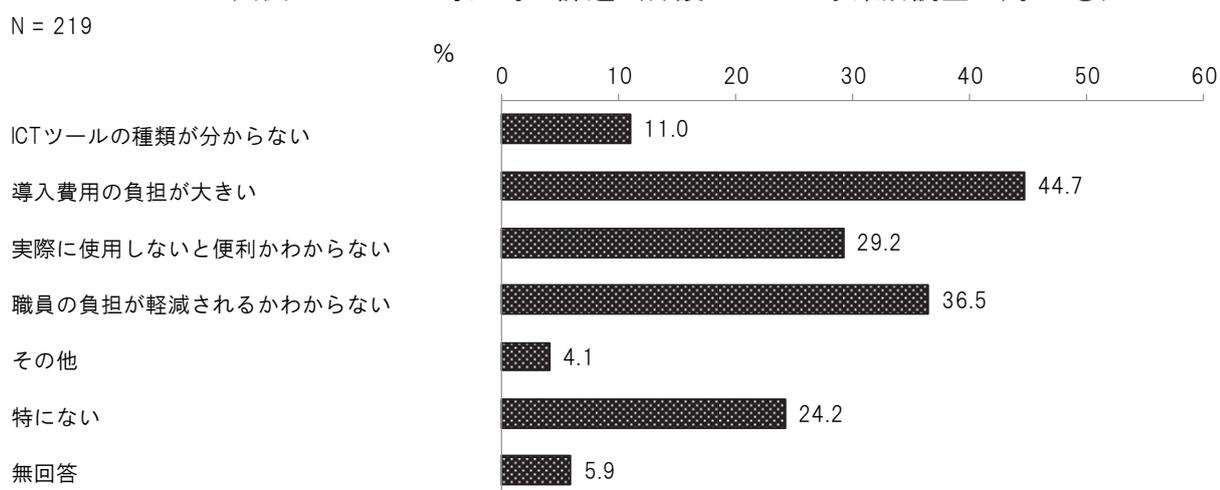
ICT 運用時の課題は、「ICT ツールを使いこなせるか不安がある」が 43.8%と最も多く、「運用費の負担が大きい」(38.4%)と続いています。

導入や運用に関する費用負担が大きいこと、ICT ツールの運用に関して不安感があることが分かります。

図表 293 利用している ICT ツール（介護サービス事業所調査 問 16）

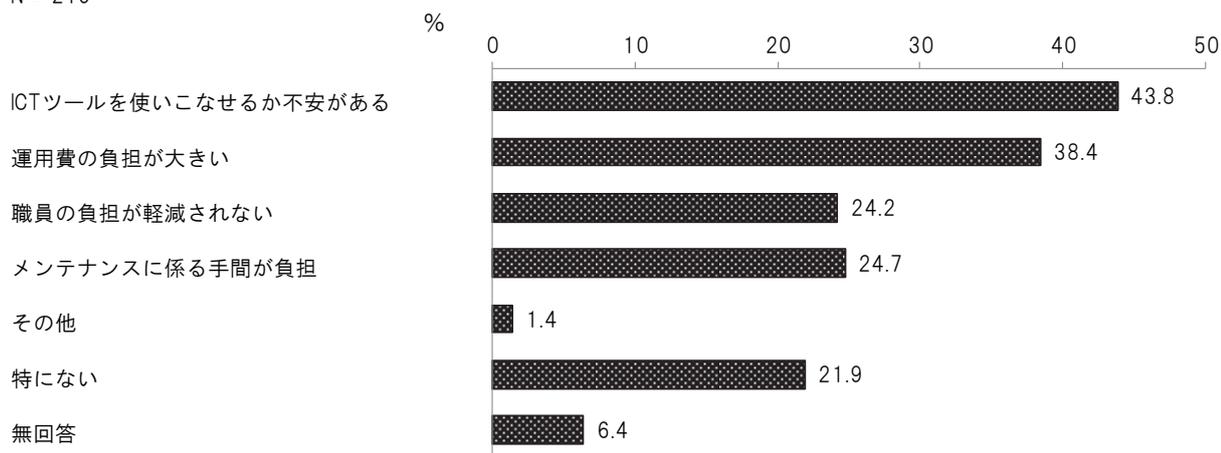


図表 294 ICT 導入時の課題（介護サービス事業所調査 問 17①）



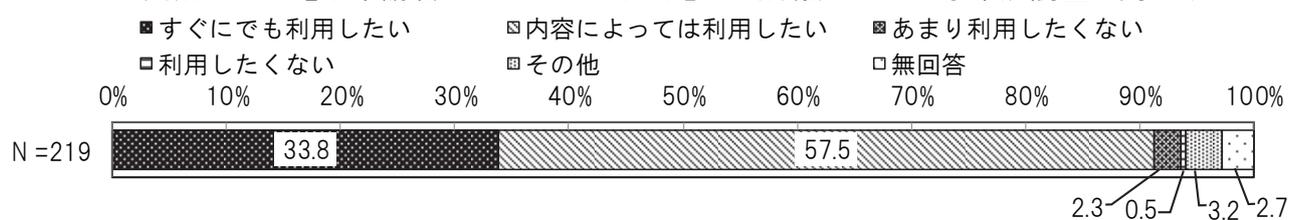
図表 295 ICT 運用時の課題（介護サービス事業所調査 問 17②）

N = 219



電子申請届出システムについては、「すぐにでも利用したい」（33.8%）と「内容によっては利用したい」（57.5%）を合わせた《利用したい》が91.3%となっています。

図表 296 電子申請届出システムの利用意向（介護サービス事業所調査 問 18）

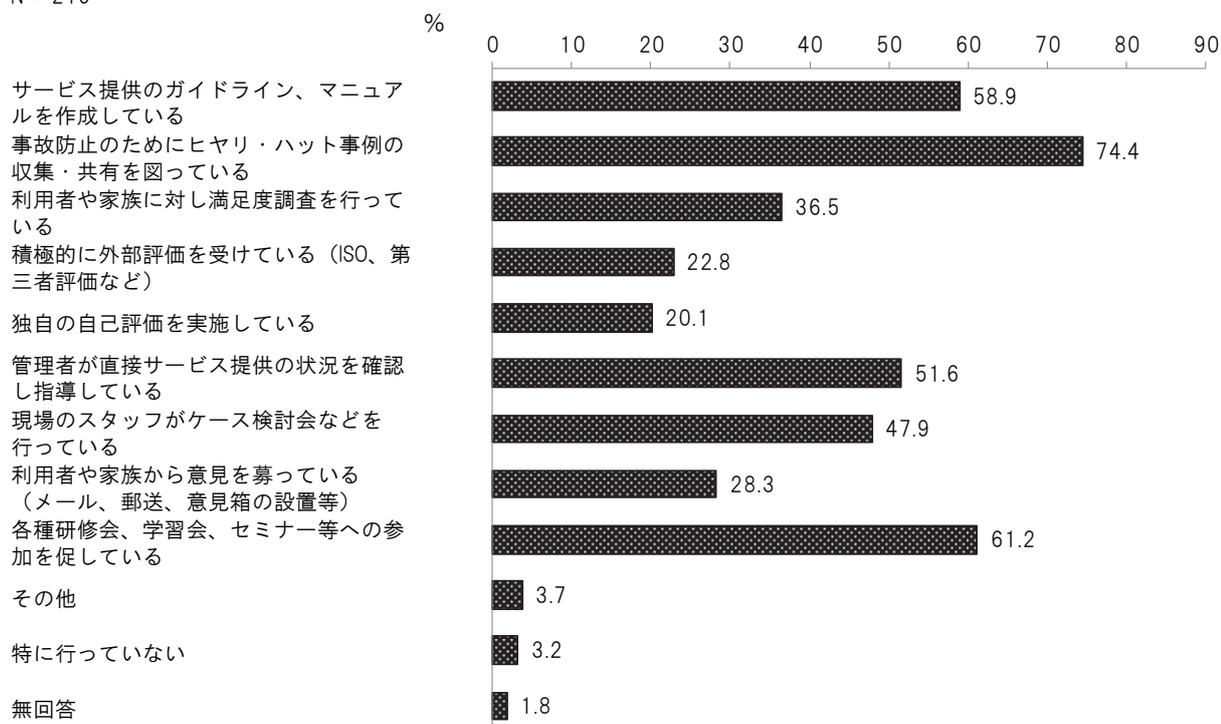


②サービスの質の向上のための取り組み

サービスの向上のための取り組みについては、「事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている」が74.4%と最も多く、「各種研修会、学習会、セミナー等への参加を促している」(61.2%)、「サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している」(58.9%)と続いています。

図表 297 サービスの向上のための取り組み（介護サービス事業所調査 問 25）

N = 219



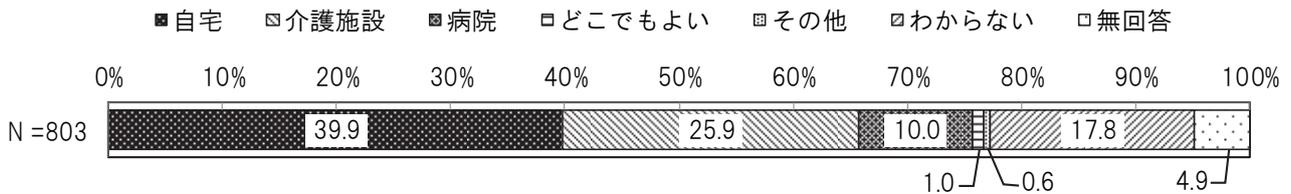
2 在宅生活の継続に係る横断的な分析・考察

1. 在宅生活に必要な支援について

①在宅生活へのニーズ

介護度が悪化した場合にどこで介護を受けたいかについては、「自宅」が39.9%、「介護施設」が25.9%と、介護度が悪化しても継続して自宅で介護を受けたいというニーズが高いことが分かります。

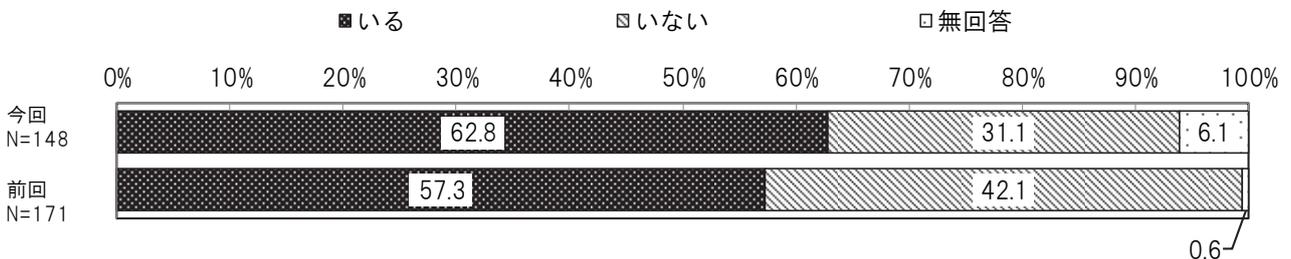
図表 298 介護度が悪化した場合にどこで介護を受けたいか（要介護認定者調査 問13）



②在宅生活の継続が困難な状況

ケアマネジャーから見て在宅生活が困難になっている人の割合については、前回調査と比較すると、「いる」が5.5ポイント増加しており、在宅生活が困難になっている人が増加していることが分かります。

図表 299 ケアマネジャーから見た在宅生活が困難になっている人が居る割合（ケアマネジャー調査 問6）

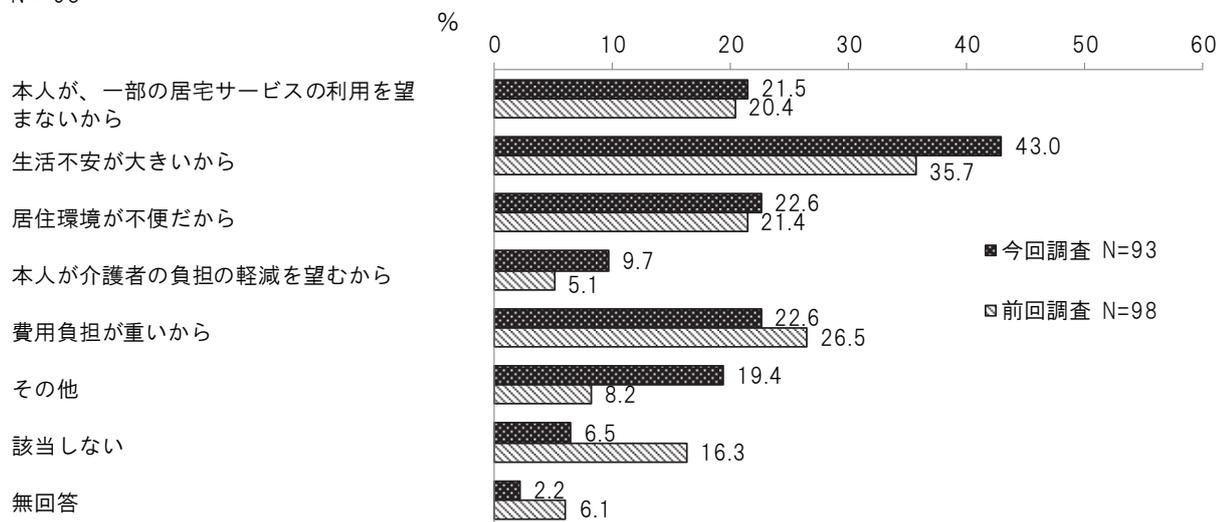


在宅生活が困難になっていると考える理由を「本人の意向」「介護者の意向」「本人の状態」の3つの視点から見ていきます。

本人の意向の視点では、「生活不安が大きいため」が43.0%と最も多く、前回調査と比較しても7.3ポイント増加しています。

図表 300 在宅生活が困難な理由（本人の意向）（ケアマネジャー調査 問6-1①）

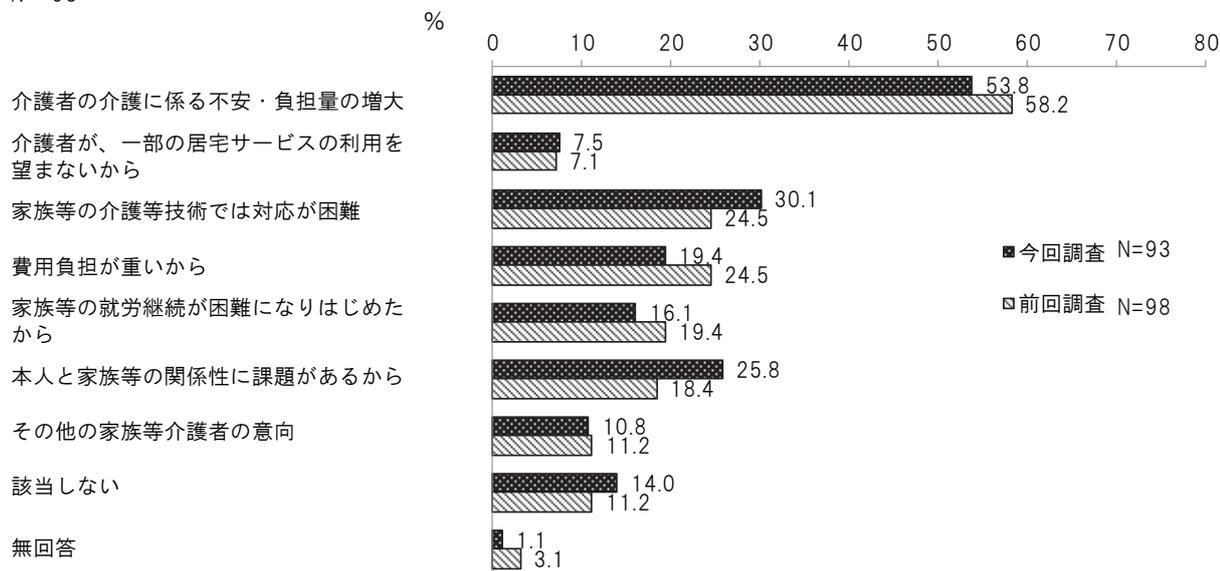
N = 93



介護者の意向の視点では、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が53.8%と最も多いものの、前回調査と比較すると4.4ポイント減少しています。一方、「家族等の介護等技術では対応が困難」は5.6ポイント、「本人と家族等の関係性に課題があるから」は7.4ポイント増加しています。

図表 301 在宅生活が困難な理由（介護者の意向）（ケアマネジャー調査 問6-1②）

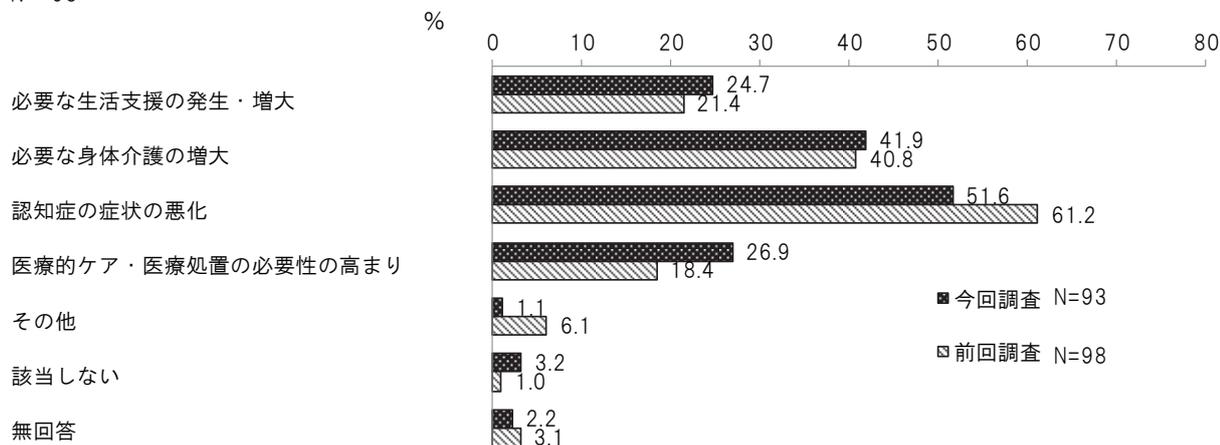
N = 93



本人の状態の視点では、「認知症の症状の悪化」が51.6%と最も多いものの、前回調査と比較すると9.6ポイント減少しています。一方、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」は8.5ポイント増加しています。

図表 302 在宅生活が困難な理由（本人の状態）（ケアマネジャー調査 問6-1③）

N = 93



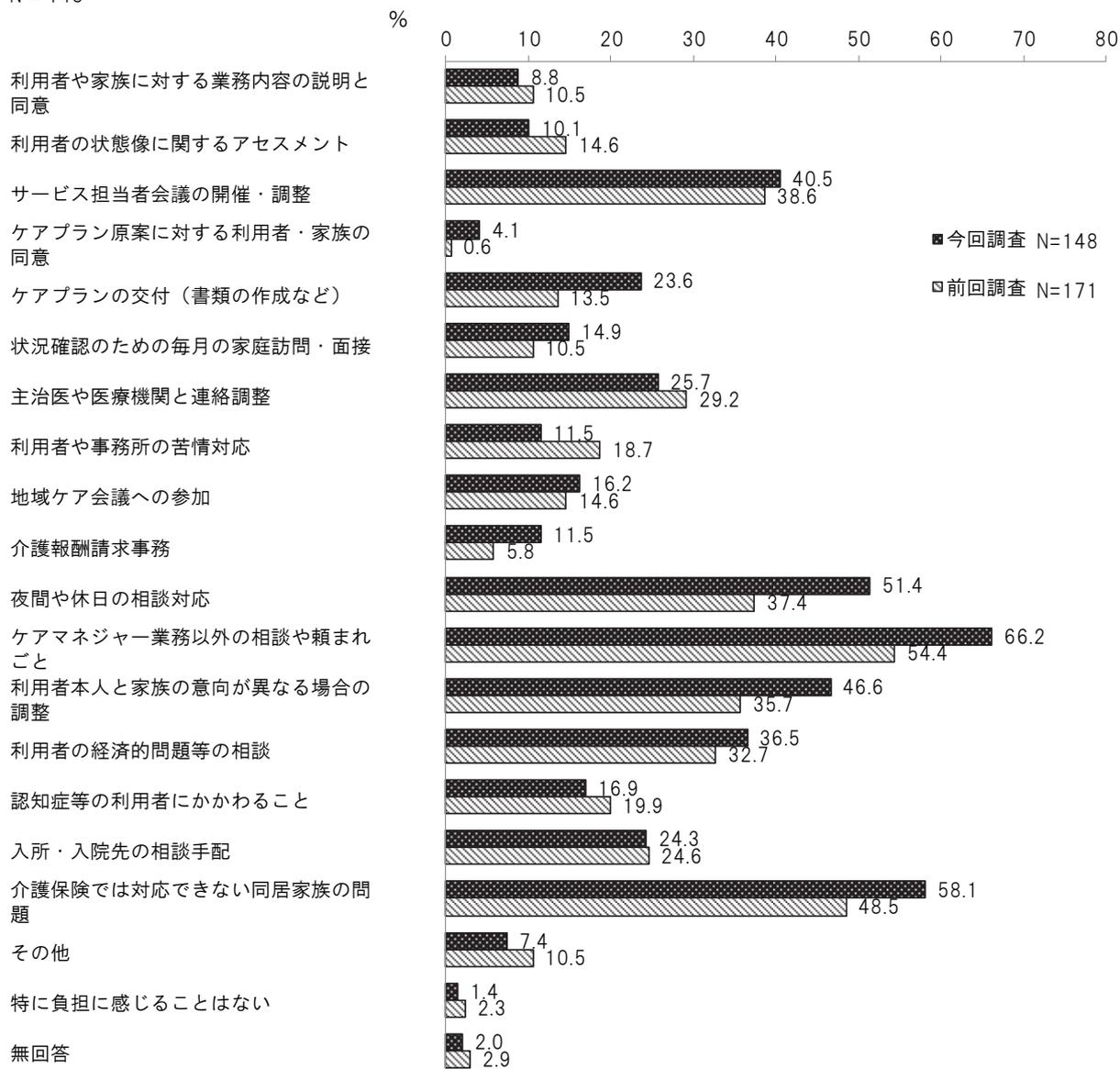
以上のことから、「生活不安が大きいから」や「本人と家族等の関係性に課題があるから」など、生活支援・家族関係に係る問題や、「家族等の介護技術では対応が困難」や「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」など、介護技術の高度化により介護者の不安や負担が増大し、在宅生活の維持が難しいケースが増加していることが分かります。

ケアマネジャーの負担感については、前回調査と比較すると、「夜間や休日の相談対応」が14ポイント、「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」が11.8ポイント、「利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整」が10.9ポイント、「介護保険では対応できない同居家族の問題」が9.6ポイント増加しています。

利用者の生活不安や家族問題への対応など、生活支援や家族間の課題に関する負担感が増加していると考えられます。

図表 303 ケアマネジャーの負担感（ケアマネジャー調査 問19）

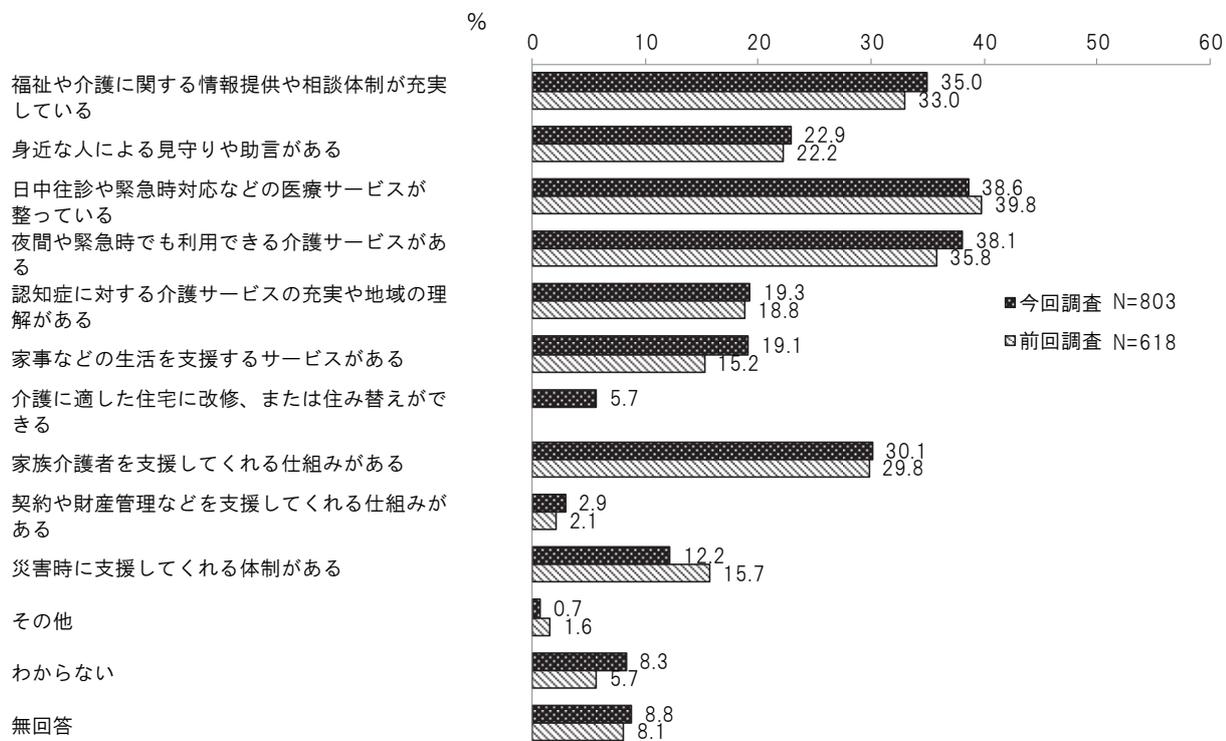
N = 148



③在宅生活の継続に必要なサービス

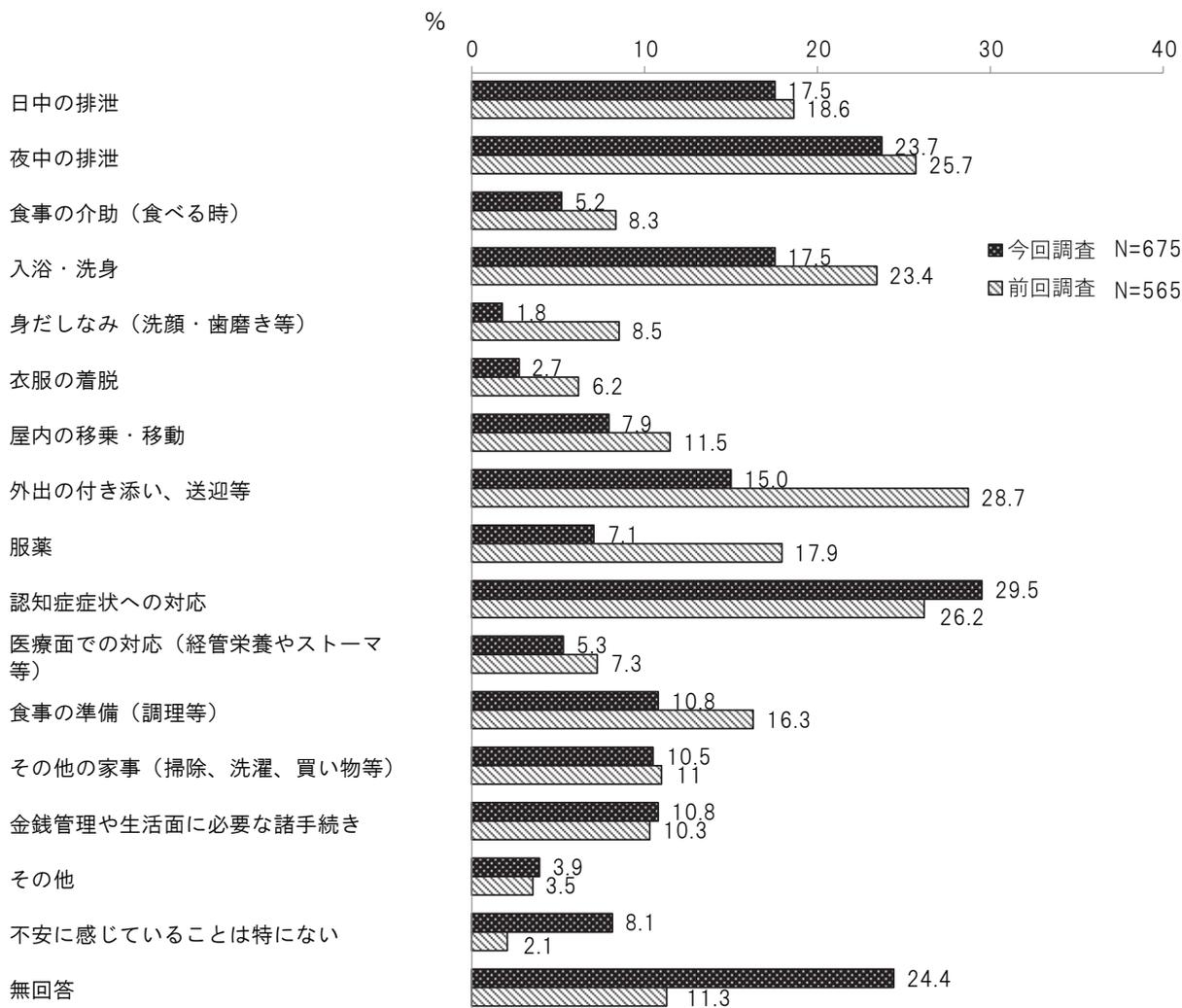
要介護認定者本人が住み慣れた地域で暮らし続けるために望むことについては、前回調査とほとんど変わらず、「日中往診や緊急時対応などの医療サービスが整っている」が38.6%と最も多く、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」(38.1%)と続いています。

図表 304 住み慣れた地域で暮らし続けるために望むこと（要介護認定者調査 問 14）



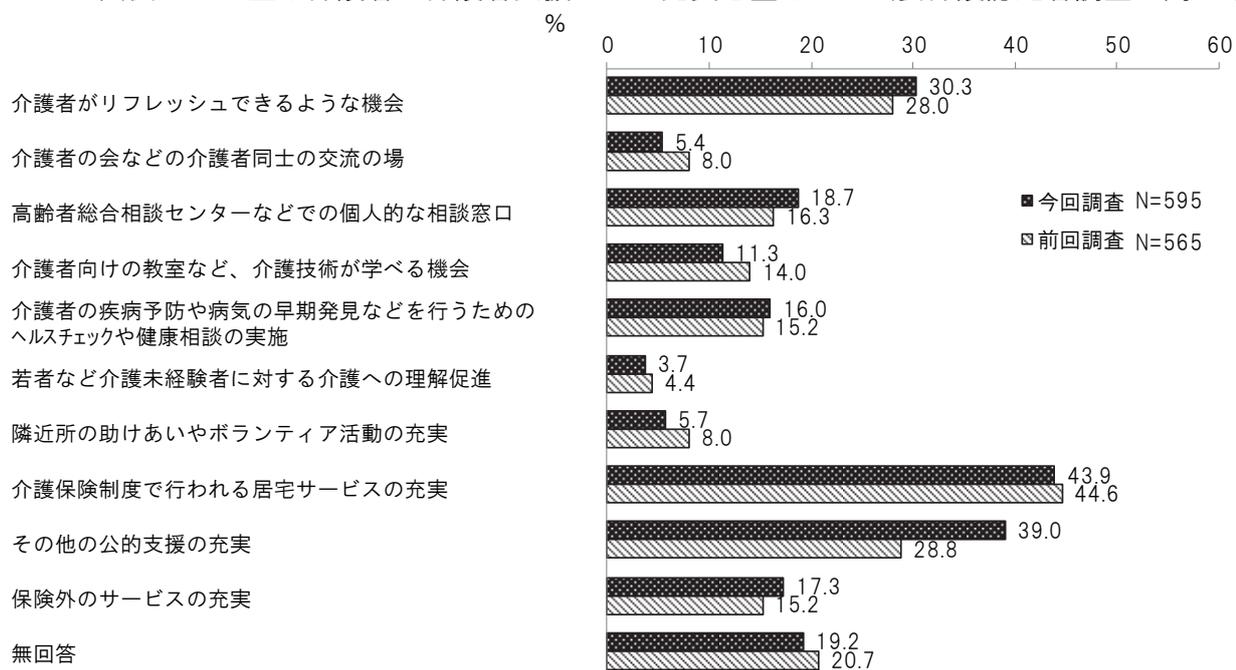
主な介護者が不安に思う介護については、前回調査と比較して「外出の付き添い、送迎等」が13.7ポイント、「服薬」が10.8ポイント減少している一方、「認知症症状への対応」が3.3ポイント増加しており、認知症症状への対応について、不安が大きくなっていることが分かります。

図表 305 主な介護者が不安に思う介護（要介護認定者調査 問 34）



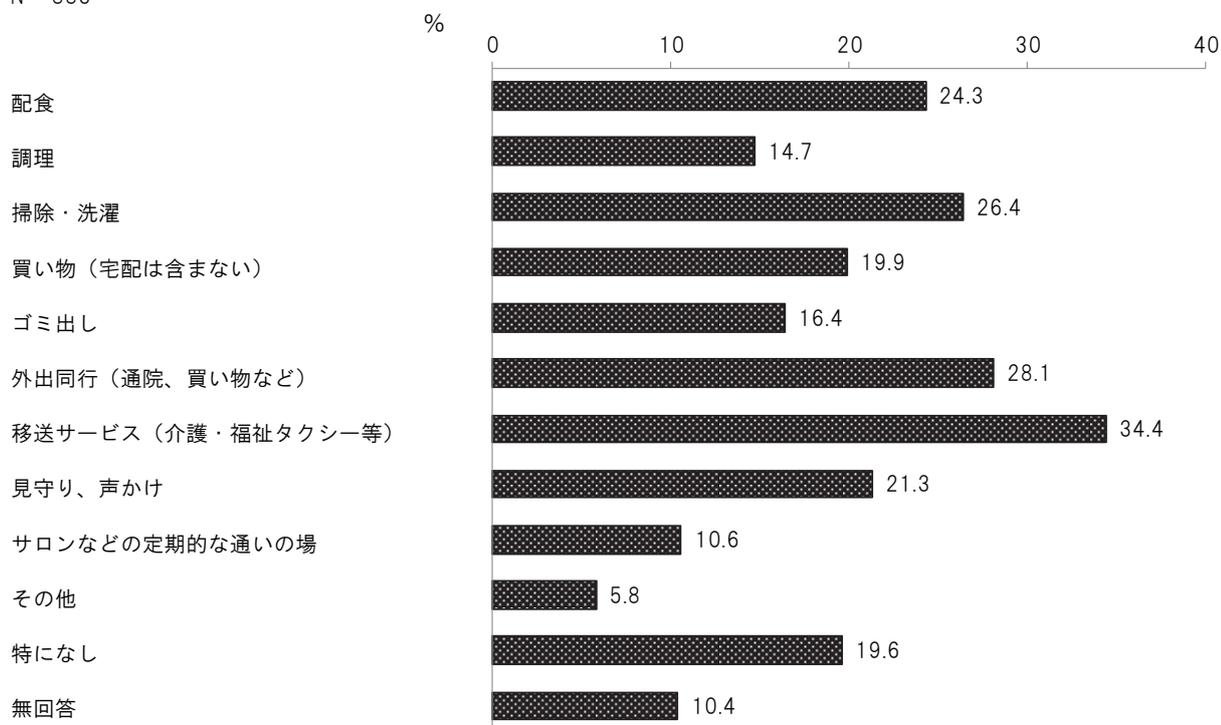
主な介護者が介護者支援として充実を望むことについては、「介護保険制度で行われる居宅サービスの充実」が43.9%と最も多くなっています。また、「その他の公的支援」(39.0%)が前回調査と比較して10.8ポイント増加しています。

図表 306 主な介護者が介護者支援として充実を望むこと（要介護認定者調査 問 38）



要介護認定者本人が、今後の在宅生活継続に必要なと思う介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.4%と最も多く、「外出同行（通院、買い物など）」（28.1%）と続いています。

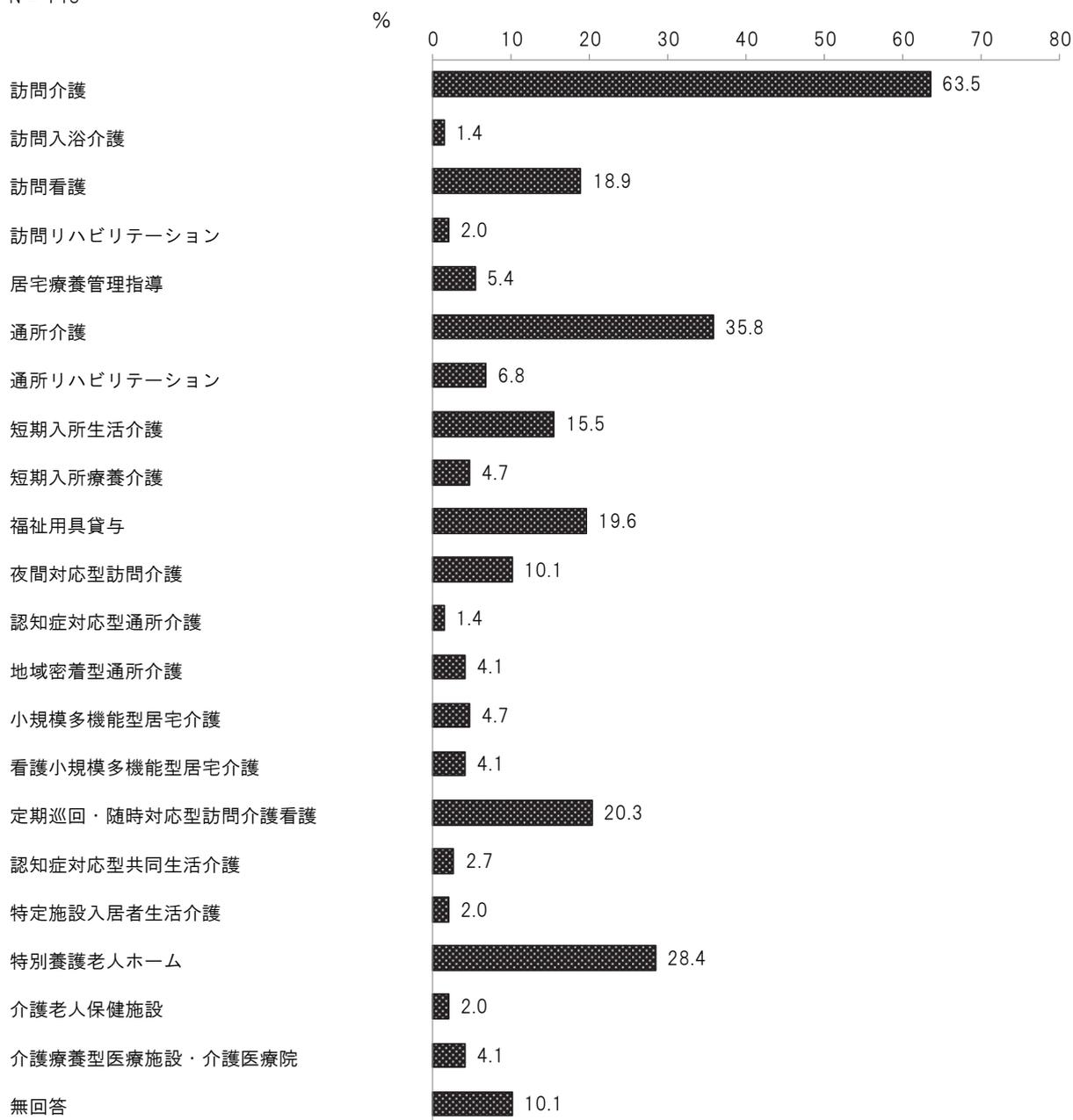
図表 307 今後の在宅生活継続に必要なと思う支援・サービス（要介護認定者調査 問 20 再掲）
N = 883



ケアマネジャーの立場から高齢者が安心して生活するために充実すべきサービスについては、前回調査と比較すると、前回調査においては回答数が1つだったのに対し、今回調査は3つまでの回答と調査方法が異なっていますが、「訪問介護」や「通所介護」が多くなっており、住み慣れた自宅で生活を継続できるような在宅サービスの充実が求められていることが分かります。

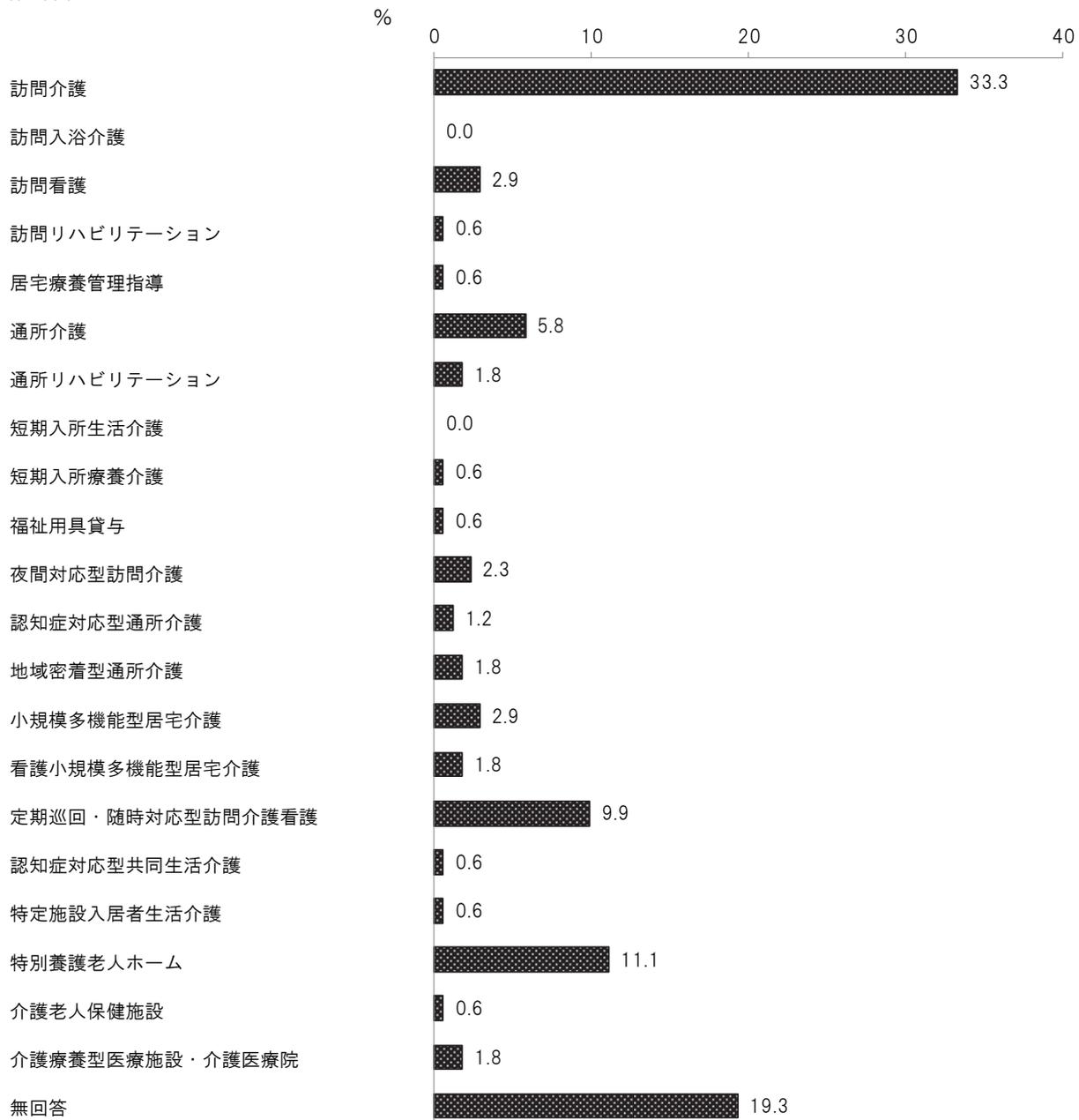
図表 308 高齢者が安心して生活するために充実すべきサービス（3つまで○）
（ケアマネジャー調査 問7）

N = 148



図表 309 高齢者が安心して生活するために充実すべきサービス（1つだけ〇）
（前回調査）

N = 171



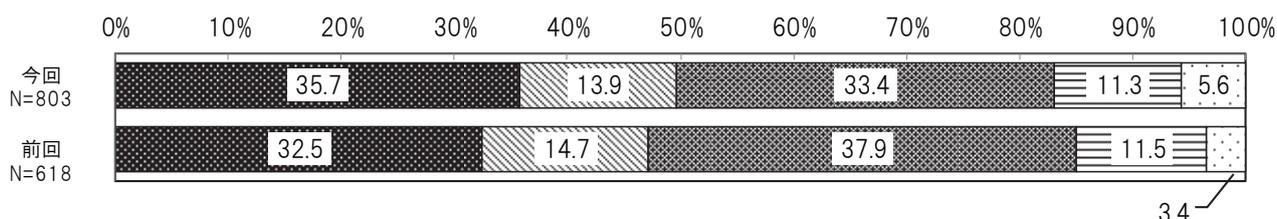
2. 新型コロナウイルス感染症の影響について

①本人の外出状況

要介護認定者の外出状況の変化については、前回調査と比較すると、「ほとんど外出していない」が3.2ポイント増加し、外出している回数もやや減少していることが分かります。新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛の影響があると考えられます。

図表 310 要介護認定者の外出状況の変化（要介護認定者調査 問 26）

■ほとんど外出していない □週1回 ■週2～4回 □週5回以上 □無回答

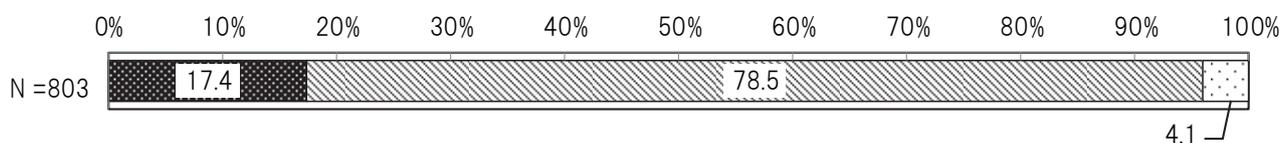


②介護サービスへの影響

新型コロナウイルス感染症にり患もしくは濃厚接触者になった方のうち、訪問介護サービスを受けられなかったことが「あった」は8.6%でした。人数は少ないものの、必要なサービスを受けられなかった方がいたことが分かります。

図表 311 コロナ感染または濃厚接触者になったことはあるか（要介護認定者調査 問 18）

■ある □ない □不明



図表 312 コロナ感染または濃厚接触者に該当したことにより、訪問介護サービスが受けられなかったことはあったか（要介護認定者調査 問 18-1）

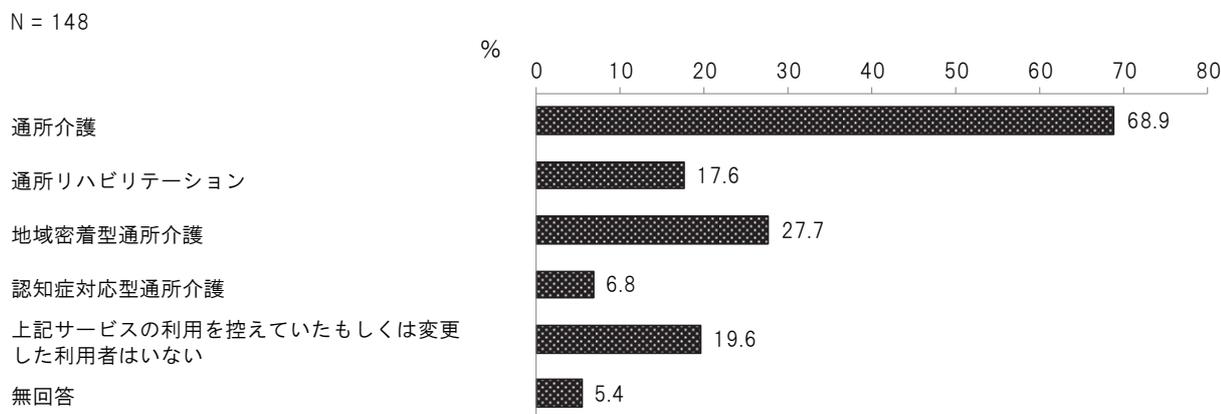
■あった □なかった ■自宅での介護保険サービスを利用していない □不明



③ケアマネジャーにおける対応状況

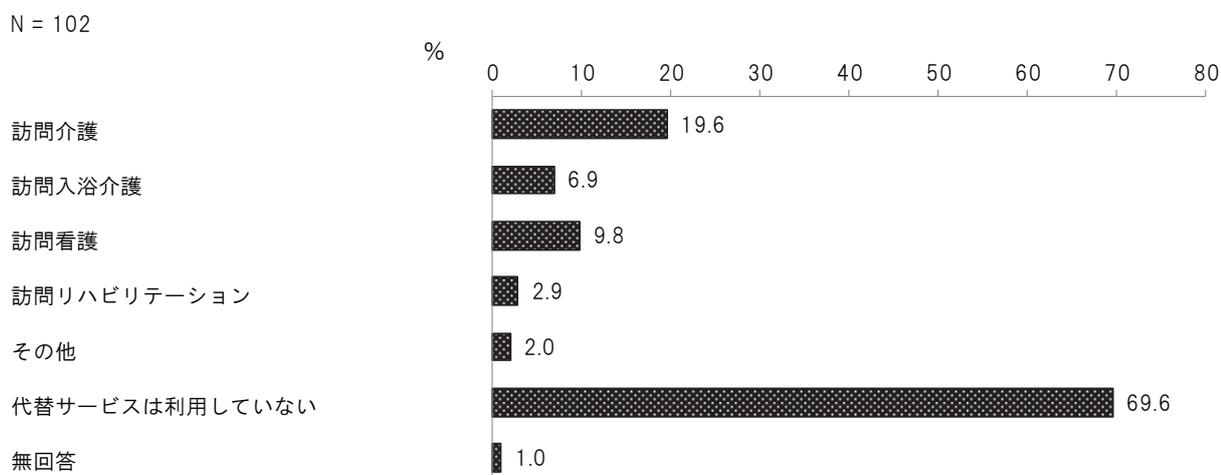
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通所サービスを変更した利用者については、「利用を控えていたもしくは変更した利用者はいない」が19.6%であることから、通所サービス利用者の多くに影響があったことが分かります。

図表 313 コロナの影響によって通所サービスを変更した人の割合
(ケアマネジャー調査 問 27)



通所介護の代替サービスについては、「代替サービスは利用していない」が69.6%と最も多くなっているものの、訪問系サービスに代替した利用者も一定数いることが分かります。

図表 314 通所介護の代替サービス (ケアマネジャー調査 問 27-1)



利用者が新型コロナウイルス感染症に罹患した、または濃厚接触者となった場合の影響については、該当した期間中に、訪問系サービスの提供が受けられなかったことによりケアプランの変更が必要になった割合は18.5%、利用者が希望したにもかかわらず代替のサービスが手配できなかった割合は14.6%と、サービスの利用に影響が出ている利用者が一定数いることが分かります。

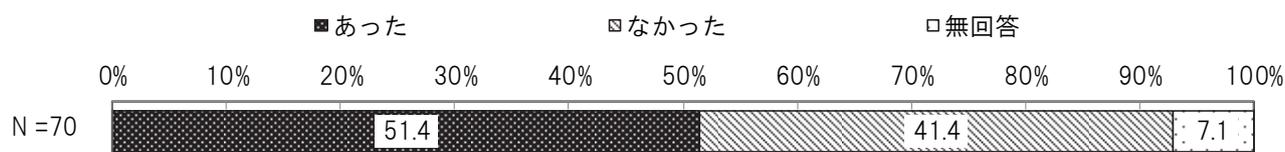
図表 315 新型コロナウイルス感染症によってケアプランの変更、および、サービスが受けられなかった割合（ケアマネジャー調査 問 28）

	件数	割合
利用者が新型コロナウイルス感染症に罹患した、または濃厚接触者に該当した期間に作成したケアプランの件数	287	
サービス提供が受けられなかったことによりケアプランの変更が必要になった件数	53	18.5%
利用者が希望したにもかかわらず代替のサービスが手配できなかった件数	42	14.6%

④介護サービス事業者における対応状況

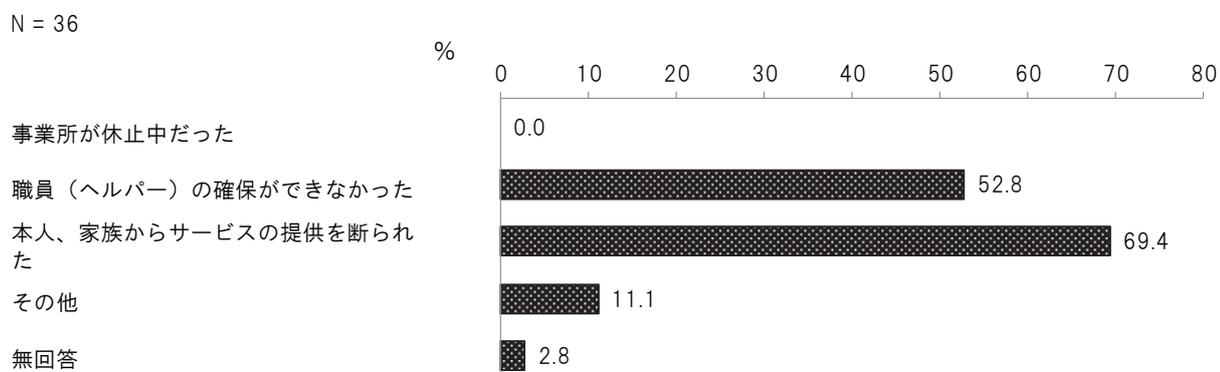
訪問系のサービス事業者のうち、51.4%の事業者において、新型コロナウイルス感染症を理由としてサービス提供に影響があったことが分かります。

図表 316 コロナによりサービス提供ができなかったこと（訪問系のみ）
（介護サービス事業所調査 問 31）



新型コロナウイルス感染症を理由としてサービスの提供ができなかった理由については、「本人、家族からサービスの提供を断られた」が69.4%と最も多く、「職員（ヘルパー）の確保ができなかった」（52.8%）と続いています。

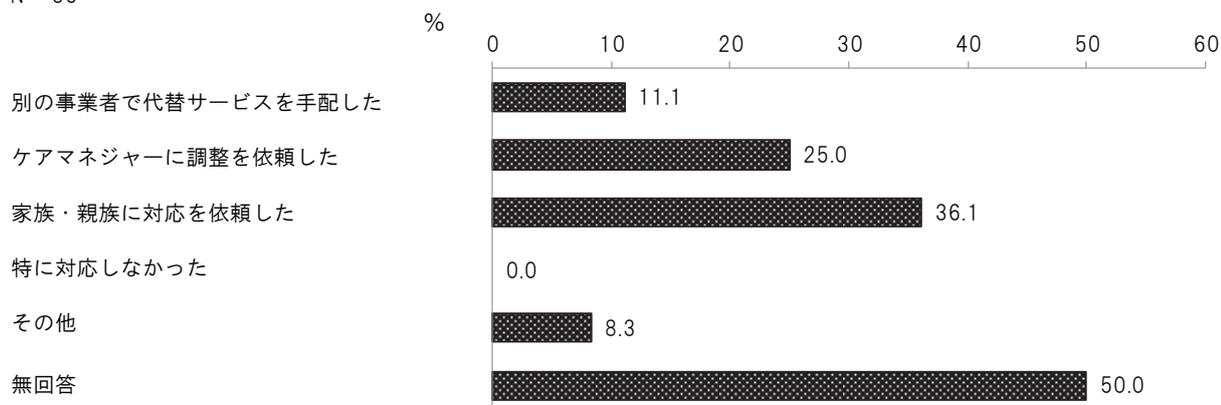
図表 317 サービス提供ができなかった理由（介護サービス事業所調査 問 31-1）



サービスの提供が出来なかった時の対応については、「家族・親族に対応を依頼した」が36.1%と最も多く、「ケアマネジャーに調整を依頼した」(25.0%)と続いています。

図表 318 サービスが提供できなかった時の対応（介護サービス事業所調査 問 31-2）

N = 36



以上から、新型コロナウイルス感染症によりサービス提供に影響があり、代替サービスの確保が難しい場合に、家族・親族やケアマネジャーが対応・調整していることが分かります。コロナ禍により介護をする家族や、サービスを調整するケアマネジャーへの負担が増大していると考えられます。

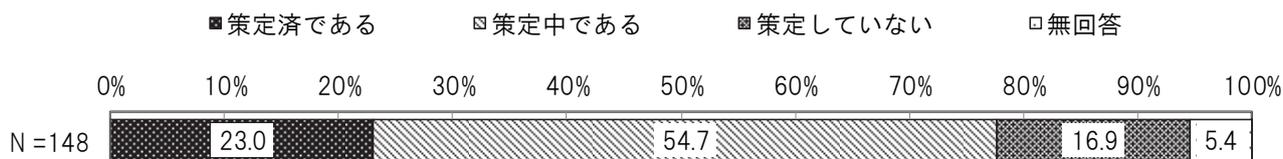
3. 外部環境変化への対応について

介護保険制度の改正によりBCP（事業継続計画）の策定や人権・ハラスメントへの対応が義務付けられるなど、外部環境の変化により介護サービス事業所に求められる課題について、分析を行いました。

①災害時の対応について

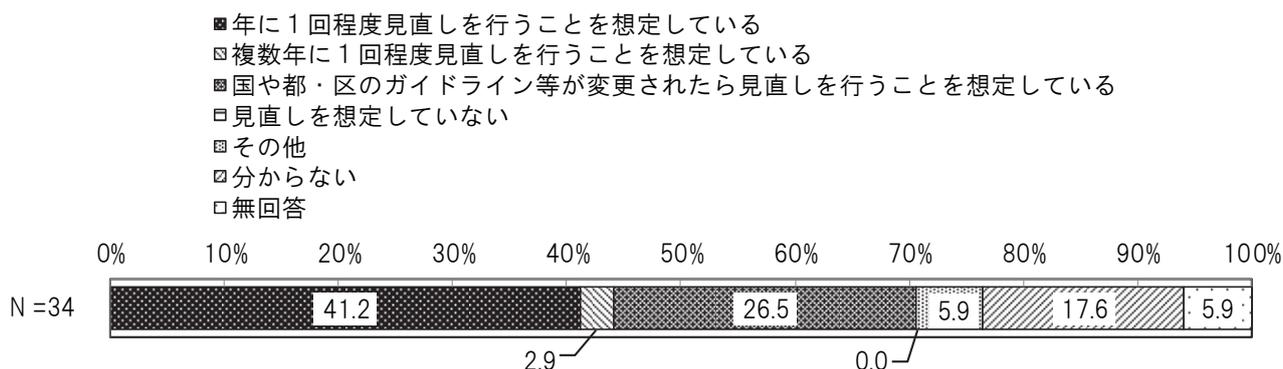
ケアマネジャーが所属する事業所におけるBCPの策定状況については、「策定済」が23.0%、「策定中」が54.7%となっています。

図表 319 BCPの策定状況（ケアマネジャー調査 問26）



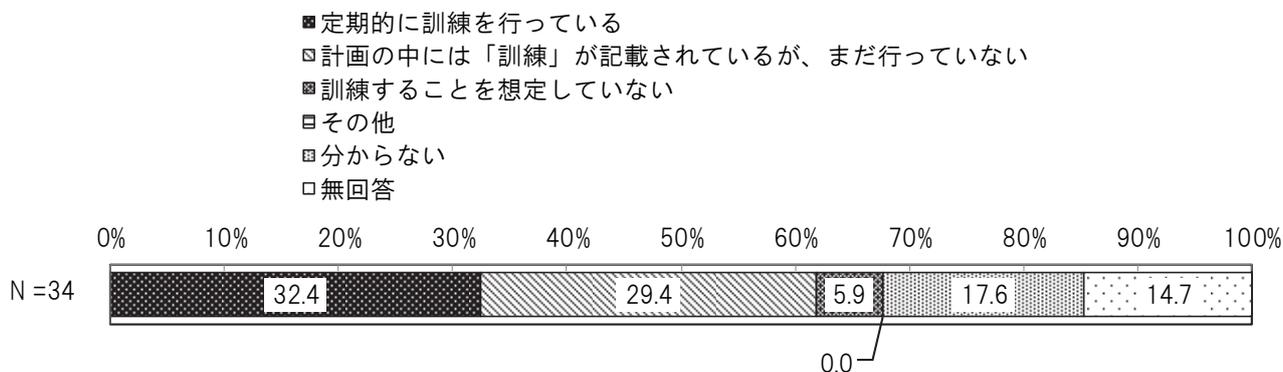
BCPの見直しの状況については、「年に1回程度見直しを行うことを想定している」が41.2%と最も多く、「国や都・区のガイドライン等が変更されたら見直しを行うことを想定している」（26.5%）と続いています。

図表 320 計画の見直しの状況（ケアマネジャー調査 問26-1）



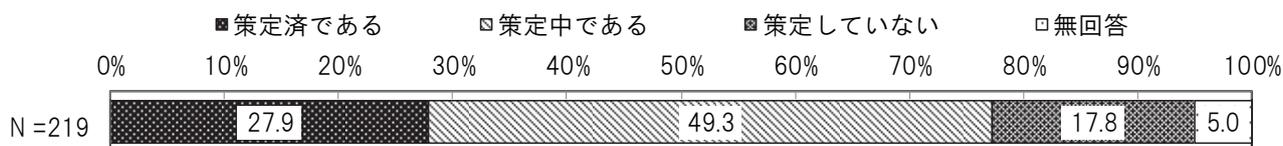
訓練の状況については、「定期的に訓練を行っている」が32.4%と最も多く、「計画の中には「訓練」が記載されているが、まだ行っていない」（29.4%）と続いています。

図表 321 訓練の状況（ケアマネジャー調査 問26-2）



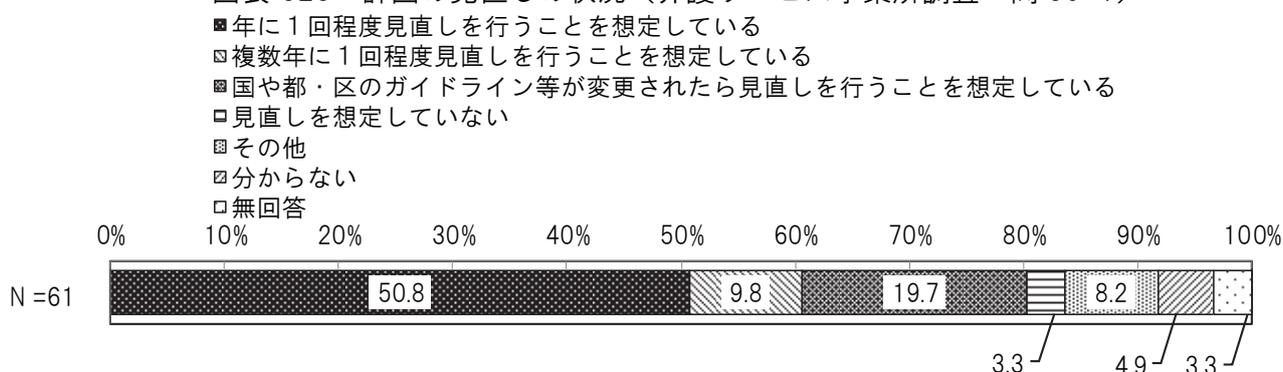
介護サービス事業所における BCP の策定状況については、「策定済」が 27.9%、「策定中」が 49.3%となっています。

図表 322 BCP の策定状況（介護サービス事業所調査 問 30）



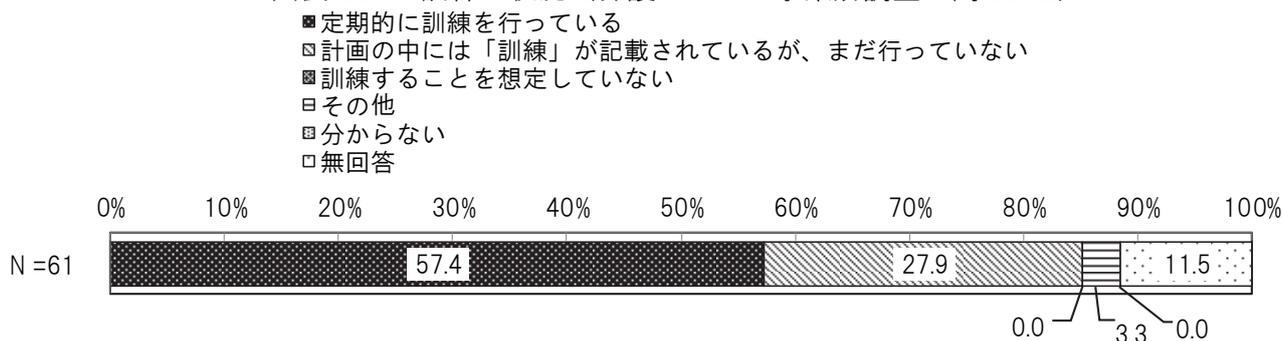
BCP の見直しの状況については、「年に 1 回程度見直しを行うことを想定している」が 50.8%と最も多く、「国や都・区のガイドライン等が変更されたら見直しを行うことを想定している」(19.7%)と続いています。

図表 323 計画の見直しの状況（介護サービス事業所調査 問 30-1）



訓練の状況については、「定期的に訓練を行っている」が 57.4%と最も多く、「計画の中には「訓練」が記載されているが、まだ行っていない」(27.9%)と続いています。

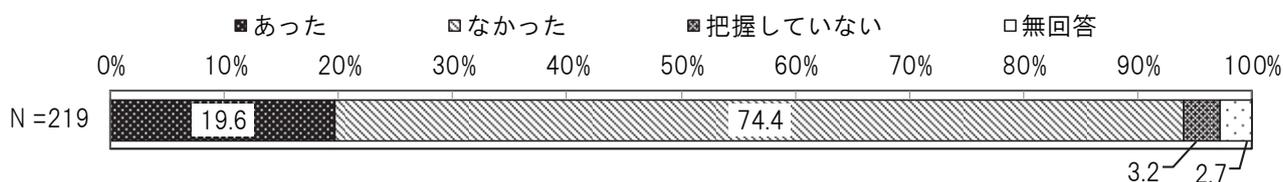
図表 324 訓練の状況（介護サービス事業所調査 問 30-2）



②ハラスメント・虐待への対応について

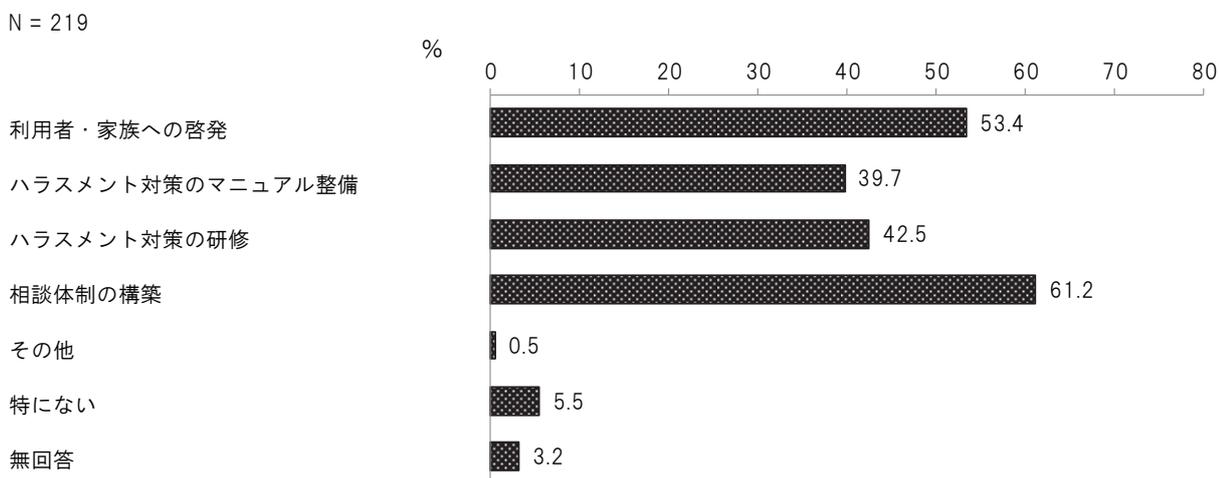
利用者・家族等からの従業員に対するハラスメントの状況については、過去1年間従業員から相談や報告等について、「なかった」は74.4%となっているものの、一定数のハラスメントがあったことが分かります。

図表 325 ハラスメントの状況（介護サービス事業所調査 問 27）



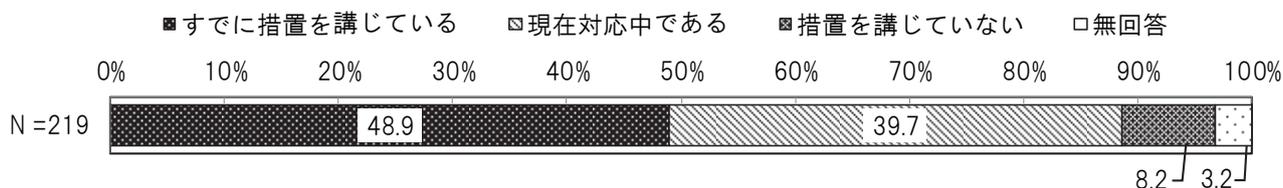
ハラスメント対策に必要な公的支援については、「相談体制の構築」が61.2%と最も多く、「利用者・家族への啓発」(53.4%)と続いています。

図表 326 ハラスメント対策に必要な公的支援（介護サービス事業所調査 問 28）



国が義務付ける虐待の防止にかかる措置の実行状況については、「すでに対策を講じている」(48.9%)と「現在対応中である」(39.7%)を合わせると、88.6%の事業者が対応を進めていることが分かります。

図表 327 虐待の防止にかかる措置の実行状況（介護サービス事業所調査 問 29）



參考資料

宛名ラベル

豊島区 要介護認定者調査のお願い

日頃より、豊島区の介護保険事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

豊島区では、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、自立支援・重度化防止に効果的な施策の実施に向けた検討を行うため、高齢者の皆様の生活状況やご意見をおうかがいする調査を実施いたします。

この調査は、令和4年11月1日現在、豊島区にお住まいの要介護認定を受けている65歳以上の皆様から、無作為に抽出しました1,500人の方に送付しています。調査結果は要介護認定データと関連付けて分析しますが、個人が特定されることや目的外に利用することはありません。

質問数が多く、大変お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月 豊島区 保健福祉部 介護保険課

本調査にご協力いただける方は、**下記に日付・氏名の記入**をお願いいたします。
(個人情報の取扱いについて同意できないが、調査にご協力いただける方は、無記名のままこのページを切り取ってご返送ください。)

上記調査に係るデータの活用について、同意いたします。

令和 年 月 日 署名

本人は署名ができないため、代筆しました。 代筆者

1

問1 この調査票にご回答いただいている方は、どなたですか。(ひとつだけ〇)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | あて名のご本人が記入 |
| 2 | あて名のご本人の話を聞き、ご家族が記入 |
| 3 | その他 () |

※これ以降、あて名のご本人様(あなた)についておうかがいます。
※あて名の方以外の方が記入される場合にも、特に指定のない限り、あて名のご本人様についてご回答ください。

1. あて名のご本人様ご自身およびご家族について

問2 あなたの性別をお答えください。(ひとつだけ〇)

- | | | | |
|---|-----|---|----|
| 1 | 男性 | 2 | 女性 |
| 3 | その他 | | |

問3 あなたの令和4年11月1日現在の年齢をお答えください。(ひとつだけ〇)

- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 65歳～69歳 | 2 | 70歳～74歳 |
| 3 | 75歳～79歳 | 4 | 80歳～84歳 |
| 5 | 85歳～89歳 | 6 | 90歳以上 |

問4 あなたは現在、どちらにお住まいですか。(ひとつだけ〇)

- | | | |
|---|---------------------|--------------------------------|
| 1 | ご自宅(ショートステイ利用者含む) | ➔ 問5へ |
| 2 | 区内の親族等の家 | |
| 3 | 入院中 | |
| 4 | その他(介護施設へ入所している等含む) | ➔ 調査は終わりです。
ご協力ありがとうございました。 |
| 5 | 区外へ転出した | ➔ 返信用の封筒に入れ12月5日までに投函してください。 |

3

記入上の注意

- 濃い鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
- 〇印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例：①・2・3)
- 「その他」を選択された場合は()内に具体的内容を記入してください。
- 表面の同意書以外に**あなたのお名前やご住所などを書かないでください。**
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)に封入し、**令和4年12月5日(月)まで**にご返送ください。
- この調査に関するお問い合わせは、以下の担当までお願いいたします。

【調査についての問合せ先】

豊島区 保健福祉部 介護保険課 電話：03-3981-1942(直通)
(平日8:30～17:00)

2

問5 あなたがお住まいの地域をお答えください。(ひとつだけ〇)

- | | | | | | |
|----|-----------|----|----------|----|-----------|
| 1 | 駒込1～7丁目 | 2 | 巢鴨1・2丁目 | 3 | 巢鴨3～5丁目 |
| 4 | 西巢鴨1～4丁目 | 5 | 南大塚1～3丁目 | 6 | 北大塚1・2丁目 |
| 7 | 北大塚3丁目 | 8 | 上池袋1～4丁目 | 9 | 東池袋1～5丁目 |
| 10 | 南池袋1～4丁目 | 11 | 西池袋1～5丁目 | 12 | 池袋1・2丁目 |
| 13 | 池袋3丁目 | 14 | 池袋4丁目 | 15 | 池袋本町1～4丁目 |
| 16 | 雑司が谷1～3丁目 | 17 | 高田1～3丁目 | 18 | 目白1・2丁目 |
| 19 | 目白3～5丁目 | 20 | 南長崎1～6丁目 | 21 | 長崎1丁目 |
| 22 | 長崎2～6丁目 | 23 | 千早1～4丁目 | 24 | 要町1～3丁目 |
| 25 | 高松1～3丁目 | 26 | 千川1・2丁目 | | |

問6 あなたの現在のお住まいを、以下の中からお答えください。(ひとつだけ〇)

- | | | | |
|---|-------------------|---|--------------|
| 1 | 持ち家(一戸建て) | 2 | 持ち家(集合住宅) |
| 3 | 公営賃貸住宅(区営住宅・都営住宅) | 4 | 民間賃貸住宅(一戸建て) |
| 5 | 民間賃貸住宅(集合住宅) | 6 | 借家 |
| 7 | その他 () | | |

問7 あなたの現在の世帯の状況を、以下の中からお答えください。(ひとつだけ〇)

- | | | | |
|---|------|---|--------|
| 1 | 単身世帯 | 2 | 夫婦のみ世帯 |
| 3 | その他 | | |

問8 あなたは現在の暮らしの経済的な状況をどう感じていますか。(ひとつだけ〇)

- | | | | |
|---|----------|---|----------|
| 1 | 大変苦しい | 2 | やや苦しい |
| 3 | ふつう | 4 | ややゆとりがある |
| 5 | 大変ゆとりがある | | |

4

2. 介護について

問9 あなたの現在の要介護度は次のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------|---------|
| 1 要介護1 | 2 要介護2 |
| 3 要介護3 | 4 要介護4 |
| 5 要介護5 | 6 わからない |

問10 あなたが、介護が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 脳卒中(脳出血・脳こうそくなど) | 2 心臓病 |
| 3 がん(悪性新生物) | 4 呼吸器の病気(肺炎・肺がんなど) |
| 5 関節の病気(リウマチなど) | 6 認知症(アルツハイマー病など) |
| 7 パーキンソン病 | 8 糖尿病 |
| 9 腎疾患(透析) | 10 視覚・聴覚障害 |
| 11 骨折・転倒 | 12 脊椎損傷 |
| 13 高齢による衰弱 | 14 その他() |
| 15 不明 | |

問11 現在、あなたは、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(ひとつだけ○)

- | |
|--------------------|
| 1 利用している → 問11-1へ |
| 2 利用していない → 問11-3へ |

問11-1 【問11で、「1 利用している」に回答した方のみにおうかがいします。】
あなたが利用している介護保険サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 【訪問サービス】 |
| 1 訪問介護(ご自宅で、掃除、食事や排せつの介助などを受けるもの) |
| 2 訪問入浴介護(ご自宅で、移動式浴槽などを用いて入浴の介助を受けるもの) |
| 3 訪問看護(ご自宅で、医療処置、医療機器の管理、床ずれ予防などを受けるもの) |
| 4 訪問リハビリテーション(ご自宅で、リハビリテーションの支援などを受けるもの) |
| 【通所サービス】 |
| 5 通所介護(デイサービス。ご自宅から施設に通い、食事や入浴、排せつの介助などを受けるもの) |
| 6 通所リハビリテーション(デイケア。ご自宅から施設に通い、主にリハビリテーションを受けるもの) |
| 【短期入所サービス】 |
| 7 ショートステイ(短期間施設に入所し、食事、入浴、排せつの介助などを受けるもの) |
| 【地域密着型サービス】 |
| 8 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(1日複数回と緊急時の訪問にて介護・看護を受けるもの) |
| 9 小規模多機能型居宅介護(1事業所から訪問・通所・短期入所のサービスを受けるもの) |
| 10 看護小規模多機能型居宅介護(1事業所から通所・宿泊・訪問介護・看護のサービスを受けるもの) |
| 11 その他() |

問11-2 【問11で、「1 利用している」に回答した方のみにおうかがいします。】
あなたの現在のケアプラン※に対する満足度はいかがですか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 満足している | 2 ほぼ満足している |
| 3 どちらともいえない | 4 やや不満である |
| 5 不満である | |

※ ケアプラン：高齢者一人ひとりの状態に合った介護サービスと、サービスの利用予定が記載された計画のことを言います。

5

6

問11-3 【問11で、「2 利用していない」に回答した方のみにおうかがいします。】あなたが介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない |
| 2 本人にサービス利用の希望がない |
| 3 家族が介護をするため必要ない |
| 4 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5 利用料を支払うのが難しい |
| 6 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため |
| 8 サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない |
| 9 その他() |

問12 あなたは、介護保険の在宅サービスの利用に要する費用についてどのように感じますか。(ひとつだけ○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 受けているサービスに対し、安価な料金である |
| 2 受けているサービスに対し、適切な料金である |
| 3 負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない |
| 4 負担が重く、費用が高くならないようにサービスの利用量を調整している |
| 5 費用は全く気にしていない |
| 6 わからない |

問13 あなたの介護度が現在より悪化した場合、どこで介護を受けたいですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------|----------|
| 1 自宅 | 2 介護施設 |
| 3 病院 | 4 どこでもよい |
| 5 その他() | 6 わからない |

問14 あなたは、今後も介護を受けながら、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるにはどのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるもの3つまで○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 福祉や介護に関する情報提供や相談体制が充実している |
| 2 身近な人による見守りや助言がある |
| 3 日中往診や緊急時対応などの医療サービスが整っている |
| 4 夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある |
| 5 認知症に対する介護サービスの充実や地域の理解がある |
| 6 家事などの生活を支援するサービスがある |
| 7 介護に適した住宅に改修、または住み替えができる |
| 8 家族介護者を支援してくれる仕組みがある |
| 9 契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある |
| 10 災害時に支援してくれる体制がある |
| 11 その他() |
| 12 わからない |

問15 あなたは、現在、施設※などへの入所・入居を検討していますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------------|----------|
| 1 入所・入居は検討していない | → 問16へ |
| 2 入所・入居を検討している | → 問15-1へ |
| 3 すでに入所・入居申し込みをしている | |

※施設には主に以下のような種類があります。

- ①特別養護老人ホーム：常に介護が必要で、自宅で介護を受けることが困難な方の施設
- ②老人保健施設：リハビリなどを提供し、在宅復帰を目指す施設
- ③介護療養型医療施設(介護医療院)：医療の必要な高齢者が、長期的に療養を受ける施設
- ④特定施設
 - 民間施設：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの民間施設
 - 公的施設：ケアハウス、養護老人ホームなどの公的施設
- ⑤グループホーム：認知症の方を対象、小規模の介護施設で共同生活を行う施設

問15-1 【問15で、「2 入所・入居を検討している」または「3 すでに入所・入居申し込みをしている」に回答した方のみにおうかがいします。】入所申込み(検討)をした施設はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 特別養護老人ホーム | 2 老人保健施設 |
| 3 介護療養型医療施設・介護医療院 | 4 特定施設(有料老人ホーム等) |
| 5 グループホーム | |

7

8

問 16 あなたが施設に入るとしたら、施設の場所をどの範囲まで検討しますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------|-------------|
| 1 豊島区内 | 2 豊島区外(都内) |
| 3 都外の近郊 | 4 場所はどこでもよい |

問 17 あなたが施設に入るとしたら、部屋の種類はどのようなものがよいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | |
|--------------------------------|
| 1 費用は多少高くても個室を希望する |
| 2 費用は安いほうがいいので大部屋(例:4人部屋)を希望する |
| 3 入所でできればどちらでもよい |

問 18 あなたは新型コロナウイルスに感染、または濃厚接触者に該当したことがありますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 ある → 問 18-1 へ | 2 ない → 問 19 へ |
|-----------------|---------------|

問 18-1 【問 18 で、「1 ある」に回答した方のみにおうかがいします。】あなたが新型コロナウイルスに感染、または濃厚接触者に該当している期間に、自宅での介護保険サービスの利用を希望したにもかかわらず、利用できなかったことはありますか。(ひとつだけ○)

- | |
|---------------------------------|
| 1 あった → 問 18-2 へ |
| 2 なかった → 問 19 へ |
| 3 自宅での介護保険サービスを利用していない → 問 19 へ |

問 18-2 【問 18-1 で、「1 あった」と回答した方のみにおうかがいします。】利用できなかったサービスの種類をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 訪問介護(ご自宅で、掃除、食事や排せつの介助などを受けるもの) |
| 2 訪問入浴介護(ご自宅で、移動式浴槽などを用いて入浴の介助を受けるもの) |
| 3 訪問看護(ご自宅で、医療処置、医療機器の管理、床ずれ予防などを受けるもの) |
| 4 訪問リハビリテーション(ご自宅で、リハビリテーションの支援などを受けるもの) |
| 5 その他() |

9

問 21 豊島区では、高齢者の心身の健康と生活の安定のための相談窓口として、区内に高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)を設置しています。あなたは、高齢者総合相談センターを知っていますか。(ひとつだけ○)

- | |
|------------------------------------|
| 1 自分が住んでいる地域のセンターの場所もセンターの役割も知っている |
| 2 場所までは知らないが、センターの役割は知っている |
| 3 場所は知っているが、センターの役割までは知らない |
| 4 センターの名前は知っている |
| 5 知らない |

11

3. 生活支援について

問 19 あなたが現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------|
| 1 配食 |
| 2 調理 |
| 3 掃除・洗濯 |
| 4 買い物(宅配は含まない) |
| 5 ゴミ出し |
| 6 外出同行(通院、買い物など) |
| 7 移送サービス(介護・福祉タクシー等) |
| 8 見守り、声かけ |
| 9 サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10 その他() |
| 11 利用していない |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます

問 20 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス)はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------|
| 1 配食 |
| 2 調理 |
| 3 掃除・洗濯 |
| 4 買い物(宅配は含まない) |
| 5 ゴミ出し |
| 6 外出同行(通院、買い物など) |
| 7 移送サービス(介護・福祉タクシー等) |
| 8 見守り、声かけ |
| 9 サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10 その他() |
| 11 特になし |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

10

4. 医療について

問 22 あなたが、現在抱えている傷病についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 脳血管疾患(脳卒中) |
| 2 心疾患(心臓病) |
| 3 悪性新生物(がん) |
| 4 呼吸器疾患 |
| 5 腎疾患(透析) |
| 6 筋骨格系疾患(骨粗鬆症、脊柱管狭窄症など) |
| 7 膠原病(関節リウマチを含む) |
| 8 変形性関節疾患 |
| 9 認知症 |
| 10 パーキンソン病 |
| 11 難病(パーキンソン病を除く) |
| 12 糖尿病 |
| 13 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) |
| 14 その他() |
| 15 なし |
| 16 わからない |

問 23 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない |
|----------|-----------|

※ 訪問診療:医師・訪問看護師が定期的に自宅へ訪問し、診療・処置を行うことをいいます。訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 24 あなたは、現在、訪問歯科診療を利用していますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない |
|----------|-----------|

問 25 あなたは、かかりつけ医はいますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

※ かかりつけ医:日頃から自分の健康状態をよく知っていて、日常的な健康管理をまかせられる医師のことをいいます。

12

5. 地域とのつながりについて

問 26 あなたは週に1回以上は外出していますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------|---------|
| 1 ほとんど外出していない | 2 週1回 |
| 3 週2～4回 | 4 週5回以上 |

問 27 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

① あなたの、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他() | 8 そのような人はいない | |

② あなたが病気で数日間寝込んだときに、介護や世話をしてくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他() | 8 そのような人はいない | |

問 28 家族や友人・知人以外で、何かあったときの相談先を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 町会・自治会・高齢者クラブ | 2 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3 ケアマネジャー | 4 医師・歯科医師・看護師 |
| 5 高齢者総合相談センター・区役所 | 6 その他() |
| 7 そのような人はいない | |

13

問 33 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 【身体介護】 | |
| 1 日中の排泄 | 2 夜中の排泄 |
| 3 食事の介助(食べる時) | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症症状への対応 |
| 11 医療面での対応(経管栄養やストーマ等) | |
| 【生活援助】 | |
| 12 食事の準備(調理等) | 13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物) |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 【その他】 | |
| 15 その他() | 16 わからない |

問 34 現在の生活を継続していくにあたって、主に介護をされている方が、不安に感じている介護などについてご回答ください。現在行っているか否かは問いません。(主なもの3つまで○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 【身体介護】 | |
| 1 日中の排泄 | 2 夜中の排泄 |
| 3 食事の介助(食べる時) | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症症状への対応 |
| 11 医療面での対応(経管栄養やストーマ等) | |
| 【生活援助】 | |
| 12 食事の準備(調理等) | 13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物) |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 【その他】 | |
| 15 その他() | 16 不安に感じていることは特にない |

15

6. 主に介護をしている方について

問 29 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(ひとつだけ○)

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1 ない | 2 家族・親族からの介護はあるが、週に1日より少ない |
| 3 週に1～2日ある | 4 週に3～4日ある |
| 5 ほぼ毎日ある | |

問 30 あて名のご本人様を主に介護をしている方は、あて名のご本人から見てどのようなご関係にありますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------|---|
| 1 配偶者(夫・妻) | → 引き続き問 31 以降をご回答ください。 |
| 2 子 | |
| 3 子の配偶者 | |
| 4 孫 | |
| 5 兄弟・姉妹 | |
| 6 その他() | |
| 7 介護サービスのヘルパー | → 調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。返信用の封筒に入れ、12月5日までに投函してください。 |
| 8 介護している人はいない | |

ここから先は、あて名のご本人様を

主に介護をしているご家族の方 がご回答ください。

問 31 主に介護をしている方の性別をお答えください。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
| 3 その他 | |

問 32 主に介護をしている方の年齢はいくつですか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 20歳未満 | 2 20代 | 3 30代 |
| 4 40代 | 5 50代 | 6 60代 |
| 7 70代 | 8 80歳以上 | 9 わからない |

14

問 35 主に介護をしている方は、要介護認定を受けていますか。(ひとつだけ○)

- | |
|--------------------------------|
| 1 健康であり、要介護認定は受けていない |
| 2 何らかの病気や障害などはあるが、要介護認定は受けていない |
| 3 要支援1・2の認定を受けている |
| 4 要介護1・2の認定を受けている |
| 5 要介護3～5の認定を受けている |

問 36 主に介護をしている方の、現在の勤務形態についてご回答ください。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------|------------|
| 1 フルタイムで働いている | → 問 36-1 へ |
| 2 パートタイムで働いている | |
| 3 働いていない | → 問 37 へ |

※ 「パートタイム」とは「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の方も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問 36-1 【問 36 で、「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」に回答した方のみにおうかがいします。】介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 特に行っていない |
| 2 介護のために、労働時間を調整(残業免除、時短勤務、遅出、早帰、中抜けなど)しながら働いている |
| 3 介護のために、休暇(年休や介護休暇など)を取りながら働いている |
| 4 介護のために、在宅勤務を利用しながら働いている |
| 5 介護のために2～4以外の調整をしながら働いている
具体的に() |

問 36-2 【問 36 で、「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」に回答した方のみにおうかがいします。】今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 問題なく続けていける | 2 問題はあるが何とか続けていける |
| 3 続けていくのはやや難しい | 4 続けていくのは、かなり難しい |

16

問 37 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年間に仕事をやめた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)(あてはまるものすべてに○)

- 1 主な介護者が仕事をやめた(転職除く)
- 2 主な介護者以外の家族・親族が仕事をやめた(転職除く)
- 3 主な介護者が転職した
- 4 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- 5 介護のために仕事をやめた家族・親族はいない
- 6 わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事をやめた方を含みます。

問 38 在宅介護を継続するにあたって、主に介護をしている方が、介護者支援として充実を望むことは何ですか。(主なもの3つまで○)

- 1 介護者がリフレッシュできるような機会
- 2 介護者の会などの介護者同士の交流の場
- 3 高齢者総合相談センターなどでの個人的な相談窓口
- 4 介護者向けの教室など、介護技術が学べる機会
- 5 介護者の疾病予防や病気の早期発見などを行うためのヘルスチェックや健康相談の実施
- 6 若者など介護未経験者に対する介護への理解促進
- 7 隣近所の助けあいやボランティア活動の充実
- 8 介護保険制度で行われる居宅サービスの充実
- 9 その他の公的支援の充実
- 10 保険外のサービスの充実

●最後に、在宅介護や介護保険に関するご意見やご希望がございましたらご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
調査票を同封の返信用封筒に入れて、12月5日(月)までに返送(投函)してください。
(切手を貼る必要はありません。)

豊島区 ケアマネジャー調査のお願い

ご協力をお願い

日頃より、豊島区の介護保険事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、第9期介護保険事業計画（令和6～8年度）を策定するにあたり、区内居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方に業務の現状やご意見等をおうかがいするアンケート調査を実施いたします。

この調査票は、豊島区内の居宅介護支援事業所のケアマネジャー全員の方に送付しています。
この調査結果は、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月 豊島区 保健福祉部 介護保険課

記入上の注意

- この調査は、令和4年11月1日現在の状況でお答えください。
- 濃い鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
- 印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例：①・2・3）
- 「その他」を選択された場合は（ ）内に具体的内容を記入してください。
- 調査票や封筒にあなたのお名前やご住所などを書かないでください。無記名の調査です。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に封入し、

令和4年12月5日（月）までにご返送ください。

- この調査に関するお問い合わせは、以下の担当までお願いいたします。

【調査についての問合せ先】

豊島区 保健福祉部 介護保険課 電話：03-3981-1942（直通）
（平日8：30～17：00）

1. ご本人様について

問1 あなたの令和4年11月1日現在の年齢をお答えください。（ひとつだけ○）

1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代
4 50歳代	5 60歳代	6 70歳代以上

問2 あなたはケアマネジャー以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。（あてはまるものすべてに○）

1 医師	2 歯科医師	3 薬剤師
4 保健師	5 看護師、准看護師	6 理学療法士
7 作業療法士	8 歯科衛生士	9 管理栄養士
10 社会福祉士	11 介護福祉士	12 精神保健福祉士
13 社会福祉主事	14 ホームヘルパー	15 その他（ ）

問3 あなたは、令和4年11月1日現在、ケアマネジャー業務に従事してどれくらいの経験がありますか。転職などをしてしている場合は、前職なども含めた合計期間でお答えください。（ひとつだけ○）

1 1年未満	2 1年以上3年未満	3 3年以上5年未満
4 5年以上10年未満	5 10年以上15年未満	6 15年以上

問4 あなたは、現在、主任ケアマネジャーの資格を持っていますか。（ひとつだけ○）

1 持っている	→ 問5へ
2 持っていない 資格取得を希望する	→ 問5へ
3 持っていない 資格取得を希望しない	→ 問4-1へ

問4-1 【問4で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】資格取得を希望しない理由は何ですか。（ひとつだけ○）

1 経験年数、能力が足りないから	2 研修や役割が負担
3 個人としてメリットが感じられない	4 主任ケアマネジャーの必要性が分からない
5 その他（ ）	

1

2

2. サービス基盤について

問5 あなたが現在豊島区でケアプラン作成を担当している人数をご記入ください。（数値を記入）

種類	人数
①介護プラン	(人)
②介護予防プラン	(人)
③介護予防ケアマネジメント	(人)

問6 あなたが担当している利用者の中で、ご自宅にお住まいの方のうち、現在のサービス利用では、在宅生活の維持が難しくなっている方はいますか。（ひとつだけ○）

1 いる	→ 問6-1へ	2 いない	→ 問7へ
------	---------	-------	-------

問6-1 【問6で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】現在のサービス利用では、在宅生活の維持が難しくなっている理由はどれですか。※複数のケースがある場合、あなたが特に困難であると思われる1つのケースについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

①本人の意向等に関する理由

1 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	
2 生活不安が大きいから	
3 居住環境が不便だから	
4 本人が介護者の負担の軽減を望むから	
5 費用負担が重いから	
6 その他（ ）	
7 該当しない	

②家族等介護者の意向・負担等に関する理由

1 介護者の介護に係る不安・負担量の増大	
2 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	
3 家族等の介護等技術では対応が困難	
4 費用負担が重いから	
5 家族等の就労継続が困難になりはじめたから	
6 本人と家族等の関係性に課題があるから	
7 その他の家族等介護者の意向（ ）	
8 該当しない	

③本人の状態等に関する理由

1 必要な生活支援の発生・増大	→ 問6-5へ
2 必要な身体介護の増大	→ 問6-2へ
3 認知症の症状の悪化	→ 問6-3へ
4 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり	→ 問6-4へ
5 その他（ ）	→ 問6-5へ
6 該当しない	→ 問6-5へ

問6-2 【問6-1の③で、「2」に回答した方のみにおうかがいします。】生活の維持が難しくなっている要因となっている具体的な身体介護は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 見守り・付き添い	2 移乗・移動
3 食事摂取	4 排泄（日中）
5 排泄（夜間）	6 入浴
7 更衣・整容	8 その他（ ）

問6-3 【問6-1の③で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】生活の維持が難しくなっている要因となっている具体的な認知症の症状は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 家事に支障がある	2 一人での外出が困難
3 薬の飲み忘れ	4 金銭管理が困難
5 意欲の低下	6 徘徊がある
7 暴言・暴力などがある	8 強い介護拒否がある
9 深夜の対応	10 近隣住民等とのトラブル
11 その他（ ）	

問6-4 【問6-1の③で、「4」に回答した方のみにおうかがいします。】生活の維持が難しくなっている要因となっている具体的な医療的ケア・医療処置は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 点滴の管理	2 中心静脈栄養
3 透析	4 ストーマの処置
5 酸素療法	6 レスピレーター
7 気管切開の処置	8 疼痛の看護
9 経管栄養	10 モニター測定
11 褥瘡の処置	12 カテーテル
13 喀痰吸引	14 インスリン注射
15 その他（ ）	

3

4

問6-5 【問6で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【在宅サービス】	
1 短期入所生活介護	2 訪問介護、訪問入浴介護
3 夜間対応型訪問介護	4 訪問看護
5 訪問リハビリテーション	6 通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護
7 定期巡回・随時対応型訪問介護	8 看護小規模多機能型居宅介護
9 小規模多機能型居宅介護	
【住まい・施設等】	
10 特別養護老人ホーム	11 介護老人保健施設
12 介護療養型医療施設・介護医療院	13 有料老人ホーム
14 軽費老人ホーム(ケアハウス)	15 グループホーム

問7 あなたは、ケアマネジャーの立場から、高齢者が安心して生活するために、どのようなサービスをより充実させることが重要だと考えますか。(重要だと思うもの3つまでに○)

【訪問系】	
1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 居宅療養管理指導	
【通所系】	
6 通所介護	7 通所リハビリテーション
【短期入所系】	
8 短期入所生活介護	9 短期入所療養介護
【貸与】	
10 福祉用具貸与	
【地域密着型】	
11 夜間対応型訪問介護	12 認知症対応型通所介護
13 地域密着型通所介護	14 小規模多機能型居宅介護
15 看護小規模多機能型居宅介護	16 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
17 認知症対応型共同生活介護	
【施設等】	
18 特定施設入居者生活介護	19 特別養護老人ホーム
20 介護老人保健施設	21 介護療養型医療施設・介護医療院

5

問8 あなたが担当する利用者のうち、居宅療養管理指導を利用している方はいますか。(ひとつだけ○)

1 いる	➡ 問8-1 へ	2 いない	➡ 問9 へ
------	----------	-------	--------

問8-1 【問8で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】当該利用者の居宅療養管理指導をケアプランに記載していますか。(ひとつだけ○)

1 利用者全員のケアプランに記載している	➡ 問9 へ
2 半数以上の利用者のケアプランに記載している	
3 半数未満の利用者のケアプランに記載している	➡ 問8-2 へ
4 ケアプランに記載していない	

問8-2 【問8-1で、「2」～「4」に回答した方のみにおうかがいします。】居宅療養管理指導をケアプランに記載していない主な理由を教えてください。(ひとつだけ○)

1 手間がかかる	
2 サービス利用の効果・メリットがない	
3 サービスを提供している事業者から情報提供がない	
4 利用者・家族がケアプランへの記載を希望していない	
5 その他 ()	

6

問9 あなたが担当する利用者のうち、保険外サービスを利用している方はいますか。(ひとつだけ○)

1 いる	➡ 問9-1 へ	2 いない	➡ 問10 へ
------	----------	-------	---------

問9-1 【問9で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】当該利用者の保険外サービスをケアプランに記載していますか。(ひとつだけ○)

1 利用者全員のケアプランに記載している	➡ 問10 へ
2 半数以上の利用者のケアプランに記載している	
3 半数未満の利用者のケアプランに記載している	➡ 問9-2 へ
4 ケアプランに記載していない	

問9-2 【問9-1で、「2」～「4」に回答した方のみにおうかがいします。】保険外サービスをケアプランに記載していない主な理由を教えてください。(ひとつだけ○)

1 手間がかかる	
2 サービス利用の効果・メリットがない	
3 利用者・家族から情報提供がなく、サービスを提供している事業者がわからない	
4 利用者・家族がケアプランへの記載を希望していない	
5 その他 ()	

7

3. 各種連携・調整について

問10 あなたは利用者・家族との連絡や医療機関・他事業者との多職種連携において ICT を利用していますか。(ひとつだけ○)

1 毎回 ICT を利用している	➡ 問11 へ
2 ICT の利用はケースバイケースである	➡ 問10-1 へ
3 ほとんど ICT を利用していない	

※ICTとはスマートフォンやタブレット等を利用して、情報を入力、電子化してやりとりするツールのことです。例) MCS(メディカルケアステーション) など

問10-1 【問10で、「2」または「3」に回答した方のみにおうかがいします。】あなたが ICT を利用しない理由は何ですか。(ひとつだけ○)

1 ICT の操作方法が分からない	2 ICT 以外の方法で十分である
3 システムの導入にお金がかかる	4 相手が ICT を利用していない
5 ICT で個人情報扱うのが不安	6 その他 ()

問11 あなたは、サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 サービス提供事業所のパンフレット等の収集	
2 サービス提供事業所のホームページを閲覧	
3 地域単位の事業所情報誌等を閲覧	
4 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)からの情報収集	
5 他のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加	
6 ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電話・ICT等によって直接問合せ・連絡・調整	
7 サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業所との連絡をとる機会はない	
8 ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ	
9 事業所が営業に来るとき	
10 利用者からの情報や意見・要望	
11 その他 ()	

問12 あなたは、現在、高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)との連携はとれていますか。(ひとつだけ○)

1 十分連携が取れている	➡ 問13 へ
2 連携の取れる内容と取れない内容がある	
3 連携が取れていない	➡ 問12-1 へ
4 どちらともいえない	
5 連携を取る必要性を感じていない	

8

問 12-1 【問 12 で、「2」～「5」に回答した方のみにおうかがいします。】現在、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）と連携がとれない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 包括の役割が良く分からない |
| 2 | 包括の担当者や話す機会が少ない |
| 3 | 連携のとり方がわからない |
| 4 | 自分の業務が忙しい |
| 5 | 包括の職員が忙しい |
| 6 | 包括ごとに職員のレベルや対応に違いがある |
| 7 | その他（ ） |

問 13 あなたは、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）に、今後、特に期待する役割は何ですか。（3つまで○）

- | | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 自立支援を目的とした介護予防ケアマネジメントに関する指導・相談の役割 |
| 2 | 地域づくりにおける推進的な役割 |
| 3 | 主治医との連携の役割 |
| 4 | 介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談の役割 |
| 5 | 支援困難事例への個別指導・相談の役割 |
| 6 | 地域における介護支援専門員のネットワークづくりの役割 |
| 7 | 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援の役割 |
| 8 | 地域の総合相談窓口としての役割 |
| 9 | 実態把握等による要介護高齢者の早期発見と対応の役割 |
| 10 | 高齢者虐待防止・権利擁護の役割 |
| 11 | 介護保険に該当しない課題のある家族への対応や引継ぎ |
| 12 | その他（ ） |
| 13 | 特になし |

問 14 あなたは、現在、医療機関との連携はとれていますか。（ひとつだけ○）

- | | | |
|---|--------------------|------------|
| 1 | 十分連携が取れている | ➡ 問 15 へ |
| 2 | 連携の取れる内容と取れない内容がある | |
| 3 | 連携が取れていない | ➡ 問 14-1 へ |
| 4 | どちらともいえない | |
| 5 | 連携を取る必要性を感じていない | |

問 14-1 【問 14 で、「2」～「5」に回答した方のみにおうかがいします。】現在、医療機関と連携がとれない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---|--------------------|---|----------------|
| 1 | 自分自身に医療的な知識が不足している | 2 | 医療従事者と話す機会が少ない |
| 3 | 連携のとり方がわからない | 4 | 医療従事者が忙しい |
| 5 | その他（ ） | | |

問 15 あなたは、この1年間に、ターミナルケアに係る居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しましたか。（ひとつだけ○）

- | | | | |
|---|----------|---|---------|
| 1 | 作成した（ ）人 | 2 | 作成していない |
|---|----------|---|---------|

問 16 あなたは、特にケアプランの作成にあたって、どのように医療機関等からの情報収集などを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----|---|
| 1 | 主治医の意見書入手 |
| 2 | 意見書を記載した主治医に対して電話・ICT・面談等による問合せ |
| 3 | 意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・ICT・面談等による問合せ |
| 4 | 入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して電話・ICT・面談等による問合せ |
| 5 | 往診・受診・通院・入院時に同行 |
| 6 | 在宅医療相談窓口を通じた情報収集等 |
| 7 | 家族を通じて医師に指示を確認 |
| 8 | カンファレンス |
| 9 | その他（ ） |
| 10 | 特に行っていない |

問 17 多職種連携について、課題があればご記入ください。

4. 業務の課題について

問 18 あなたは、ケアマネジャー業務を行う上で、どのようなことが課題となっていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----|--|
| 1 | 区の介護保険サービスの種類が少ない |
| 2 | 区の介護保険外サービスの種類が少ない |
| 3 | サービス事業者に関する情報が少ない |
| 4 | 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない |
| 5 | 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が充分とれない |
| 6 | 支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない |
| 7 | 認知症ケアの方法がわからない |
| 8 | 医療機関との連携がうまくとれない |
| 9 | 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）との連携がうまくいかない |
| 10 | 区との連携がうまくいかない |
| 11 | 相談する人が身近にいない |
| 12 | 所属法人の関連事業者のサービス提供に偏る |
| 13 | 記録など書類の量が多く負担となっている |
| 14 | 利用者に制度が十分理解されていない、理解いただくのが負担 |
| 15 | 介護保険サービスを組み込まないインフォーマルサービス等だけのケアプラン調整が、介護報酬で評価されない |
| 16 | 介護保険に該当しない課題のある家族への対応先がわからない |
| 17 | その他（ ） |

問 19 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担感を感じますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|----|----------------------|----|----------------------|
| 1 | 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意 | 2 | 利用者の状態像に関するアセスメント |
| 3 | サービス担当者会議の開催・調整 | 4 | ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意 |
| 5 | ケアプランの交付（書類の作成など） | 6 | 状況確認のための毎月の家庭訪問・面接 |
| 7 | 主治医や医療機関と連絡調整 | 8 | 利用者や事務所の苦情対応 |
| 9 | 地域ケア会議への参加 | 10 | 介護報酬請求事務 |
| 11 | 夜間や休日の相談対応 | 12 | ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと |
| 13 | 利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整 | 14 | 利用者の経済的問題等の相談 |
| 15 | 認知症等の利用者にかかわること | 16 | 入所・入院先の相談手配 |
| 17 | 介護保険では対応できない同居家族の問題 | 18 | その他（ ） |
| 19 | 特に負担に感じることはない | | |

問 20 あなたは、ケアプランを作成するうえでわからないことや困ったことがあった時、誰に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | | | |
|----|---------------|----------|-------------------------|--------------|----------|
| 1 | 同一法人のケアマネジャー | 2 | 他法人のケアマネジャー | | |
| 3 | 地域のケアマネジャー連絡会 | 4 | 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター） | | |
| 5 | 区役所介護保険課 | 6 | 区役所高齢者福祉課 | | |
| 7 | 東京都 | 8 | 国民健康保険団体連合会 | | |
| 9 | その他（ ） | | ➡ 問 20-1 へ | | |
| 10 | 困ったりすることはない | ➡ 問 21 へ | 11 | 相談できる相手がいらない | ➡ 問 21 へ |

問 20-1 【問 20 で、「1」～「9」に回答した方のみにおうかがいします。】どのようなことを相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 支援困難事例への対応に関すること |
| 2 | 利用者・家族間の意見調整に関すること |
| 3 | 居宅サービスの適否判断の解釈に関すること（運営基準等を含む） |
| 4 | 介護保険外のサービスの利用に関すること |
| 5 | 医療知識に関すること |
| 6 | 介護報酬請求事務に関すること |
| 7 | その他（ ） |

5. 質の確保について

問 21 介護保険制度は3年ごとに大きな改正がありますが、改正内容をどのように学んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1 国や都などの研修に参加	2 自主的な勉強会
3 区が主催する研修や連絡会等に参加	4 民間の外部研修に参加
5 高齢者総合相談センター主催の研修に参加	6 インターネットの活用
7 介護報酬に関する解釈本を読む	8 その他 ()

問 22 あなたはどれくらいの頻度で研修に参加していますか。(それぞれひとつだけ○)

区主催の研修	1 月に1回程度	2 3か月に1回程度
	3 半年に1回程度	4 年に1回程度
	5 参加していない	
地域の職能団体(医師会等)が主催する研修	1 月に1回程度	2 3か月に1回程度
	3 半年に1回程度	4 年に1回程度
	5 参加していない	
事業所や同一法人が主催する研修	1 月に1回程度	2 3か月に1回程度
	3 半年に1回程度	4 年に1回程度
	5 参加していない	
その他の団体が主催する研修(団体:)	1 月に1回程度	2 3か月に1回程度
	3 半年に1回程度	4 年に1回程度
	5 参加していない	

問 23 あなたがこれまで受けた研修の中で、特に業務に役立った内容はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 介護保険等の制度に関する情報	2 相談対応スキルに関する研修
3 アセスメントスキルに関する研修	4 プランニングスキルに関する研修
5 医療に係る知識に関する研修	6 現場でのケアの提供に係るスキルに関する研修
7 保健予防に関する研修	8 リハビリテーションに関する研修
9 多職種連携に関する研修	10 自立支援に関する研修
11 その他 ()	

13

問 24 あなたが、ケアマネジャーの質の向上を図るために必要だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 レベルや経験年数に応じた研修	2 事務所でのOJT(職場研修)
3 ベテランのケアマネジャーによる指導	4 事例を使った検討会
5 チームワークの向上	6 風通しの良い職場環境
7 個人の意識の向上	8 主任ケアマネジャーの質の向上
9 その他 ()	

問 25 あなたの所属する事業所におけるケアマネジャーの質の向上における課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 レベルや経験年数に応じた研修がない
2 事務所でのOJT(職場内研修)の体制が整っていない
3 講師、内容、費用等の面で魅力的な研修内容がない
4 地域の課題を把握しきれていない
5 職場での人間関係
6 業務多忙のため、研修を受講する時間がない
7 その他 ()

14

6. 災害時の対応について

問 26 国は、省令により、2024年までにBCP(事業継続計画)の策定を義務づけています。あなたの所属する事業所ではBCPを策定されていますか。(ひとつだけ○)

1 策定済である	➡ 問 26-1 へ
2 策定中である	➡ 問 27 へ
3 策定していない	➡ 問 26-3 へ

問 26-1 【問 26 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画の見直しはどのように想定されていますか。(ひとつだけ○)

1 年に1回程度見直しを行うことを想定している
2 複数年に1回程度見直しを行うことを想定している
3 国や都・区のガイドライン等が変更されたら見直しを行うことを想定している
4 見直しを想定していない
5 その他 ()
6 分からない

問 26-2 【問 26 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画に基づく訓練は行われていますか。(ひとつだけ○)

1 定期的に訓練を行っている
2 計画の中には「訓練」が記載されているが、まだ行っていない
3 訓練することを想定していない
4 その他 ()
5 分からない

問 26-3 【問 26 で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】策定していない理由は何ですか。(ひとつだけ○)

1 2024年までには策定するつもりである
2 策定する方法が分からない
3 策定する必要性を感じていない
4 その他 ()
5 分からない

15

問 27 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、下記のサービスの利用を控えていたもしくは変更をした利用者はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

1 通所介護	➡ 問 27-1 へ
2 通所リハビリテーション	➡ 問 27-2 へ
3 地域密着型通所介護	➡ 問 27-3 へ
4 認知症対応型通所介護	➡ 問 27-4 へ
5 上記サービスの利用を控えていたもしくは変更した利用者はいない	➡ 問 28 へ

問 27-1 【問 27 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】代替サービスとして利用したサービスがあればお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 その他 ()	6 代替サービスは利用していない

問 27-2 【問 27 で、「2」に回答した方のみにおうかがいします。】代替サービスとして利用したサービスがあればお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 その他 ()	6 代替サービスは利用していない

問 27-3 【問 27 で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】代替サービスとして利用したサービスがあればお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 その他 ()	6 代替サービスは利用していない

問 27-4 【問 27 で、「4」に回答した方のみにおうかがいします。】代替サービスとして利用したサービスがあればお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 その他 ()	6 代替サービスは利用していない

16

問8 貴事業所における、過去1年間（令和3年10月1日から令和4年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数をお答えください。なお、無回答は「0」として集計されます。（人数を記入）

正社員（管理者・事務員含む）		
職種	採用者数	離職者数
1 訪問介護員（ヘルパー）	人	人
2 介護職員	人	人
3 看護師・准看護師	人	人
4 機能訓練指導員	人	人
5 介護支援専門員	人	人
6 福祉用具専門相談員	人	人
7 その他職員	人	人

※ 正社員：雇用している労働者で雇用期間の定めのない者

非正社員（管理者・事務員含む）		
職種	採用者数	離職者数
1 訪問介護員（ヘルパー）	人	人
2 介護職員	人	人
3 看護師・准看護師	人	人
4 機能訓練指導員	人	人
5 介護支援専門員	人	人
6 福祉用具専門相談員	人	人
7 その他職員	人	人

※ 非正社員：正社員以外の労働者（契約社員、嘱託社員、臨時的雇用者、パートタイム労働者）

問9 貴事業所で実施する介護サービスに従事する職員について、職種・雇用形態ごとに現在募集している人数をお答えください。なお、無回答の場合には「0」として集計されます。（人数を記入）

職種	雇用形態	
	正社員	非正社員
1 訪問介護員（ヘルパー）	人	人
2 介護職員	人	人
3 看護師・准看護師	人	人
4 機能訓練指導員	人	人
5 介護支援専門員	人	人
6 福祉用具専門相談員	人	人
7 その他職員	人	人

問10 貴事業所では、人材の確保に向けて、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 定期的に求人誌への掲載などを行っている
- 2 就職説明会への参加を行っている
- 3 福祉専門学校等教育機関との連携を図っている
- 4 ハローワークとの連携を図っている
- 5 人材派遣会社との連携を図っている
- 6 無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている
- 7 採用時に給与（賞与・手当含む）を他社より好条件に設定している
- 8 採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている
- 9 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
- 10 採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
- 11 インターンシップ制度を導入している
- 12 その他（ ）
- 13 特に何も行ってない

問11 人材の確保に向けて、どのような公的支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 介護未経験者に対する資格取得のための費用助成
- 2 介護の仕事の魅力発信等の普及啓発
- 3 介護の職場体験
- 4 介護未経験者向けに介護に関する入門的研修の実施
- 5 合同就職説明会の実施
- 6 採用力向上のための講座、アドバイス
- 7 その他（ ）

問12 貴事業所では、人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 近隣の企業や同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している
- 2 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている
- 3 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている
- 4 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている
- 5 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている
- 6 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている
- 7 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
- 8 休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている
- 9 上司や管理職が頻りに面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている
- 10 仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
- 11 職員への満足度（不満）調査を行い、事務所における課題の把握を行っている
- 12 ハラスメントや患者からの暴力等に対する相談窓口を設置している
- 13 その他（ ）
- 14 特に何も行ってない

問13 人材の定着に向けて、どのような公的支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 新規就業者を対象とした介護技術等に関する合同研修
- 2 新規就業者を対象としたキャリアプランに関する合同研修
- 3 中堅職員を対象とした介護技術等に関する合同研修
- 4 中堅職員を対象としたキャリアプランに関する合同研修
- 5 雇用定着をテーマにした管理職等に対する研修
- 6 個別の職場・事務所へのアドバイザーの派遣（職員の働き方等に関する助言等）
- 7 子育て中の職員に対する処遇改善にかかる補助
- 8 その他（ ）

問14 貴事業所における、介護職員としての外国人労働者の受け入れ状況について教えてください。（ひととつだけ○）

- | | |
|---|----------|
| 1 現在受け入れているまたは受け入れたことがあり、今後も受け入れを検討している | ⇒ 問14-1へ |
| 2 受け入れた経験がないが、受け入れを検討している | ⇒ 問15へ |
| 3 受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない | ⇒ 問15へ |
| 4 受け入れた経験があるが、今後は受け入れを検討していない | ⇒ 問14-1へ |
| 5 その他（ ） | ⇒ 問15へ |

問14-1 【問14で、「1」または「4」に回答した方のみにおうかがいします。】貴事業所で就業歴のある外国人はどのような制度で雇用された方ですか。雇用時点で利用していた制度についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- 1 EPA（経済連携協定）による介護福祉士候補者の雇用・研修
- 2 EPA（経済連携協定）により介護福祉士資格を取得した外国人の雇用
- 3 日本の介護福祉養成校に通う外国人留学生のアルバイト雇用
- 4 在留資格「介護」を持つ外国人の雇用
- 5 技能実習制度を活用した外国人（技能実習生）の雇用
- 6 在留資格「特定技能1号」を持つ外国人の雇用
- 7 身分に基づく在留者（定住者（主に日系人）、永住者、日本人の配偶者等）
- 8 その他（ ）
- 9 不明

問14-2 【問14で、「1」または「4」に回答した方のみにおうかがいします。】貴事業所で就業歴のある外国人の出身国はどちらですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------|----------|
| 1 中国 | 2 フィリピン |
| 3 ベトナム | 4 ミャンマー |
| 5 モンゴル | 6 インドネシア |
| 7 カンボジア | 8 スリランカ |
| 9 タイ | 10 ネパール |
| 11 その他（ ） | |

問15 貴事業所において外国人の受け入れにあたって課題と思われること（なっていること）を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- ① 受け入れ時に課題と思われる（なっている）こと
 - 1 受け入れにあたっての手続き・方法
 - 2 受け入れにあたっての費用
 - 3 受け入れにあたっての情報の入手
 - 4 複数の事業所と情報共有を行う場が無い
 - 5 求める人材等とのマッチング
 - 6 その他（ ）
 - 7 特になし
- ② 受け入れ後に課題と思われる（なっている）こと
 - 1 日本人職員との会話等における意思疎通に支障がある
 - 2 利用者・家族との会話等における意思疎通に支障がある
 - 3 日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある
 - 4 生活、習慣等の違いにより、日常業務に支障がある
 - 5 外国人職員の指導にあたる日本人職員の負担が増加する
 - 6 人件費以外にさまざまなコストがかかる
 - 7 その他（ ）
 - 8 特になし

問 16 貴事業所で業務改善のために導入している・導入を検討している ICT ツールはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1 基本情報作成ツール (利用者情報の登録・参照・更新・削除) | |
| 2 シフト表作成ツール (ヘルパーのシフト表を自動作成) | |
| 3 計画書作成ツール (サービス計画やサービス提供票の登録・参照・更新・削除など) | |
| 4 記録作成ツール (介護記録や業務日誌、連絡帳の登録・参照・更新・削除など) | |
| 5 実績化ツール (各種記録と報酬請求情報の突合) | |
| 6 請求管理ツール (事業所加減算の管理、算定処理、集計処理、利用者負担の請求など) | |
| 7 介護報酬請求ツール (国保連合会への報酬請求の際の確認) | |
| 8 その他 () | |
| 9 ICT ツールの導入をしていない・検討していない | |

問 17 貴事業所において ICT ツールの導入にあたって課題となっていることを具体的に教えてください。(あてはまるものすべてに○)

① 導入時に関する課題

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 ICT ツールの種類が分からない | 2 導入費用の負担が大きい |
| 3 実際に使用しないと便利かわからない | 4 職員の負担が軽減されるかわからない |
| 5 その他 () | 6 特にな |

② 導入後の運用に関する課題

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 ICT ツールを使いこなせるか不安がある | 2 運用費の負担が大きい |
| 3 職員の負担が軽減されない | 4 メンテナンスに係る時間が負担 |
| 5 その他 () | 6 特にな |

問 18 国は介護サービスに係る指定及び報酬請求(加算届出を含む)に関する申請・届出について、介護事業所が所要の申請・届出を簡易に行うことを可能とする観点から、令和7年度までにすべての自治体で「電子申請届出システム」を利用して手続きを完了できるようにするとしていますが、「電子申請届出システム」が開始された場合の貴事業所の利用意向について教えてください。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 すぐにも利用したい | 2 内容によっては利用したい |
| 3 あまり利用したくない | 4 利用したくない |
| 5 その他 () | |

問 19 貴事業所において介護助手(介護補助)を導入していますか。(ひとつだけ○)【介護助手とは、介護施設や事務所等で掃除や食事の配膳・片づけ、ベッドメイキング、利用者の話し相手等、身体介護以外の業務で、介護職員の補助的な業務を担う仕事です。ボランティアではありません。資格の必要がない職種です。】

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1 導入している | → 問 19-1 へ |
| 2 導入していないが、導入を検討・予定している | |
| 3 導入していない、予定もない | → 問 19-3 へ |
| 4 その他 () | → 問 20 へ |

9

問 19-1 【問 19 で、「1」または「2」に回答した方のみにおうかがいします。】どのような人材を活用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 介護の資格取得予定者 | 2 元気高齢者 |
| 3 時短勤務の出来る方(主婦等) | 4 その他 () |

問 19-2 【問 19 で、「1」または「2」に回答した方のみにおうかがいします。】どのような業務での活用を考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 食事の配膳やベッドメイキング | 2 掃除、備品の準備・整理 |
| 3 認知症の方の見守り | 4 サービス利用者の話し相手 |
| 5 事務(経理・人事・総務等) | 6 その他 () |

問 19-3 【問 19 で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】導入しないとする理由をお聞かせください。

10

3. 処遇改善の状況について

問 20 【問 20 は訪問看護、訪問リハビリテーション、福祉用具貸与、居宅介護支援以外の事業所がお答えください。】貴事業所では、介護職員等ベースアップ等支援加算を申請していますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 申請している | → 問 20-1 へ |
| 2 申請していない | → 問 20-2 へ |

問 20-1 【問 20 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】介護職員等ベースアップ等支援加算を利用した処遇の改善を図ったことで、貴事業所の従業員にどのような効果があったと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 離職率が下がった | 2 職場の雰囲気活性化した |
| 3 職員の意欲が向上した | 4 その他 () |
| 5 あまり効果はみられなかった | |

問 20-2 【問 20 で、「2」に回答した方のみにおうかがいします。】介護職員等ベースアップ等支援加算の申請を行っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 制度を知らないから | 2 申請方法がわからないから |
| 3 申請に手間がかかるから | 4 申請してもメリットが少ないから |
| 5 対象となる職員がいないから | 6 経営状況から取得できないから |
| 7 その他 () | |

11

4. 各種連携の状況について

問 21 【問 21 は居宅介護支援以外の事業所がお答えください。】高齢者への適切なケアの提供にあたっては、ケアマネジャーと十分な連携がとれていることが重要ですが、貴事業所にとって、ケアマネジャーとの連携における課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1 日程が合わず、サービス担当者会議へ参加できないことが多いこと |
| 2 必要な情報の共有が上手く回れないこと |
| 3 連携のために必要となる時間や労力が大きいこと |
| 4 お互いの都合で、対応が遅れる場合があること |
| 5 ケアマネジャーと話し合う機会が少ないこと |
| 6 その他 () |
| 7 特に無い |

問 22 貴事業所では、喀痰吸引等登録事業者の登録をしていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 すでに登録している | 2 登録を検討している |
| 3 登録していない | 4 その他 () |

問 23 貴事業所の介護職員の中で認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けている方の人数をお答えください。(喀痰吸引等登録事業者以外もお答えください。把握している範囲で結構です。)(人数を記入)

()

問 24 貴事業所では、ターミナルケアに取り組むにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 医療的知識の不足 | 2 医療機関との連携不足 |
| 3 介護職員の研修機会の不足 | 4 その他 () |
| 5 特にな | |

12

5. サービスの質の向上について

問 25 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している |
| 2 事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている |
| 3 利用者や家族に対し満足度調査を行っている |
| 4 積極的に外部評価を受けている (ISO、第三者評価など) |
| 5 独自の自己評価を実施している |
| 6 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している |
| 7 現場のスタッフがケース検討会などを行っている |
| 8 利用者や家族から意見を募っている (メール、郵送、意見箱の設置等) |
| 9 各種研修会、学習会、セミナー等への参加を促している |
| 10 その他 () |
| 11 特に行ってない |

問 26 貴事業所では、第三者評価を受けていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1 評価を受けている | → 問 27 へ |
| 2 評価を受けていないが、今後受けることを予定している | → 問 27 へ |
| 3 評価を受けていない、今後も予定していない | → 問 26-1 へ |
| 4 評価を受けたことがあるが、今は受けていない | → 問 26-1 へ |

問 26-1 【問 26 で、「3」または「4」に回答した方のみにおうかがいします。】第三者評価を受けない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 制度を知らないから | 2 受ける方法がわからないから |
| 3 受ける手間やコストがかかるから | 4 評価を受けてもメリットが少ないから |
| 5 その他 () | 6 わからない |

問 27 過去 1 年間 (令和 3 年 10 月 1 日から令和 4 年 9 月 30 日) に、貴事業所の従業員に対する利用者・家族等からのハラスメント (セクハラ、パワハラ等) について、従業員等から相談や報告等ありましたか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------|--------|
| 1 あった | 2 なかった |
| 3 把握していない | |

問 28 ハラスメントに対して、どのような公的支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 利用者・家族への啓発 | 2 ハラスメント対策のマニュアル整備 |
| 3 ハラスメント対策の研修 | 4 相談体制の構築 |
| 5 その他 () | 6 特にない |

13

問 31 【問 31 は訪問系のサービスを取り扱っている事業所のお答えください。】

令和 4 年 10 月までの間で、新型コロナウイルス感染症を理由としてサービスの提供ができなかったことはありますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 あった → 問 31-1 へ | 2 なかった → 問 32 へ |
|------------------|-----------------|

問 31-1 【問 31 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】サービスの提供ができなかった理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1 事業所が休止中だった |
| 2 職員 (ヘルパー) の確保ができなかった |
| 3 本人、家族からサービスの提供を断られた |
| 4 その他 () |

問 31-2 【問 31 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】サービスの提供ができなかった際にどのような対応をとりましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------|
| 1 別の事業者で代替サービスを手配した |
| 2 ケアマネジャーに調整を依頼した |
| 3 家族・親族に対応を依頼した |
| 4 特に対応しなかった |
| 5 その他 () |

問 32 新型コロナウイルス感染拡大対策の現状や、今後の大規模災害が発生した場合の取り組みに関して、課題等があればご自由にお書きください。

15

問 29 国は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等の観点から、虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定めることを義務付けています。(令和 6 年 3 月 31 日まで努力義務) 貴事業所では、上記の虐待の防止にかかる措置を講じていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1 すでに措置を講じている | 2 現在対応中である |
| 3 措置を講じていない | |

6. 災害時の対応について

問 30 国は、省令により、2024 年までに BCP (事業継続計画) の策定を義務づけています。貴事業所では BCP を策定されていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 策定済である | → 問 30-1 へ |
| 2 策定中である | → 問 31 へ |
| 3 策定していない | → 問 30-3 へ |

問 30-1 【問 30 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画の見直しはどのように想定されていますか。(ひとつだけ○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 年に 1 回程度見直しを行うことを想定している |
| 2 複数年に 1 回程度見直しを行うことを想定している |
| 3 国や都・区のガイドライン等が変更されたら見直しを行うことを想定している |
| 4 見直しを想定していない |
| 5 その他 () |
| 6 分からない |

問 30-2 【問 30 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画に基づく訓練は行われていますか。(ひとつだけ○)

- | |
|-------------------------------|
| 1 定期的に訓練を行っている |
| 2 計画の中には「訓練」が記載されているが、まだ行ってない |
| 3 訓練することを想定していない |
| 4 その他 () |
| 5 分からない |

問 30-3 【問 30 で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】策定していない理由は何かですか。(ひとつだけ○)

- | |
|------------------------|
| 1 2024 年までには策定するつもりである |
| 2 策定する方法が分からない |
| 3 策定する必要性を感じていない |
| 4 その他 () |
| 5 分からない |

14

★最後に、今後の介護サービス基盤や地域包括ケアシステムの構築についてご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。調査票を同封の返信用封筒に入れて、12月5日(月)までに返送(投函)してください。(切手を貼る必要はありません。)

16

豊島区介護保険アンケート調査
報告書

発行日：令和5年3月

発行：豊島区 保健福祉部 介護保険課

〒171-8422

東京都豊島区南池袋 2-45-1

TEL 03-3981-1942

受託：株式会社 地域総合計画研究所

SDGs 未来都市としま



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。